Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
- 3. 概要
  - 3.1. IM-LogicDesigner とは
  - 3.2. IM-LogicDesigner の全体像
  - 3.3. 用語
    - 3.3.1. ロジックフロー
    - 3.3.2. フローカテゴリ
    - 3.3.3. エレメント
    - 3.3.4. 制御要素
    - 3.3.5. タスク
    - 3.3.6. シーケンス
    - 3.3.7. マッピング
    - 3.3.8. ユーザ定義タスク
    - 3.3.9. ユーザ定義カテゴリ
    - 3.3.10. フロールーティング
    - 3.3.11. フロートリガ
- 4. 機能仕様
  - 4.1. ロジックフロー
    - 4.1.1. バージョニング（履歴管理）
    - 4.1.2. 国際化
    - 4.1.3. フローカテゴリ
    - 4.1.4. 制御要素
    - 4.1.5. タスク
    - 4.1.6. 処理フロー
    - 4.1.7. データ
    - 4.1.8. マッピング
    - 4.1.9. ジョブ
  - 4.2. ユーザ定義タスク
    - 4.2.1. バージョニング（履歴管理）
    - 4.2.2. 国際化
    - 4.2.3. ユーザカテゴリ
    - 4.2.4. ユーザアイコン
    - 4.2.5. 処理種別（タイプ）
  - 4.3. フロールーティング
    - 4.3.1. 概要
    - 4.3.2. ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得
    - 4.3.3. セキュアトークンによるCSRF攻撃チェック
    - 4.3.4. 認証方式による認証
    - 4.3.5. セッション管理
    - 4.3.6. 認可
    - 4.3.7. ロジックフローへの入力データの構築
    - 4.3.8. ロジックフローの実行
    - 4.3.9. ロジックフローの出力データの返却
    - 4.3.10. REST APIのセキュリティ
    - 4.3.11. バーチャルテナントによる複数テナントにおけるREST APIの実行
    - 4.3.12. エラー発生時のレスポンス

- 4.3.13. Swagger出力
- 4.3.14. JSON上でのデータの表現
- 4.4. フロートリガ
  - 4.4.1. 概要
  - 4.4.2. 発生条件
  - 4.4.3. トリガの状態 （有効 / 無効）
  - 4.4.4. データマッピング
- 4.5. インポート・エクスポート
  - 4.5.1. インポート・エクスポートで扱う情報
  - 4.5.2. ファイルフォーマット
  - 4.5.3. インポート・エクスポート時の動作仕様
- 4.6. ロギング
  - 4.6.1. ロギング機能の有効化
  - 4.6.2. ログ出力先のテーブル構成
  - 4.6.3. 利用時の注意点
- 4.7. デバッグログ出力管理
  - 4.7.1. デバッグログ出力先のテーブル構成
  - 4.7.2. デバッグログ一覧
  - 4.7.3. デバッグログ対象の設定
  - 4.7.4. デバッグログの削除
- 5. 付録
  - 5.1. マッピングパターン
    - 5.1.1. マッピングパターン
  - 5.2. タスク一覧
    - 5.2.1. カテゴリ
  - 5.3. マッピング関数一覧
    - 5.3.1. カテゴリ
  - 5.4. EL式
    - 5.4.1. EL式とは
    - 5.4.2. EL式の利用方法
    - 5.4.3. IM-LogicDesignerでの利用
    - 5.4.4. IM-LogicDesignerでの利用が可能なEL式関数
  - 5.5. トリガ一覧
    - 5.5.1. カテゴリ
  - 5.6. ログ設定
    - 5.6.1. IM-LogicDesignerログ
    - 5.6.2. ユーザ定義タスク（REST）詳細実行ログ
  - 5.7. システム設計文書
    - 5.7.1. ER図

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-12-01	初版
2016-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*タスク一覧*」に「*アクセスセキュリティ*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM共通マスタ*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*Accel Collaboration*」を追加。 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*制御要素*」内のコラム「繰り返し対象の取得」にて、繰り返し対象の指定方法が誤っていた箇所の修正。 　■ 繰り返し開始要素のエイリアス/item -> 繰り返し開始要素のエイリアス.item 　■ 繰り返し開始要素のエイリアス/index -> 繰り返し開始要素のエイリアス.index ■ 「*フロールーティング*」に「*OAuth*」を追加。 ■ 「*フロールーティング*」に「*セッション管理*」を追加。 ■ 「*フロールーティング*」に「*ジョブ*」を追加。 ■ 「*付録*」 - 「*マッピング関数一覧*」 - 「*日付操作*」に新しい関数の追記。 ■ 「*付録*」 - 「*マッピング関数一覧*」 - 「*Base64*」の追加。 ■ 「*付録*」 - 「*マッピング関数一覧*」 - 「*配列操作*」の追加。
2016-08-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*概要*」に「*フロートリガ*」を追加。 ■ 「*機能仕様*」に「*フロートリガ*」を追加。 ■ 「*トランザクション制御*」に、デバッグ時のトランザクションについて警告を追加。 ■ 「*バージョニング（履歴管理）*」に警告「ロジックフローで有効になるバージョンについて」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Database Fetch*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*CSV Fetch*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Salesforceオブジェクト操作*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Salesforce SOQL*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Salesforceバッチ*」を追加。 ■ 「*処理種別（タイプ）*」に「*タイプ別新規作成リンク*」を追加。 ■ 「*付録*」に「*トリガ一覧*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*デスクトップ通知*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*モバイル通知*」を追加。 ■ 「*ストレージ操作*」に「*ストレージファイル読み込み（文字列）*」を追加。 ■ 「*ストレージ操作*」に「*ストレージファイル読み込み（バイナリ）*」を追加。 ■ 「*SharePointストレージ取得*」に、サイトパス指定方法の詳細を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*Salesforce*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-BIS*」を追加。 ■ 「*ログ設定*」に「*ユーザ定義タスク（REST）詳細実行ログ*」を追加。

変更年月日	変更内容
2016-12-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*制御要素*」に「変数操作」制御要素に関する説明を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」 - 「*テンプレート*」を追加。 ■ 「*フロールーティング*」 - 「*ロジックフローの出力データの返却*」に出力形式の説明を追加。 ■ 「*EL式*」に利用可能な暗黙的変数として変数、および、処理結果情報を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*アカウントの更新*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*アカウント付与ロールの取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*ロールを保持するユーザの取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*アカウント属性名の取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*アカウント属性値の取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*ロール情報の取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*ロールの更新*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*サブロール情報の取得*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*サブロールの追加*」を追加。 ■ 「*アクセスセキュリティ*」に「*サブロールの削除*」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*組織に所属するユーザの取得*」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*パブリックグループに所属するユーザの取得*」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*パブリックグループに所属*」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*パブリックグループを脱退*」を追加。 ■ 「*マッピング関数一覧*」の各関数説明で、引数の順序を引数名に変更。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-BPM*」を追加。
2016-12-22	第5版 下記を変更しました。 ■ 以下のIM-BISタスクに所属なしユーザの指定、担当組織の妥当性チェックに関する説明を追加。 　■ 「*申請*」 　■ 「*起票案件の申請*」 　■ 「*再申請*」 　■ 「*取止め*」 　■ 「*承認*」 　■ 「*承認終了*」 　■ 「*否認*」 　■ 「*差戻し*」

変更年月日	変更内容
2017-04-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ■ スクリーンショットを最新版に更新。 ■ 「*汎用タスク*」に「*スリープ*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*テキストメール送信*」の入力値に添付ファイル情報を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*HTMLメール送信*」を追加。 ■ 「*基盤機能*」に「*データインポート*」にインポートID、オプションの説明を追加。 ■ 「*基盤機能*」に「*データエクスポート*」にエクスポートID、オプションの説明を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*所属組織の取得*」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*所属グループの取得*」を追加。 ■ 「*インポート・エクスポート*」のインポート時の動作仕様に関する説明を修正。 ■ 「*フロールーティング*」 - 「*リクエストパラメータ*」に「multipart/form-data」形式の場合の説明を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*ユーザアイコン*」を追加。 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*マッピング*」にマッピングのデバッグについて説明を追加。 ■ 「*フロートリガ*」 - 「*データマッピング*」にマッピングのデバッグについて説明を追加。 ■ 「*マッピング関数一覧*」に「*オブジェクト操作*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IBM Watson*」を追加。

変更年月日	変更内容
2017-08-01	第7版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*汎用タスク*」に「*日時文字列の解析*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*IMAPメッセージの取得*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*IMAPメッセージを既読にする*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*IMAPメッセージを未読にする*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*IMAPメッセージの移動*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*IMAPメッセージの削除*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*POP3メッセージの取得*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*POP3メッセージの移動*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*POP3メッセージの削除*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*バーコード生成*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」に「*QRコード生成*」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*HTMLメール送信*」の入力値の説明を修正。 ■ 「*IMBox*」に「*グループボックスへ参加*」を追加。 ■ 「*IMBox*」に「*参加申請の取り消し*」を追加。 ■ 「*IMBox*」に「*グループボックスへ招待*」を追加。 ■ 「*IMBox*」に「*招待の取り消し*」を追加。 ■ 「*IMBox*」に「*参加申請の承認*」を追加。 ■ 「*IMBox*」に「*参加申請の否認*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*個人タスク取得*」の入力値の説明を修正。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*グループタスク取得*」の入力値の説明を修正。 ■ 以下のIM-BISタスクに入力値の画面アイテム入力情報で指定可能なアイテムの補足説明を追加。 　■ 「*申請*」 　■ 「*起票案件の申請*」 　■ 「*再申請*」 　■ 「*承認*」 　■ 「*承認終了*」 ■ 「*Office365*」 - 「*SharePointストレージ情報取得*」にOffice 365 連携で提供している Files API の廃止に伴い、出力値contentUrlを削除。 ■ 「*カテゴリ*」に「*SSH*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*コマンド実行*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SCP アップロード*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SCP ダウンロード*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP アップロード*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP ダウンロード*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP ls*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP mkdirs*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP rename*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP rm*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP rmdir*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP chmod*」を追加。 　■ 「*SSH*」に「*SFTP chown*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Excel入力*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Excel出力*」を追加。

変更年月日	変更内容
	■「*マッピング関数一覧*」に「*substring*」を追加。 ■「*EL式*」に「*IM-LogicDesignerでの利用が可能なEL式関数*」を追加。
2017-12-01	第8版 下記を追加・変更しました。 ■「*SQL(2WaySQL)*」に「*データベースに関して対応しているデータ型*」を追加。 ■「*Database Fetch*」に「*データベースに関して対応しているデータ型*」を追加。 ■「*ユーザ定義タスク*」-「*共通仕様*」にSVGの仕様について説明を追加。 ■「*ユーザ定義タスク*」に「*XML解析*」を追加。 ■「*ユーザ定義タスク*」に「*HTML解析*」を追加。 ■「*汎用タスク*」に「*RSSフィード解析*」を追加。 ■「*IM共通マスタ*」-「*パブリックグループに所属*」の入力値の説明を修正。 ■「*マッピング*」にマッピングの仕様について説明を追加。 ■「*ストレージ操作*」に「*Excelプロパティ情報読み込み*」を追加。 ■「*ストレージ操作*」に「*Excelプロパティ情報書き込み*」を追加。 ■以下の汎用タスクにフォルダ指定方法の説明を追加。 　■「*IMAPメッセージの取得*」 　■「*IMAPメッセージを既読にする*」 　■「*IMAPメッセージを未読にする*」 　■「*IMAPメッセージの移動*」 　■「*IMAPメッセージの削除*」 　■「*POP3メッセージの取得*」 　■「*POP3メッセージの移動*」 　■「*POP3メッセージの削除*」 ■「*ユーザ定義タスク*」に「*BIS申請/承認*」を追加。 ■「*IM-BIS*」に「*ファイルアップロード情報取得*」を追加。

変更年月日	変更内容
2018-04-01	第9版 下記を追加・変更しました。 ■ 以下のアクセスセキュリティタスクに使用可能な属性名、属性値の説明を追加。 ■■ 「*アカウント属性値の取得*」 ■■ 「*アカウント属性の追加*」 ■■ 「*アカウント属性の削除*」 ■ 「*メニューアイテムの作成*」の受信データにアイコン情報を追加。 ■ 「*メニューアイテムの更新*」の受信データにアイコン情報を追加。 ■ 以下のIM-BISタスクのパラメータの説明を追加。 ■■ 「*申請*」 ■■ 「*起票案件の申請*」 ■■ 「*承認*」 ■■ 「*承認終了*」 ■■ 「*否認*」 ■■ 「*取止め*」 ■■ 「*引戻し*」 ■■ 「*再申請*」 ■■ 「*保留*」 ■■ 「*保留解除*」 ■■ 「*差戻し*」 ■ 「*システム設計文書*」のER図を更新しました。 ■ 「*IM-BPM*」に「*エグゼキューション検索*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの変数更新*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*エグゼキューションの変数更新*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの変数更新*」を追加。 ■ 「*トリガー一覧*」 - 「*カテゴリ*」に「*IM共通マスタ*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-ContentsSearch*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*プロジェクトチーム*」を追加。

変更年月日	変更内容
2018-08-01	第10版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理対象者取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理対象者追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理対象者削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*参照者取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*参照者追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*参照者削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*過去案件参照者追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*過去案件参照者削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*確認者取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*確認者追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*確認者削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*ユーザデータ案件プロパティ情報取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*ユーザデータ案件プロパティ情報登録・更新*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*ユーザデータ案件プロパティ情報削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*アーカイブ処理*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理対象者再展開*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理履歴情報取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*確認履歴情報取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*未処理一覧取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*完了案件一覧取得*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスデザイナからのデプロイ*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*インポート*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの処理対象ユーザの追加*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの処理対象グループの追加*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンス検索*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスク検索*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」の「*エグゼキューション検索*」の出力値に、「エグゼキューション変数マップ」と「プロセスインスタンス変数マップ」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」の「*グループタスク取得*」の出力値に、「タスク変数マップ」と「プロセスインスタンス変数マップ」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」の「*個人タスク取得*」の出力値に、「タスク変数マップ」と「プロセスインスタンス変数マップ」を追加。

変更年月日	変更内容
2018-12-01	第11版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*IM-BIS*」に「*Workflow案件情報削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*BIS案件付属情報削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*Formaアプリケーション登録データ削除*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの変数取得*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*エグゼキューションの変数取得*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの変数取得*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの参加者の追加*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの参加グループの追加*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*Forma登録情報*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*プロセスインスタンスの変数更新*」の入力値「変数名」の必須属性を削除。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*プロセスインスタンスの変数更新*」の入力値に、「変数マップ」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*エグゼキューションの変数更新*」の入力値「変数名」の必須属性を削除。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*エグゼキューションの変数更新*」の入力値に、「変数マップ」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*タスクの変数更新*」の入力値「変数名」の必須属性を削除。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*タスクの変数更新*」の入力値に、「変数マップ」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」 - 「*プロセスインスタンス検索*」の入力値に、「関係者グループ」を追加。 ■ 以下のIM-BPMタスクに出力値の「スコープ」と「タイプ」の説明を追加。 　■ 「*個人タスク取得*」 　■ 「*グループタスク取得*」 　■ 「*エグゼキューション検索*」 　■ 「*プロセスインスタンス検索*」 　■ 「*タスク検索*」 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール登録*」の入力値および出力値に、「拡張項目選択値」を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール更新*」の入力値および出力値に、「拡張項目選択値」を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント登録*」の入力値および出力値に、「拡張項目選択値」を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント更新*」の入力値および出力値に、「拡張項目選択値」を追加。
2019-04-01	第12版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール候補検索*」の入力値および出力値の説明を修正。 ■ 「*IM共通マスタ*」の「*ユーザプロファイルの取得*」の性別の入力値に「その他」「回答しない」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」の「*ユーザプロファイルの登録*」の性別の入力値に「その他」「回答しない」を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」の「*ユーザプロファイルの更新*」の性別の入力値に「その他」「回答しない」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの履歴取得*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」の「*エグゼキューション検索*」の説明文を修正。 ■ 「*IM-BPM*」の「*グループタスク取得*」の説明文を修正。 ■ 「*IM-BPM*」の「*タスク検索*」の説明文を修正。 ■ 「*IM-BPM*」の「*個人タスク取得*」の説明文を修正。

変更年月日	変更内容
2019-08-01	第13版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*基盤機能*」の「*ショートカット情報取得*」にURLパラメータについての記載を追加。 ■ 以下のスケジュールトリガに「拡張項目選択値」を追加。 ■ 「*スケジュールの登録*」 ■ 「*スケジュールの更新*」 ■ 「*スケジュールの削除*」 ■ 「*イベントの登録*」 ■ 「*イベントの更新*」 ■ 「*イベントの削除*」 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-Knowledge*」を追加。 ■ 「*トリガ一覧*」に「*IM-Knowledge*」を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール登録*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール更新*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール参加者を追加*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*スケジュール参加者を削除*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント登録*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント更新*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント参加者を追加*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*Accel Collaboration*」の「*イベント参加者を削除*」に拡張項目コードについての説明を追加。 ■ 「*カテゴリ*」に「*JSON*」を追加。
2019-12-01	第14版 下記を追加・変更しました。 ■ 以下のスケジュールトリガに「拡張項目選択値」を追加。 ■ 「*インフォメーション記事の登録*」 ■ 「*インフォメーション記事の更新*」 ■ 「*インフォメーション記事の削除*」 ■ 「*インフォメーション追記記事の登録*」 ■ 「*ユーザ定義タスク*」の「*Forma登録情報*」に登録時の返却値「登録データID」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」の「*BIS申請/承認*」に処理種別「起票」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」の「*起票案件作成*」の入力値に画面アイテム入力情報を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*ファイルアップロード情報追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*申請権限判定*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*一時保存権限判定*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*処理権限判定*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*確認権限判定*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*参照権限判定*」を追加。

変更年月日	変更内容
2020-04-01	第15版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*IM-BIS*」の「*処理対象者取得*」の入力値に、「基準日」を追加。未到達ノードについての説明を修正。 ■ 「*IM-BIS*」に「*代理先設定新規作成*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*案件番号採番*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*ファイルアップロード情報削除*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-BloomMaker*」を追加。 ■ 「*付録*」 - 「*マッピング関数一覧*」 - 「*replace*」の引数に関する説明を追加。 ■ 「*付録*」 - 「*マッピング関数一覧*」 - 「*split*」の引数に関する説明を追加。
2020-08-01	第16版 下記を追加しました。 ■ 以下のIM-BPMタスクの入力値に「ページング条件」、「ソート条件」の説明を追加、出力値に「メタデータ」の説明を追加。 　■ 「*個人タスク取得*」 　■ 「*グループタスク取得*」 　■ 「*エグゼキューション検索*」 　■ 「*プロセスインスタンス検索*」 　■ 「*タスク検索*」 ■ 以下のIM-BPMタスクの入力値に「定義種別」の説明を追加、出力値に「定義種別」、「障害の有無」の説明を追加。 　■ 「*プロセスインスタンス検索*」 ■ 以下のIM-BPMタスクの出力値に「プロセス定義名」、「定義種別」、「業務キー」の説明を追加。 　■ 「*個人タスク取得*」 　■ 「*グループタスク取得*」 　■ 「*タスク検索*」 ■ 「*IM-BIS*」に「*振替*」を追加。

変更年月日	変更内容
2020-12-01	第17版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*機能仕様*」に「*ロギング*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」の「*BIS申請/承認*」に「userParamInfo」の説明を追加。 ■ IM-BPMタスク「タスク完了」の入力値に「ローカルスコープフラグ」を追加。 　■ 「*タスク完了*」 ■ 「*IM-BIS*」に「*Workflow添付ファイル取得*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*Workflow添付ファイル追加*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」に「*Workflow添付ファイル削除*」を追加。 ■ 「*IM-BIS*」の処理系タスクの入力値に「ユーザパラメータ」を追加。 　■ 「*申請*」 　■ 「*起票案件の申請*」 　■ 「*再申請*」 　■ 「*取止め*」 　■ 「*承認*」 　■ 「*承認終了*」 　■ 「*否認*」 　■ 「*保留*」 　■ 「*保留解除*」 　■ 「*引戻し*」 　■ 「*差戻し*」 ■ IM-BPMタスク「エグゼキューション検索」の説明に、関連するドキュメントのリンクを追加。 　■ 「*エグゼキューション検索*」
2021-04-01	第18版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*インポート・エクスポート*」にトリガ定義に関する説明を追加。 ■ 「*JavaScript*」に制限されたAPIに関する説明を追加。
2021-12-01	第19版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*組織多言語情報の更新*」の入力値「組織名」の必須属性を追加。 ■ 「*基盤機能*」に「*アクセストークンの取得*」を追加。 ■ 「*ロジックフロー*」に「*タスクの利用制限設定*」を追加

変更年月日	変更内容
2022-06-01	第20版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*IMAPメッセージの取得*」の入力値に「accessToken」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*IMAPメッセージを既読にする*」の入力値に「accessToken」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*IMAPメッセージを未読にする*」の入力値に「accessToken」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*IMAPメッセージの移動*」の入力値に「accessToken」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*IMAPメッセージの削除*」の入力値に「accessToken」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*POP3メッセージの取得*」の入力値に「accessToken」、「twoLineAuthentication」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*POP3メッセージの移動*」の入力値に「accessToken」、「twoLineAuthentication」を追加。 ■ 「*汎用タスク*」 - 「*POP3メッセージの削除*」の入力値に「accessToken」、「twoLineAuthentication」を追加。 ■ 「*XML解析*」にDTD（Document Type Definition）を使用したXMLに関する説明を追加。 ■ 「*参照権限判定*」のプロパティの「判定範囲」に「いずれか」の説明を追加。 ■ 「*EL式*」 - 「*IM-LogicDesignerでの利用が可能なEL式関数*」の「isEmpty 関数」に文字列の長さが 0 の場合の説明を追加 ■ 「*IM共通マスタ*」 - 「*所属組織の取得*」の入力値に「main」、「disable」を追加。 ■ 「*Office365*」 - 「*SharePointストレージ取得*」の入力値に「driveId」を追加。 ■ 「*Office365*」 - 「*SharePointストレージ情報取得*」の出力値に「driveId」を追加。 ■ 「*Office365*」に「*ドライブ一覧の取得*」を追加。 ■ 「*Office365*」に「*指定した形式でダウンロードする*」を追加。 ■ 「*Office365*」に「*リストアイテム列情報の取得*」を追加。 ■ 「*Office365*」に「*リストアイテム列情報の更新*」を追加。
2022-12-01	第21版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*処理フロー*」に「*フロー開始時におけるIM-Repository定義の入力値の検証*」に関する説明を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-Repository*」を追加。 ■ 「*ZIP解凍*」にマルチバイト文字に関する注意を追加 ■ 「*ストレージ操作*」 - 「*Excelプロパティ情報書き込み*」の入力値に「manager」を追加。 ■ 「*ストレージ操作*」 - 「*Excelプロパティ情報読み込み*」の出力値に「manager」を追加。

変更年月日	変更内容
2023-04-01	第22版 下記を追加・変更しました。 ■ 以下のIM-BISタスクの入力値に「asyncProcessingFlag」を追加。 ■ 「*起票案件の申請*」 ■ 「*再申請*」 ■ 「*取止め*」 ■ 「*承認*」 ■ 「*承認終了*」 ■ 「*否認*」 ■ 「*保留*」 ■ 「*保留解除*」 ■ 「*差戻し*」 ■ 「*振替*」 ■ 「*ユーザ定義タスク*」の「*BIS申請/承認*」に「asyncProcessingFlag」の説明を追加。 ■ 「*IM共通マスタ*」に「*ユーザの役職情報の取得*」を追加。 ■ 「*オブジェクト操作*」に関数「*toUpperCamelCase*」、「*toLowerCamelCase*」、「*toUpperSnakeCase*」、「*toLowerSnakeCase*」を追加。 ■ 「*機能仕様*」に「*デバッグログ出力管理*」を追加。 ■ 「*機能仕様*」- 「*利用時の注意点*」の記載内容を修正。

変更年月日	変更内容
2023-10-01	第23版 下記を追加・変更しました。 ■ 以下の汎用タスクの入力値「serverSetting」に「debug」を追加。 ■ 「*IMAPメッセージの取得*」 ■ 「*IMAPメッセージを既読にする*」 ■ 「*IMAPメッセージを未読にする*」 ■ 「*IMAPメッセージの移動*」 ■ 「*IMAPメッセージの削除*」 ■ 「*POP3メッセージの取得*」 ■ 「*POP3メッセージの移動*」 ■ 「*POP3メッセージの削除*」 ■ 以下のIM-Repositoryタスクの入力値の説明を一部変更。 ■ 「*エンティティデータの登録*」 ■ 「*エンティティデータの更新*」 ■ フロー内でのみ利用するユーザ定義に関する説明を追加。 ■ 「*ロジックフロー*」-「*バージョンの持つ情報*」 ■ 「*ユーザ定義タスク*」-「*バージョニング（履歴管理）*」 ■ 「*ロジックフロー*」-「*制御要素*」に空処理・エラー処理開始・エラー処理終了を追加。 ■ 「*処理フロー*」-「*例外処理*」を追加 ■ エラー処理フローの実行に関するevent_typeを追加。 ■ 「*ロギング*」-「*ロギング機能の有効化*」 ■ 「*デバッグログ出力管理*」-「*デバッグログ出力先のテーブル構成*」 ■ 「*タスク一覧*」 -「*IM-BloomMaker*」の各タスクについて以下を変更。 ■ 「*ファイル情報の一括置換*」を追加。 ■ 「*ファイル情報一覧の取得*」を追加。 ■ 「*ファイル情報の取得*」の「出力値」に metadata を追加。 ■ 「*IM-BIS*」の「*処理履歴情報取得*」の出力値に、「権限者コード」、「実行者コード」、「権限者所属組織情報（権限者コード/権限者組織コード/権限者組織セットコード）」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*Accel Studio*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」 -「*IM-BIS*」に「*縦配置・横配置ノード展開*」を追加。
2024-04-01	第24版 下記を追加・変更しました。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*CSV出力*」を追加。 ■ 「*ユーザ定義タスク*」に「*ストアド*」を追加。 ■ 「*テキストメール送信*」タスクの入力値に「fromAddress」、「toAddresses」、「ccAddresses」、「bccAddresses」を追加。 ■ 「*HTMLメール送信*」タスクの入力値に「fromAddress」、「toAddresses」、「ccAddresses」、「bccAddresses」を追加。 ■ 「*セーフURL判定*」タスクの説明を追加。 ■ 「*Excel入力*」タスクの入力値に「password」を追加。 ■ 「*Excel出力*」タスクの入力値に「password」を追加。 ■ 「*データ*」に「*共通定数値*」を追加。 ■ 「*タスク一覧*」に「*IM-Copilot*」を追加。 ■ 「*付録*」 -「*IM-BIS*」 -「*処理履歴情報取得*」 の出力値「 postNames 」の説明を変更。

変更年月日	変更内容
2024-10-01	第25版 下記を変更しました。 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*マッピング*」の「データ型の変換」のダウンロードURLを修正。 ■ 「*マッピング関数一覧*」 - 「*日付操作*」に以下の関数を追加。 　■ 「*convertInSystemTimeZone*」 　■ 「*convertInAccountTimeZone*」 　■ 「*parseWithAccountTimeZone*」 　■ 「*formatWithAccountTimeZone*」 ■ 「*マッピング関数一覧*」 - 「*配列操作*」に以下の関数を追加。 　■ 「*first*」 　■ 「*last*」 ■ 「*タスク一覧*」 のタスクの入力の表現を一部修正。 ■ カテゴリ「*IM-Copilot*」のタスクについて下記を変更。 　■ 「*チャット*」の入力値、出力値の説明を一部追加。 　■ 「*チャット*」の入力値、出力値に「contents」、「image」、「text」を追加。 　■ 「*文字起こし*」のコラムにファイル制限に関する説明を追加。 　■ 「*画像生成*」の入力値の説明を一部変更。 　■ 「*埋め込み*」の入力値の説明を一部変更。

変更年月日	変更内容
2025-04-01	第26版 下記を変更しました。 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*マッピング*」の「マッピングの流れ」を変更。 ■ 以下のIM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係に関する注意を追加。 　■ 「*起票案件作成*」 　■ 「*申請*」 　■ 「*起票案件の申請*」 　■ 「*再申請*」 　■ 「*取止め*」 　■ 「*承認*」 　■ 「*承認終了*」 　■ 「*否認*」 　■ 「*保留*」 　■ 「*保留解除*」 　■ 「*引戻し*」 　■ 「*差戻し*」 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*制御要素*」に「繰り返し対象との複合条件」のコラムを追加。 ■ 「*ロジックフロー*」 - 「*データ型*」に「Binary型」に関する注意を追加。 ■ 「*IM-Repository*」に以下のタスクを追加。 　■ 「*エンティティデータの更新[ロックあり]*」 　■ 「*エンティティデータの削除[ロックあり]*」 ■ 「*ユーザ定義タスク*」 - 「*Excel入力*」タスクの入力共通定義に「*異なるデータ型の許容*」を追加。 ■ 「*チャット*」の入力値に「streaming」を追加。 ■ 「*IM-Copilot*」に以下のタスクを追加。 　■ 「*メッセージ履歴の取得*」 　■ 「*クライアントへデータを送信*」 　■ 「*ベクトルデータベースコンテンツ登録*」 　■ 「*ベクトルデータベースコンテンツ削除*」 　■ 「*ベクトルデータベース類似度検索*」 　■ 「*ベクトルデータベースキーワード検索*」 　■ 「*テキスト抽出*」 　■ 「*テキスト分割*」 　■ 「*ランク融合*」

変更年月日	変更内容
2025-10-01	第27版 下記を変更しました。 ■ 「*画像生成*」で指定できるweight、heightに関するコラムを追加 ■ カテゴリ「*IM-Copilot*」のタスクについて下記を変更。 　■ 「*ベクトルデータベースコンテンツ登録*」の入力値に「originSourceId」を追加。 　■ 「*ベクトルデータベースコンテンツ削除*」の入力値に「originSourceId」、「prefixMatch」を追加。 　■ 「*ベクトルデータベースコンテンツ削除*」のコラムの説明を一部変更。 　■ 「*ベクトルデータベース類似度検索*」の出力値に「originSourceId」を追加。 　■ 「*ベクトルデータベースキーワード検索*」の出力値に「originSourceId」を追加。 　■ 「*ランク融合*」の入力値、出力値に「originSourceId」を追加。
2025-11-28	第28版 下記を変更しました。 ■ 「*SSH*」の「*SFTP ls*」の出力値に「lastModified」を追加し、「mtime」を非推奨化。
2026-04-01	第29版 下記を変更しました。 ■ カテゴリ「*IM-Copilot*」の「*チャット*」タスクについて下記を変更。 　■ プロパティに「出力違反ハンドリング」を追加。 　■ 入力値に「maxTokens」、「stops」、「topP」、「temperature」の説明と注意を追加。 　■ 出力値に「contentFilter」を追加。 ■ 「*システム設計文書*」のER図を更新しました。 ■ 「*IM-BloomMaker*」の「*ファイル情報のアップロード*」のファイルサイズ制限に関する記載を変更。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの参加者の削除*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*プロセスインスタンスの参加グループの削除*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの処理対象ユーザの削除*」を追加。 ■ 「*IM-BPM*」に「*タスクの処理対象グループの削除*」を追加。

はじめに

項目

- 本書の目的
- 対象読者
- 本書の構成

本書の目的

本書ではIM-LogicDesignerの機能概要と仕組みの詳細について説明します。
説明範囲は以下の通りです。

- IM-LogicDesignerの概要と用語
- IM-LogicDesignerの機能仕様および機能詳細

対象読者

本書では次の開発者を対象としています。

- IM-LogicDesignerの仕組みを理解したい
- IM-LogicDesignerを利用して処理を実装したい
- IM-LogicDesignerと連携した機能を実装したい

なお、本書では次の内容を理解していることが必須です。

- intra-mart Accel Platformを理解している

本書の構成

本書は次の構成で説明しています。

- *概要*

  IM-LogicDesignerの全体像、および、本書で利用する用語について説明します。

- *機能仕様*

  IM-LogicDesignerの提供する各機能の詳細な仕組みについて説明します。

- *付録*

  IM-LogicDesignerについての補足事項です。

概要

項目
- IM-LogicDesigner とは
- IM-LogicDesigner の全体像
- 用語

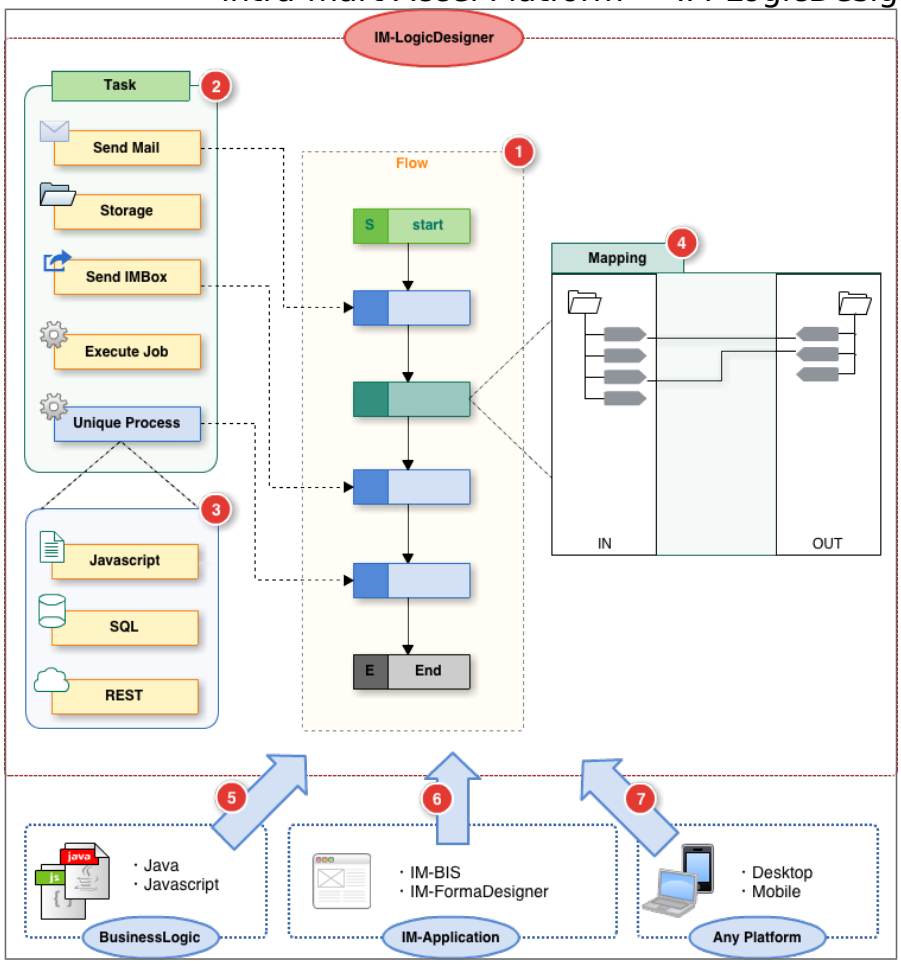
IM-LogicDesigner とは

IM-LogicDesignerとは、intra-mart Accel Platform上でビジネスロジックを簡単に作成できるアプリケーションです。
IM-LogicDesignerの特徴は以下の通りです。

- プログラミングの知識がない方でも、GUI上で処理を簡単に作成できます。
- 面倒なデータの変換や受け渡しは、IM-LogicDesignerが全て自動で行います。
- Web画面上のみで、SQLや独自処理をサーバサイドJavaScriptで作成、定義でき、ビジネスロジックで利用することが可能です。
- IM-LogicDesignerで作成したビジネスロジックは、以下に挙げるアプリケーションなどから呼び出すことできます。
  - IM-BIS for Accel Platform
  - IM-FormaDesigner for Accel Platform
  - ジョブスケジューラ
- IM-LogicDesignerから、TERASOLUNA Global Framework、スクリプト開発モデルなどで作成した独自のビジネスロジックを直接呼び出すことができます。
- ビジネスロジックはREST APIとして利用できるため、外部から呼び出すことも可能です。
  また、ビジネスロジック内で、外部のREST APIを呼び出すことも可能です。
  さらに、REST APIに対しての認可、セキュリティ設定も行うことができるため、API GATEWAY機能として利用することが可能です。

IM-LogicDesigner の全体像

IM-LogicDesignerの全体像は以下の通りです。



1. 「*ロジックフロー*」に該当します。
2. 「*タスク*」に該当します。
3. 「*ユーザ定義タスク*」に該当します。
4. 「*マッピング*」に該当します。
5. 作成したロジックフローは、独自のビジネスロジックから呼び出すことができます。
6. 作成したロジックフローは、他のiAPのアプリケーションの前処理/後処理などから呼び出すことができます。
7. 「*フロールーティング*」を利用し、REST APIの呼び出し口を定義することで、様々なプラットフォームから呼び出すことができます。

用語

ロジックフロー

ビジネスロジックをフロー図形式によって記述した一連の設定を指します。

フローカテゴリ

ロジックフローに設定する分類情報を指します。
開発者は作成したロジックフローに対して、その用途や適用範囲を示す情報としてフローカテゴリを設定します。

エレメント

ロジックフローを構成する各処理の総称を指します。
エレメントはその用途によって、「*制御要素*」と「*タスク*」に分かれます。

制御要素

ロジックフローを構成する各処理のうち、ロジックフロー自体の制御を担うものの総称を指します。
制御要素に該当する処理の一例は以下の通りです。

- 開始
- 正常終了
- 異常終了
- ループ
- 条件分岐
- フロー呼び出し
- 変数操作

タスク

ロジックフローを構成する各処理のうち、実処理を担うものの総称を指します。
タスクに該当する処理の一例は以下の通りです。

- IMBoxへの投稿
- ストレージ操作
- メール送信
- ジョブの実行

利用可能なタスクについての一覧は「*付録*」 - 「*タスク一覧*」を参照してください。

シーケンス

ロジックフローを構成するエレメント同士の繋がり（流れ）を表す線を指します。
ロジックフローはシーケンスを用いて、フローの開始から終了までの一連の処理の流れを設定します。

シーケンスには、エレメント同士の繋がり以外にも、条件分岐する際の分岐条件や、有効/無効といった情報を持ちます。

マッピング

ロジックフローを流れるデータのインプット・アウトプットの定義を指します。
ロジックフローは呼び出し時に渡されるデータおよび結果として返却するデータ、およびその間のエレメント間でのデータのやり取りにマッピングの定義情報を利用します。

IM-LogicDesignerでは、マッピングで利用可能な関数群を提供します。
開発者はこの関数を利用することで、ロジックフロー上でやり取りするデータをマッピングの中で加工・編集することが可能です。

> **コラム**
>
> マッピングの仕様について
>
> <object>型のマッピングとプリミティブ型のマッピングが混在した場合、マッピングを行った（線を引いた）順に処理が行われるため、一見、同一のマッピングに見えても動作が違うパターンが存在します。
>
> <object>型の配下にプリミティブ型を配置するなど、階層化された値の定義をする際には、<object>型、プリミティブ型の順にマッピングを行う必要があります。

ユーザ定義タスク

ユーザ自身で処理の内容を定義した「*タスク*」を指します。

IM-LogicDesignerではユーザが簡易にタスクを実装するために、ユーザ定義編集画面を提供しています。
「ユーザ定義編集」画面を利用して実装する方法の詳細は「*ユーザ定義タスク*」の「*処理種別（タイプ）*」を参照してください。

ユーザ定義カテゴリ

「*ユーザ定義タスク*」に設定する「*フローカテゴリ*」を指します。
ユーザ定義カテゴリはそれ以外に、フローエディタ上での「*ユーザ定義タスク*」のカテゴライズにも利用されます。

フロールーティング

ロジックフローをREST APIとして利用するために定義する一連の設定情報を指します。

フロールーティングには、呼び出しを行うルート情報や呼び出し時に利用するメソッドといったREST APIに関する設定情報と、iAPの認可や認証方法といったiAPに関する設定情報が含まれます。

フロートリガ

特定の操作が行われた際にロジックフローを実行するための一連の設定情報を指します。
フロートリガにはロジックフローを実行する契機となる発生条件、および、ロジックフローの入力値として受け渡されるデータのマッピング定義情報が含まれます。

フロートリガは IM-Propagation を利用して、発生条件に指定された特定の操作が行われた際にデータを受信し、ロジックフローを実行します。

機能仕様

ロジックフロー

ロジックフローの構成要素と、動作仕様について説明します。

項目

- バージョニング（履歴管理）
- 国際化
- フローカテゴリ
- 制御要素
- タスク
- 処理フロー
- データ
- マッピング
- ジョブ

バージョニング（履歴管理）

IM-LogicDesignerでは、ロジックフローのバージョニング（履歴管理）を行います。

バージョン番号

バージョンにはバージョン番号が定義されます。
バージョン番号は、整数値の1から順に1つずつインクリメントして割り振られます。

> **コラム**
>
> バージョン番号の追加先
>
> 新しいバージョン番号は、常に最も新しいバージョンの番号を基準に割り振られます。
> バージョンの削除処理によって途中の番号が抜けた状態であっても、抜けた部分を埋めるようなバージョン番号の割り振りは行われません。

バージョン番号はロジックフローの履歴管理の他に、「*フロールーティング*」において対象フローのバージョンを明示的に指定するために利用されます。

> **注意**
>
> 制御要素「フロー呼び出し」について
>
> フロー呼び出しで指定したロジックフローは、対象フローが持つバージョンに関わらず最新のバージョンが利用されます。
> そのため、バージョン間でロジックフローの入力値/出力値の情報が変わった場合、「フロー呼び出し」を利用しているフローにも影響が出ることに注意してください。

バージョンの持つ情報

各バージョンは、ロジックフローの持つ全ての情報を保持します。
バージョンが扱う情報の具体例は以下の通りです。

- ロジックフロー図
- ロジックフロー名/カテゴリ
- プロパティ
- マッピング
- フローの入出力値
- 定数値
- フロー内でのみ利用するユーザ定義

> **注意**
>
> 期間化情報について
>
> ロジックフローのバージョンでは、期間化の情報は持ちません。

バージョン削除

バージョンの削除には、論理削除が利用されます。
ただし、ロジックフローの持つ全てのバージョンが論理削除された場合に限り、論理削除されていたバージョン全てが物理削除されます。

国際化

IM-LogicDesignerでは、ロジックフローの名称の国際化に対応しています。

標準表示名

ロジックフローの名称は、各ロケール用（日本語、英語、中国語）の表示名と標準表示名を持ちます。

原則としてIM-LogicDesignerでは、ユーザのロケールに合わせた表示名を利用します。
対象のユーザのロケールに合致する表示名が定義されていない場合、IM-LogicDesignerはその代替として標準表示名を利用します。

> **コラム**
>
> ロケールの決定
>
> 表示名に利用されるロケールの決定の詳細は、「アクセスコンテキスト仕様書」 - 「アカウントコンテキスト」- 「プロパティの解決順序」のロケールの項を参照してください。

フローカテゴリ

フローカテゴリは、ロジックフローの利用用途や適用範囲を分類するための情報です。
IM-LogicDesignerはロジックフローの管理・分類するための情報としてフローカテゴリを利用します。

フローカテゴリは自身を一意に表すIDと、国際化に対応したカテゴリ名で構成されます。

バージョンとカテゴリ

フローカテゴリはロジックフローと1:1で紐付きます。
ロジックフローが複数のバージョンを持っている場合でも、フローカテゴリは全てのバージョンで同じカテゴリが定義されます。

例えば、これまでのバージョンで”カテゴリA”を指定しており、最新のバージョンで”カテゴリA”の代わりに”カテゴリB”を指定した場合、過去のバージョンのカテゴリも全て”カテゴリB”に更新されます。

カテゴリの削除

フローカテゴリの削除には、物理削除が利用されます。
またフローカテゴリは、そのカテゴリに属するロジックフローが無い場合のみ削除可能です。

制御要素

- 開始

  フローの開始地点を表す制御要素です。
  フローは必ずこの要素で開始する必要があります。
  また、１つのフローに配置できる開始要素は１つのみです。

- 終了

フローの終了地点を表す制御要素です。
フローはこの要素かエラー終了で終了する必要があります。

- エラー終了

  フローが異常終了したことを表す要素です。
  処理がこの要素に到達した場合、ErrorEndEventException がスローされます。

- 分岐

  任意の条件で処理を分岐させる制御要素です。
  指定された条件が満たされた場合は then のルートの処理が実行されます。満たされていない場合は else のルートの処理が実行されます。
  分岐条件は EL式で記述します。 EL式の記述方法は「*EL式*」を参照してください。

- 繰り返し

  処理の繰り返しを行う制御要素です。
  指定された繰り返し回数または繰り返し対象の配列数分、処理を繰り返します。
  ただし、繰り返し条件が指定されている場合は条件を満たしている間のみ繰り返しを行います。
  繰り返し条件はEL式で記述します。EL式の記述方法は「*EL式*」を参照してください。

  > **コラム**
  >
  > 繰り返し対象の取得
  >
  > 繰り返し処理中の該当要素および該当要素番号はセッション内で保持されます。
  > EL式で該当要素を指定する場合は「 ${繰り返し開始要素のエイリアス.item} 」を指定してください。
  > また、 該当要素番号を指定する場合は「 ${繰り返し開始要素のエイリアス.index} 」を指定してください。

  > **コラム**
  >
  > 繰り返し対象との複合条件
  >
  > 繰り返し対象の設定は、繰り返し条件との複合条件の設定が可能です。
  > 複数の条件を設定した場合、それらの内一番最初に条件から外れたタイミングで繰り返し処理は終了します。
  > また、繰り返し対象の設定と、繰り返し回数の両方を指定することはできません。
  > それぞれ指定した場合、繰り返し対象の設定は無視され、繰り返し回数に設定した回数分繰り返し処理が実行されます。
  >
  > 例：繰り返し回数に3を指定し、繰り返し対象が5つあった場合、繰り返し回数が3回の段階で処理は終了します。

- フロー呼び出し

  任意のフローを呼び出す制御要素です。
  フロー内から別のフローを呼び出します。呼び出されたフローにはフロー呼び出し制御要素の入力パラメータが受け渡されます。
  呼び出されたフロー内で、呼び出し元フローのパラメータ（定数や各タスクの実行結果）を直接参照することはできません。

- 変数操作

  フローに定義した変数に対して、値の代入操作を行う制御要素です。
  変数の初期化や、他のタスクから取得した値を変数に格納する際にこの制御要素を利用します。

- 空処理

  何も行わない制御要素です。
  フロー上に要素を配置しておくためだけの要素です。
  空処理は処理は何も行わず、入出力もありません。

- エラー処理開始

  エラー処理フローの開始地点を表す制御要素です。
  エラー処理フローは必ずこの要素で開始する必要があります。
  また、１つのフローに配置できるエラー処理開始要素は１つのみです。

- エラー処理終了

  エラー処理フローの終了地点を表す制御要素です。
  エラー処理フローはこの要素か終了、またはエラー終了で終了する必要があります。

  > **コラム**
  >
  > エラー処理フローの終了後の動作仕様
  >
  > エラー処理フローの最後に配置した要素によって、エラー処理フロー終了後の動作が決定します。
  >
  > - 終了
  >   ここでフローは終了します。
  > - エラー終了
  >   ここでフローはエラー終了します。
  > - エラー処理終了
  >   エラー発生タスクの後続タスクから処理を継続できる場合は継続します。
  >   処理を継続出来ない場合は、ここでフローはエラー終了します。

タスク

- 汎用タスク

  メールの送信、ログ出力といった汎用的な処理を行うタスクです。
  各タスクの詳しい説明は「*汎用タスク*」を参照してください。

- ストレージ操作

  intra-mart Accel Platform のStorage サービスAPIを利用してファイルの操作を行うタスクです。
  各タスクの詳しい説明は「*ストレージ操作*」を参照してください。

- 基盤機能

  intra-mart Accel Platform の基盤機能を利用した処理を行うタスクです。
  各タスクの詳しい説明は「*基盤機能*」を参照してください。

- IMBox

  IMBox の各ボックスへメッセージを投稿するタスクです。
  各タスクの詳しい説明は「*IMBox*」を参照してください。

  > **注意**
  >
  > このタスクを利用する場合は「IMBox」モジュールを含む環境を構築する必要があります。

- Office365

  Office 365のSharePointのファイルサービスを扱うタスクです。
  各タスクの詳しい説明は「*Office365*」を参照してください。

  > **注意**
  >
  > このタスクを利用する場合は「Office 365 連携」モジュールを含む環境を構築する必要があります。

入出力値

各タスクでは入力値として必要となる値と実行結果として返却される値のデータ型が決まっています。
各タスクの入出力値のデータ型については「*タスク一覧*」を参照してください。

エイリアス

各エレメントにはエイリアス（別名）を付けることができます。また、複数のエレメントに対して同じエイリアスを付けることができます。

複数のエレメントに同じエイリアスを付けておくことで、実行されたタスクの処理結果を後続のタスクにマッピングできます。
例えば、分岐処理を含むフローで分岐内で実行されたタスクの実行結果を分岐結合後のタスクにマッピングしたい場合に使用します。

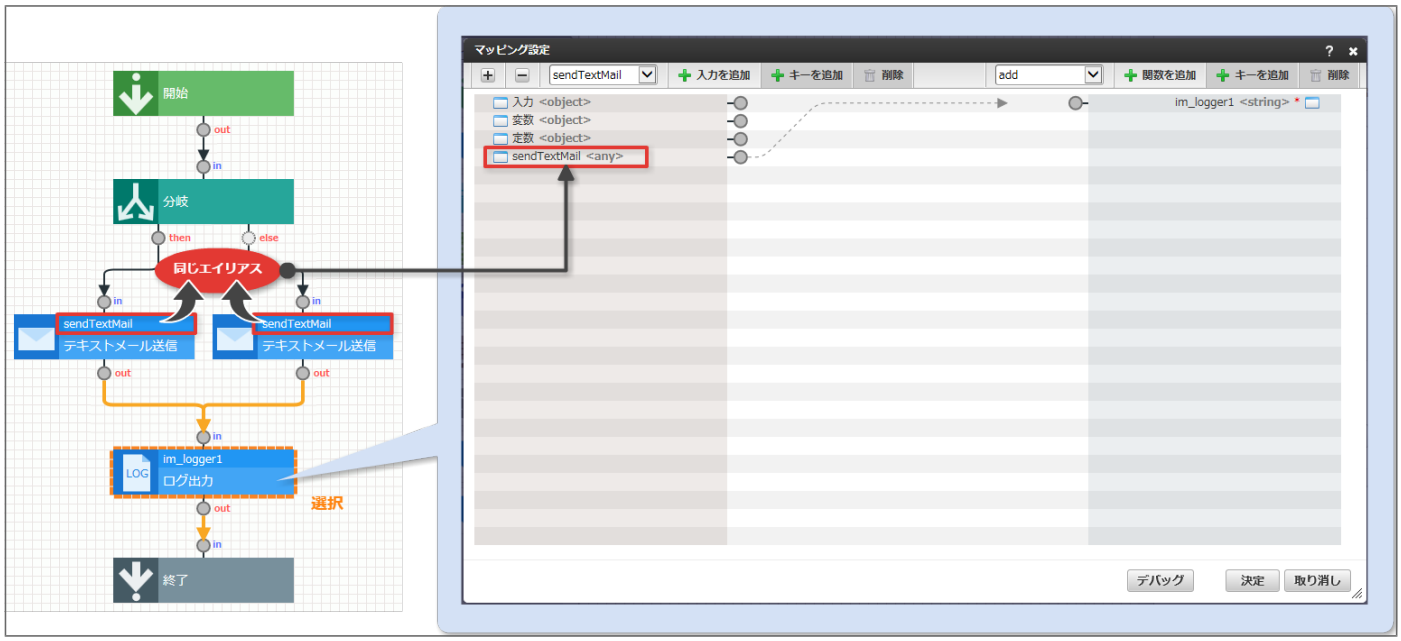


図: エイリアス設定例

> **注意**
>
> 同じエイリアスを指定するエレメントの戻り値の型が異なる場合、正しくマッピングが行われずエラーが発生する可能性があります。
> そのため、タスクの戻り値の型が同じエレメントのみ同じエイリアスを指定するようにしてください。

タスクの利用制限設定

一部のタスクを利用させたくない場合は、`WEB-INF/classes/META-INF/logic/element/blacklist`ファイルに対象となるタスクのIDを列挙してください。

- blacklist に設定されたタスクはロジックフロー定義編集画面のパレットに表示されなくなります。
- blacklist に設定されたタスクを含むロジックフローを実行した場合は該当のタスクの実行時にエラーが発生します。
- blacklist に設定されたタスクを含むフロー定義をインポートできなくなります。

タスクのIDについては「*付録*」 - 「*タスク一覧*」を参照してください。
各タスクの入出力値の説明欄にあるルートになっている項目の項目名がそのタスクのID です。

処理フロー

ロジックフローの実行はロジックセッションを生成して行われます。
ロジックセッションはフローの制御やタスクの処理といった一連の処理を行う処理単位です。実行するフロー単位で生成されます。
フロー呼び出しタスクで呼び出されたフローは呼び出し元とは別のセッションで実行されます。

フロー実行時には以下の流れで処理が実行されます。

1. セッションの生成を行います。

   セッションの生成時にユーザ定義定数やシステム定数といった定数値が設定されます。
   それぞれの値が設定される変数名については「*利用可能な暗黙的な変数*」を参照してください。

2. 実行時に引数に渡された入力値をセッションに設定します。

   入力値をセッション内に保持します。
   入力値が設定される変数名については「*利用可能な暗黙的な変数*」を参照してください。

3. IM-Repository定義の入力値の検証

入力設定にIM-Repositoryのエンティティが含まれている、かつ「*フロー開始時におけるIM-Repository定義の入力値の検証*」 が有効の場合は、入力値が制約を満たすかどうかを検証します。
上記に該当しない場合は処理をスキップします。

4. トランザクションの制御

   トランザクションの使用が有効かつ呼び出し元でトランザクションが開始されていない場合、トランザクションを開始します。
   トランザクションの使用が無効になっているか、呼び出し元でトランザクションが開始されている場合は処理をスキップします。

5. 開始要素の取得

   フロー定義情報から開始要素を取得します。

6. 次の要素の取得

   開始要素の次に実行される要素を取得します。

   - 次の要素が分岐要素の場合

     分岐条件の評価を行い、次に実行される要素の取得を行います。

   - 次の要素が繰り返し開始要素の場合

     繰り返し対象を取得し、繰り返しを行う場合は次に実行される要素の取得を行います。
     繰り返しを終了する場合はペアになっている繰り返し終了要素の次に実行される要素の取得を行います。

   - 次の要素が繰り返し終了要素の場合

     ペアになっている繰り返し開始要素へ戻ります。

7. タスクの実行を行います。

   1. タスクのインスタンスを取得します。
      - セッション内にタスクのインスタンスが存在する場合は、そのインスタンスを取得します。
      - セッション内にインスタンスが存在しない場合は、新しいインスタンスを生成しプロパティの値を設定します。
   2. タスクのマッピング定義情報、セッション情報を元にマッピングを実行し入力データを生成します。
   3. 生成した入力データを引数に受け渡し、タスクを実行します。
   4. タスクの処理が終了後、エイリアスをキーにして戻り値をセッションに設定します。

      処理が終了したタスクのインスタンスはセッション内で保持され、繰り返しや分岐で再度同じタスクが呼び出された際に再利用されます。

8. 終了要素またはエラー終了要素に到達するまで、次の要素の取得とタスクの実行が繰り返されます。

9. 終了処理を実行します。
   - 終了要素に到達した場合
     1. 終了要素のマッピング定義情報、セッション情報を元にマッピングを実行し出力データを生成します。
     2. フロー内でトランザクションを開始していた場合はトランザクションをコミットします。
     3. 各要素の終了処理を呼び出します。
     4. 生成した出力データを返却します。
   - エラー要素に到達した場合
     1. フロー内でトランザクションを開始していた場合はトランザクションをロールバックします。
     2. 各要素の終了処理を呼び出します。
     3. ErrorEndEventException をスローします。

コラム

永久ループの検出

セッション内で各要素が実行される際に実行回数のカウントを行っています。
標準では、同じ要素が100回以上呼び出される場合、永久ループが発生している可能性があると判断して例外をスローします。

繰り返し処理内の要素については繰り返し終了要素に到達した時点でカウンタを初期化するため、100回を超える繰り返し処理を行ってもエラーになることはありません。

入出力設定

フロー定義では、フロー実行時に受け渡される値（入力値）とフローの実行結果として返却される値（出力値）のデータ型を定義する必要があります。
この定義情報はデータマッピングを行う際に利用されます。
実際の入力データと設定されたデータ型が異なる場合、マッピング時にエラーが発生する可能性があるので注意してください。

フロー開始時におけるIM-Repository定義の入力値の検証

フロー開始時にIM-Repository定義の入力値を検証するかどうかをフロー設定で指定できます。
入力設定にIM-Repository定義のエンティティが含まれない場合、この設定は意味を持ちません。

フロー設定「フロー開始時に IM-Repository定義の入力値を検証する」にチェックを入れた場合、 フロー開始時に入力値が制約を満たすかどうかを検証し、制約を満たさなければエラーが発生します。
チェックを入れない場合は、検証が行われずに入力値が制約を満たしていなくてもフローの実行を開始します。

フローをREST APIとして呼び出して検証エラーになった場合のレスポンスについては、「*エンティティデータの検証*」タスクの出力値を参照してください。

コラム

- 入力設定にIM-Repository定義のエンティティが含まれるフローをREST APIとして呼び出す場合、各エンティティ項目（辞書項目/ エイリアス）のリクエストパラメータ名、データ型は 「用途」-「データ」で設定した **JavaScript** の変数名、データ型です。
- IM-Repository定義の入力値の検証は、「*エンティティデータの検証*」タスクで行うことも可能です。

トランザクション制御

セッション内でトランザクションを使用するかどうかはフロー設定で指定できます。
フロー設定「トランザクションを使用する」にチェックを入れた場合、フローの実行直後にトランザクションが開始され、すべてのタスクの処理が終わった際にトランザションがコミットされます。

フローの呼び出し元でトランザクションが既に有効になっている場合はフロー内でトランザクション制御を行わず、呼び出し元のトランザクション制御に依存します。

注意

デバッグ機能でのトランザクション制御

ロジックフローのデバッグ機能において、ステップ実行やブレイクポイントを使用して、途中のエレメントで処理を一時停止できます。
処理を一時停止した場合、トランザクションが使用されている場合でも、それまでのトランザクションはコミットされます。
従って、途中まで実行されたエレメントが行った変更は、元に戻りませんので注意してください。

例外処理

フロー実行中にエラーが発生した場合の動作仕様は以下の通りです。

1. エラーが発生したタスクのプロパティ「エラーハンドリング」-「エラーでも処理を継続する」設定がONの場合

   エラー処理フローの有無に関わらず、処理を継続します。

2. エラーが発生したタスクのプロパティ「エラーハンドリング」-「エラーでも処理を継続する」設定がOFF、またはエラー発生箇所が「エラーハンドリング」設定を持たない場合
   - エラー処理フローが設定されている場合

     エラー処理フローを実行します。実行後の動作はエラー処理フローの最後に配置した要素により決定します。
     詳細は「*制御要素*」 - 「エラー処理終了」のコラムを参照してください。

     ※エラー処理フロー実行中にエラーが発生した場合は、例外処理は行わずにエラーで終了します。

   - エラー処理フローが設定されていない場合

     例外処理は行わずにエラーで終了します。

> **コラム**
>
> フロー呼び出し先のフローでエラーが発生した場合の例外処理について
>
> 「フロー呼び出し」 で指定したフローの実行中にエラーが発生した場合の動作仕様は以下の通りです。
>
> - 呼び出し先フローで例外処理が行われて、呼び出し先フローが正常に終了した場合
>   呼び出し元フローの処理を継続します。
> - 呼び出し先フローがエラーで終了した場合（エラー処理フローを実行した結果、エラー終了した場合も含む）
>   上記の仕様通りに例外処理が行われます。 「エラーが発生したタスク」が 「フロー呼び出し」 です。
>
> ※エラー処理フロー実行中に 「フロー呼び出し」 が行われて、呼び出し先フローでエラーが発生した場合は、呼び出し元・先で例外処理は行わずにエラーで終了します。

データ

データ型

IM-LogicDesigner では以下のデータ型が利用可能です。

型名	タイプID	説明
String	string	文字列
Boolean	boolean	真偽値
Byte	byte	1バイト整数(-128～127)
Character	character	2バイト文字データ(u0000～uffff)
Short	short	2バイト整数(-32768～32767)
Integer	integer	4バイト整数(-2147483648～2147483647)
Long	long	8バイト整数(-9223372036854775808～9223372036854775807)
Float	float	4バイト単精度浮動小数点数
Double	double	8バイト倍精度浮動小数点数
BigDecimal	bigdecimal	任意精度の符号付き小数
BigInteger	biginteger	任意精度の符号付き整数
Calendar	calendar	日付操作用カレンダ
Date	date	日付
Locale	locale	ロケール
TimeZone	timezone	タイムゾーン

型名	タイプID	説明
IM DateTime	imdatetime	日付
IM Duration	imduration	期間
SQL Date	sqldate	java.sql.Dateに該当する日付型
SQL Timestamp	sqltimestamp	java.sql.Timestampに該当する日付型
SQL Clob	sqlclob	java.sql.Clobに該当する型
Binary	binary	バイナリデータ
Storage	storage	intra-mart Accel Platform 上で利用可能なStorageを表現した型
Map	map	java.util.Mapに相当する型
IM-Repository Entity	imr_entity	IM-Repository のエンティティ
Any	any	不明な型

> **注意**
>
> Binary型
>
> Binary型の項目は複数回参照できません。複数回参照するとエラーが発生します。
> エラーが発生するフローの例として、ループ内で同じBinary型の項目を参照するケースが挙げられます。
>
> Binary型の項目を複数回参照する必要がある場合は、一度パブリックストレージ等に出力を行い都度読み込む等の対応を行ってください。

構造体

標準型以外に、構造体として扱われる型があります。
構造体として扱われる型はobject型と表現されます。
また、構造体として扱われる型は配下に任意のプロパティを持つことが可能です。

配列およびリスト

全ての型は、配列/リストとして複数の値を扱うことが可能です。

> **注意**
>
> 配列/リストについて
>
> IM-LogicDesigner では多次元配列は利用できません。

Map型およびそのキー

Map型は、全て文字列をキーとして扱います。
キーに対応したバリューは不明な型（Any）として扱われます。
Map型が更に構造体、またはMapを内包する事はできません。

IM-Repository のエンティティ

入出力設定、変数設定で、IM-Repositoryからエンティティをインポート
または、IM-Repositoryタスクのプロパティでエンティティを指定することで定義されます。

ユーザ定義定数値

ロジックフロー定義内で共通的に利用可能な定数値を定義することが可能です。
ユーザ定義定数値はロジックフロー内のどこからでも参照が可能です。
定数値は全て文字列として扱われます。

システム定数値

システムが提供する定数値です。
システム定数値は、ロジックフロー内のどこからでも参照が可能です。

- アカウントコンテキスト
- ユーザコンテキスト
- セッション情報

共通定数値

Accel Studio の定数管理機能で定義された共通定数の値です。
ロジックフロー定義で参照する共通定数を設定することで、ロジックフロー内のどこからでも参照が可能です。
Accel Studio が入っていない環境では利用できません。

マッピング

マッピングルール

マッピングルールとは、マッピングを行う際に指定するマッピング元とマッピング先を繋ぐ線を指します。
タスクの呼び出しを行う前にマッピングを行いますが、マッピングは複数のマッピングルールを束ねたものとして扱います。
マッピングルールは一つのマッピングルールに対しマッピング元が複数存在する可能性があります。
複数のマッピング元が存在する条件として、マッピング関数が利用された場合が挙げられます。
また、マッピング関数が引数を受け付けない関数であった場合には、マッピング元は存在しません。
マッピングルールにおけるマッピング先は必ず一つです。

マッピングの流れ

マッピングは、以下の流れで実行されます。

1. マッピングルールを以下の条件でソートします。
   - マッピング順序が「入力階層順」の場合

     マッピング元が複数存在する場合、マッピング元に含まれる配列/リストの要素数が一番多いマッピング元をソート条件に利用します。
     マッピング元が存在しない場合には、含まれる配列/リスト要素数を0として扱います。
     マッピング元に含まれる配列/リスト要素数が多い順にソートを行います。
     配列/リストの要素数が同じ数である場合には、マッピング元の階層が浅い順にソートが行われます。

   - マッピング順序が「出力階層順」の場合

     マッピング先の階層が浅い順にソートを行います。
     マッピング先の階層が同じ場合には、マッピング元に含まれる配列/リスト要素数が多い順にソートが行われます。

2. ソートした順序でマッピングルールを適用します。

   1. マッピング元と、マッピング先に含まれる配列/リスト要素の数を取り出します。

      マッピング元、マッピング先に含まれる配列/リスト要素の数が一致しない場合には要素番号0が利用されます。

   2. マッピング元の値を取り出します。

      マッピング元となる値を取り出します。
      以降、階層中に配列/リストが含まれている場合には要素数分値の取り出し、ルールの適用を行います。
      配列/リスト要素は、階層が深い順に要素番号をインクリメントしながら取り出しが行われます。

   3. マッピング先に配列/リストが含まれている場合、それぞれの要素番号を決定します。

      マッピング元の配列/リスト要素の数が、マッピング先の配列/リスト要素よりも多い場合には、マッピング元の配列/リスト要素の階層が深い順にマッピング先の配列/リスト要素の要素番号として扱われます。
      マッピング元の配列/リスト要素の数より、マッピング先の配列/リスト要素が多い場合には、マッピング元の配列/リスト要素の階層が深い順にマッピング先の配列/リスト要素の要素番号を決定し、不足分となる配列/リスト要素の要素番号は全て0を利用します。

4. マッピング元にマッピング関数が含まれている場合、マッピング関数の実行を行います。

   マッピング関数の引数の確認を行い、マッピング関数の引数が更にマッピング関数の結果であった場合には再帰的にマッピング関数の実行を行います。
   マッピング関数の引数のデータ型と、マッピング関数が受け付けるデータ型を比較し、変換を行います。
   マッピング関数の実行結果を以降のマッピング元の値として利用します。

5. マッピング元のデータ型とマッピング先のデータ型を比較し、変換を行います。

   マッピング元とマッピング先のデータ型が一致した場合には変換は行いません。
   マッピング元とマッピング先のデータ型が一致している場合、マッピングは参照渡しで行われます。
   マッピング元とマッピング先のデータ型が一致していない場合、データ型の変換が行われます。データ型の変換に関しては、後述する「データ型」の変換を参照してください。
   マッピング元、マッピング先どちらかが配列/リスト要素であり、対になるデータが配列/リスト要素ではない場合には、配列の要素番号0が利用され変換が行われます。

6. マッピング元の値をマッピング先の値に反映させます。

   1. マッピング元の階層構造に配列/リスト要素が含まれず、マッピング先に配列要素が含まれている場合、かつ、マッピング先の値が存在する場合

      マッピング先に配列/リストが含まれている場合、かつマッピング元に配列/リストが含まれていない場合には、マッピング元の値をマッピング先の配列/リスト要素全てに適用します。

   2. 上記以外の場合

      マッピング元の値をマッピング先に反映します。
      マッピング先の階層要素の上位オブジェクトの値が存在しない場合には、上位オブジェクトの生成が行われます。
      マッピング先の階層要素に含まれる配列/リスト要素の要素数が不足している場合には、配列/リスト要素の追加が行われます。
      マッピングルールの定義に何らかの不備があり、マッピング先の階層情報の取得が行えなかった場合には、値の反映は行われません。

7. マッピングルールの適用を繰り返します。

   マッピング元の階層に配列/リスト要素が含まれている場合、要素番号をインクリメントしマッピングルールの適用を継続します。
   マッピング元の階層に配列/リスト要素が含まれていない、または配列/リスト要素を全て適用した場合にはマッピングルールの適用を終了します。

> **注意**
>
> Map型同士等、同じデータ型を持つ構造体をマッピングした場合、その値は全て参照渡しで行われます。
> そのため、Map型同士をマッピングした後、Map型のキー値をマッピングした場合にはマッピング元の値に対しても変更が行われます。
> マッピングルールの適用順序として、マッピング元の階層が浅い順にマッピングルールの適用が行われるため、Map型同士を接続、および、Map型のキー同士を接続した場合に発生します。

> **コラム**
>
> ロジックフローにおけるマッピングのデバッグ機能では、使用可能な入出力値を決定するために、ロジックフローと、マッピングを行っているタスクの情報を使用します。

> **コラム**
>
> 「マッピング順序」プロパティは2025 Spring(Kamille)からご利用いただけます。

データ型の変換

マッピングにおいて、異なるデータ型のマッピングはデータ型の変換が行われます。
データ型の変換における対応表は、「IM-LogicDesigner データ型変換 仕様書」を参照してください。

ジョブ

IM-LogicDesignerは、ジョブスケジューラを利用してロジックフローを実行するためのジョブクラスを持ちます。

ジョブクラス

ロジックフローを実行するジョブクラスは以下の通りです。

`jp.co.intra_mart.foundation.logic.job.LogicFlowExecutorJob`

> **コラム**
>
> ジョブスケジューラでの利用
>
> IM-LogicDesignerでは標準で、ジョブクラスを利用してロジックフローを実行する「フロー実行」ジョブを提供しています。

パラメータ

ジョブクラスは以下のパラメータが設定可能です。

パラメータ	キー名	必須/任意	説明
フローID	flow_id	必須	ジョブクラスを利用して実行するロジックフローのフローIDを指定します。
ロジックフローの入力値	（実行するフローにより可変）	任意	実行するロジックフローの入力値を指定します。 キー名は、実行するロジックフローが要求する入力値名を指定してください。

> **注意**
>
> パラメータを利用した入力値指定時の注意点
>
> パラメータにロジックフローの入力値を指定する場合、以下の点に注意してください。
>
> - 入力値は全て文字列（String型）として解釈されます。
>   実行するロジックフローの入力値が文字列以外の場合、動作は保証されません。
> - パラメータは階層化されていない入力値のみ指定可能です。
>   「*構造体*」、および、配下の値はパラメータを利用して入力値として指定することはできません。

ユーザ定義タスク

ユーザ定義タスクの構成要素と、動作仕様について説明します。

項目
- バージョニング（履歴管理）
- 国際化
- ユーザカテゴリ
- ユーザアイコン
- 処理種別（タイプ）

バージョニング（履歴管理）

IM-LogicDesignerでは、ユーザ定義タスクのバージョニング（履歴管理）を行います。

> **注意**
>
> ロジックフローで有効になるバージョンについて
>
> ロジックフローで利用する場合ユーザ定義タスクは常に最新のバージョンが利用されます。
> 最新バージョンが更新されたタイミングで、対象とするユーザ定義タスクを利用している全てのロジックフローの動作は変更されます。

> **コラム**
>
> フロー内でのみ利用するユーザ定義タスクのバージョニングは、ロジックフローのバージョニング（履歴管理）にて行われます。
> 設定についての詳細は、「IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド」 - 「ユーザ定義編集 - 共通設定」の「フロー内でのみ利用する」を参照してください。

バージョン番号

ユーザ定義タスクのバージョン番号は、ロジックフローのバージョンに用いられるバージョン番号の仕様と同じです。
詳細は「*バージョニング（履歴管理）*」-「*バージョン番号*」を参照してください。

バージョンの持つ情報

各バージョンは、ユーザ定義タスクの持つ全ての情報を保持します。
バージョンが扱う情報の具体例は以下の通りです。

- ユーザ定義ID/定義名
- ユーザカテゴリ
- ソート番号
- アイコン
- 入力値/返却値
- 各タスク毎の詳細情報

> **注意**
>
> 期間化情報について
>
> ユーザ定義タスクのバージョンでは、期間化の情報は持ちません。

バージョンの削除

ユーザ定義タスクのバージョンの削除は、ロジックフローのバージョンに用いられる削除の仕様と同じです。
詳細は「*バージョニング（履歴管理）*」-「*バージョン削除*」を参照してください。

国際化

IM-LogicDesignerでは、ユーザ定義タスクの名称の国際化に対応しています。

標準表示名

ユーザ定義タスクの標準表示名は、ロジックフローのバージョンに用いられる標準表示名の仕様と同じです。
詳細は「*国際化*」-「*標準表示名*」を参照してください。

ユーザカテゴリ

ユーザカテゴリは、ユーザ定義タスクの利用用途や適用範囲を分類するための情報です。
IM-LogicDesignerはユーザ定義タスクの管理・分類するための情報としてユーザカテゴリを利用します。

ユーザカテゴリの詳細な仕様は、「*ユーザアイコン*」の指定を除き、ロジックフローのフローカテゴリに用いられる仕様と同じです。
詳細は「*フローカテゴリ*」を参照してください。

ユーザアイコン

ユーザアイコンは、ロジックフローの編集時において、ユーザ定義タスクを視覚的にわかりやすく表現するための画像です。
ユーザ定義タスクに紐付けたユーザアイコンは、ロジックフロー定義編集画面のパレットとデザイナで使用されます。

ユーザアイコンは、IM-LogicDesignerに登録されているアイコンデータベースから選択します。
アイコンデータベースには、次項の仕様に従ったアイコンを登録することが可能です。

アイコンの種別として「パレット用」と「デザイナ用」があり、アイコンIDを同一として、必ずペアで登録する必要があります。

共通仕様

ユーザアイコンの共通仕様は、以下の通りです。
ユーザアイコンをアイコンデータベースに登録する際は、以下の仕様に準拠する必要があります。

項目	説明
画像の種類	SVG, PNG, JPEG, GIF, BitMap（BMP）

注意

SVGの使用について

SVGを登録した場合、CSS等の影響により、線の色や太さなどの表現が変更されて表示されることがあります。
必ずロジックフロー定義編集画面で、画面上での表示を確認してください。

また、以下のルールに従ったファイルを用意する必要があります。

1. 1行目に以下のxml宣言を記述してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

2. 画像データ (data stream) は使用しないでください。

パレット用アイコン仕様

項目	説明
アイコン種別	`palette`
解像度	40x40

コラム

画像サイズについて

SVGの場合、画像の縮尺は変更されません。 必ず 40x40 に収まるサイズにしてください。
SVG以外の場合、画像サイズが 40x40 になるように、自動的に縮尺が変更されます。

デザイナ用アイコン仕様

項目	説明
アイコン種別	`designer`
解像度	50x50

コラム

画像サイズについて

SVGの場合、画像の縮尺は変更されません。 必ず 50x50 に収まるサイズにしてください。
SVG以外の場合、画像サイズが 50x50 になるように、自動的に縮尺が変更されます。

処理種別（タイプ）

ユーザ定義タスクでは、その処理内容に応じた処理種別（タイプ）が定義されます。
IM-LogicDesignerはユーザ定義タスクを、定義された処理種別（タイプ）と対応する詳細な処理内容を元に実行します。

タイプ別詳細仕様

ユーザ定義タスクは処理種別（タイプ）に応じて、入力値/返却値、および、詳細な設定項目が異なります。
処理種別に応じた詳細は以下の通りです。

JavaScript

処理種別（タイプ）JavaScriptは、ユーザ定義タスクとしてJavaScriptを利用したタスクを定義します。
本章では処理種別（タイプ）JavaScriptに関する詳細仕様を説明します。

- 入力値/返却値
- スクリプト

入力値/返却値

処理種別（タイプ）JavaScriptでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

スクリプトに定義したエントリーポイント（実行関数）の引数を定義します。
入力値に定義した値は、エントリーポイントの引数の値として、スクリプト内で利用可能です。

返却値

スクリプトに定義したエントリーポイント（実行関数）の戻り値を定義します。
スクリプト内で戻り値を記述する際には、返却値と紐付ける必要があります。

スクリプト

処理種別（タイプ）JavaScriptにおいて、ユーザ定義タスクの実行処理部分のJavaScriptを定義します。
定義可能なJavaScriptは以下の通りです。

- JavaScript1.7 のすべての機能
- iAPのスクリプト開発向けim-BizAPI

エントリーポイント（実行関数）

処理種別（タイプ）JavaScriptがタスクとして実行される際、スクリプトに定義されたコードから、関数名が`run`のものが実行されます。

一部APIの利用制限設定

処理種別（タイプ）JavaScriptでは、以下の観点に基づきiAPの一部APIの利用を制限しています。

- テナント内のデータアクセスのみを許可する。
  - システム管理、テナント管理系の振る舞いを持つAPIの実行は制限。
- システムプロセスの呼び出しを行うことができるAPIは許可しない。
- 外部スクリプトの呼び出しを行うことができるAPIは許可しない。
- 画面遷移を伴うAPIは許可しない。

標準では、`WEB-INF/classes/META-INF/logic/jssp/blacklist`ファイルに制限対象となるAPIを列挙しています。
新たにIM-LogicDesignerで利用するAPIの制限を追加したい場合、クラスパス上の`/META-INF/logic/jssp/blacklist`ファイルに制限を行

うAPI名を列挙してください。
IM-LogicDesignerは前者の設定と後者の設定をマージしたものを最終的な制限対象のAPIとして取り扱います。

WEB-INF/classes/META-INF/logic/jssp/blacklistファイルから削除して、制限されたAPIを利用しないでください。
標準で制限されているAPIの動作は、保証していません。
お客様の特別な理由により制限されたAPIを利用したいという場合は、動作を検証していただいた上で、お客様の責任の下で利用してください。

REST

処理種別（タイプ）RESTは、ユーザ定義タスクとしてRESTを利用したタスクを定義します。

- 入力値/返却値
- リクエスト
- レスポンス

入力値/返却値

処理種別（タイプ）RESTでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

呼び出すREST APIへのリクエストパラメータを定義します。
入力値に定義したパラメータは、リクエスト情報のリクエストパラメータの名称、および、値と紐付きます。

呼び出すリクエスト種別がx-www-formurlencodedの場合には、パラメータにEL式を記述します。
EL式の評価結果が配列/リストの場合には複数のリクエストパラメータとして利用されます。
呼び出すリクエスト種別がjsonの場合には、bodyパラメータをJSON形式に変換しリクエストボディとして送信します。
リクエスト種別がrawの場合には、bodyパラメータに指定したbinary型の内容がリクエストボディとして扱われます。

返却値

呼び出したREST APIの実行結果とHTTPステータスを定義します。
実行結果はHeaderとBodyが返却され、HTTPステータスはステータスコードとレスポンスフレーズが返却されます。
これらの値は指定したREST APIの呼び出し結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。

> **注意**
> 処理種別（タイプ）RESTの返却値の定義はシステムで固定です。

リクエスト

処理種別（タイプ）RESTにおいて、リクエストの定義情報の詳細は以下の通りです。

エンドポイント

呼び出すREST APIのエンドポイントを定義します。
エンドポイントにはEL式を利用することが可能です。

メソッド

指定したエンドポイントを呼び出す際に利用するHTTPメソッドを定義します。
指定可能なHTTPメソッドは以下の通りです。

- GET
- POST
- PUT
- DELETE

リクエスト種別

指定したエンドポイントを呼び出す際に指定するリクエスト種別を定義します。
指定可能なリクエスト種別は以下の通りです。

- x-www-form-urlencoded

- multipart-formdata
- json
- raw

メソッドにGET、および、DELETEを指定した場合、リクエスト種別はx-www-form-urlencodedのみ定義可能です。

リクエストエンコーディング

指定したエンドポイントを呼び出す際に指定するエンコーディングを定義します。

リダイレクトの利用

指定したエンドポイントを呼び出した結果、リダイレクトレスポンスを取得した場合、リダイレクト処理を行うかどうかを定義します。

リクエストタイムアウト

指定したエンドポイントへの呼び出しのタイムアウトのしきい値（秒）を定義します。

リクエストヘッダ

指定したエンドポイントを呼び出す際に指定するリクエストヘッダの名称と値をペアで定義します。
リクエストヘッダの値にはEL式を利用することが可能です。

リクエストパラメータ

指定したエンドポイントを呼び出す際に指定するリクエストパラメータの名称と値をペアで定義します。
リクエストパラメータの名称は、入力値で定義した名称と紐付ける必要があります。
リクエストパラメータの値にはEL式を利用できます。

レスポンス

処理種別（タイプ）RESTにおいて、レスポンスの定義情報の詳細は以下の通りです。

レスポンス種別

指定したエンドポイントが返すレスポンスの形式を定義します。
指定可能なレスポンス種別は以下の通りです。

- json
- text
- raw

レスポンスエンコーディング

指定したエンドポイントが返すレスポンスに対して指定するエンコーディングを定義します。

ステータスコードの確認

リクエスト結果のステータスコードが200番台であるか確認するか否かを定義します。

Cookieの取り扱いについて

同一のロジックフロー内では、複数のRESTユーザタスクを跨って同一のHTTPクライアントとして扱います。
そのため、リクエスト先の応答としてSet-Cookieヘッダ等が含まれていた場合、それ以降のRESTクライアントでは送信先が同一であればCookieの送出も行われます。

SQL(2WaySQL)

処理種別（タイプ）SQLは、ユーザ定義タスクとしてSQL（2WaySQL）を利用したタスクを定義します。

- 入力値/返却値
- データベース種別
- クエリ
- データベースに関して対応しているデータ型

入力値/返却値

処理種別（タイプ）SQLでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

クエリに定義した2WaySQLのパラメータを定義します。
入力値に定義したパラメータは、クエリに定義したパラメータと紐付きます。

クエリ種別でSELECTを選択した場合、「範囲を指定する」チェックボックスが表示されます。
「範囲を指定する」チェックボックスにチェックを入れると、入力値にlimit, offsetというキーが追加されます。
これらのキーに対して取得したい範囲の値を指定することでSELECTの範囲を指定できます。

- **limit**
  - 取得するデータの最大レコード数（0以上、0の場合、offset以降の全件）
- **offset**
  - 取得するデータの開始レコード位置（1以上）

例えば、先頭から5件取得したい場合 limit=5, offset=1を指定します。

返却値

定義したクエリの実行結果を定義します。
実行結果は指定したクエリ種別によって以下のように異なります。

- **SELECT**
  - クエリの実行結果として取得されたレコード一覧
  - 実行結果の件数
  - 実行時のクエリ
- **UPDATE, INSERT, DELETE**
  - 実行結果の件数
  - 実行時のクエリ

これらの値はクエリの呼び出し結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。

注意
処理種別（タイプ）SQLの返却値の定義はクエリ種別を問わずシステムで固定です。

データベース種別

定義したクエリの実行先を定義します。
データベース種別として定義可能な値は以下の通りです。

- TENANT
  - テナントDBへ問い合わせを行います。
- SHARED
  - シェアードDBへ問い合わせを行います。
  - 問い合わせを行うシェアードDBの接続IDを同時に定義します。

クエリ

処理種別（タイプ）SQLにおいて、ユーザ定義タスクの実行処理部分のSQLを定義します。

データベースに関して対応しているデータ型

以下のデータベース型に対応しています。
IM-LogicDesignerのデータ型は、「PostgreSQL」、「Oracle Database」、「SQL Server」のデータベース型とそれぞれ対応しています。

PostgreSQLのデータ型	Oracle Databaseのデータ型	SQL Serverのデータ型	IM-LogicDesignerのデータ型

PostgreSQLのデータ型	Oracle Databaseのデータ型	SQL Serverのデータ型	IM-LogicDesignerのデータ型
VARCHAR CHAR CHARACTER TEXT	VARCHAR CHAR NCHAR LONG NVARCHAR LONG VARCHAR	VARCHAR NVARCHAR CHAR NCHAR TEXT	string
NUMERIC	NUMERIC SMALLINT INTEGER FLOAT DOUBLE PRECISION NUMBER REAL	DECIMAL NUMERIC	bigdecimal
BYTEA	BLOB RAW	BINARY VARBINARY TIMESTAMP	binary
-	CLOB NCLOB	-	sqlclob
-	-	TINYINT	byte
SMALLINT	-	SMALLINT	short
INTEGER	-	INT	integer
BIGINT	-	BIGINT	long
DOUBLE PRECISION	-	FLOAT	double
TIMESTAMP WITH TIME ZONE TIMESTAMP WITHOUT TIME ZONE DATE	TIMESTAMP DATE	DATETIME	sqltimestamp
-	-	DATE	sqldate
BOOLEAN BIT	-	BIT	boolean

ストアド

処理種別（タイプ）ストアドは、ユーザ定義タスクとしてストアドプロシージャ、ストアドファンクションを実行するタスクを定義します。

> **注意**
> SQL Server の仕様によりSQL Server を SelectMethod=cursor で利用時には ストアド定義タスクでユーザ定義関数を実行できません。

- 入力値/返却値
- データベース種別
- SQL
- データベースに関して対応しているデータ型

入力値/返却値

処理種別（タイプ）ストアドでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。
各パラメータのデータ型は、後述の「*データベースに関して対応しているデータ型*」を確認の上、データベースのデータ型に対応してい

る IM-LogicDesignerのデータ型を正しく設定してください。

入力値

SQLに定義した2WaySQLの入力パラメータ、または入出力パラメータを定義します。
入力値に定義したパラメータは、SQLに定義したパラメータとキー名で紐付きます。
出力値に同一キー名のパラメータがある場合、ストアド実行時は入出力パラメータとして扱われます。

返却値

実行するストアドプロシージャ、ストアドファンクションの返却値の形式に合わせて、「outParameters」オブジェクト・「resultSets」オブジェクトの直下に返却値を定義します。

- **outParameters**
  SQLに定義した2WaySQLの出力・入出力パラメータを定義します。
  出力値に定義したパラメータは、SQLに定義したパラメータとキー名で紐付きます。
  入力値に同一キー名のパラメータがある場合、ストアド実行時は入出力パラメータとして扱われます。

  出力パラメータが「**カーソル型**」の場合は、オブジェクトの配列として定義します。
  オブジェクト配下の項目のパラメータ名は、カーソル型レコードが戻す各カラムの名称と同一にします。
- **resultSets**
  ストアドの実行結果がパラメータ以外で戻される結果セットの場合は、「resultSets」オブジェクト直下に返却値を定義します。
  複数の結果セットが返却される場合は、 **返却される結果セット順** に結果セット数分の出力値を定義します。
  結果セットの出力値のキー名には任意の名前を設定します。
  結果セットの出力値がオブジェクトの場合は、オブジェクト配下の項目のキー名は、結果セットレコードが戻す各カラムの名称と同一にします。

データベース種別

定義したSQLの実行先を定義します。
データベース種別として定義可能な値は以下の通りです。

- TENANT
  - テナントDBでストアドプロシージャ、ストアドファンクションを実行します。
- SHARED
  - シェアードDBでストアドプロシージャ、ストアドファンクションを実行します。
  - 実行するシェアードDBの接続IDを同時に定義します。

SQL

処理種別（タイプ）ストアドにおいて、ユーザ定義タスクの実行処理部分のSQLを定義します。

[記載例]
２つの入力パラメータ（param1、param2）と 戻り値としての1つの出力パラメータ（param3）があるストアドファンクション my_func を実行するケース

```
{ /*param3*/ = call my_func(/*param1*/, /*param2*/) }
```

SQL文に埋め込まれたパラメータ（上記例ではparam1、param2、param3) は必ず入力値または返却値に定義されている必要があります。

データベースに関して対応しているデータ型

以下のデータベース型に対応しています。
IM-LogicDesignerのデータ型は、「PostgreSQL」、「Oracle Database」、「SQL Server」のデータベース型とそれぞれ対応しています。

PostgreSQLのデータ型	Oracle Databaseのデータ型	SQL Serverのデータ型	IM-LogicDesignerのデータ型
VARCHAR CHAR [1] CHARACTER [1] TEXT	VARCHAR CHAR NCHAR LONG NVARCHAR LONG VARCHAR	VARCHAR NVARCHAR CHAR NCHAR TEXT	string
NUMERIC	NUMERIC SMALLINT INTEGER FLOAT DOUBLE PRECISION NUMBER REAL	DECIMAL NUMERIC	bigdecimal
BYTEA [2]	BLOB RAW	BINARY VARBINARY TIMESTAMP	binary
-	CLOB NCLOB	-	sqlclob
-	-	TINYINT	byte
SMALLINT	-	SMALLINT	short
INTEGER	-	INT	integer
BIGINT	-	BIGINT	long
DOUBLE PRECISION	-	FLOAT	double
TIMESTAMP WITH TIME ZONE TIMESTAMP WITHOUT TIME ZONE	TIMESTAMP DATE	DATETIME	sqltimestamp
-	-	DATE	sqldate
BOOLEAN BIT [3]	-	BIT	boolean

注釈

[1] *(1, 2)*

出力パラメータには指定できません。
ただし、出力パラメータがオブジェクト型またはオブジェクト型の配列の場合は、配下の項目としての指定が可能です。

[2] 配列は利用できません。

[3] 入力パラメータには指定できません。

Database Fetch

処理種別（タイプ）Database Fetch は、ユーザ定義タスクとしてSQL（2WaySQL）の実行結果を利用した繰り返しタスクを定義します。
このタスクでは、 SQLの実行結果を 1 件ずつ繰り返し要素として扱うことができます。
大量データをロジックフローで扱いたい場合に利用します。

- 入力値/返却値
- データベース種別
- フェッチサイズ
- クエリ
- データベースに関して対応しているデータ型

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Database Fetch では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

クエリに定義した2WaySQLのパラメータを定義します。
入力値に定義したパラメータは、クエリに定義したパラメータと紐付きます。

「範囲を指定する」チェックボックスにチェックを入れると、入力値に limit, offset キーが追加されます。
これらのキーに対して取得したい範囲の値を指定することでSELECTの範囲を指定できます。

- **limit**
  - 取得するデータの最大レコード数（0以上、0の場合、offset以降の全件）
- **offset**
  - 取得するデータの開始レコード位置（1以上）

例えば、先頭から5件取得したい場合 limit=5, offset=1を指定します。

返却値

定義したクエリの実行結果として取得されたレコード一覧を定義します。
これらの値はクエリの呼び出し結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。

データベース種別

定義したクエリの実行先を定義します。
データベース種別として定義可能な値は以下の通りです。

- TENANT
  - テナントDBへ問い合わせを行います。
- SHARED
  - シェアードDBへ問い合わせを行います。
  - 問い合わせを行うシェアードDBの接続IDを同時に定義します。

フェッチサイズ

1度のフェッチで取得するレコード件数の参考値を指定します。
数値を大きく設定すると、データベースサーバとの通信回数が削減され、パフォーマンス向上が期待できますが、メモリ使用量が増大します。

クエリ

処理種別（タイプ）Database Fetch において、ユーザ定義タスクの実行処理部分のSQLを定義します。

データベースに関して対応しているデータ型

以下のデータベース型に対応しています。
IM-LogicDesignerのデータ型は、「PostgreSQL」、「Oracle Database」、「SQL Server」のデータベース型とそれぞれ対応しています。

PostgreSQLのデータ型	Oracle Databaseのデータ型	SQL Serverのデータ型	IM-LogicDesignerのデータ型

PostgreSQLのデータ型	Oracle Databaseのデータ型	SQL Serverのデータ型	IM-LogicDesignerのデータ型
VARCHAR CHAR CHARACTER TEXT	VARCHAR CHAR NCHAR LONG NVARCHAR LONG VARCHAR	VARCHAR NVARCHAR CHAR NCHAR TEXT	string
NUMERIC	NUMERIC SMALLINT INTEGER FLOAT DOUBLE PRECISION NUMBER REAL	DECIMAL NUMERIC	bigdecimal
BYTEA	BLOB RAW	BINARY VARBINARY TIMESTAMP	binary
-	CLOB NCLOB	-	sqlclob
-	-	TINYINT	byte
SMALLINT	-	SMALLINT	short
INTEGER	-	INT	integer
BIGINT	-	BIGINT	long
DOUBLE PRECISION	-	FLOAT	double
TIMESTAMP WITH TIME ZONE TIMESTAMP WITHOUT TIME ZONE DATE	TIMESTAMP DATE	DATETIME	sqltimestamp
-	-	DATE	sqldate
BOOLEAN BIT	-	BIT	boolean

CSV Fetch

処理種別（タイプ）CSV Fetch は、ユーザ定義タスクとして CSVファイルを読み込みレコード分繰り返しを行うタスクを定義します。
このタスクでは、 読み込んだCSVファイルのレコードを 1 件ずつ繰り返し要素として扱うことができます。
サイズの大きいCSVファイルをロジックフローを扱いたい場合に利用します。

- 入力値/返却値
- 文字コード
- 引用文字
- 区切り文字
- 行の終端文字
- ヘッダー行をスキップする
- 返却値と列数が一致しない場合エラーにする

入力値/返却値

処理種別（タイプ）CSV Fetch では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

読み込むCSVファイルを定義します。

- **file**
  - データを読み込むCSVファイル

返却値

読み込んだCSVファイルのフィールド一覧を定義します。
これらの値は繰り返しタスクの開始時に、システムが自動でマッピングします。

> コラム
> string 以外のデータ型の要素を定義した場合は自動変換のルールに従ってマッピングされます。

文字コード

読み込むCSVファイルの文字コードを定義します。
空白にした場合は文字コードはUTF-8として扱われます。

引用文字

フィールドの引用文字です。 読み込むCSVファイルの各フィールドを囲む引用文字を定義します。
空白にした場合はダブルクォーテーションが引用文字として扱われます。
引用文字で囲まれていないデータを読み込んだ場合、トリムが行われます。

区切り文字

フィールドの区切り文字です。 読み込むCSVファイルの各フィールドを区切る区切り文字を定義します。

行の終端文字

レコード（行）の終端文字です。読み込むCSVファイルの各レコード（行）の終端を表す文字を定義します。

ヘッダー行をスキップする

CSVファイルのヘッダー行をスキップしたい場合に利用します。
この設定を有効にした場合、CSVファイルの先頭行をスキップします。

返却値と列数が一致しない場合エラーにする

返却値に定義した要素数と読み込んだCSVファイルのフィールド数が一致しない場合の動作を定義します。
この設定を有効にした場合、要素数が一致しない場合はエラーとして以降の処理は行われません。無効にした場合は警告ログを出力して処理を継続します。

CSV出力

処理種別（タイプ）CSV出力 は、ユーザ定義タスクとして 読み込んだレコードをCSVファイルに出力するタスクを定義します。
このタスクでは、出力対象レコードを一括で読み込んでCSVファイルに出力、または繰り返し要素内で 1 件ずつ読み込んだレコードをCSVファイルに出力（追記）できます。
大量のレコードを扱う場合は、実行時にメモリ不足にならないよう繰り返し要素内で利用することを検討してください。

- 入力値/返却値
- CSV出力定義
- 出力項目定義

入力値/返却値

処理種別（タイプ）CSV出力 では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

読み込むCSVファイルを定義します。

- **outputFile**
  - データを出力するCSVファイル
    空ではないファイルが既に存在する場合は追記します。
- **targetTimezone**

    - 日付型の値を出力する際に基準とするタイムゾーン
      targetTimezone が指定されていない場合、「GMT (+00:00)」が適用されます。

- **records**
    - 出力対象レコード
      配下のパラメータは、CSV出力項目定義の設定を行うことで生成されます。

返却値

CSV出力に返却値はありません。

CSV出力定義

文字コード

出力するCSVファイルの文字コードを定義します。

BOM付与

文字コードが「UTF-8」の場合、BOM付きで出力する場合に有効にします。
ただし追記の場合は、BOMは付与されません。

引用文字

フィールドの引用文字です。 出力するCSVファイルの各フィールドを囲む引用文字を定義します。

区切り文字

フィールドの区切り文字です。 出力するCSVファイルの各フィールドを区切る区切り文字を定義します。

行の終端文字

レコード（行）の終端文字です。出力するCSVファイルの各レコード（行）の終端を表す文字を定義します。

ヘッダ行を出力する

CSVファイルのヘッダ行を出力する場合に有効にします。
この設定を有効にした場合は出力項目定義でヘッダ名を定義できます。
ただし追記の場合は、ヘッダ行は出力されません。

出力項目定義

列名/入力値キー名

出力項目の列名/入力値キー名を定義します。

ヘッダ名

ヘッダ名を定義します。省略した場合は、列名/入力値キー名が適用されます。
CSV出力定義で「ヘッダ行を出力する」を有効にした場合に設定できます。

データ型

出力項目のデータ型を設定します。

フォーマット

データ型が「数値型」「日付型」の場合に出力フォーマットを設定します。
省略した場合は以下が適用されます。

- 数値型：#
- 日付型：ISO8601形式

テンプレート

処理種別（タイプ）テンプレートは、ユーザ定義タスクとして文字列テンプレートの置換を行うタスクを定義します。
このタスクでは、 入力データをもとに設定された文字列テンプレートを置換して生成した文字列を返却します。
メール本文の生成や、HTMLの生成を行いたい場合などに、このユーザ定義タスクを利用することができます。

- 入力値/返却値
- テンプレート定義
- テンプレートの記法

入力値/返却値

処理種別（タイプ）テンプレートでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

テンプレートのロケールと、テンプレートを置換する際に利用する各変数を定義します。

- **locale**
  - テンプレートのロケール（指定されていない場合は、標準のテンプレートが利用されます。）
- **data**
  - テンプレートを置換する際に利用する変数

返却値

テンプレート置換を行い生成された文字列が定義されます。

- **output**
  - 生成された文字列

テンプレート定義

各ロケール毎の文字列テンプレートを設定します。
入力値に設定されていないロケールが指定されている場合は、標準のテンプレートが使用されます。

テンプレートの記法

テンプレートは FreeMarker Template Language（FTL）で記述することが可能です。
FTLの記法について詳しくは「Template Language Reference」を参照してください。

- 式
  テンプレートではさまざまな式を扱うことができます。
  例えば、変数の値を代入したい場合は以下のようにテンプレートを定義します。

  ```
  Hello, ${userName}.
  ```

  変数 userName が「ueda tatsuo」の場合、`Hello, ueda tatsuo.`と変換された文字列が得られます。
- built-in
  FTL では型ごとに、さまざまな組み込みの手続き（ビルトイン）が用意されています。ビルトインは「?」に続けて指定します。
  例えば、URLをエンコードして出力したい場合は以下のようにテンプレートを定義します。

  ```
  ${urlString?url}.
  ```

  変数 urlString の値をURLエンコーディングされた文字列が得られます。
- list（繰り返し）
  変数（配列）による繰り返しを記述する場合には、`<#list>`ディレクティブを使用します。
  例えば、以下のようにテンプレートを定義します。

  ```
  <#list goodsList as goods>
   * ${goods.name} x ${goods.count} = ${goods.price}-
  </#list>
  ```

  変数 goodsList の要素を goods として扱いながら、繰り返し処理が行われます。
  変数 goodsList の内容が以下の場合には、

```
"goodsList" : [
 {
  "name" : "pen",
  "count" : 10,
  "price" : 1000
 },
 {
  "name" : "book",
  "count" : 5,
  "price" : 6000
 },
]
```

以下のように変換された文字列が得られます。

```
* pen x 10 = 1000-
* book x 5 = 6000-
```

- if（条件式）
  変数による条件式を記述する場合には、 <#if>ディレクティブを使用します。
  例えば、以下のようにテンプレートを定義します。

```
<#if totalPrice gte 100>
 Because the total amount is $100 or more, shipping is free.
</#if>
```

変数 totalPrice の値が 100 以上の場合、Because the total amount is $100 or more, shipping is free.と変換された文字列が得られます。
<#if>ディレクティブのタグ内では 不等号（ <> ）は使うことはできません。代わりに相当する言葉で演算子が用意されています。

記号	意味	タグ内で使う演算子
<	未満	lt
<=	以下	lte
>	より大きい	gt
>=	以上	gte

Excel入力

処理種別（タイプ）Excel入力 は、ユーザ定義タスクとして Excelファイルの読み込みを行うタスクを定義します。

- 入力値/返却値
- Excel入力共通定義
- セル入力定義
- 範囲指定入力定義

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Excel入力 では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

読み込むExcelファイルとタイムゾーンを定義します。

- **file**
  - データを読み込むExcelファイル
- **targetTimezone**
  - セルの値を読み込む際に基準とするタイムゾーン
  - targetTimezone が指定されていない場合、「アカウントコンテキストのタイムゾーン」が指定されます。

- **password**
  - Excelファイルの読み込みパスワード
    読み込むExcelファイルに、読み込みパスワードがかかっている場合に指定します。

返却値

セル入力定義または、範囲指定入力定義で指定した返却パラメータ名とデータ型が定義されます。
「返却値にパラメータ名を反映する」をクリックすると、システムが自動でマッピングします。

Excel入力共通定義

シートの指定方法

読み込むExcelファイルのシートの指定方法を定義します。

- シート名で指定
  読み込むシートをシート名で指定します。
- シートの順番で指定
  読み込むシートをシートの順番で指定します。
  最初のシートを指定する場合は、シート番号に 0 を指定します。

異なるデータ型の許容

通常、返却パラメータで指定したデータ型と実際のセルのデータ型が異なる場合は、セルの値を読み込めません。
異なるデータ型を許容することで、データ型の相違があっても、以下のルールに従って型変換が可能なデータであれば、自動的に型変換を行い、値を読み込みます。

【データ型の変換ルール】

	文字列 (Excel)	数値 (Excel) *	日付 (Excel) *	真偽値 (Excel)
文字列 (LD)	ー	変換可	変換不可	TRUE は “true” に変換
				FALSE は “false” に変換
数値 (LD)	数値文字列は変換可	ー	日付のシリアル値に変換 *	TRUE は 1 に変換
	上記以外は変換不可			FALSE は 0 に変換
日付 (LD)	変換不可	日付のシリアル値として変換 *	ー	変換不可
真偽値 (LD)	“true” は true に変換	1 は true に変換	変換不可	ー
	“false” は false に変換	0 は false に変換		
	上記以外は変換不可	上記以外は変換不可		

* Excelでは、日付をシリアル値（1900/1/1 を基準とした日数で表された数値）で管理しているため、数値 ⇔ 日付の変換はシリアル値ベースで行われます。
　また、セルの書式設定にユーザ定義の日付書式が設定されている場合、変換時に日付と認識されずに数値として扱われることがあります。

セル入力定義

以下の情報を定義します。

- Excelファイルから入力値として読み込むシート名、またはシート番号
- セル
- 返却パラメータ名
- データ型

> **注意**
>
> セルのデータ型と、ユーザ定義で指定したデータ型について
>
> セルのデータ型と、ユーザ定義で指定したデータ型が異なる場合の動作は、前述の「*異なるデータ型の許容*」の設定により変わります。
> 後述の範囲指定入力でも同様です。

範囲指定入力定義

以下の情報を定義します。

- Excelファイルから入力値として読み込むシート名、またはシート番号
- 対象列
- 開始行
- 終了条件
- 返却パラメータ名
- データ型

Excel出力

処理種別（タイプ）Excel出力 は、ユーザ定義タスクとして Excelファイルへの書き込みを行うタスクを定義します。

- 入力値/返却値
- Excel出力共通定義
- セル出力定義
- 範囲指定出力定義

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Excel出力 では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

書き込むExcelファイルとタイムゾーンを定義します。
「入力値にパラメータ名を反映する」をクリックすると、システムが自動でマッピングします。

- **outputFile**
  - データを出力するExcelファイル
  - inputFile が指定されていない場合、「xlsx 形式の Excel ファイル」が新規作成されます。
- **inputFile**
  - データを出力するExcelファイルのテンプレートとなるExcelファイル
- **targetTimezone**
  - セルの値を読み込む際に基準とするタイムゾーン
  - targetTimezone が指定されていない場合、「アカウントコンテキストのタイムゾーン」が指定されます。
- **password**
  - Excelファイルの読み込みパスワード
    出力するExcelファイルに、読み込みパスワードをかける場合に指定します。

返却値

Excel出力に返却値はありません。

Excel出力共通定義
シートの指定方法

書き込むExcelファイルのシートの指定方法を定義します。

- シート名で指定
  読み込むシートをシート名で指定します。
- シートの順番で指定

読み込むシートをシートの順番で指定します。
最初のシートを指定する場合は、シート番号に 0 を指定します。

関数の再計算

チェックボックスをオンにすると、出力されたExcelファイルを開いた際に関数を再計算させることができます。

セル出力定義

以下の情報を定義します。

- 書き込むExcelのファイルシート名、またはシート番号
- セル
- 入力パラメータ名
- データ型

範囲指定出力定義

以下の情報を定義します。

- 書き込むExcelのファイルシート名、またはシート番号
- 対象列
- 開始行
- 終了条件
- 入力パラメータ名
- データ型

XML解析

処理種別（タイプ）XML解析は、ユーザ定義タスクとしてXMLを読み込み任意の要素の取得を行うタスクを定義します。
要素の指定には、ルートの要素から階層的に指定する方法とXPathを使用して特定の要素を指定する方法があります。

- 入力値/返却値
- パラメータ名
- XPath

入力値/返却値

処理種別（タイプ）XML解析では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

読み込むXMLを定義します。

- **xml**
  - 読み込むXML

> **注意**
>
> DTD（Document Type Definition）を使用したXMLは読み込めません。

返却値

読み込んだXMLから取得する要素を定義します。

パラメータ名

XPathで指定された要素を関連付ける返却値の名前を入力します。

XPath

取得する要素を表現するXPathを入力します。
XPathについては「XML Path Language (XPath)」を参照してください。

HTML解析

処理種別（タイプ）HTML解析は、ユーザ定義タスクとしてHTMLを読み込み任意の要素の取得を行うタスクを定義します。
要素の指定には、ルートの要素から階層的に指定する方法とCSSセレクタを使用して特定の要素を指定する方法があります。

- 入力値/返却値
- パラメータ名
- CSSセレクタ

入力値/返却値

処理種別（タイプ）HTML解析では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

読み込むHTMLと文字コードを定義します。

- **html**
  - 読み込むHTML
- **charset**
  - HTMLの文字コード

返却値

読み込んだHTMLから取得する要素を定義します。

パラメータ名

CSSセレクタで指定された要素を関連付ける返却値の名前を入力します。

CSSセレクタ

取得する要素を表現するCSSセレクタを入力します。
使用できるCSSセレクタについては「API ドキュメント Selector」を参照してください。

Salesforceオブジェクト操作

処理種別（タイプ）Salesforceオブジェクト操作は、Salesforceオブジェクト操作を行うユーザ定義タスクです。
本章では処理種別（タイプ）Salesforceオブジェクト操作に関する詳細仕様を説明します。

- 入力値/返却値
- クライアントID
- オブジェクト
- 操作
- 外部ID

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Salesforceオブジェクト操作では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

入力値に定義されるパラメータは、操作対象のオブジェクトと操作種別を選択すると自動的に作成されます。
操作種別とパラメータの関係は以下の通りです。

- **CREATE**

パラメータ	説明	表示される条件
body配下のパラメータ	操作対象オブジェクトの項目	操作対象のオブジェクトを選択したタイミングで自動的に作成されます。不要な項目は削除可能です。
externalId	外部ID	「外部IDを使用する」がチェックされている場合に表示されますが、操作種別「**CREATE**」の場合、外部IDを使用することはできません。

- **UPDATE**

パラメータ	説明	表示される条件
id	Salesforce ID	「外部IDを使用する」がチェックされて**いない**場合に表示されます。
externalId	外部ID	「外部IDを使用する」がチェックされて**いる**場合に表示されます。
body配下のパラメータ	操作対象オブジェクトの項目	操作対象のオブジェクトを選択したタイミングで自動的に作成されます。不要な項目は削除可能です。

- **READ, DELETE**

パラメータ	説明	表示される条件
id	Salesforce ID	「外部IDを使用する」がチェックされて**いない**場合に表示されます。
externalId	外部ID	「外部IDを使用する」がチェックされて**いる**場合に表示されます。

返却値

オブジェクト操作の実行結果を定義します。
返却値に定義されるパラメータは、操作対象のオブジェクトと操作種別を選択すると自動的に作成されます。
これらの値はオブジェクト操作の実行結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。
操作種別とパラメータの関係は以下の通りです。

- **CREATE**

パラメータ	説明	表示される条件
id	CREATEしたレコードの Salesforce ID	操作対象のオブジェクトを選択したタイミングで自動的に作成されます。

- **READ**

パラメータ	説明	表示される条件
パラメータ	READしたオブジェクトの項目	操作対象のオブジェクトを選択したタイミングで自動的に作成されます。不要な項目は削除可能です。

- **UPDATE, DELETE**
  - 返却値はありません。

クライアントID

定義済みSalesforceクライアント設定からクライアントIDを選択します。

オブジェクト

操作対象のオブジェクトを選択します。

操作

操作種別（CREATE, READ, UPDATE, DELETE）を指定します。

外部ID

外部IDを利用して、オブジェクト操作（READ, UPDATE, DELETE）を実行する場合、 選択されたオブジェクトに定義されている外部IDを選択します。
外部IDが定義されていないオブジェクトは、このチェックボックスをチェックできません。

コラム

外部IDの詳細は、「Force.com REST API 開発者ガイド」を参照してください。

- レコードの取得
  - 外部 ID を使用してレコードを取得する （日本語）
  - Retrieve a Record Using an External ID（English）
- レコードの挿入/更新
  - 外部 ID を使用してレコードを挿入/更新 (Upsert) する （日本語）
  - Insert or Update (Upsert) a Record Using an External ID（English）

Salesforce SOQL

処理種別（タイプ）Salesforce SOQLは、Salesforceクエリを行うユーザ定義タスクです。
本章では処理種別（タイプ）Salesforce SOQLに関する詳細仕様を説明します。

- 入力値/返却値
- クライアントID
- バッチサイズ
- バージョン
- クエリ
- 入力値/返却値のデータ型

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Salesforce SOQLでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

クエリに定義したSOQLのパラメータを定義します。
入力値に定義したパラメータは、クエリに定義したパラメータと紐付きます。

- **nextRecordsUrl**
  - クエリの識別子

返却値

定義したクエリの実行結果を定義します。
クエリのSELECT句で指定したオブジェクト項目を records 配下に定義する必要があります。
これらの値はクエリの呼び出し結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。
デフォルトで定義されている項目は以下の通りです。

- **records**
  - クエリの実行結果として取得されたレコード一覧
- **totalSize**
  - レコード件数
- **done**
  - 完了フラグ
- **nextRecordsUrl**
  - クエリの識別子

コラム

クエリの識別子 nextRecordsUrl について

全件取得でない場合、返却値の最後に nextRecordsUrl 項目が含まれます。
すべてのレコードが取得されるまで、入力値に前回の返却値の nextRecordsUrl を指定し、この操作を繰り返します。
1回のクエリで取得するレコード数は「バッチサイズ」で指定します。指定がない場合、デフォルト値は 2,000、最小値は 200、最大値は 2,000 です。

クライアントID

定義済みSalesforceクライアント設定からクライアントIDを選択します。

バッチサイズ

1回のクエリで取得するレコード数を定義します。
1回のクエリで取得するレコード数を制限しない場合は、「全件取得する」チェックボックスをオンにします。

バージョン

Salesforce APIバージョンを選択します。

クエリ

ユーザ定義タスクの実行処理部分のクエリ（SOQL）を定義します。

入力値/返却値のデータ型

入力値、および、返却値のデータ型は、対応する Salesforce オブジェクトの項目のデータ型に合わせて定義します。
記載していないデータ型、および、記載していないデータ型の組み合わせはサポートしていません。

コラム

Salesforce オブジェクトのデータ型については、Salesforce の以下のドキュメントを参照してください。

- **プリミティブデータ型**
  - プリミティブデータ型 （日本語）
  - Primitive Data Types （English）
- **データ型**
  - データ型 （日本語）
  - Field Types （English）

入力値

nextRecordsUrl 以外の入力値を定義する場合、入力値のデータ型は以下を参照して定義してください。

データ型 Salesforce	**データ型 IM-LogicDesigner**	**補足**
boolean	boolean	
calculated	補足参照	Salesforce で数式の戻り値に指定したデータ型に合わせて定義してください。
combobox email ID multipicklist phone picklist reference string textarea url	string または character	Salesforce SOQL定義タスクがSOQLに入力値を埋め込む際、入力値の前後に単一引用符を付与します。 また、入力値に含まれるバックスラッシュ、単一引用符、二重引用符は、バックスラッシュでエスケープします。
double currency percent	double	
int	integer	

データ型 Salesforce	データ型 IM-LogicDesigner	補足
date	date または calender または sqldate	Salesforce の date型は、時間の値が含まれません。（yyyy-MM-dd） Salesforce SOQL定義タスクは、SOQLに入力値を埋め込む際に入力値を yyyy-MM-dd に変換します。 入力値は、intra-mart Accel Platformのシステムタイムゾーンに合わせて変換された日付がSOQLへの埋め込み値に利用されます。 そのため、入力値のフォーマットによって以下の例のように日付がずれてしまう場合があるので、注意してください。 例1. 入力値を協定世界時（UTC）で指定した場合（日付がずれない） ▪ システムのタイムゾーン ： Asia/Tokyo ▪ 入力値 ： 2016-07-31T00:00:00.000Z ▪ Salesforce SOQL定義タスクが変換した後の値：2016-07-31T15:00:00.000+0900 ▪ SOQLへの埋め込み値 ： 2016-07-31 例2. 入力値を協定世界時（UTC）で指定した場合（日付がずれる） ▪ intra-mart Accel Platformのシステムタイムゾーン ： Asia/Tokyo ▪ 入力値 ： 2016-07-31T15:00:00.000Z ▪ Salesforce SOQL定義タスクが変換した後の値：2016-08-01T00:00:00.000+0900 ▪ SOQLへの埋め込み値 ： 2016-08-01 例3. 入力値をシステムタイムゾーンに合わせて指定した場合（日付はずれない） ▪ intra-mart Accel Platformのシステムタイムゾーン ： Asia/Tokyo ▪ 入力値 ： 2016-07-31T15:00:00.000+0900 ▪ Salesforce SOQL定義タスクが変換した後の値：2016-07-31T15:00:00.000+0900 ▪ SOQLへの埋め込み値 ： 2016-07-31
dateTime	imdatetime または sqltimestamp	Salesforce SOQL定義タスクがSOQLに入力値を埋め込む際、入力値をISO8601フォーマットに変換します。

コラム

Salesforceの date、および、dateTime型と、IM-LogicDesignerの string 型について

Salesforceの date、および、dateTime型に対して、IM-LogicDesignerのデータ型を string で定義した場合は、SOQL実行時にエラーが発生します。

IM-LogicDesignerのデータ型を string で定義した場合、Salesforce SOQL定義タスクが SOQL に入力値を埋め込む際に入力値の前後に単一引用符を付与します。 一方SOQLでは、日付形式を使用する fieldExpression の場合、日付は単一引用符で囲みません。このため、SOQL実行時にエラーが発生します。

SOQLの日付形式に関する仕様に関しては、以下のドキュメントを参照してください。

- **Force.com SOQL および SOSL リファレンス**
  - 日付形式と日付リテラル （日本語）
  - Date Formats and Date Literals（English）

返却値

records 配下に返却値を定義する場合、返却値のデータ型は以下を参照して定義してください。

データ型 **Salesforce**	データ型 **IM-LogicDesigner**	補足
base64 string time anyType combobox email encryptedstring ID multipicklist phone picklist reference textarea url	string	
boolean	boolean	
calculated	補足参照	Salesforce で数式の戻り値に指定したデータ型に合わせて定義してください。
date	string	返却値のデータ型は、IM-LogicDesignerの string 型で定義してください。 Salesforce の date型は、時間の値が含まれません。（yyyy-MM-dd） 返却値のデータ型を IM-LogicDesignerのdate型で定義した場合、返却値は、intra-mart Accel Platformのシステムタイムゾーンを基準とした日時として解釈されます。 そのため、変換後の値を Salesforce へ連携した場合、以下のように日付がずれる場合があります。 例 ▪ Salesforce の値 ： 2016-08-01 ▪ intra-mart Accel Platformのシステムタイムゾーン ： Asia/Tokyo ▪ IM-LogicDesigner で変換後の値 ： 2016-07-31T15:00:00.000Z (=2016-08-01T00:00:00.000+0900) ▪ 変換後の値を、再度 Salesforce のdate型に連携した場合の Salesforce の値 ： 2016-07-31
dateTime	date	
double currency percent	double	
int	interger	

Salesforceバッチ

処理種別（タイプ）Salesforceバッチは、Bulk APIを利用して、Salesforceジョブにバッチの追加を行うユーザ定義タスクです。
本章では処理種別（タイプ）Salesforceバッチに関する詳細仕様を説明します。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
- Bulk API Developer Guide（English）

- 入力値/返却値
- クライアントID
- オブジェクト
- 操作

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Salesforceバッチでは、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

入力値に定義されるパラメータは、操作対象のオブジェクトと操作種別を選択すると自動的に作成されます。
操作種別とパラメータの関係は以下の通りです。

- **Insert, Update, Upsert**

パラメータ	説明
jobId	ジョブID
body配下のパラメータ	操作対象オブジェクトの項目。 操作対象のオブジェクトを選択したタイミングで自動的に作成されます。

- **Delete, HardDelete**

パラメータ	説明
jobId	ジョブID
body配下のid	削除対象レコードのSalesforce ID

返却値

バッチ操作の実行結果を定義します。
これらの値はバッチ操作の実行結果が返ってきた際に、システムが自動でマッピングします。
固定で定義されている項目は以下の通りです。

パラメータ	説明
apexProcessingTime	バッチデータに関連するトリガおよび他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	有効なバッチの処理時間（ミリ秒）
createdDate	バッチの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
id	バッチID
jobId	ジョブID（バッチに関連付けられたジョブを一意に識別するID）
numberRecordsFailed	このバッチで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	要求が送信された時点で、このバッチで処理済みのレコード数
state	バッチの現在の処理状態
stateMessage	状態（state）に関する詳細
systemModstamp	処理の終了日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	バッチの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceバッチの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - BatchInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - BatchInfo（English）

クライアントID

定義済みSalesforceクライアント設定からクライアントIDを選択します。

オブジェクト

操作対象のオブジェクトを選択します。

操作

操作種別（Insert, Update, Upsert, Delete, HardDelete）を指定します。
Upsertは、外部IDに指定されているフィールドを含むオブジェクトを選択した際に利用可能です。

BIS申請/承認

処理種別（タイプ）BIS申請/承認は、ユーザ定義タスクとしてワークフローを処理するタスクを定義します。

- 入力値/返却値
- BIS申請/承認

入力値/返却値

処理種別（タイプ）BIS申請/承認では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

IM-BIS ワークフローの処理に必要な情報を定義します。

- **draftInfo/applyFromUnapplyInfo/applyInfo/reapplyInfo/approveInfo**
  起票情報/起票案件の申請情報/申請情報/再申請情報/承認情報
- **asyncProcessingFlag**
  非同期処理中実行フラグ

> **コラム**
> 非同期処理中実行フラグについて
>
> 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。
> 詳細は、以下のIM-BISタスクの入力値を参照してください。
>
> - 「*起票案件の申請*」
> - 「*再申請*」
> - 「*承認*」

- **workflowAdvancedSettingInfo**
  ワークフロー設定情報（高度な設定）

> **コラム**
> ワークフロー設定情報（高度な設定）について
>
> 対象のIM-BIS ワークフローの処理時に以下の設定が不要な場合は削除可能です。
>
> - 分岐先選択情報
> - 確認ノード設定情報
> - 動的承認ノード設定情報
> - 横配置ノード設定情報
> - 縦配置ノード設定情報

- **userParamInfo**
  ユーザパラメータ設定情報

> **コラム**
> ユーザパラメータ設定情報について
>
> ユーザパラメータを設定することによって、アクション処理で利用できます。
> userParamInfoは以下のように設定してください。
>
> ```
> userParamInfo <object>
>  ├ パラメータ名 <型>
>  ├ パラメータ名 <型>
>  ├ パラメータ名 <型>
>  └ パラメータ名 <型>
> ```

- **applyUserPlugin**
  処理対象者情報（プラグイン情報） 値を設定することで、申請する人を指定できます。
- **formaItemInfo**
  画面アイテム入力情報
- **formaTableItemInfo**
  テーブル系画面アイテム入力情報

> **コラム**
> アイテム入力情報について
>
> 処理種別が「起票」の場合は、起票処理時にFormaのアプリケーションデータを登録する場合に設定してください。

> **注意**
> キー名と型について
>
> キー名と型を変更した場合、IM-BIS ワークフローは処理できません。

返却値

ワークフローの申請の実行結果として取得された情報を定義します。
処理種別が申請、起票の場合に定義します。

- **matterNumber**
  案件番号
- **systemMatterId**
  システム案件ID
- **userDataId**
  ユーザデータID

BIS申請/承認
アプリケーション種別

アプリケーション種別を選択します。
以下のアプリケーション種別から選択します。

- BIS
- Forma(Workflow)

> **注意**
> アプリケーション種別を変更すると、選択済みの処理種別および定義情報が初期化されます。

処理種別

処理種別は、ワークフローパラメータに対する入力値を定義するための情報です。
処理種別に基づいて、以下の入力値を定義します。
それぞれの入力値は、処理種別に該当するIM-BISタスクの入力値に対応しています。

- 「*起票案件作成*」
  - 「起票情報」（draftInfo）
  - 「申請処理対象者情報（プラグイン情報）」（applyUserPlugin）
- 「*起票案件の申請*」
  - 「起票案件の申請情報」（applyFromUnapplyInfo）
  - 「非同期処理中実行フラグ」（asyncProcessingFlag）
  - 「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）
  - 「ユーザパラメータ」(userParamInfo)
- 「*申請*」
  - 「申請情報」（applyInfo）
  - 「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）
  - 「ユーザパラメータ」(userParamInfo)
- 「*再申請*」
  - 「再申請情報」（reapplyInfo）
  - 「非同期処理中実行フラグ」（asyncProcessingFlag）
  - 「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）
  - 「ユーザパラメータ」(userParamInfo)
- 「*承認*」
  - 「承認情報」（approveInfo）
  - 「非同期処理中実行フラグ」（asyncProcessingFlag）
  - 「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）
  - 「ユーザパラメータ」(userParamInfo)

定義情報

定義情報は、画面アイテムに対する入力値を定義するための情報です。
定義情報のメインフォームに、入力項目として配置されているすべてのアイテムを、入力値として定義します。

> **コラム**
>
> IM-Workflow単体のフローについて
>
> BIS、Forma(Workflow)定義情報を指定せず、userParamInfoを定義することによってIM-Workflow単体のフローを処理できます。

Forma登録情報

処理種別（タイプ）Forma登録情報は、ユーザ定義タスクとして、Formaアプリケーション登録データを操作するタスクを定義します。

> **コラム**
>
> このタスクでは、登録データ情報管理APIを利用してFormaアプリケーション登録データを操作しています。
> 登録データ情報管理APIについては、以下のドキュメントを参照してください。
>
> - ApplicationDataManager

- 入力値/返却値
- Forma登録情報

入力値/返却値

処理種別（タイプ）Forma登録情報では、入力値/返却値をそれぞれ以下のように定義します。

入力値

入力値に定義されるパラメータは、処理種別と定義情報を選択すると自動的に作成されます。
処理種別とパラメータの関係は以下の通りです。

- **取得**

パラメータ	必須/任意	説明
insertId	必須	登録データID

- **登録**

パラメータ	必須/任意	説明
insertId	任意	登録データID 指定しない場合は自動的に採番されます。
execPostProcFlg	任意	後処理実行フラグ 後処理を実行する場合はtrue, しない場合はfalseを指定してください。 指定しない場合、後処理実行フラグはtrueが設定されます。
formaItemInfo	任意	画面アイテム入力情報
formaTableItemInfo	任意	テーブル系画面アイテム入力項目

- **更新**

パラメータ	必須/任意	説明
insertId	必須	登録データID
dataVersionNo	任意	データバージョン番号 指定しない場合、最新のデータバージョン番号を取得します。
execPostProcFlg	任意	後処理実行フラグ 後処理を実行する場合はtrue, しない場合はfalseを指定してください。 指定しない場合、後処理実行フラグはtrueが設定されます。
formaItemInfo	任意	画面アイテム入力情報
formaTableItemInfo	任意	テーブル系画面アイテム入力項目

コラム

画面アイテム「ファイルアップロード」のファイル情報の登録については、以下のタスクをご利用ください。

- *ファイルアップロード情報追加*

返却値

登録データ情報管理APIの実行結果として取得された情報を定義します。
返却値に定義されるパラメータは、処理種別と定義情報を選択すと自動的に作成されます。
処理種別とパラメータの関係は以下の通りです。

- **取得**

パラメータ	説明
formaItemInfo	画面アイテム入力情報
formaTableItemInfo	テーブル系画面アイテム入力項目
formaSystemInfo	システム情報

- **登録**

パラメータ	説明
insertId	登録データID

- 更新
  - 返却値はありません。

Forma登録情報

アプリケーション種別

アプリケーション種別を選択します。
以下のアプリケーション種別から選択します。

- 標準
- IM-Workflow
- BIS

> **注意**
>
> アプリケーション種別を変更すると、選択済みの処理種別および定義情報が初期化されます。

処理種別

処理種別（取得、登録、更新）を指定します。
選択したアプリケーション種別によって、選択できる処理種別が変更されます。

アプリケーション種別	処理種別
標準	取得、登録、更新
IM-Workflow	取得、更新
BIS	取得、更新

> **コラム**
>
> アプリケーション種別が IM-Workflow, BIS の場合の登録については、以下のタスクをご利用ください。
>
> - *BIS申請/承認*

> **コラム**
>
> Formaアプリケーション登録データの削除については、以下のタスクをご利用ください。
>
> - *Formaアプリケーション登録データ削除*

定義情報

定義情報は、画面アイテムに対する入力値または返却値を定義するための情報です。
アプリケーションのメインフォームに、入力項目として配置されているすべてのアイテムを、入力値または返却値として定義します。

タイプ別新規作成リンク

ユーザ定義の一覧画面ではタイプ別の新規作成リンクを提供します。

図：新規作成リンク

この新規作成リンクは以下の順序でリンク情報の検索を行い、生成します。

1. メニューグループIDが「logic_designer_sm-pc」と合致するメニューグループを検索します。
2. 該当するメニューグループが存在した場合、以下の条件を満たすメニューアイテムを配下から検索します。
   - **URL** 中に「/user_definition/${category}/」文字列が含まれること。
     - ${category}は処理種別（タイプ）を表す任意の文字列。
       例： javascript（JavaScript）、rest（REST）、sql（2WaySQL）
   - **URL** の末尾が「/.new」文字列であること。
3. 該当するメニューアイテムのメニューアイテム名、および、URLをもとにリンク情報を生成します。

フロールーティング

フロールーティングの構成要素と、動作仕様について説明します。

項目

- 概要
- ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得
- セキュアトークンによるCSRF攻撃チェック
- 認証方式による認証
- セッション管理
- 認可
- ロジックフローへの入力データの構築
- ロジックフローの実行
- ロジックフローの出力データの返却
- REST APIのセキュリティ
- バーチャルテナントによる複数テナントにおけるREST APIの実行
- エラー発生時のレスポンス
- Swagger出力
- JSON上でのデータの表現

概要

フロールーティングでは、以下の情報を保持しています。

- ルート
- HTTPメソッド
- フロー定義ID
- フローバージョン
- セキュアフラグ
- 認証方式
- 認可URI

> **コラム**
> フロールーティング情報は、紐づくフロー定義とそのバージョンが削除された場合に一緒に削除されます。

それぞれの情報の利用用途について、説明します。

フロールーティングの定義に一致するリクエストを受信した場合、以下の順序で処理を行います。

1. *ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得*
2. *セキュアトークンによるCSRF攻撃チェック*
3. *認証方式による認証*

4. *認可*
5. *ロジックフローへの入力データの構築*
6. *ロジックフローの実行*
7. *ロジックフローの出力データの返却*

各処理でエラーが発生した場合、後続の処理は実行しません。

ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得

ロジックフローをREST APIとして利用するためのURLは、以下の通りです。

`<SCHEME>://<HOST>(:<PORT>)/<CONTEXT_PATH>/logic/api/${route}`

フロールーティングで持つルートは、上記の `${route}` を指す値です。 また、利用できるHTTPメソッドは、 `GET`, `POST`, `PUT`, `DELETE` です。

URLが `<SCHEME>://<HOST>(:<PORT>)/<CONTEXT_PATH>/logic/api/` から始めるリクエストを受信した場合、フロールーティングのルートとHTTPメソッドを元に一致するフロールーティングが存在しないか否かを検索します。

セキュアトークンによるCSRF攻撃チェック

フロールーティングのセキュアフラグが有効になっている場合、セキュアトークンによるトークンチェックを行います。 認証方式として「*IMAuthentication*」を選択している場合は、CSRF対策として有効とすべきです。

トークンチェックに利用するトークンは以下のいずれかの箇所に含める必要があります。

- リクエストヘッダ `X-Intramart-Secure-Token`
- リクエストパラメータ `im_secure_token`

トークンの発行は SecureTokenManager で行います。 トークンの発行とREST APIへのリクエストは同一のセッション内で行う必要があります。

認証方式による認証

フロールーティングの認証方式により、認証処理を行います。 認証方式は以下が存在します。

- *IMAuthentication*
- *Basic*
- *OAuth*

IMAuthentication

特別な認証処理を行わず現在のCookieに紐づくセッションの認証状態のままロジックフローを実行します。

Basic

Basic認証による認証を行いロジックフローを実行します。

> **コラム**
>
> バーチャルテナントによる複数テナントを利用している環境において、リクエスト情報を利用したテナント自動解決機能を利用していない場合のみ、Basic認証のユーザ名にテナントを指定することが可能です。
> 上記環境におけるBasic認証のユーザ名の指定方法による挙動の違いは以下の通りです。
>
> - 「ユーザコード」の指定
>
> デフォルトテナントに対して認証を行います。
> - 「テナントID\ユーザコード」の指定
>
> 指定したテナントに対して認証を行います。

OAuth

OAuth認証による認証を行いロジックフローを実行します。
この認証方式を利用したロジックフローを実行する場合はヘッダに アクセストークンを付与してリクエストを送信してください。

```
GET /<resource_path> HTTP/1.1
Host: localhost
Authorization: Bearer <access_token>
```

アクセストークンの取得方法については以下のドキュメントを参照してください。

- OAuth認証モジュール 仕様書
- OAuth 管理者操作ガイド
- OAuth プログラミングガイド

セッション管理

REST API ではリクエストヘッダ X-Intramart-Session を指定することによりセッション管理を行えます。
X-Intramart-Sessionには、keep, once, never の３つの値が利用できます。
ヘッダを省略した場合は once を指定した場合と同じです。
指定した値による挙動は Web API Maker と同様です。詳しい挙動については以下を参照してください。

- セッション管理

認可

IM-Authzによる認可判断を行います。
REST API実行ユーザ（認証方式により認証されているユーザ）が、フロールーティングの認可URIが指す認可リソースを実行可能である場合、ロジックフローを実行します。
認可リソースに対しての認可設定は「ロジックフロールーティング定義一覧」画面から行えます。

IM-Authzによる認可判断の詳細については「 認可仕様書 」を参照してください。

> **コラム**
>
> 認可設定の条件として、ユーザや組織を対象としたもの以外にもIPアドレスによる条件が利用可能です。
> システム間連携用のREST APIを作成する際などにご利用ください。

> **注意**
>
> 認可URIは固有の値である必要があります。
> 異なるフロールーティングであっても、同一の認可URIを指定することはできません。

ロジックフローへの入力データの構築

リクエストからロジックフローへの入力データを構築します。

入力データの元となる情報の格納先は以下の通りです。

- *JSON*
- *リクエストパラメータ*

JSON

入力データの情報をJSONで表現します。
リクエストボディにJSONを格納します。この場合、Content-Typeは “application/json” から始まる必要があります。

入力データのJSONでの表現方法については *JSON上でのデータの表現* を参照してください。

リクエストパラメータ

入力データの情報をクエリパラメータ、application/x-www-form-urlencoded 形式、または、multipart/form-data形式で表現します。
入力データのパラメータ名をリクエストパラメータ名、パラメータの値を、リクエストパラメータ値として表現します。

型IDが “string” である “input1” と、型IDが “integer” である “input2” を入力データに持つ場合、リクエストパラメータは以下のように表現します。

```
input1=string&input2=123
```

オブジェクト型のプロパティは、 ”.” （ドット）区切りで表現します。
型IDが “object” であるinput1があり、そのプロパティとして 型IDが “string” であるstrと、型IDが “integer” であるintを入力データに持つ場合、リクエストパラメータは以下のように表現します。

```
input1.str=string1&input1.int=1
```

配列型の表現は、同名のパラメータ名を複数指定することで行います。
型IDが “object” でかつ、配列であるinput1があり、そのプロパティとして 型IDが “string” であるstrと、型IDが “integer” であるintを入力データに持つ場合、リクエストパラメータは以下のように表現します。

```
input1.str=string1&input1.int=1&input1.str=string2&input1.int=2
```

制約として、以下の条件に一致する入力データを持つロジックフローのパラメータは構築できません。

- 型ID “object” が配列型であり、かつ、そのプロパティ（または内包するプロパティ）に配列型が存在する。

また、配列型の型ID “object” のプロパティは、null値を表現することはできません。（指し示す要素が不明となるため）
これにより、空文字のパラメータを指定する必要がありますが型ID により、空文字を指定することでエラーとなる型が存在するため注意してください。

各型IDでのリクエストパラメータの表現は以下の通りです。

型ID	説明
string	文字列をそのまま指定します。
boolean	true/falseで表現します。
byte	整数形式で表現します。
character	整数形式で表現します。
short	整数形式で表現します。
integer	整数形式で表現します。
long	整数形式で表現します。
float	数値を指定します。
double	数値を指定します。
bigdecimal	数値を指定します。

biginteger	整数形式で表現します。
locale	ロケールIDを指定します。
timezone	タイムゾーンIDを指定します。
calendar	ISO 8601の拡張形式で指定します。
date	ISO 8601の拡張形式で指定します。
imdatetime	ISO 8601の拡張形式で指定します。
imduration	対応していません。
sqldate	ISO 8601の拡張形式で指定します。
sqltimestamp	ISO 8601の拡張形式で指定します。
binary	アップロードするファイルを指定します。 multipart/form-data 形式の場合のみ利用可能です。 ファイルを binary型にした場合はファイル名を取得する事はできません。
storage	アップロードするファイルを指定します。 multipart/form-data 形式の場合のみ利用可能です。 アップロードされたファイルは SessionScopeStorage へ保存されフローへ受け渡されます。
map	対応していません。
any	対応していません。

ロジックフローの実行

フロールーティングに指定されている、フロー定義IDとフローバージョンから実行するロジックフローを決定し、ロジックフローを実行します。
フローバージョンは、存在するバージョンまたは最新のバージョン（-1）を指定可能です。

ロジックフローの出力データの返却

実行したロジックフローの出力データは以下の形式で返却できます。

- *JSONに変換して返却*
- *テキストとして返却*
- *HTMLとして返却*
- *XMLとして返却*
- *JSONとして返却*
- *任意のContent-Typeで返却*
- *ファイルダウンロード*
- *ファイルをインラインで返却*
- *ファイルをバイナリで返却*

JSONに変換して返却

実行したロジックフローの出力データをJSON形式に変換して出力します。
出力データに伴うJSONの形式については *JSON上でのデータの表現* を参照してください。

テキストとして返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティの値をテキストとして返却します。
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
 ┗ body <string> or <storage>
```

HTMLとして返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティの値を HTML として返却します。
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┗ body <string> or <storage>
```

XMLとして返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティの値を XML として返却します。
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┗ body <string> or <storage>
```

JSONとして返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティの値を JSON として返却します。
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┗ body <string> or <storage>
```

任意のContent-Typeで返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティの値を指定された Content-Type で返却します。
Content-Type は出力データの Content-Type プロパティかロジックフロールーティング情報のレスポンスヘッダに指定します。
（どちらにも指定されていない場合は Content-Type は application/octet-stream で返却されます。）
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┣ body <string> or <storage>
  ┗ Content-Type <string>
```

ファイルダウンロード

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティのファイルを添付ファイルとして返却します。
bodyプロパティに指定するファイルのContent-Typeは、出力データの Content-Type プロパティかロジックフロールーティング情報のレスポンスヘッダに指定します。
（どちらにも指定されていない場合は body に指定されたファイルの拡張子から自動判別を行います。）
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┣ body <storage>
  ┗ Content-Type <string>
```

ファイルをインラインで返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティのファイルをインライン表示を行うファイルとして返却します。
bodyプロパティに指定するファイルのContent-Typeは、出力データの Content-Type プロパティかロジックフロールーティング情報のレスポンスヘッダに指定します。
（どちらにも指定されていない場合は body に指定されたファイルの拡張子から自動判別を行います。）
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
  ┣ body <storage>
  ┗ Content-Type <string>
```

ファイルをバイナリで返却

実行したロジックフローの出力データに含まれる body プロパティのファイルの内容をバイナリで返却します。
bodyプロパティに指定するファイルのContent-Typeは、出力データの Content-Type プロパティかロジックフロールーティング情報のレスポンスヘッダに指定します。
（どちらにも指定されていない場合は body に指定されたファイルの拡張子から自動判別を行います。）
出力データは以下の形式になっている必要があります。

```
output <object>
 ┣ body <storage>
 ┗ Content-Type <string>
```

REST APIのセキュリティ

Basic認証を行うことで、特定のユーザにてREST APIの実行を行うことが可能です。
SSL/TSLを利用しない場合、REST APIのリクエスト・レスポンスは平文で行われます。このため、SSL/TSL接続を利用してREST APIを実行することを推奨します。

バーチャルテナントによる複数テナントにおけるREST APIの実行

バーチャルテナントによる複数テナント環境に対してREST APIを実行する場合は、サーバがリクエスト情報を利用したテナント自動解決機能 を利用しているか否かで、テナントの確定方法が異なります。
対象を環境にあわせてリクエストを送信してください。

リクエスト情報を利用したテナント自動解決機能を利用している場合

REST APIを実行するリクエストに、リクエスト情報を利用したテナント自動解決機能が要求するテナント情報を含めてください。
例えば、URLのサブドメインを利用してテナントの自動解決を行っている場合、REST APIを実行するリクエストのURLを対象のテナントを指す値としてください。

リクエスト情報を利用したテナント自動解決機能を利用していない場合

「*認証方式による認証*」が「*IMAuthentication*」である場合は、あらかじめ対象のテナントに対してログインしたセッション上でREST APIを実行する必要があります。

「*認証方式による認証*」が「*Basic*」である場合は、Basic認証のユーザ名にテナントを指定する必要があります
Basic認証におけるテナントの指定方法については「*Basic*」を参照してください。

エラー発生時のレスポンス

REST API実行に伴い何らかのエラーが発生した場合、レスポンスとして200番代以外のHTTPステータスコードがエラーレスポンスとして返ります。
エラーレスポンスは、一部のエラーを除き以下の `application/json` 形式で返ります。

```
{
  "error" : true,
  "errorMessage" : "message"
}
```

発生するステータスコードは以下の通りです。

> **コラム**
> セッション・タイムアウトによるエラーレスポンス等、 `application/json` 以外の形式でレスポンスが返ることがあります。

> **コラム**
> 同じステータスコードでもエラーの原因が異なる場合があります。

ステータスコード	説明
400	▪ リクエストでポストしたフローの入力データの形式が不正である場合。
401	▪ 未認証では利用できないREST APIに対してリクエストを発行した場合。
403	▪ セキュアトークンによる整合性チェックで有効ではないと見なされた場合。 ▪ 現在認証されているユーザではREST APIを実行する権限が無い場合。
404	▪ リクエスト対象のURLを指し示すフロールーティングが存在しない場合。
500	▪ フロー実行中にノード「エラー終了」に到達した場合。 ▪ その他、フロー実行時にエラーが発生した場合。

Swagger出力

ロジックフローのREST APIの仕様をSwagger形式で出力可能です。
Swaggerについての詳細は https://github.com/swagger-api/swagger-spec を参照してください。

出力を行うためのURLは以下の通りです。

`<SCHEME>://<HOST>(:<PORT>)/<CONTEXT_PATH>/all-api-docs`

すべてのREST APIの仕様を出力します。

`<SCHEME>://<HOST>(:<PORT>)/<CONTEXT_PATH>/api-docs/${category-id}`

ロジックフローに指定されているカテゴリを`${category-id}`に指定することでそのカテゴリを持つロジックフローのREST APIの仕様を出力します。

> **コラム**
> 「ルーティング定義一覧」画面から、この機能を利用したREST APIの仕様の閲覧が可能です。

JSON上でのデータの表現

型ID	Jsonでの表現	説明
string	String	
boolean	Boolean	
byte	Number	
character	Number	
short	Number	
integer	Number	
long	Number	
float	Number	
double	Number	
bigdecimal	String	数値表現で指定します。
biginteger	String	整数表現で指定します。
locale	String	ロケールIDを指定します。
timezone	String	タイムゾーンIDを指定します。
calendar	String	ISO 8601の拡張形式で指定します。
date	String	ISO 8601の拡張形式で指定します。

imdatetime	String	ISO 8601の拡張形式で指定します。
imduration	（非対応）	JSON形式での表現に対応していません。
sqldate	String	ISO 8601の拡張形式で指定します。
sqltimestamp	String	ISO 8601の拡張形式で指定します。
binary	（非対応）	JSON形式での表現に対応していません。
storage	（非対応）	JSON形式での表現に対応していません。
map	Object	
object	Object	
any	（非対応）	JSON形式での表現に対応していません。

コラム
「ロジックフロー定義編集」画面で選択不可能な型も含まれています。

フロートリガ

フロートリガの構成要素と、動作仕様について説明します。

項目

- 概要
- 発生条件
- トリガの状態 （有効 / 無効）
- データマッピング

概要

フロートリガでは、以下の情報を保持しています。

- フロー定義ID
- フローバージョン
- 発生条件
- トリガの状態 （有効 / 無効）
- データマッピング

コラム
フロートリガ情報は、紐づくフロー定義とそのバージョンが削除された場合に一緒に削除されます。

フロートリガは設定された発生条件の操作が行われた際にロジックフローを実行するための設定です。

発生条件

ロジックフローを実行する契機となる操作です。

発生条件に指定された操作を行った際に IM-Propagation を利用してデータを受信しロジックフローを実行します。
IM-Propagation の詳細は「IM-Propagation 仕様書」を参照してください。

トリガの状態 （有効 / 無効）

フロートリガは必要に応じてトリガの状態を変更することができます。
トリガの状態を「無効」にすることで、発生条件に指定した操作が行われてもロジックフローを実行しないようにすることができます。

データマッピング

実行するロジックフローの入力値として受け渡すデータのマッピング設定情報です。
マッピング設定を元にフロートリガが受信したデータからロジックフローに受け渡す入力値を生成します。

マッピングルールについては、「マッピング」を参照してください。

> **コラム**
>
> フロートリガにおけるマッピングのデバッグ機能では、使用可能な入出力値を決定するために、ロジックフローと発生条件を使用します。

インポート・エクスポート

IM-LogicDesignerのインポート・エクスポート機能では、JSON形式でロジックフロー/フロールーティング/ユーザ定義タスクのインポート・エクスポートを行います。

- インポート・エクスポートで扱う情報
- ファイルフォーマット
- インポート・エクスポート時の動作仕様

インポート・エクスポートで扱う情報

インポート・エクスポートでは以下の情報を扱います。

- **フローカテゴリ**
  - フローカテゴリ名（国際化情報）を含みます。
- **フロー定義**
  - 各フロー定義の持つバージョニング情報全てを含みます。
  - ロジックフロー名（国際化情報）を含みます。
- **ユーザ定義カテゴリ**
  - ユーザ定義カテゴリ（国際化情報）を含みます。
- **ユーザ定義**
  - 各ユーザ定義のもつバージョニング情報全てを含みます。
  - ユーザ定義名（国際化情報）を含みます。
  - ユーザ定義に紐付けられたアイコン情報を含みます。
- **フロールーティング**
  - フロールーティングに設定された認可リソースを含みます。
- **トリガ定義**
  - トリガと関連付けられた関連情報を含みます。

ファイルフォーマット

IM-LogicDesignerのエクスポート機能では、以下のJSONファイルをアーカイブ（zip）して出力します。

- ユーザ定義
  - ファイル名: `user_definition.json`
  - アイコン情報 （ユーザ定義にアイコンが紐付けられている場合のみ出力されます。）
    - デザイナ表示アイコン
      - ファイル名: `icon_data/designer/<icon_id>`
    - パレット表示アイコン
      - ファイル名: `icon_data/palette/<icon_id>`
- フロー定義
  - ファイル名: `flow_definition.json`
  - フロー図
    - ファイル名: `flow_diagram/<flow_id>-<version>.png`

- フロールーティング定義
  - ファイル名: flow_route.json

インポート・エクスポート時の動作仕様

IM-LogicDesignerのインポート・エクスポート機能の動作仕様は、以下の通りです。

エクスポート

エクスポート機能は、「*ファイルフォーマット*」に記載したフォーマットで、全てのIM-LogicDesignerに関するデータを出力します。

論理削除されたバージョンのエクスポート

ロジックフロー/ユーザ定義タスクのバージョン情報をエクスポートする場合、論理削除状態のバージョン情報は除いてエクスポートされます。

インポート

インポート機能は、「*ファイルフォーマット*」に記載したフォーマットでアーカイブされたZIPファイルをもとに、アーカイブファイルに含まれる全てのIM-LogicDesignerに関するデータを取り込みます。

インポートの方法には以下の２つの種別が提供されます。

- 新規

  インポート対象の情報が存在しない場合のみインポートを行います。インポート先に既に同一IDの情報が存在する場合には処理をスキップします。

- 更新

  全ての情報のインポートを行います。インポート先に既に同一IDの情報が存在する場合は上書き更新を行います。
  上書かれた情報を元に戻すことはできませんので注意してください。

インポート種別：新規の場合の動作

インポート種別が新規の場合には以下のようにインポート処理が行われます。

- インポートが失敗した場合

  インポートが失敗した場合は、それまで行われたすべてのインポート処理がロールバックされます。

- インポート先に同一IDのカテゴリが存在する場合

  フローカテゴリ/ユーザ定義カテゴリのインポートにおいて、既に同一IDのカテゴリがインポート先に存在する場合、該当IDのフローカテゴリ・ユーザ定義カテゴリに対するインポート処理はスキップされます。

- インポート先に同一IDのデータが存在する場合

  ロジックフロー/ユーザ定義タスクのインポートにおいて、既に同一IDのデータがインポート先に存在する場合、インポート先のバージョンよりも新しいバージョンのみインポートされます。

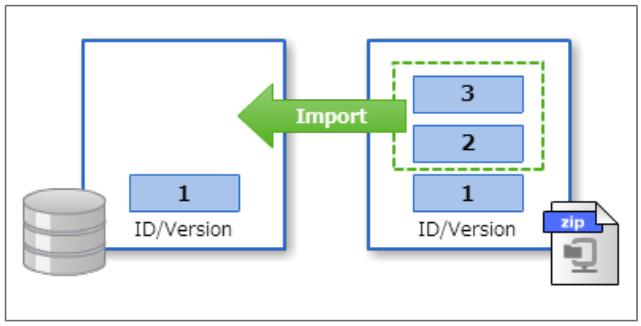


図: 新規バージョンのみインポート

インポート先のバージョンより新しいバージョンがインポート元に存在しない場合、インポート処理は行われません

これは、インポート先に論理削除状態のバージョンがある場合でも同様です。

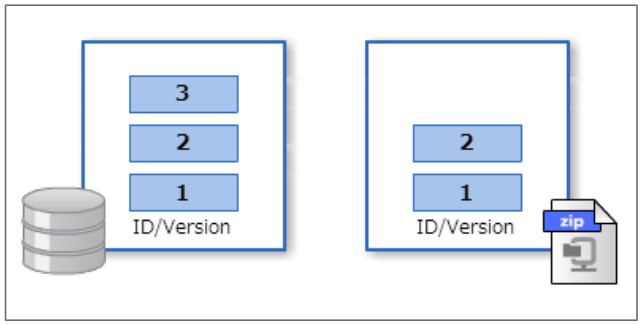


図: インポートが行われない場合

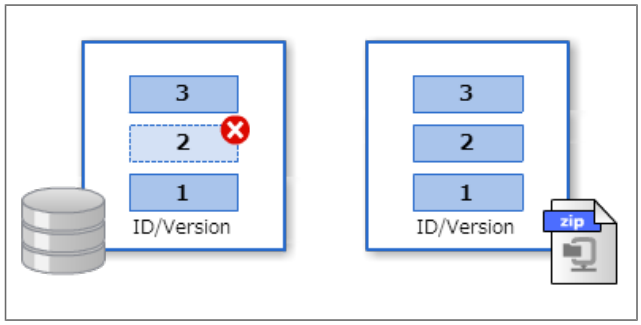


図: インポートが行われない場合（インポート先に論理削除状態のバージョンがある）

インポート元とインポート先のバージョンの比較は、論理削除状態のバージョンも含まれます。
以下の例では、論理削除状態のバージョン2よりも新しいバージョン3のみインポートされます。

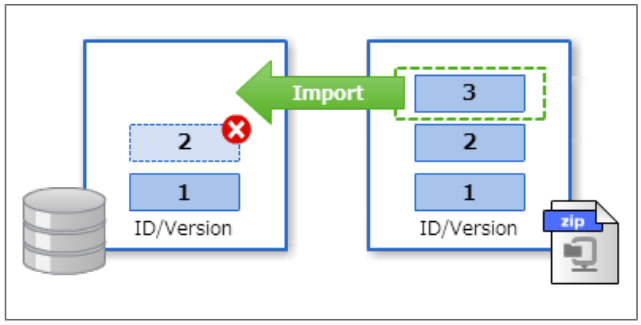


図: 論理削除状態のバージョンも含めて、新規バージョンのみインポート

インポート元のバージョンが一部抜けている場合、バージョン番号は維持されたままインポートされます。
以下は、インポート元にはバージョン1と3が定義されている場合の例です。
この場合、インポート先にはバージョン3のデータが作成されます（バージョン2にならないことに注意してください）。

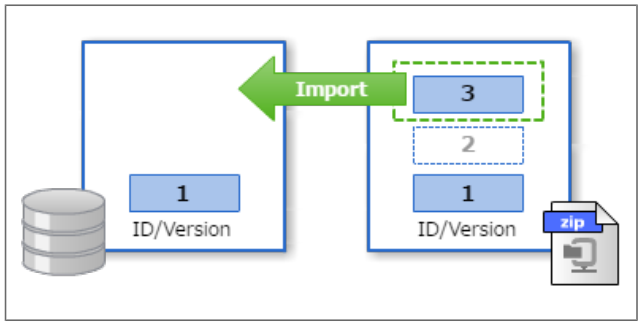


図: 一部バージョンが含まれないデータのインポート処理

インポート種別：更新の場合の動作

インポート種別が更新の場合には以下のようにインポート処理が行われます。

- インポートが失敗した場合

  インポートが失敗した場合は、それまで行われたすべてのインポート処理がロールバックされます。

- インポート先に同一IDのカテゴリが存在する場合

  フローカテゴリ/ユーザ定義カテゴリのインポートにおいて、既に同一IDのカテゴリがインポート先に存在する場合、該当IDのフローカテゴリ・ユーザ定義カテゴリを上書き更新します。

- インポート先に同一IDのデータが存在する場合

  ロジックフロー/ユーザ定義タスクのインポートにおいて、既に同一IDのデータがインポート先に存在する場合、すべてのバージョンを上書き更新します。

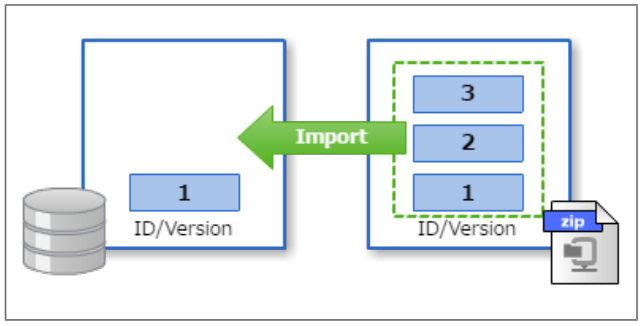


図: すべてのバージョンをインポート

インポート元のバージョンが一部抜けている場合、バージョン番号は維持されたままインポートされます。
以下は、インポート元にはバージョン1と3が定義されている場合の例です。
この場合、インポート先のバージョン2のデータはそのまま残ります。

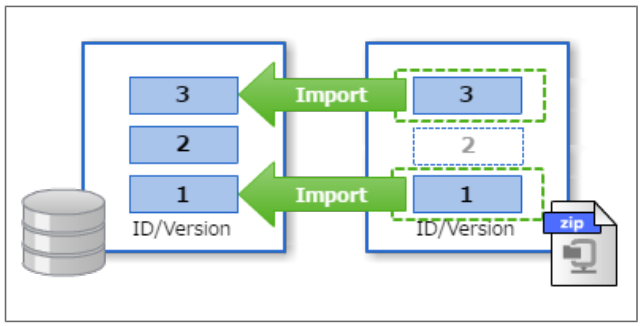


図: 一部バージョンが含まれないデータのインポート処理

ロギング

IM-LogicDesignerのロギング機能は、ロジックフローの実行ログをデータベースへ出力します。
これにより、特定のロジックフローに関する統計情報の可視化を行うといった事が可能です。

- ロギング機能の有効化
- ログ出力先のテーブル構成
- 利用時の注意点

ロギング機能の有効化

ロギング機能はデフォルトで有効化されていません。
ロギング機能を利用するにはシステムプロパティを指定します。
システムプロパティの設定方法はアプリケーションサーバ毎に異なります。

```
-Dlogicdesigner.logging=true
```

コラム

Resinにおけるシステムプロパティの指定方法

Resinにおけるシステムプロパティの指定は、<${resin.home}/conf/resin.properties> ファイルに設定内容を追記します。
<resin.properties> ファイル内に jvm_args 項目がある為、その項目に追記を行ってください。

ログ出力先のテーブル構成

IM-LogicDesignerのロギング機能では、 **imld_log** テーブルに対して実行時のログが出力されます。

imld_log

カラム名	データ型	説明
execution_id	文字列 （主キー）	ロジックフローの実行単位毎に採番される一意となるIDです。
execution_no	数値 （主キー）	ロジックフロー内のイベント毎に採番される0から始まる連番です。
event_type	文字列 （NOT NULL）	BEGIN_FLOW: フロー開始 END_FLOW: フロー終了 ERROR_FLOW: フローエラー終了 BEGIN_TASK: タスク開始 END_TASK: タスク終了 ERROR_TASK: タスク実行失敗 BEGIN_ERROR_FLOW: エラー処理フロー開始 END_ERROR_FLOW: エラー処理フロー終了
flow_id	文字列 （NOT NULL）	フローID
flow_version	数値	フローバージョン
thread	文字列	実行Javaスレッド名
executor	文字列	実行ユーザコード
parent_flow_id	文字列	親フローID
execute_id	文字列	実行ID （配置されたタスクに割り当てられたID）
task_id	文字列	タスクID （特定のタスクの種類に関して絞り込む際に利用します）
task_version	数値	タスクバージョン （ユーザ定義の場合のみ）
task_type	文字列	タスク種別 （ユーザ定義の判別に利用します）
duration	数値	処理時間 （ミリ秒）
execution_time	日時	実行日時
error_message	文字列	エラーメッセージ （メッセージの文字長により切り捨てられる場合があります）
reserved01	文字列	予約項目01 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved02	文字列	予約項目02 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved03	文字列	予約項目03 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved04	文字列	予約項目04 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved05	文字列	予約項目05 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved06	文字列	予約項目06 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved07	文字列	予約項目07 （タスクにより格納される値が異なります）

カラム名	データ型	説明
reserved08	文字列	予約項目08 （タスクにより格納される値が異なります）
reserved09	文字列	予約項目09 （ タスクにより格納される値が異なります）
create_user_cd	文字列 （NOT NULL）	作成者コード
create_date	日時 （NOT NULL）	作成日時
record_user_cd	文字列 （NOT NULL）	更新者コード
record_date	日時 （NOT NULL）	更新日時

利用時の注意点

上記の imld_log テーブルはインデックスが用意されていません。
特定のカラムを絞り込み条件とする、集計するといったクエリを発行する場合には適切なインデックスを用意してください。

ロジックフローの実行毎に、そのロジックフロー内に配置されているフローの開始、終了、およびタスク数分の開始、終了のレコードが登録されます。
そのため、長期間の運用では大量のレコード数となる場合があります。
適切なタイミングでレコードの削除、退避等を検討ください。

デバッグログ出力管理

ログ出力対象に設定したロジックフローのデバッグログをデータベースに出力します。
出力されたログはデバッグログ一覧画面から閲覧、検索、およびエクスポートできます。

- デバッグログ出力先のテーブル構成
- デバッグログ一覧
- デバッグログ対象の設定
- デバッグログの削除

> **注意**
>
> ロジックフローの実行毎に、そのロジックフロー内に配置されているフローの開始、終了、およびタスク数分の開始、終了のレコードが登録されます。
> そのため、長期間の運用では大量のレコード数となる場合があります。
> 適切なタイミングでログの削除やログ出力対象設定の見直しを検討ください。

デバッグログ出力先のテーブル構成

ログ出力対象に設定したロジックフローの実行毎にデバッグログをデータベースに出力します。
具体的には以下項目がテーブル「imld_debug_log」に保存されます。

imld_debug_log

カラム名	データ型	説明
execution_id	文字列 （主キー）	ロジックフローの実行単位毎に採番される一意となるIDです。
execution_no	数値 （主キー）	ロジックフロー内のイベント毎に採番される0から始まる連番です。
log_level	文字列（NOT NULL）	ログレベルの種類についてはログ仕様書を参照

カラム名	データ型	説明
event_type	文字列 （NOT NULL）	BEGIN_FLOW: フロー開始 END_FLOW: フロー終了 ERROR_FLOW: フローエラー終了 BEGIN_TASK: タスク開始 END_TASK: タスク終了 ERROR_TASK: タスク実行失敗 LOG_TASK: ログ出力タスク BEGIN_ERROR_FLOW: エラー処理フロー開始 END_ERROR_FLOW: エラー処理フロー終了
flow_id	文字列 （NOT NULL）	フローID
flow_version	数値	フローバージョン
thread	文字列	実行Javaスレッド名
executor	文字列	実行ユーザコード
parent_flow_id	文字列	親フローID
execute_id	文字列	実行ID （配置されたタスクに割り当てられたID）
task_id	文字列	タスクID （特定のタスクの種類に関して絞り込む際に利用します）
task_version	数値	タスクバージョン （ユーザ定義の場合のみ）
task_type	文字列	タスク種別 （ユーザ定義の判別に利用します）
execution_time	日時	実行日時
message	文字列	メッセージ （メッセージの文字長により切り捨てられる場合があります）
input	バイナリ	タスクの入力値
output	バイナリ	タスクの出力値
stack_trace	バイナリ	スタックトレース
create_user_cd	文字列 （NOT NULL）	作成者コード
create_date	日時 （NOT NULL）	作成日時
record_user_cd	文字列 （NOT NULL）	更新者コード
record_date	日時 （NOT NULL）	更新日時

タスクの入力値・出力値に特定の型が含まれる場合は下記の通りに変換して保持します。

型	表示形式
binary	“<BINARY>”
storage	“<STORAGE>”
sqlclob	“<SQLCLOB>”

コラム

ロジックフロー定義編集画面でデバッグ実行を行った場合はデバッグログ出力されません。

デバッグログ一覧

デバッグログはデバッグログ一覧画面から閲覧、検索、およびエクスポートできます。
一覧に表示される情報は以下の通りです。

- 実行日時

- ログレベル
- フロー定義ID
- フロー定義名
- フローバージョン
- イベント
- タスクID
- 実行ユーザ

> **コラム**
>
> フロー定義名はフロー定義IDに紐づく最新の名称で表示します。
> 実行ユーザはユーザコードに紐づく最新の名称で表示します。

デバッグログ詳細

デバッグログ一覧画面で表示する項目に加えて、以下の情報を表示します。

項目	説明
入力値	タスクの入力値をJSON形式で表示
出力値	タスクの出力値をJSON形式で表示
メッセージ	ログ出力タスク、またはエラー終了した場合にメッセージを表示
スタックトレース	スタックトレースを表示

デバッグログのエクスポート

デバッグログ一覧画面に表示されているデバッグログをエクスポートします。
一覧でログ検索を行っている場合は検索条件で絞り込まれた結果がエクスポートされます。

> **注意**
>
> 大量のデバッグログをエクスポートする場合、処理に時間がかかることがあります。
> その場合、検索を利用して複数回に分けてエクスポートを行ってください。

デバッグログ対象の設定

ログ出力対象設定画面からロジックフローのログ出力対象設定を有効にできます。

> **コラム**
>
> サブフローを含めてログ出力したい場合、呼び出し元のロジックフローだけでなくサブフローも出力対象に設定してください。

デバッグログの削除

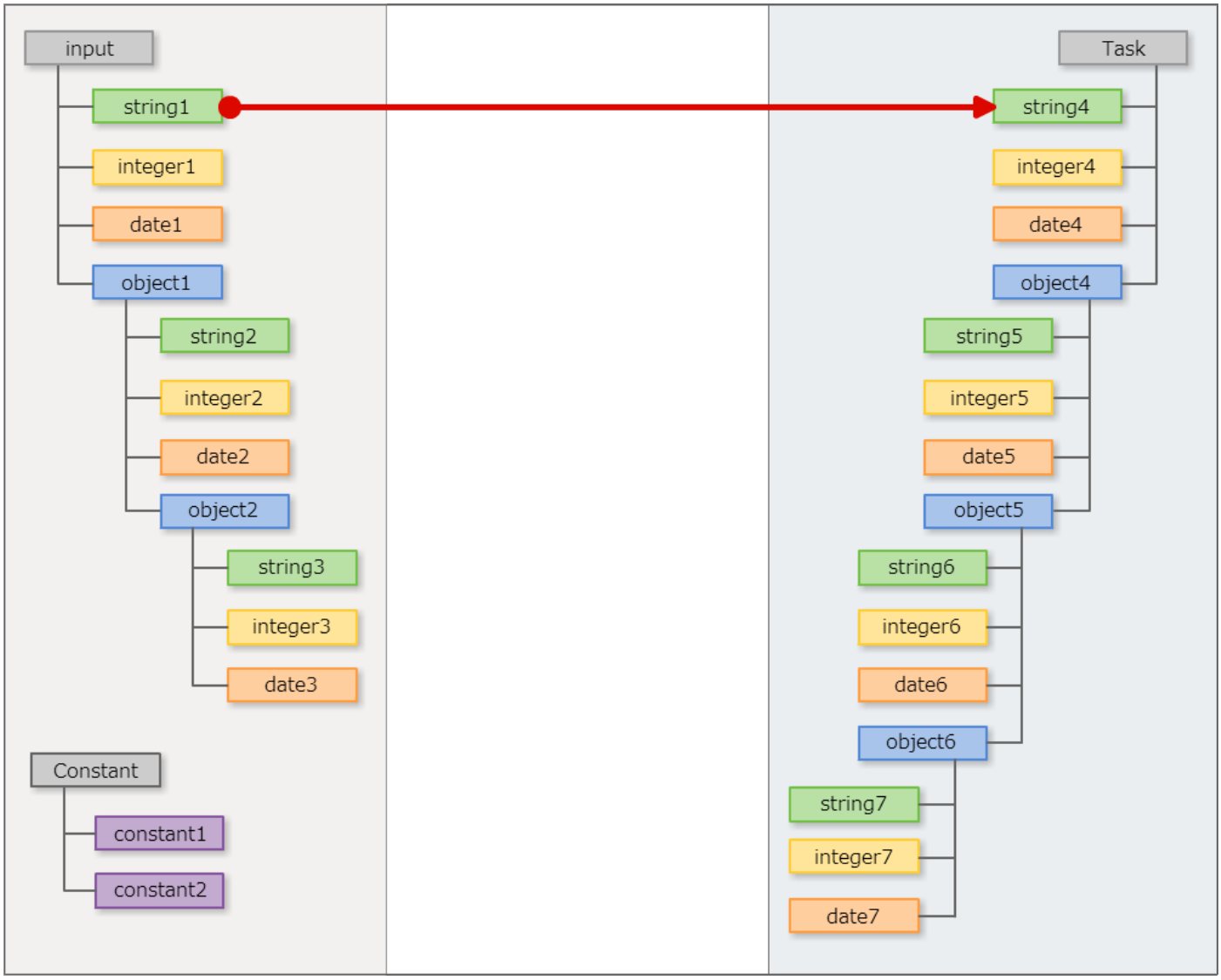
保持日数を超過したログを削除するジョブ機能を利用して、デバッグログを物理削除できます。
ジョブ機能の詳細は「ジョブ・ジョブネット リファレンス」-「デバッグログ削除」を参照してください。

付録

マッピングパターン

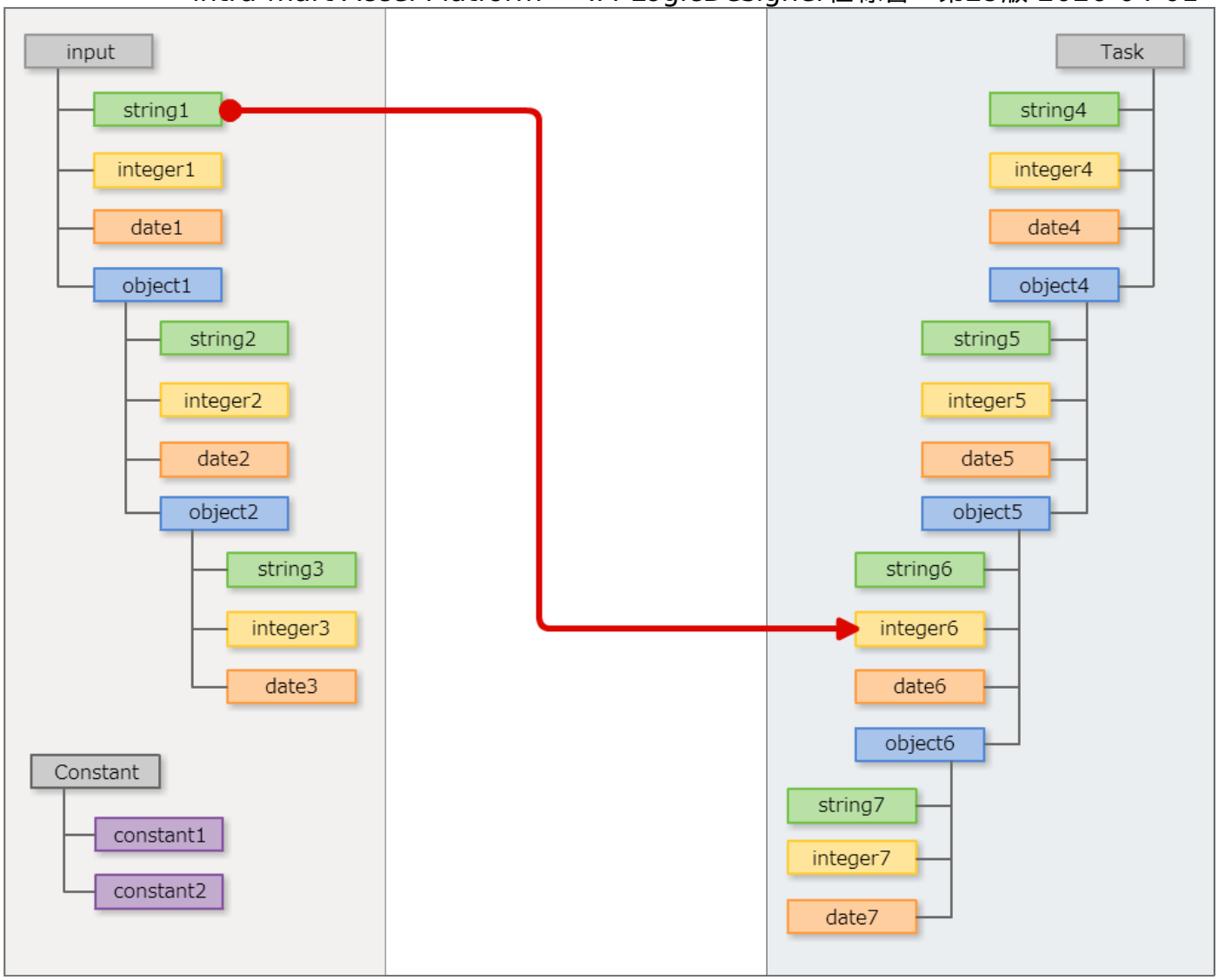
マッピングパターン

シンプルなマッピング



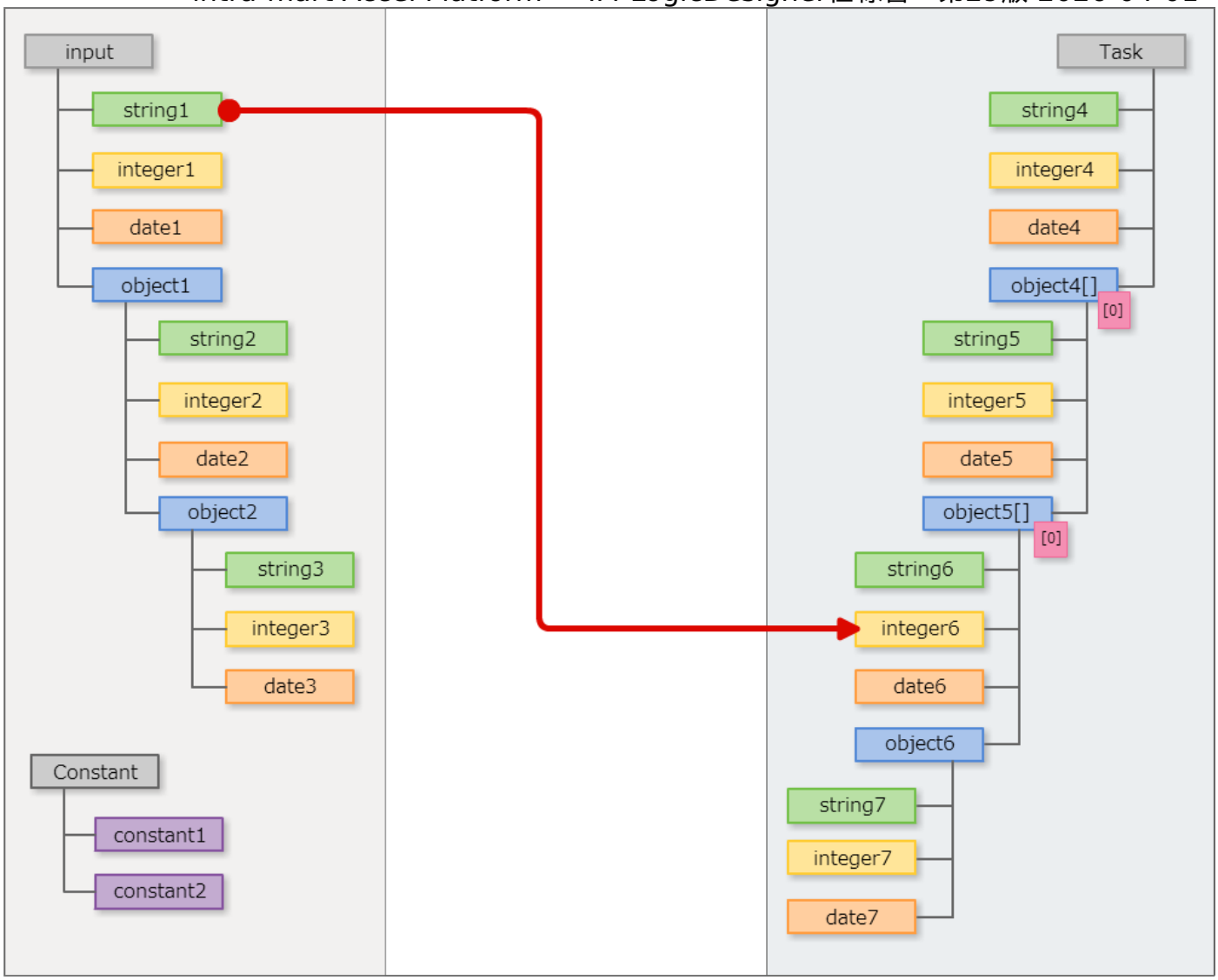
string1からstring4へ値の受け渡しが行われます。

型変換が行われるマッピング



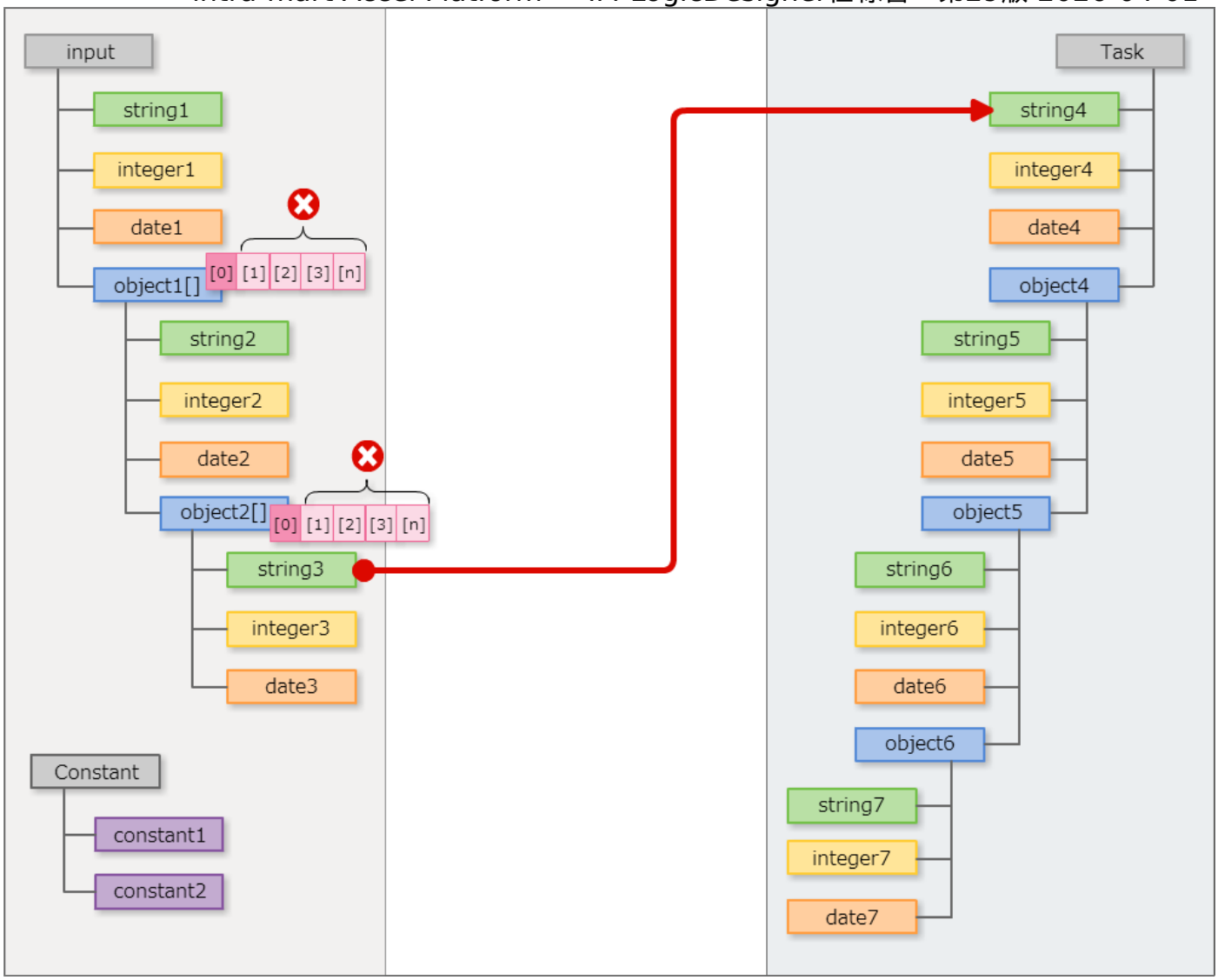
string1からinteger6へ値の受け渡しが行われます。
integer6までの階層として含まれるobject4, object5のインスタンスは自動的に生成されます。

配列に対するマッピング



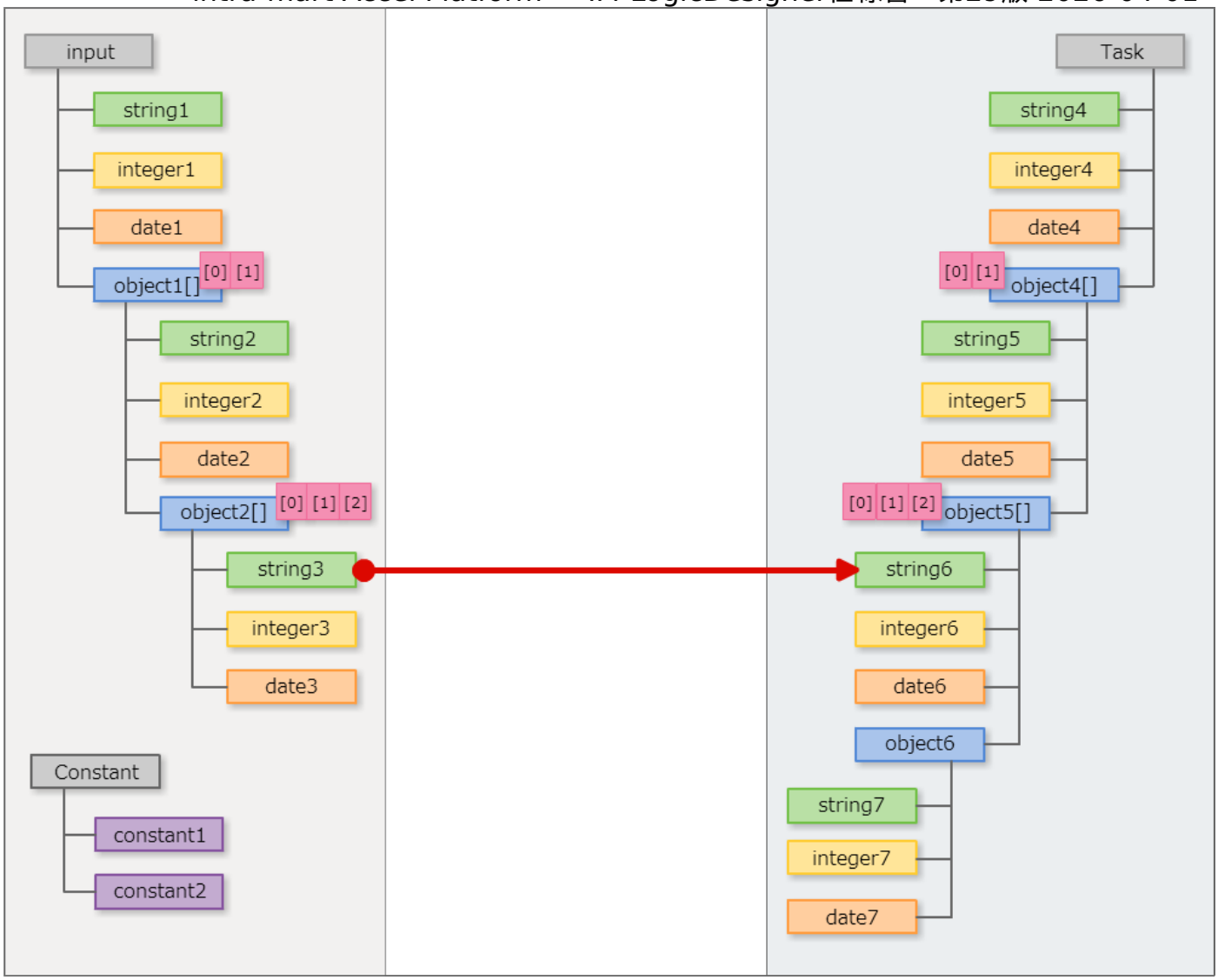
string1からinteger6へ値の受け渡しが行われます。
integer6までの階層として含まれるobject4, object5は配列要素です、これらの配列要素は0番目の要素が自動的に生成されます。

配列からのマッピング



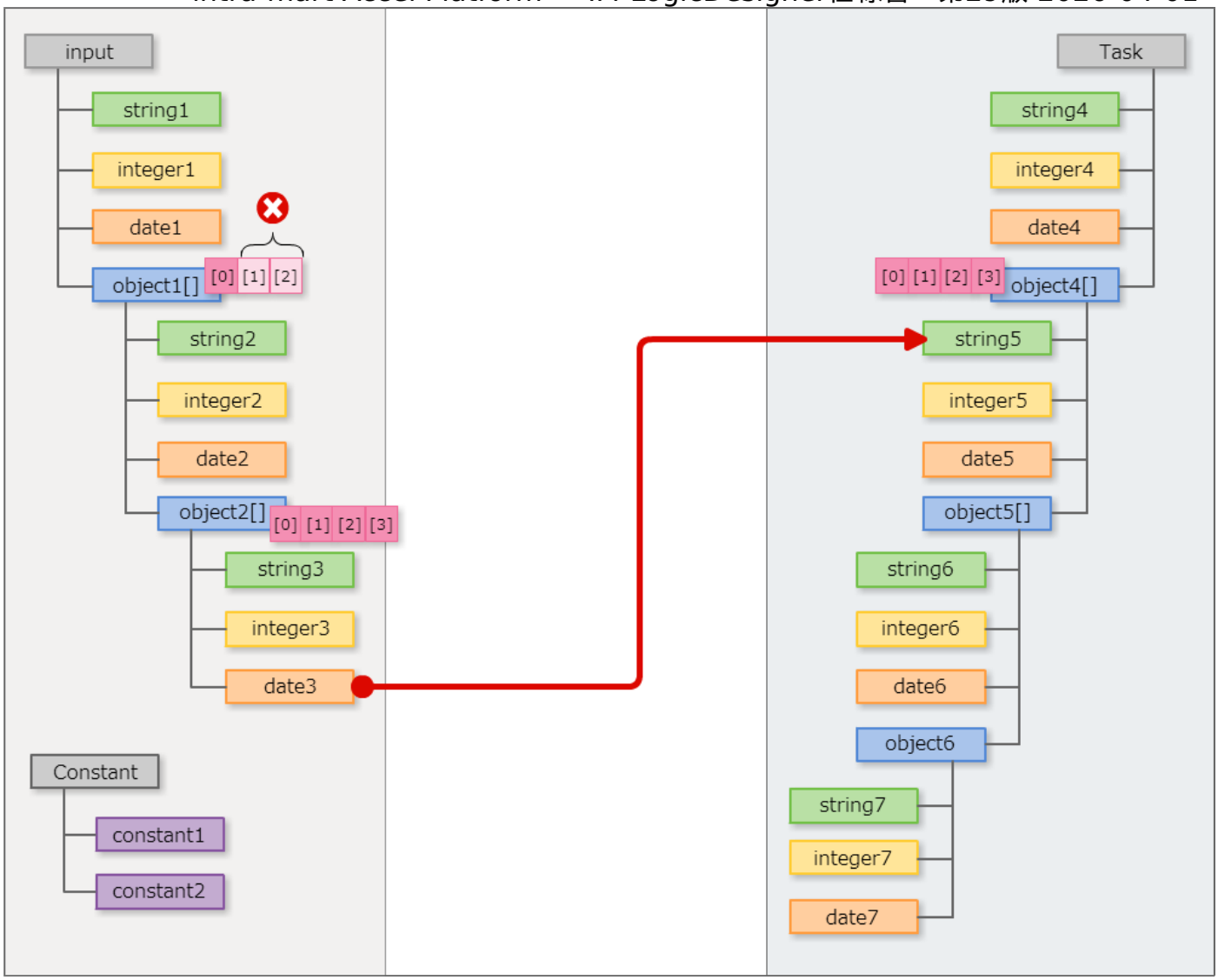
string3からstring4へ値の受け渡しが行われます。
string3までの階層として含まれるobject1, object2は配列要素です、string4は単一の要素であるため、object1, object2は配列要素の0番目の要素が利用されます。

配列から配列へのマッピング



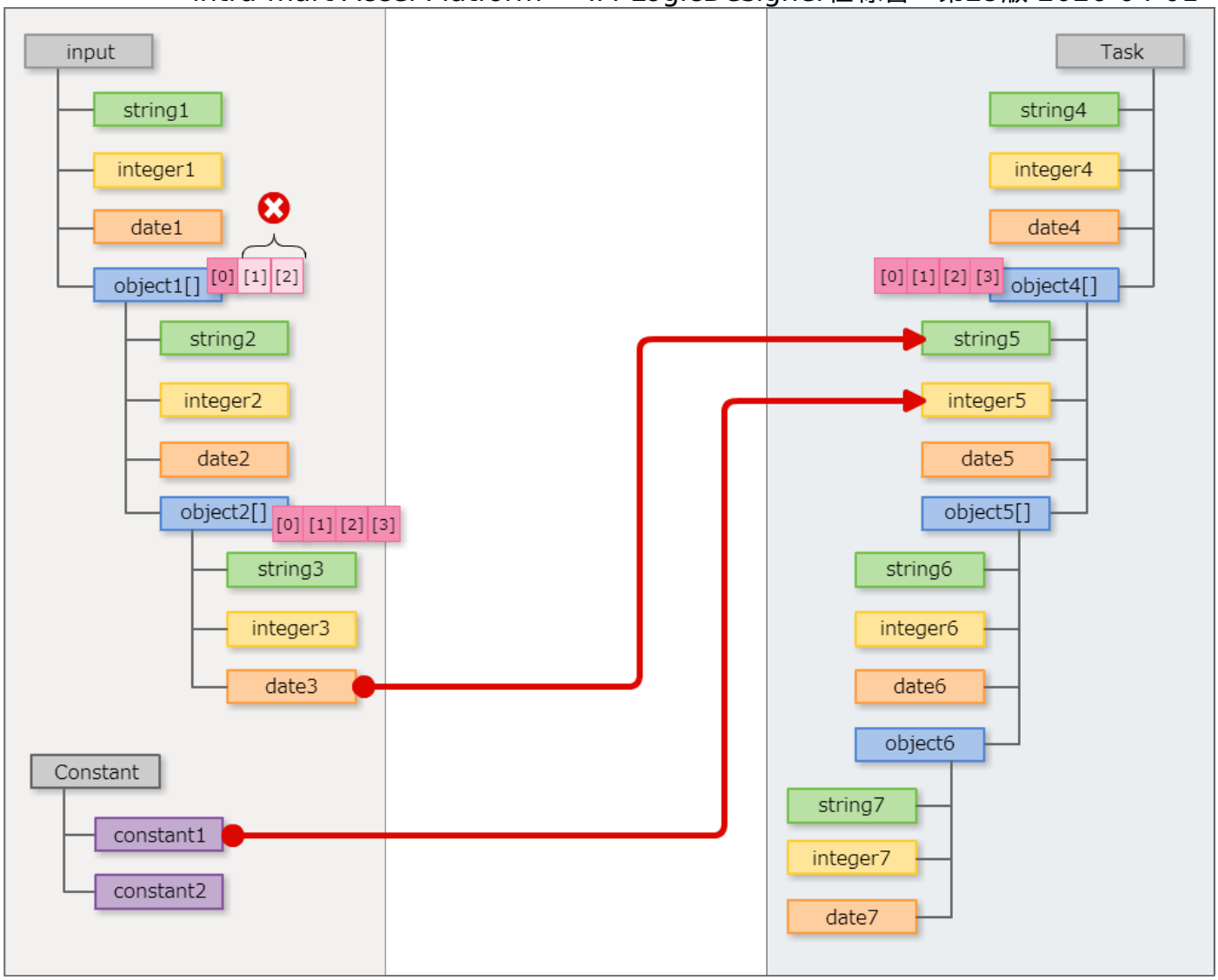
string3からstring6へ値の受け渡しが行われます。
object1, object2と、object4, object5は配列要素です、左右の配列要素の数が一致しているため、それぞれ同じ要素数が作成されます。

配列から配列へのマッピングおよび型変換



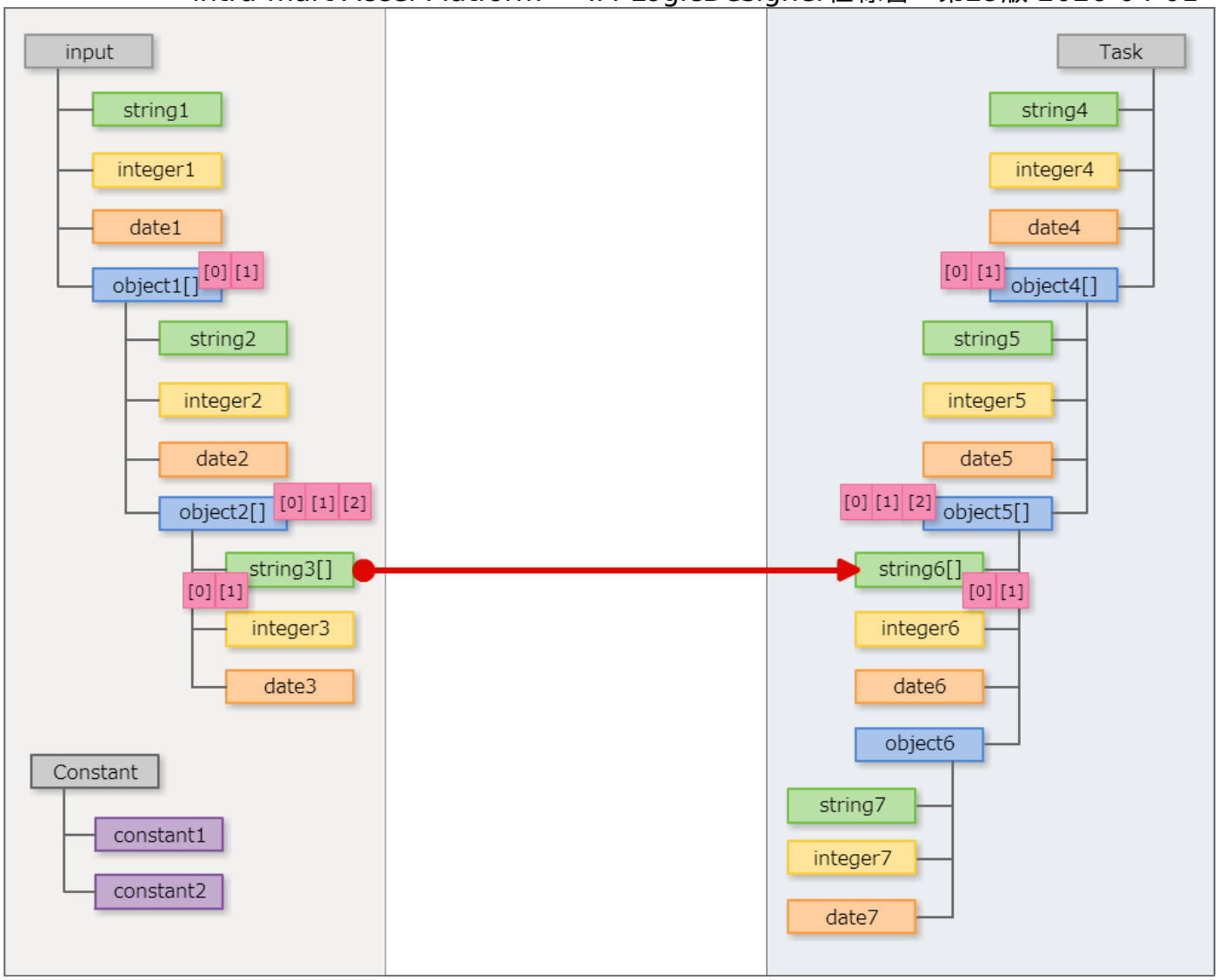
date3からstring5へ値の受け渡しが行われます。
date3とstring5は、データ型が違うため変換が行われます、dateからstringへの変換はISO8601形式の日付フォーマットに変換が行われます。
object1, object2と、object4は配列要素です、左右の配列要素の数が一致していないため、object1は配列要素の0番目の要素が利用されます。

配列から配列へのマッピングおよび、単一のマッピング



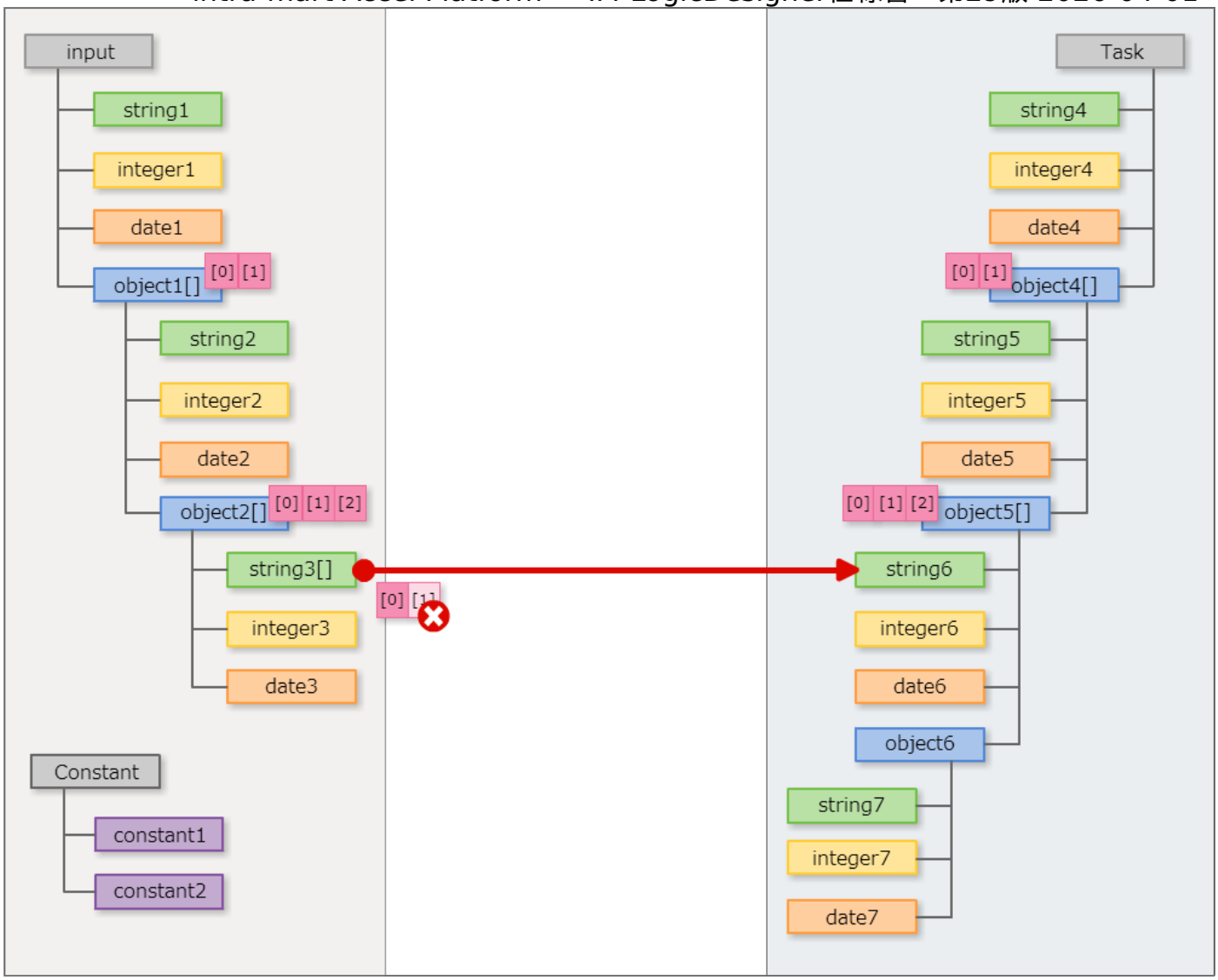
date3からstring5へ値の受け渡しが行われます。
date3とstring5は、データ型が違うため変換が行われます、dateからstringへの変換はISO8601形式の日付フォーマットに変換が行われます。
object1, object2と、object4は配列要素です、左右の配列要素の数が一致していないため、object1は配列要素の0番目の要素が利用されます。
constant1には配列要素が含まれていないため、最後にマッピング処理が動きます。
constant1には配列要素が含まれないため、object4配列に含まれる全てのinteger5に対して値の代入が行われます。

配列から配列へのマッピングおよび、値自体が配列の場合



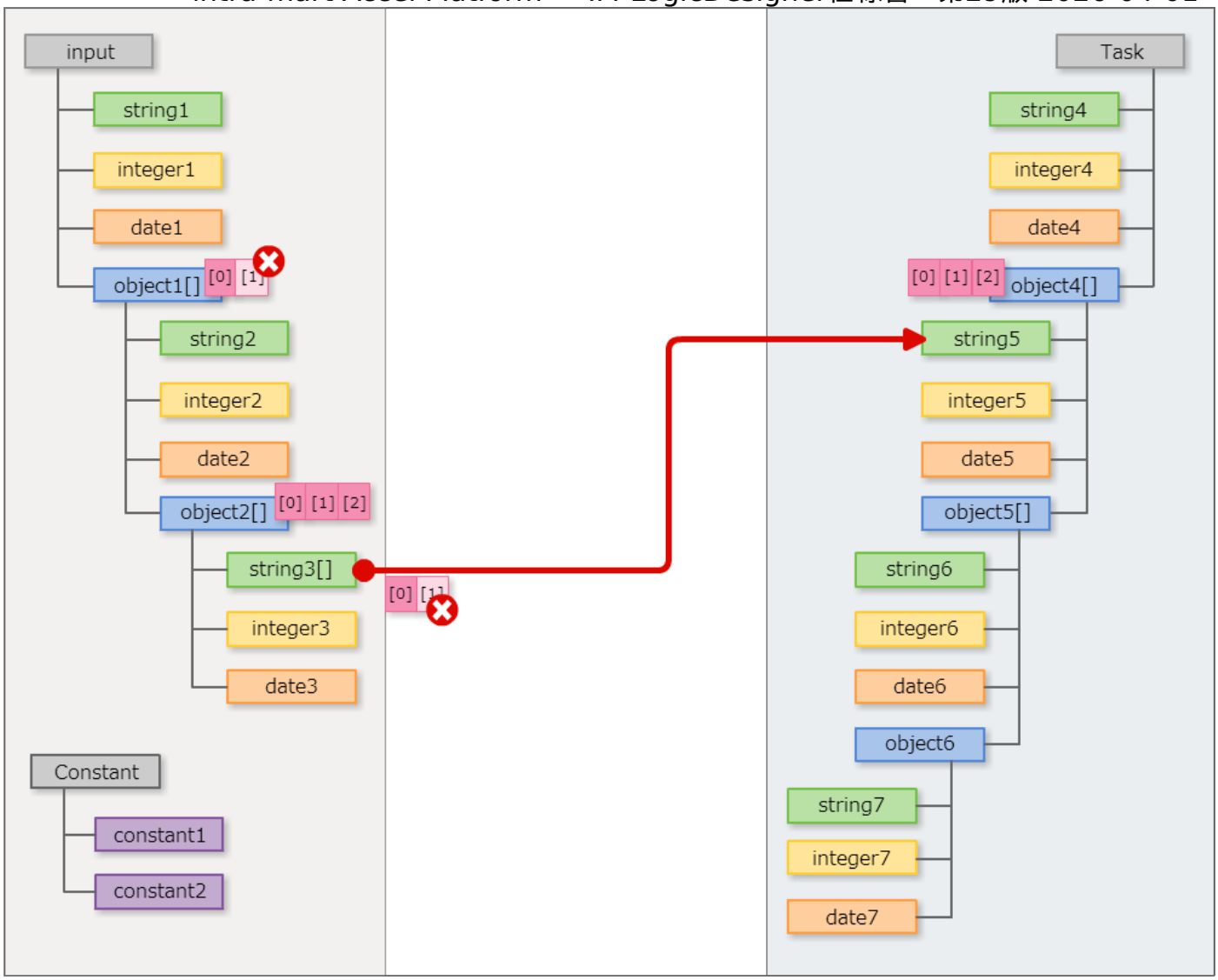
string3からstring6へ値の受け渡しが行われます。
object1, object2と、object4, object5は配列要素です、左右の配列要素の数が一致しているため、それぞれ同じ要素数が作成されます。
string3, string6も同様に配列要素のため、そのまま値の代入が行われます。

配列から配列へのマッピングおよび、配列の値から単一の値へのマッピング



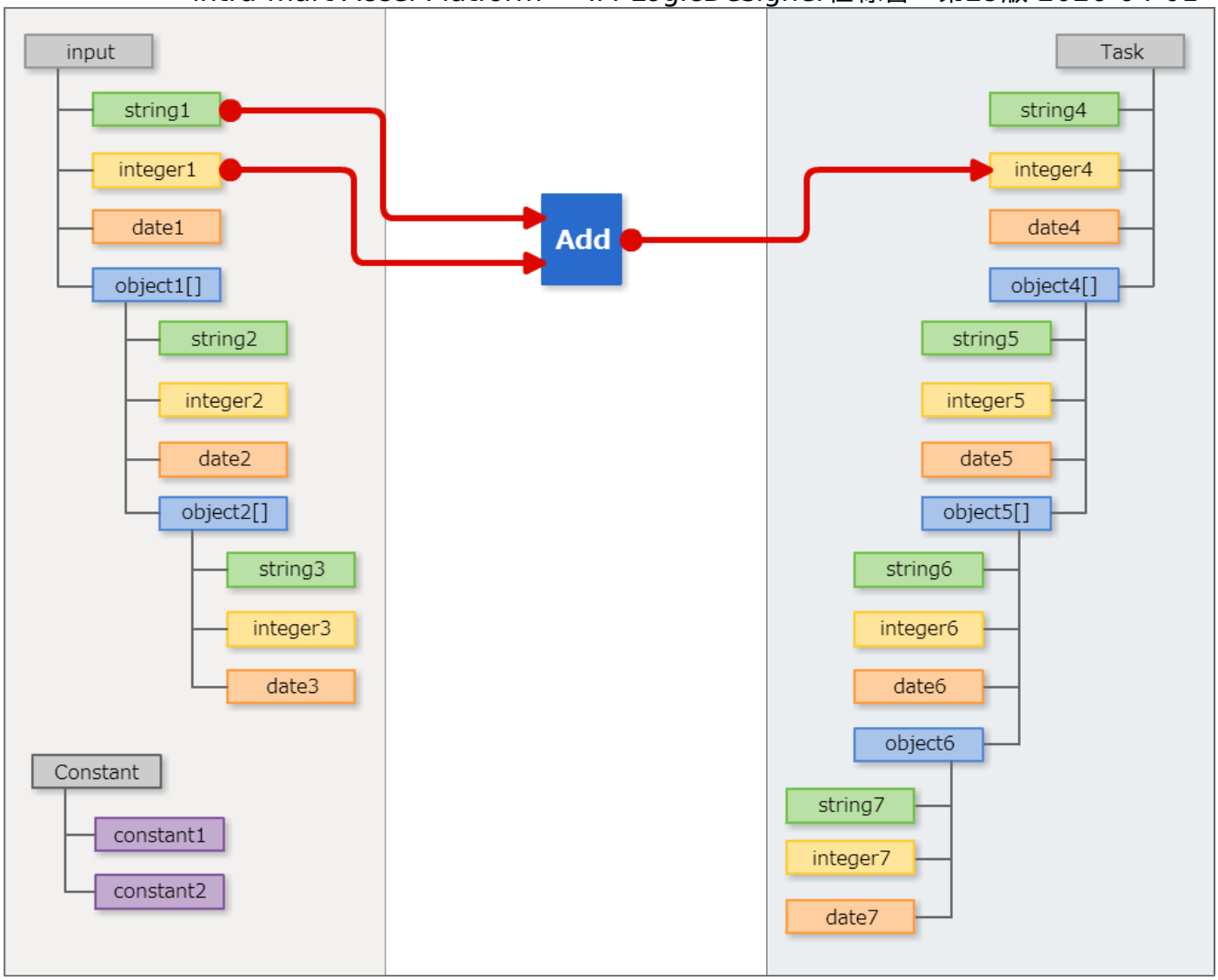
string3からstring6へ値の受け渡しが行われます。
object1, object2と、object4, object5は配列要素です、左右の配列要素の数が一致しているため、それぞれ同じ要素数が作成されます。
string3が配列, string6は単一の値です、そのためstring3の0番目の要素がstring6へ代入されます。

総素数の違う配列のマッピング



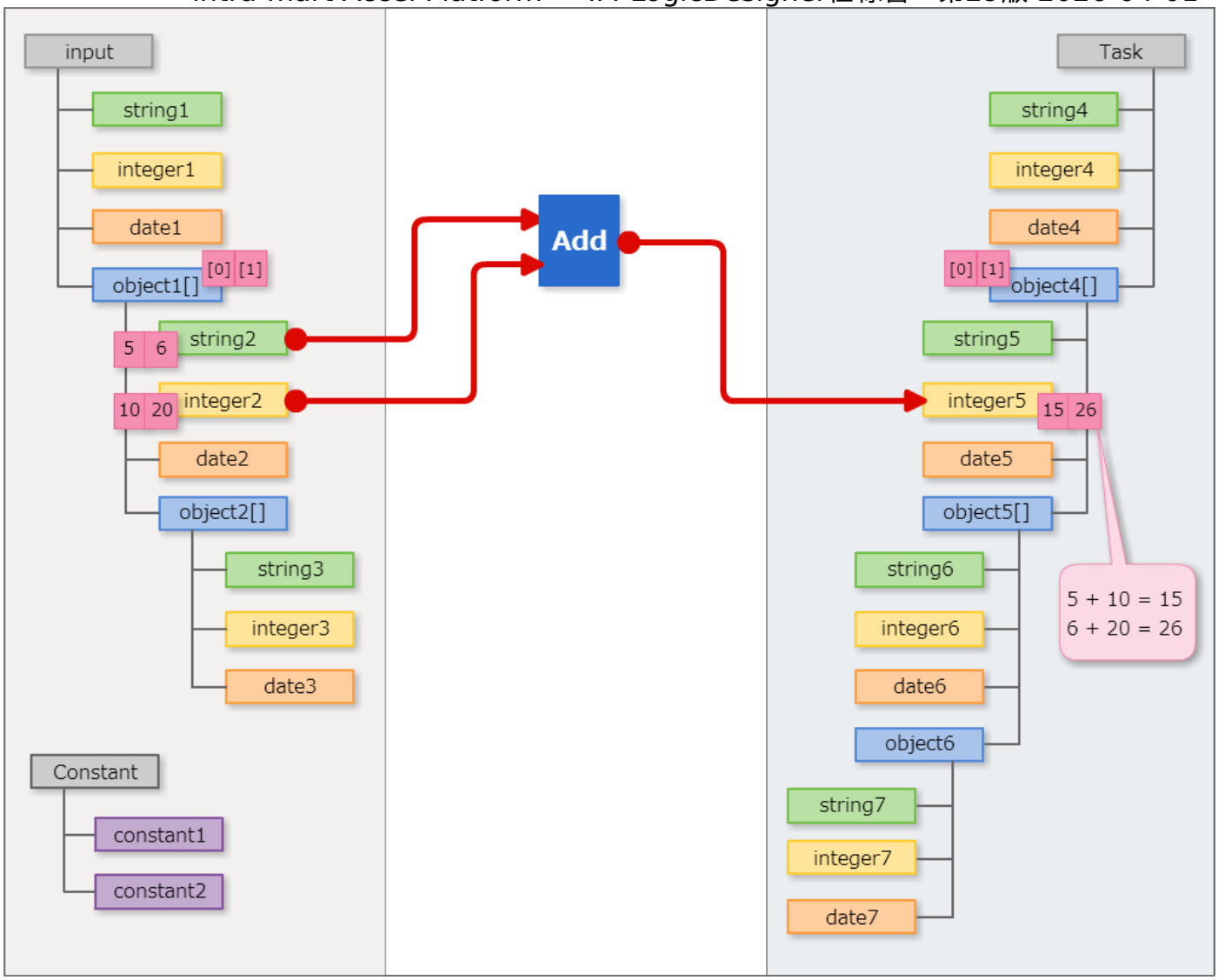
string3からstring5へ値の受け渡しが行われます。
object1, object2と、object4は配列要素です、左右の配列要素の数が一致していないため、object1は0番目の要素が利用されます。
また、string3が配列, string5は単一の値です、そのためstring3の0番目の要素がstring5へ代入されます。

関数を含むマッピング



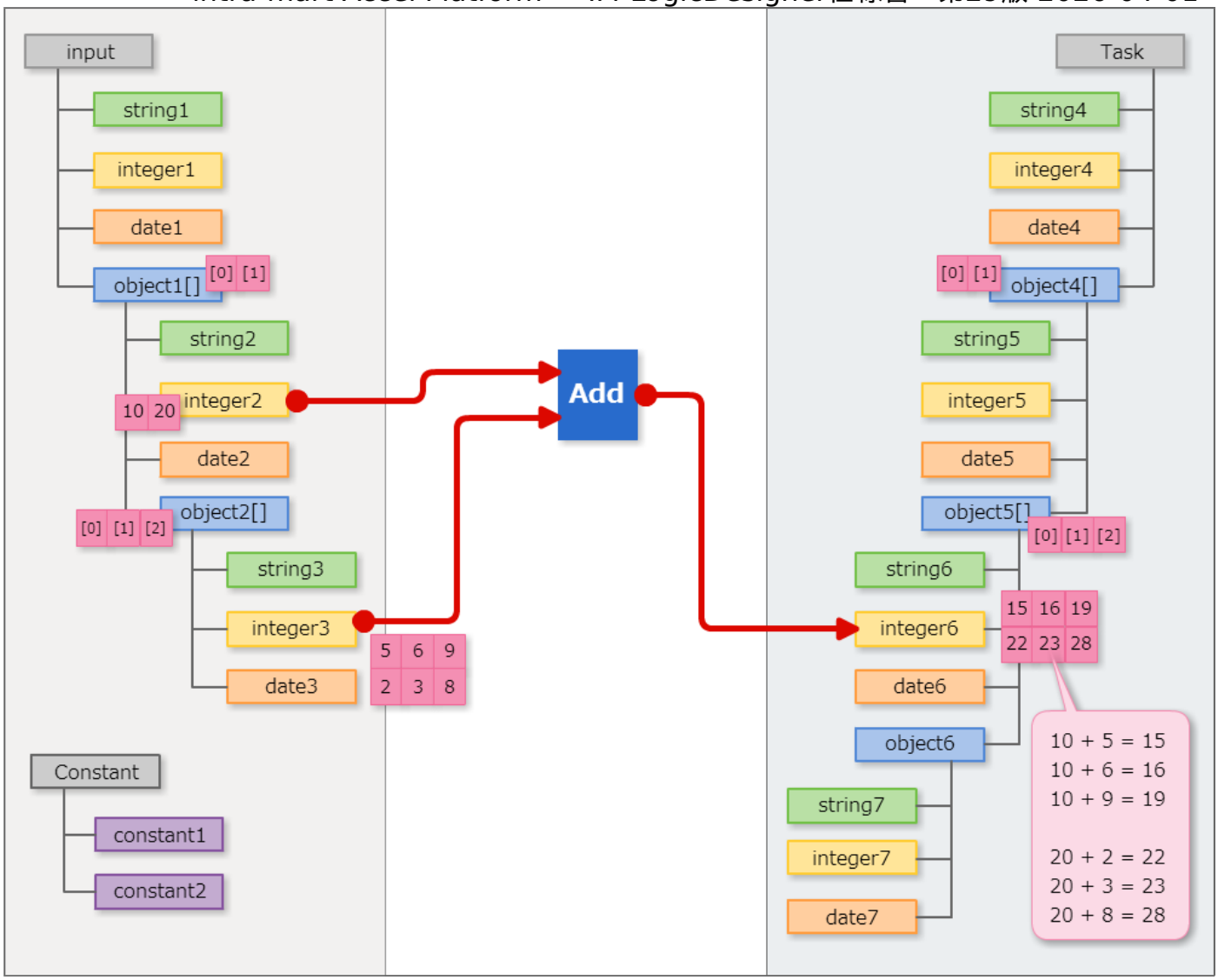
string1とinteger1を加算します、加算した結果をinteger4へ格納します。
string1は文字列であるため、数値への変換が行われます。

配列要素と関数を含むマッピング



string2とinteger2を加算します、加算した結果をinteger5へ格納します。
string2は文字列であるため、数値への変換が行われます。
object1は配列要素であるため、object1の要素数分関数の呼び出し、integer5への格納が行われます。
integer5はobject4配列の子要素です。object4はobject1の要素数と同じ数の要素が生成されます。

異なる配列要素と関数を含むマッピング



integer2とinteger3を加算します、加算した結果をinteger6へ格納します。
integer2とinteger3はそれぞれ親配列要素の数が一致していません、配列要素を含む階層が深いinteger3の階層が優先して利用されます。
integer2とinteger3の親配列要素を組み合わせた回数分関数の呼び出しが行われ、integer6へ格納されます。
優先して利用されるinteger3までの配列要素数と、integer6までの配列要素数が同じであるため、object4, object5は、object1, object2と同じ要素数が生成されます。

タスク一覧

カテゴリ

汎用タスク

ログ出力

ログ出力を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
ログレベル	任意	pulldown	INFO	ログレベルを指定してください。
ロガー名	任意	text		任意のロガー名を利用する場合に利用します、指定しなかった場合にはデフォルトのロガー名が利用されます。

入力値

```
im_logger <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_logger	必須	string	なし	ログに出力する内容を指定してください。

出力値

```
im_logger <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_logger	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ロック取得

ロック取得を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
タイムアウト（ミリ秒）	任意	text	10	ロック取得のタイムアウトを指定します。

入力値

```
im_lock <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_lock	必須	string	なし	ロックキーを指定してください。

出力値

```
im_lock <object>
  └ key <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_lock	object	なし	
key	string	なし	ロックキー

ロック解放

獲得済みのロックを解放するタスクです。

入力値

```
im_releaseLock <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_releaseLock	必須	string	なし	解放対象となるロックキーを指定してください。

出力値

```
im_releaseLock <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_releaseLock	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

テキストメール送信

テキストメールを送信するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
送信失敗時にエラーとする	任意	flag		trueの場合は、メール送信に失敗した場合にフローをエラー終了します。 falseの場合は、メール送信に失敗した場合でもエラー終了とせず処理を継続します。

入力値

```
im_sendTextMail <object> *
  ├ attachmentFiles <object[]>
  │   ├ attachmentFile <binary>
  │   └ fileName <string>
  ├ bcc <string[]>
  ├ bccAddresses <object[]>
  │   ├ address <string>
  │   └ personal <string>
  ├ body <string> *
  ├ cc <string[]>
  ├ ccAddresses <object[]>
  │   ├ address <string>
  │   └ personal <string>
  ├ from <string>
  ├ fromAddress <object>
  │   ├ address <string>
  │   └ personal <string>
  ├ subject <string> *
  ├ to <string[]>
  └ toAddresses <object[]>
      ├ address <string>
      └ personal <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendTextMail	必須	object	なし	
attachmentFiles	任意	object	配列	添付ファイル情報配列
attachmentFile	任意	binary	なし	ファイルの内容
fileName	任意	string	なし	ファイル名
bcc [1]	任意	string	配列	BCCメールアドレス配列
bccAddresses [1]	任意	object	配列	BCCアドレス情報配列
body	必須	string	なし	テキストメール本文を指定してください。
cc [2]	任意	string	配列	CCメールアドレス配列
ccAddresses [2]	任意	object	配列	CCアドレス情報配列
from [3]	任意	string	なし	差出人メールアドレス
fromAddress [3]	任意	object	なし	差出人アドレス情報
subject	必須	string	なし	件名を指定してください。
to [4]	任意	string	配列	宛先メールアドレス配列

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
toAddresses [4]	任意	object	配列	宛先アドレス情報配列
address	任意	string	なし	メールアドレス
personal	任意	string	なし	個人名

注釈

[1] *(1, 2)*

BCCを指定する場合は bcc、bccAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は bccAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

[2] *(1, 2)*

CCを指定する場合は cc、ccAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は ccAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

[3] *(1, 2)*

差出人は必須です。 from、fromAddress のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は fromAddress に設定されたアドレスが利用されます。

[4] *(1, 2)*

宛先を指定する場合は to、toAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は toAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

出力値

```
im_sendTextMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendTextMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

HTMLメール送信

HTMLメールを送信するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
送信失敗時にエラーとする	任意	flag		trueの場合は、メール送信に失敗した場合にフローをエラー終了します。 falseの場合は、メール送信に失敗した場合でもエラー終了とせず処理を継続します。

入力値

```
im_sendHtmlMail <object> *
  ├─ attachmentFiles <object[]>
  │    ├─ attachmentFile <binary>
  │    └─ fileName <string>
  ├─ bcc <string[]>
  ├─ bccAddresses <object[]>
  │    ├─ address <string>
  │    └─ personal <string>
  ├─ cc <string[]>
  ├─ ccAddresses <object[]>
  │    ├─ address <string>
  │    └─ personal <string>
  ├─ from <string>
  ├─ fromAddress <object>
  │    ├─ address <string>
  │    └─ personal <string>
  ├─ html <string>
  ├─ htmlImages <object[]>
  │    ├─ contentId <string>
  │    ├─ fileName <string>
  │    └─ imageFile <binary>
  ├─ subject <string> *
  ├─ text <string>
  ├─ to <string[]>
  └─ toAddresses <object[]>
       ├─ address <string>
       └─ personal <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendHtmlMail	必須	object	なし	
attachmentFiles	任意	object	配列	添付ファイル情報配列
attachmentFile	任意	binary	なし	ファイルの内容
fileName	任意	string	なし	ファイル名
bcc [1]	任意	string	配列	BCCメールアドレス配列
bccAddresses [1]	任意	object	配列	BCCアドレス情報配列
cc [2]	任意	string	配列	CCメールアドレス配列
ccAddresses [2]	任意	object	配列	CCアドレス情報配列
from [3]	任意	string	なし	差出人メールアドレス
fromAddress [3]	任意	object	なし	差出人アドレス情報
html [4]	任意	string	なし	HTML本文
htmlImages	任意	object	配列	インライン画像ファイル情報配列
contentId	任意	string	なし	インライン画像のコンテンツID
fileName	任意	string	なし	ファイル名
imageFile	任意	binary	なし	画像ファイル
subject	必須	string	なし	件名
text [4]	任意	string	なし	テキスト本文
to [5]	任意	string	配列	宛先メールアドレス配列
toAddresses [5]	任意	object	配列	宛先アドレス情報配列
address	任意	string	なし	メールアドレス
personal	任意	string	なし	個人名

注釈

[1] *(1, 2)*

BCCを指定する場合は bcc、bccAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は bccAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

[2] *(1, 2)*

CCを指定する場合は cc、ccAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は ccAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

[3] *(1, 2)*

差出人は必須です。 from、fromAddress のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は fromAddress に設定されたアドレスが利用されます。

[4] *(1, 2)*

本文は必須です。
テキスト本文または、HTML本文のいずれかを指定してください。

[5] *(1, 2)*

宛先を指定する場合は to、toAddresses のいずれかを指定してください。
両方指定されている場合は toAddresses に設定されたアドレスが利用されます。

出力値

```
im_sendHtmlMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendHtmlMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザ切り替え

任意のユーザに切り替えを行うタスクです。
このタスクを利用した場合、必ずユーザ切り替え終了タスクを実行してください。

入力値

```
im_userSwitcher <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_userSwitcher	必須	string	なし	切り替え対象ユーザコード

出力値

```
im_userSwitcher <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_userSwitcher	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザ切り替え終了

切り替えたユーザを元に戻すタスクです。
ユーザ切り替えタスクの後処理として利用します。

入力値

```
im_endUserSwitcher <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_endUserSwitcher	任意	any	なし	入力値として利用可能な値はありません。

出力値

```
im_endUserSwitcher <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_endUserSwitcher	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

スリープ

フローの実行を一時的に停止するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
割り込み発生時の処理	必須	select	ERROR	ERROR ： 割り込み発生時にはエラーとして扱い処理を終了します。 CONTINUE ： 割り込み発生時には処理を継続し次のタスクを実行します。
停止時間（ミリ秒）	任意	text	なし	停止時間を指定します。 指定されていない場合は、停止を行わず次のタスクを実行します。

入力値

```
im_sleep <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sleep	任意	any	なし	入力値として利用可能な値はありません。

出力値

```
im_sleep <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sleep	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

日時文字列の解析

文章中から日時と思われる文字列を抽出し、実際の日時を解析するタスクです。

与えられた文字列の中から日時と思われる部分のみを取り出し、実際の日時に変換してIM-LogicDesigner上で簡単に使用できるようにします。
例えば、文字列「お世話になります。8月1日10時30分から打ち合わせをお願いいたします。」を入力値として指定した場合、「8月1日10時30分」のような日付や時刻、それら複数の組み合わせの文字列を認識し、実際の日時に変換して返却します。

認識する対象の文字列パターンや認識精度は、使用されるアナライザエンジンによって異なります。

入力値

```
im_analyzeDateTime <object> *
  ├ baseDateTime <imdatetime>
  ├ baseLocale <locale>
  └ text <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_analyzeDateTime	必須	object	なし	
baseDateTime	任意	imdatetime	なし	基準となる日時を指定してください。 抽出された日時の文字列に不足する情報がある場合、この基準日時から情報を補足します。 例えば、基準日時が「2017-08-01T10:30:00+0900」で与えられた文字列が「3日午後2時」の場合、不足情報（年・月）が補足され「2017-08-03T14:00:00+0900」と認識されます。 指定しない場合は、アカウントコンテキストのタイムゾーンで、現在日時が使用されます。
baseLocale	任意	locale	なし	基準となるロケールを指定してください。 日時文字列の抽出や変換を行う際、判断の基準となる日時の書き方を明示的に指定することで、解析精度を向上させます。 基準ロケールを実際に使用するかどうかは、アナライザの実装によります。 指定しない場合は、解析対象の文字列から言語を判断します。
text	必須	string	なし	解析対象の文字列を指定してください。

出力値

```
im_analyzeDateTime <object>
  ├ existsGroup <boolean>
  └ groups <object[]>
      ├ matched <object>
      │   ├ endIndex <integer>
      │   ├ startIndex <integer>
      │   └ text <string>
      └ parsed <object>
          ├ confidence <bigdecimal>
          ├ endDateTime <imdatetime>
          ├ range <boolean>
          ├ startDateTime <imdatetime>
          ├ validDate <boolean>
          └ validTime <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_analyzeDateTime	object	なし	
existsGroup	boolean	なし	日時と認識した文字列のグループが存在する場合は `true` 存在しない場合は `false`
groups	object	リスト	日時と認識した文字列のグループ一覧
matched	object	なし	日時と認識した文字列の情報

項目名	型	配列/リスト	説明
endIndex	integer	なし	入力された解析対象の文字列のうち、日時と認識した文字列の終了インデックス+1
startIndex	integer	なし	入力された解析対象の文字列のうち、日時と認識した文字列の開始インデックス
text	string	なし	入力された解析対象の文字列のうち、日時と認識した文字列の部分
parsed	object	なし	日時と認識した文字列の解析結果
confidence	bigdecimal	なし	信頼度（0〜1）
endDateTime	imdatetime	なし	終了日時（range が true の場合のみ有効）
range	boolean	なし	開始日時（startDateTime）から終了日時（endDateTime）の期間を示す場合は `true` 開始日時（startDateTime）のみの単体日時を示す場合は `false`
startDateTime	imdatetime	なし	開始日時
validDate	boolean	なし	開始日時（startDateTime）の日付部分が有効である場合は `true` 日付部分が無効であり、入力の基準日時から補完されている場合は `false` （特定の日を示さない）
validTime	boolean	なし	開始日時（startDateTime）の時刻部分が有効である場合は `true` 時刻部分が無効であり、入力の基準日時から補完されている場合は `false` （終日を示す）

IMAPメッセージの取得

メールサーバからメッセージを取得（IMAP） し、取得したメッセージ件数分繰り返し処理を実行するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
初期化する変数名	任意	select		初期化する変数を指定します。
繰り返し条件	任意	text		繰り返し処理を継続する条件を指定します。

入力値

```
im_getIMAPMail <object>
  ├─ folder <string> *
  ├─ searchCondition <object>
  │    ├─ body <string>
  │    ├─ endDate <date>
  │    ├─ from <string>
  │    ├─ seen <boolean>
  │    ├─ startDate <date>
  │    └─ subject <string>
  └─ serverSetting <object> *
       ├─ accessToken <string>
       ├─ authentification <boolean>
       ├─ debug <boolean>
       ├─ host <string> *
       ├─ password <string>
       ├─ port <integer> *
       ├─ ssl <boolean>
       ├─ starttls <boolean>
       └─ user <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getIMAPMail	任意	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX 下書き:Drafts 送信済み:Sent ゴミ箱:Trash 迷惑:Junk
searchCondition	任意	object	なし	検索条件
body	任意	string	なし	本文
endDate	任意	date	なし	取得終了日
from	任意	string	なし	送信元
seen	任意	boolean	なし	既読のみ取得する場合:true 未読のみ取得する場合:false
startDate	任意	date	なし	取得開始日
subject	任意	string	なし	件名
serverSetting *	任意	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
user	任意	string	なし	ユーザ

※パスワード認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_getIMAPMail <object>
 ├ item <object>
 │  ├ attachmentFiles <object[]>
 │  │  ├ contentType <string>
 │  │  ├ fileData <binary>
 │  │  └ fileName <string>
 │  ├ bcc <string[]>
 │  ├ body <string>
 │  ├ cc <string[]>
 │  ├ contents <object[]>
 │  │  ├ content <any>
 │  │  ├ contentType <string>
 │  │  ├ disposition <string>
 │  │  └ fileName <string>
 │  ├ folder <string>
 │  ├ from <string>
 │  ├ headers <map>
 │  ├ messageNumber <integer>
 │  ├ receivedDate <date>
 │  ├ sentDate <date>
 │  ├ status <object>
 │  │  ├ answered <boolean>
 │  │  ├ deleted <boolean>
 │  │  ├ draft <boolean>
 │  │  ├ flagged <boolean>
 │  │  ├ recent <boolean>
 │  │  └ seen <boolean>
 │  ├ subject <string>
 │  ├ to <string[]>
 │  └ uid <long>
 └ index <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getIMAPMail	object	なし	
attachmentFiles	object	配列	添付ファイル情報配列
contentType	string	なし	ファイルの種別
fileData	binary	なし	ファイルの内容
fileName	string	なし	ファイル名
bcc	string	配列	BCC配列
body	string	なし	メール本文
cc	string	配列	CC配列
contents	object	配列	コンテンツ配列
content	any	なし	コンテンツの内容
contentType	string	なし	コンテンツの種別
disposition	string	なし	配置
fileName	string	なし	ファイル名
folder	string	なし	フォルダ
from	string	なし	送信元
headers	map	なし	メールヘッダ
messageNumber	integer	なし	メッセージに付与された内部番号
receivedDate	date	なし	受信日時
sentDate	date	なし	送信日時
status	object	なし	メールステータス

項目名	型	配列/リスト	説明
answered	boolean	なし	返信済みの場合:true
deleted	boolean	なし	削除済みの場合:true
draft	boolean	なし	下書きの場合:true
flagged	boolean	なし	フラグが立てられている場合:true
recent	boolean	なし	最近のものの場合:true
seen	boolean	なし	既読の場合:true
subject	string	なし	件名
to	string	配列	TO配列
uid	long	なし	UID
index	long	なし	繰り返し要素のインデックス

※コンテンツの内容はコンテンツの種別によって異なります。

IMAPメッセージを既読にする

メッセージを既読にします。

入力値

```
im_readIMAPMail <object> *
  ├─ folder <string> *
  ├─ serverSetting <object> *
  │    ├─ accessToken <string>
  │    ├─ authentification <boolean>
  │    ├─ debug <boolean>
  │    ├─ host <string> *
  │    ├─ password <string>
  │    ├─ port <integer> *
  │    ├─ ssl <boolean>
  │    ├─ starttls <boolean>
  │    └─ user <string>
  └─ uid <long> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_readIMAPMail	必須	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX 下書き:Drafts 送信済み:Sent ゴミ箱:Trash 迷惑:Junk
serverSetting	必須	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
user	任意	string	なし	ユーザ
uid	必須	long	なし	既読にするメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_readIMAPMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_readIMAPMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IMAPメッセージを未読にする

メッセージを未読にします。

入力値

```
im_unreadIMAPMail <object> *
  ├─ folder <string> *
  ├─ serverSetting <object> *
  │    ├─ accessToken <string>
  │    ├─ authentification <boolean>
  │    ├─ debug <boolean>
  │    ├─ host <string> *
  │    ├─ password <string>
  │    ├─ port <integer> *
  │    ├─ ssl <boolean>
  │    ├─ starttls <boolean>
  │    └─ user <string>
  └─ uid <long> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_unreadIMAPMail	必須	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX 下書き:Drafts 送信済み:Sent ゴミ箱:Trash 迷惑:Junk
serverSetting	必須	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
user	任意	string	なし	ユーザ
uid	必須	long	なし	未読にするメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_unreadIMAPMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_unreadIMAPMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IMAPメッセージの移動

メッセージを指定されたフォルダへ移動します。

入力値

```
im_moveIMAPMail <object> *
  ├ folder <string> *
  ├ serverSetting <object> *
  │  ├ accessToken <string>
  │  ├ authentification <boolean>
  │  ├ debug <boolean>
  │  ├ host <string> *
  │  ├ password <string>
  │  ├ port <integer> *
  │  ├ ssl <boolean>
  │  ├ starttls <boolean>
  │  └ user <string>
  ├ target <string> *
  └ uid <long> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_moveIMAPMail	必須	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX 下書き:Drafts 送信済み:Sent ゴミ箱:Trash 迷惑:Junk

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
serverSetting	必須	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
user	任意	string	なし	ユーザ
target	必須	string	なし	移動先のフォルダ
uid	必須	long	なし	移動するメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_moveIMAPMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_moveIMAPMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IMAPメッセージの削除

メールサーバからメッセージを削除します。

入力値

```
im_deleteIMAPMail <object> *
  ├─ folder <string> *
  ├─ serverSetting <object> *
  │   ├─ accessToken <string>
  │   ├─ authentification <boolean>
  │   ├─ debug <boolean>
  │   ├─ host <string> *
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ ssl <boolean>
  │   ├─ starttls <boolean>
  │   └─ user <string>
  └─ uid <long> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteIMAPMail	必須	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX 下書き:Drafts 送信済み:Sent ゴミ箱:Trash 迷惑:Junk
serverSetting	必須	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
user	任意	string	なし	ユーザ
uid	必須	long	なし	削除するメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_deleteIMAPMail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteIMAPMail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

POP3メッセージの取得

メールサーバからメッセージを取得（POP3） し、取得したメッセージ件数分繰り返し処理を実行するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
初期化する変数名	任意	select		初期化する変数を指定します。
繰り返し条件	任意	text		繰り返し処理を継続する条件を指定します。

入力値

```
im_getPOP3Mail <object>
  ├─ folder <string> *
  ├─ searchCondition <object>
  │   ├─ body <string>
  │   ├─ endDate <date>
  │   ├─ from <string>
  │   ├─ seen <boolean>
  │   ├─ startDate <date>
  │   └─ subject <string>
  └─ serverSetting <object>
      ├─ accessToken <string>
      ├─ authentification <boolean>
      ├─ host <string> *
      ├─ password <string>
      ├─ port <integer> *
      ├─ ssl <boolean>
      ├─ starttls <boolean>
      ├─ twoLineAuthentication <boolean>
      ├─ user <string>
      └─ debug <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getPOP3Mail	任意	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX
searchCondition	任意	object	なし	検索条件
body	任意	string	なし	本文
endDate	任意	date	なし	取得終了日
from	任意	string	なし	送信元
seen	任意	boolean	なし	既読のみ取得する場合:true 未読のみ取得する場合:false
startDate	任意	date	なし	取得開始日
subject	任意	string	なし	件名
serverSetting	任意	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
twoLineAuthentication	任意	boolean	なし	OAUTHを利用した認証コマンドを2行に分割します。 Microsoft Office365などOAUTHコマンドを2行に分割する必要がある場合は true にしてください。
user	任意	string	なし	ユーザ
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してくださ

い。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_getPOP3Mail <object>
  ├─ item <object>
  │   ├─ attachmentFiles <object[]>
  │   │   ├─ contentType <string>
  │   │   ├─ fileData <binary>
  │   │   └─ fileName <string>
  │   ├─ bcc <string[]>
  │   ├─ body <string>
  │   ├─ cc <string[]>
  │   ├─ contents <object[]>
  │   │   ├─ content <any>
  │   │   ├─ contentType <string>
  │   │   ├─ disposition <string>
  │   │   └─ fileName <string>
  │   ├─ folder <string>
  │   ├─ from <string>
  │   ├─ headers <map>
  │   ├─ messageNumber <integer>
  │   ├─ receivedDate <date>
  │   ├─ sentDate <date>
  │   ├─ status <object>
  │   │   ├─ answered <boolean>
  │   │   ├─ deleted <boolean>
  │   │   ├─ draft <boolean>
  │   │   ├─ flagged <boolean>
  │   │   ├─ recent <boolean>
  │   │   └─ seen <boolean>
  │   ├─ subject <string>
  │   ├─ to <string[]>
  │   └─ uid <string>
  └─ index <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getPOP3Mail	object	なし	
attachmentFiles	object	配列	添付ファイル情報配列
contentType	string	なし	ファイルの種別
fileData	binary	なし	ファイルの内容
fileName	string	なし	ファイル名
bcc	string	配列	BCC配列
body	string	なし	メール本文
cc	string	配列	CC配列
contents	object	配列	コンテンツ配列
content	any	なし	コンテンツの内容
contentType	string	なし	コンテンツの種別
disposition	string	なし	配置
fileName	string	なし	ファイル名
folder	string	なし	フォルダ
from	string	なし	送信元
headers	map	なし	メールヘッダ

項目名	型	配列/リスト	説明
messageNumber	integer	なし	メッセージに付与された内部番号
receivedDate	date	なし	受信日時
sentDate	date	なし	送信日時
status	object	なし	メールステータス
answered	boolean	なし	返信済みの場合:true
deleted	boolean	なし	削除済みの場合:true
draft	boolean	なし	下書きの場合:true
flagged	boolean	なし	フラグが立てられている場合:true
recent	boolean	なし	最近のものの場合:true
seen	boolean	なし	既読の場合:true
subject	string	なし	件名
to	string	配列	TO配列
uid	string	なし	UID
index	long	なし	繰り返し要素のインデックス

※コンテンツの内容はコンテンツの種別によって異なります。

POP3メッセージの移動

メッセージを指定されたフォルダへ移動します。

入力値

```
im_movePOP3Mail <object>
  ├─ folder <string> *
  ├─ serverSetting <object>
  │   ├─ accessToken <string>
  │   ├─ authentification <boolean>
  │   ├─ host <string> *
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ ssl <boolean>
  │   ├─ starttls <boolean>
  │   ├─ twoLineAuthentication <boolean>
  │   ├─ user <string>
  │   └─ debug <boolean>
  ├─ target <string> *
  └─ uid <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_movePOP3Mail	任意	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX
serverSetting	任意	object	なし	接続情報
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
host	必須	string	なし	ホスト

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
twoLineAuthentication	任意	boolean	なし	OAUTHを利用した認証コマンドを2行に分割します。 Microsoft Office365などOAUTHコマンドを2行に分割する必要がある場合は true にしてください。
user	任意	string	なし	ユーザ
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
target	必須	string	なし	移動先のフォルダ
uid	必須	string	なし	移動するメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_movePOP3Mail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_movePOP3Mail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

POP3メッセージの削除

メールサーバからメッセージを削除します。

入力値

```
im_deletePOP3Mail <object>
  ├─ folder <string> *
  ├─ serverSetting <object>
  │   ├─ accessToken <string>
  │   ├─ authentification <boolean>
  │   ├─ host <string> *
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ ssl <boolean>
  │   ├─ starttls <boolean>
  │   ├─ twoLineAuthentication <boolean>
  │   ├─ user <string>
  │   └─ debug <boolean>
  └─ uid <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteIMAPMail	任意	object	なし	
folder	必須	string	なし	フォルダ 指定方法は以下の通りです。 受信箱:INBOX
serverSetting	任意	object	なし	接続情報

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
accessToken	任意	string	なし	アクセストークン OAuth認証を行う場合に指定します。
authentification	任意	boolean	なし	認証を行う場合:true
host	必須	string	なし	ホスト
password	任意	string	なし	パスワード
port	必須	integer	なし	ポート
ssl	任意	boolean	なし	暗号化通信を利用する場合:true
starttls	任意	boolean	なし	STARTTLSを利用する場合:true
twoLineAuthentication	任意	boolean	なし	OAUTHを利用した認証コマンドを2行に分割します。 Microsoft Office365などOAUTHコマンドを2行に分割する必要がある場合は true にしてください。
user	任意	string	なし	ユーザ
debug	任意	boolean	なし	デバッグ情報を出力する場合:true
uid	必須	string	なし	削除するメッセージのUID

※認証を行う場合はユーザ、パスワードを指定してください。 ※OAuth認証を行う場合はユーザ、アクセストークンを指定してください。

アクセストークンは 「*アクセストークンの取得*」タスクを利用して取得できます。

出力値

```
im_deletePOP3Mail <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deletePOP3Mail	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

バーコード生成

バーコードの生成を行うタスクです。

> **コラム**
>
> このタスクを利用するには 「バーコード生成」モジュールを含む環境を構築する必要があります。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
フォーマット	必須	select	EAN_8	生成するバーコードのフォーマットを指定します。

入力値

```
im_createBarcode <object>
  ├ contents <string> *
  ├ width <integer>
  └ height <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_createBarcode	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
contents	必須	string	なし	バーコードでエンコードする内容
width	任意	integer	なし	生成するバーコードの横幅（ピクセル） 指定された横幅で生成できない場合は、サイズが超過することがあります。
height	任意	integer	なし	生成するバーコードの高さ（ピクセル）

出力値

```
im_createBarcode <Binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_createBarcode	Binary	なし	生成したバーコードのバイナリです。（PNG形式）

QRコード生成

QRコードの生成を行うタスクです。

> **コラム**
>
> このタスクを利用するには 「バーコード生成」モジュールを含む環境を構築する必要があります。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
誤り訂正レベル	必須	select	M	生成するQRコードの誤り訂正レベルを指定します。
バージョン	任意	text	なし	生成するQRコードのバージョンを指定します。 （1 - 40）

入力値

```
im_createQRCode <object>
  ├ contents <string> *
  ├ width <integer>
  └ height <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_createQRCode	任意	object	なし	
contents	必須	string	なし	QRコードでエンコードする内容
width	任意	integer	なし	生成するQRコードの横幅（ピクセル） 指定された横幅で生成できない場合は、サイズが超過することがあります。
height	任意	integer	なし	生成するQRコードの高さ（ピクセル） （指定された高さで生成できない場合は、サイズが超過することがあります。）

出力値

```
im_createQRCode <Binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明

項目名	型	配列/リスト	説明
im_createQRCode	Binary	なし	生成したQRコードのバイナリです。（PNG形式）

RSSフィード解析

RSSフィードを読み込み内容の解析を行うタスクです。

> **コラム**
>
> このタスクを利用するには 「IM-LogicDesigner　RSS連携モジュール」を含む環境を構築する必要があります。

入力値

```
im_rssReader <object> *
  └ url <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_rssReader	必須	object	なし	
url	必須	string	なし	RSSフィードのURL

出力値

```
im_rssReader <object>
  ├ authors <string[]>
  ├ description <string>
  ├ entries <object[]>
  │  ├ categories <string[]>
  │  ├ description <object>
  │  │  ├ text <string>
  │  │  ├ type <string>
  │  │  └ value <string>
  │  ├ link <string>
  │  ├ publishedDate <date>
  │  └ title <string>
  ├ link <string>
  ├ publishedDate <date>
  └ title <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_rssReader	object	なし	
authors	string	リスト	フィードの著者
description	string	なし	フィードの説明
entries	object	リスト	フィードエントリ
categories	string	リスト	エントリのカテゴリ
description	object	なし	エントリの説明
text	string	なし	説明の内容（typeがhtmlの場合にHTMLタグを除いた内容を取得します。）
type	string	なし	説明のコンテンツ種別
value	string	なし	説明の内容
link	string	なし	エントリのリンク
publishedDate	date	なし	エントリの公開日

項目名	型	配列/リスト	説明
title	string	なし	エントリのタイトル
link	string	なし	フィードのリンク
publishedDate	date	なし	フィードの公開日
title	string	なし	フィードのタイトル

デスクトップ通知

デスクトップ通知を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
通知履歴を保存する	任意	flag		通知内容を通知履歴に保存します。

入力値

```
im_notifyMQTask <object> *
  ├─ body <string> *
  ├─ subject <string> *
  ├─ url <string>
  └─ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_notifyMQTask	必須	object	なし	
body	必須	string	なし	通知内容の本文を指定してください。
subject	必須	string	なし	通知内容のタイトルを指定してください。
url	任意	string	なし	通知内容のURLを指定してください。
userCds	必須	string	配列	通知先のユーザコードを指定してください。

出力値

```
im_notifyMQTask <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_notifyMQTask	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

モバイル通知

モバイル通知を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
通知履歴を保存する	任意	flag		通知内容を通知履歴に保存します。

入力値

```
im_notifyMobileTask <object> *
  ├─ body <string> *
  ├─ subject <string> *
  ├─ url <string>
  └─ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_notifyMobileTask	必須	object	なし	
body	必須	string	なし	通知内容の本文を指定してください。
subject	必須	string	なし	通知内容のタイトルを指定してください。
url	任意	string	なし	通知内容のURLを指定してください。
userCds	必須	string	配列	通知先のユーザコードを指定してください。

出力値

```
im_notifyMobileTask <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_notifyMobileTask	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ストレージ操作

パブリックストレージ取得

パブリックストレージの取得を行うタスクです。
取得したパブリックストレージは、ストレージ操作タスクと組み合わせることにより任意の操作を行うことが可能です。

入力値

```
im_publicStorage <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_publicStorage	必須	string	なし	取得対象となるパブリックストレージパス

出力値

```
im_publicStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_publicStorage	storage	なし	取得したパブリックストレージ

セッションストレージ取得

セッションスコープストレージの取得を行うタスクです。
取得したセッションスコープストレージはストレージ操作タスクと組み合わせることにより任意の操作を行うことが可能です。

入力値

```
im_sessionStorage <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sessionStorage	必須	string	なし	セッションスコープストレージ内に含まれる対象のファイルパス

出力値

```
im_sessionStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sessionStorage	storage	なし	取得したセッションスコープストレージ

ストレージ出力（文字列）

文字列の書き込みを行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
文字コード	任意	text		書き込みを行う文字コードを指定することが可能です、未指定の場合にはUTF-8が利用されます。

入力値

```
im_writeTextToStorage <object> *
  ├ storage <storage> *
  └ text <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_writeTextToStorage	必須	object	なし	
storage	必須	storage	なし	出力対象を指定してください。
text	必須	string	なし	出力する文字列を指定してください。

出力値

```
im_writeTextToStorage <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_writeTextToStorage	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ストレージ追記（文字列）

ファイルに文字列を追記するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
文字コード	任意	text		文字コードを指定してください、指定しなかった場合にはUTF-8が利用されます。

入力値

```
im_appendTextToStorage <object> *
  ├ storage <storage> *
  └ text <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_appendTextToStorage	必須	object	なし	
storage	必須	storage	なし	出力対象となるストレージを指定してください。
text	必須	string	なし	追記を行う文字列を指定してください。

出力値

```
im_appendTextToStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_appendTextToStorage	storage	なし	出力対象となったストレージ

ストレージ出力（バイナリ）

ストレージにバイナリデータを出力するタスクです。

入力値

```
im_writeBinaryToStorage <object> *
  ├─ binary <binary> *
  └─ storage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_writeBinaryToStorage	必須	object	なし	
binary	必須	binary	なし	出力するバイナリデータを指定してください。
storage	必須	storage	なし	出力先を指定してください。

出力値

```
im_writeBinaryToStorage <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_writeBinaryToStorage	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ストレージファイル読み込み（文字列）

ストレージファイルを読み込み、その結果を文字列で返すタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
文字コード	任意	text		ファイルを読み込む際の文字コードを指定してください。 指定しなかった場合にはUTF-8が利用されます。

入力値

```
im_readTextToStorage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_readTextToStorage	必須	storage	なし	入力対象となるストレージを指定してください。

出力値

```
im_readTextToStorage <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_readTextToStorage	string	なし	ファイルを読み込んだ結果の文字列

ストレージファイル読み込み（バイナリ）

ストレージファイルを読み込み、その結果をバイナリデータで返すタスクです。

入力値

```
im_readBinaryToStorage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_readBinaryToStorage	必須	storage	なし	入力対象となるストレージを指定してください。

出力値

```
im_readBinaryToStorage <binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_readBinaryToStorage	binary	なし	ファイルを読み込んだ結果のバイナリデータ

ディレクトリ取得

ディレクトリー覧を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
再帰	任意	flag		配下のディレクトリを含めて取得する場合に指定してください。

入力値

```
im_getDirectories <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getDirectories	必須	storage	なし	取得元となるディレクトリを指定してください。

出力値

```
im_getDirectories <storage[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getDirectories	storage	リスト	列挙されたディレクトリー覧

ファイル取得

指定したストレージ配下のファイル一覧を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
再帰	任意	flag		配下のファイルを含めて取得する場合に指定してください。

入力値

```
im_getFiles <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getFiles	必須	storage	なし	取得対象のディレクトリを指定してください。

出力値

```
im_getFiles <storage[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getFiles	storage	リスト	列挙されたファイル一覧

ファイルおよびディレクトリ取得

ファイルおよびディレクトリを取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
再帰	任意	flag		配下のファイルおよびディレクトリ取得を含めて取得する場合に指定してください。

入力値

```
im_getChildren <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getChildren	必須	storage	なし	取得元となるディレクトリを指定してください。

出力値

```
im_getChildren <storage[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getChildren	storage	リスト	列挙されたファイル、またはディレクトリ一覧

ストレージ情報取得

ストレージ情報を取得するタスクです。
このタスクを利用することによりストレージのファイルサイズ等、ストレージに関する情報が返却されます。

入力値

```
im_getStorageInfo <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getStorageInfo	必須	storage	なし	取得対象となるストレージを指定してください。

出力値

```
im_getStorageInfo <object>
  ├ exist <boolean>
  ├ lastModified <long>
  ├ name <string>
  ├ path <string>
  ├ size <long>
  └ type <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getStorageInfo	object	なし	
exist	boolean	なし	対象の存在フラグ
lastModified	long	なし	最終更新日時
name	string	なし	名前
path	string	なし	パス
size	long	なし	サイズ
type	string	なし	種別 directory または file が含まれます。

ディレクトリ作成

ディレクトリの作成を行うタスクです。

入力値

```
im_makeDirectories <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_makeDirectories	必須	storage	なし	ディレクトリの作成を行う対象を指定してください。

出力値

```
im_makeDirectories <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_makeDirectories	storage	なし	作成されたディレクトリ

ファイルおよびディレクトリの移動

ファイルおよびディレクトリの移動を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
上書きする	任意	flag		移動先が存在する場合に上書きするか、上書きしないかを指定します。

入力値

```
im_moveTo <object> *
  ├ from <storage> *
  └ to <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_moveTo	必須	object	なし	
from	必須	storage	なし	移動元のストレージを指定してください。
to	必須	storage	なし	移動先のストレージを指定してください。

出力値

```
im_moveTo <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_moveTo	storage	なし	移動先のストレージ

ファイルおよびディレクトリのコピー

ファイルおよびディレクトリのコピーを行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
上書きする	任意	flag		上書きする場合に指定してください。

入力値

```
im_copyTo <object> *
  ├ from <storage> *
  └ to <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_copyTo	必須	object	なし	
from	必須	storage	なし	コピー元を指定してください。
to	必須	storage	なし	コピー先を指定してください。

出力値

```
im_copyTo <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_copyTo	storage	なし	コピー先

ファイルおよびディレクトリの削除

ファイルおよびディレクトリの削除を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
再帰	任意	flag		配下の要素を含めて再帰的に処理する場合に指定してください。

入力値

```
im_removeStorage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_removeStorage	必須	storage	なし	削除対象となるストレージを指定してください。

出力値

```
im_removeStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_removeStorage	storage	なし	削除対象のストレージ

ZIP圧縮

ZIP圧縮を行います。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
上書きする	任意	flag		既にファイルが存在する場合、上書きするか指定します。

入力値

```
im_zip <object> *
  ├ target <storage> *
  └ to <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_zip	必須	object	なし	
target	必須	storage	なし	zipファイル圧縮対象を指定してください。
to	必須	storage	なし	zipファイル出力先を指定してください。

出力値

```
im_zip <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_zip	storage	なし	zip出力されたストレージ

ZIP解凍

zipファイルの解凍を行うタスクです。

> 注意
>
> マルチバイト文字について
>
> ディレクトリ名やファイル名にマルチバイト文字が含まれる場合、ファイルを正常に展開できません。

入力値

```
im_unzip <object> *
  ├ to <storage> *
  └ zipFile <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_unzip	必須	object	なし	
to	必須	storage	なし	解凍先を指定してください。
zipFile	必須	storage	なし	zipファイルを指定してください。

出力値

```
im_unzip <storage[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_unzip	storage	リスト	解凍されたストレージ一覧

Excelプロパティ情報書き込み

Excelのプロパティ情報を書き込みするタスクです。

コラム

このタスクを使用して書き込むを行うと、プロパティ情報はすべて「string」型として出力されます。

入力値

```
im_writeToExcelPropertiesTask <object> *
  ├─ content <object>
  │    └─contentStatus <string>
  ├─ customProperties <map>
  ├─ description <object>
  │    ├─ title <string>
  │    ├─ subject <string>
  │    ├─ tags <string>
  │    ├─ categories <string>
  │    └─ comments <string>
  ├─ origin <object>
  │    ├─ author <string>
  │    ├─ lastSavedBy <string>
  │    ├─ revisionNumber <string>
  │    ├─ versionNumber <string>
  │    ├─ company <string>
  │    └─ manager <string>
  └─ storage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_writeToExcelPropertiesTask	必須	object	なし	-
content	任意	object	なし	-
contentStatus	任意	string	なし	内容の状態
customProperties	任意	map	なし	カスタムプロパティ
description	任意	object	なし	-
title	任意	string	なし	タイトル
subject	任意	string	なし	件名
tags	任意	string	なし	タグ
categories	任意	string	なし	分類項目
comments	任意	string	なし	コメント
origin	任意	object	なし	-
author	任意	string	なし	作成者
lastSavedBy	任意	string	なし	前回保存者
revisionNumber	任意	string	なし	改訂番号
versionNumber	任意	string	なし	バージョン番号
company	任意	string	なし	会社

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
manager	任意	string	なし	マネージャ
storage	必須	storage	なし	Excelプロパティ情報の書き込み先を指定してください。

出力値

```
im_writeToExcelPropertiesTask <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_writeToExcelPropertiesTask	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Excelプロパティ情報読み込み

Excelのプロパティ情報の読み込みを行うタスクです。

入力値

```
im_readFromExcelPropertiesTask <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_readFromExcelPropertiesTask	必須	storage	なし	入力対象となるストレージを指定してください。

出力値

```
im_readFromExcelPropertiesTask <object>
  ├─ description <object>
  │    ├─ title <string>
  │    ├─ subject <string>
  │    ├─ tags <string>
  │    ├─ categories <string>
  │    └─ comments <string>
  ├─ origin <object>
  │    ├─ author <string>
  │    ├─ lastSavedBy <string>
  │    ├─ revisionNumber <string>
  │    ├─ versionNumber <string>
  │    ├─ company <string>
  │    ├─ manager <string>
  │    ├─ contentCreated <date>
  │    ├─ dateLastSaved <date>
  │    └─ dateLastPrinted <date>
  ├─ content <object>
  │    ├─ contentStatus <string>
  │    └─ contentType <string>
  └─ customProperties <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_readFromExcelPropertiesTask	object	なし	-
description	object	なし	-
title	string	なし	タイトル
subject	string	なし	件名
tags	string	なし	タグ

項目名	型	配列/リスト	説明
categories	string	なし	分類項目
comments	string	なし	コメント
origin	object	なし	-
author	string	なし	作成者
lastSavedBy	string	なし	前回保存者
revisionNumber	string	なし	改訂番号
versionNumber	string	なし	バージョン番号
company	string	なし	会社
manager	string	なし	マネージャ
contentCreated	Date	なし	コンテンツの作成日時
dateLastSaved	Date	なし	前回保存日時
dateLastSaved	integer	なし	前回印刷日
content	object	なし	-
contentStatus	string	なし	内容の状態
contentType	string	なし	内容の種類
customProperties	map	なし	カスタムプロパティ

基盤機能

ジョブネット即時実行

ジョブネットの即時実行を行います。
このタスクはジョブネットの実行を依頼するタスクであり、ジョブを直接実行するタスクではありません。
そのため、ジョブネット実行結果を取得することはできません。

入力値

```
im_runJobScheduler <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_runJobScheduler	必須	string	なし	ジョブネットIDを指定してください。

出力値

```
im_runJobScheduler <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_runJobScheduler	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

休日判定

カレンダマスタを元に、休日判定を行います。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
カレンダーID	任意	text		休日判定に利用するカレンダーIDを指定してください。

入力値

```
im_isHoliday <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_isHoliday	必須	date	なし	休日判定を行う日付を指定してください。

出力値

```
im_isHoliday <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_isHoliday	boolean	なし	休日判定結果 true: 休日 / false: 休日以外

セーフURL一覧取得

セーフURLの一覧を取得するタスクです。

入力値

```
im_getSafeURLs <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getSafeURLs	任意	any	なし	入力値として利用可能な値はありません。

出力値

```
im_getSafeURLs <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getSafeURLs	object	リスト	セーフURLの一覧

セーフURL判定

セーフURLの判定を行います。 出力値には判定結果が含まれます。

> **注意**
> 入力値にベースURLで始まるURLを指定した場合は判定結果は true が返却されます。

入力値

```
im_validateSafeURL <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_validateSafeURL	必須	string	なし	判定対象とするURLを受け渡してください。

出力値

```
im_validateSafeURL <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_validateSafeURL	boolean	なし	判定結果: true: セーフURLに含まれる / false: セーフURLに含まれない

ショートカットID作成

ショートカットIDを作成するタスクです。

入力値

```
im_createShortcutId <object> *
  ├ allowsUsers <string[]>
  ├ authorization <boolean>
  ├ url <string> *
  ├ urlParams <map>
  ├ validEndDate <date> *
  ├ validationCode <string>
  └ validationParam <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_createShortcutId	必須	object	なし	
allowsUsers	任意	string	配列	許可ユーザ配列
authorization	任意	boolean	なし	認証を利用する/しない
url	必須	string	なし	URL
urlParams	任意	map	なし	URLパラメータ
validEndDate	必須	date	なし	有効終了日
validationCode	任意	string	なし	拡張検証コード
validationParam	任意	string	なし	拡張検証パラメータ

出力値

```
im_createShortcutId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_createShortcutId	string	なし	作成されたショートカットID

ショートカットID削除

ショートカットIDの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteShortcutId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteShortcutId	必須	string	なし	削除対象となるショートカットIDを指定してください。

出力値

```
im_deleteShortcutId <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteShortcutId	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ショートカット情報取得

ショートカットIDを元に、ショートカット情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_getShortcutInfo <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getShortcutInfo	必須	string	なし	ショートカットIDを指定してください。

出力値

```
im_getShortcutInfo <object>
  ├ allowsUsers <string[]>
  ├ auth <boolean>
  ├ tenantId <string>
  ├ url <string>
  ├ validEndDate <date>
  ├ validationCode <string>
  └ validationParam <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getShortcutInfo	object	なし	
allowsUsers	string	配列	許可ユーザ配列
auth	boolean	なし	認証を利用する/利用しない
tenantId	string	なし	テナントID
url	string	なし	URL
urlParams	map	なし	URLパラメータ
validEndDate	date	なし	有効期間終了日
validationCode	string	なし	拡張検証コード
validationParam	string	なし	拡張検証パラメータ

データインポート

データインポートを行うタスクです。

入力値

```
im_import <object> *
  ├ data <binary>
  ├ importId <string> *
  └ options <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_import	必須	object	なし	
data	任意	binary	なし	インポートを行うデータを指定してください。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
importId	必須	string	なし	インポートIDを指定してください。
options	任意	map	なし	インポートを行う際のオプションです、インポートの種別によりオプションは異なります。

※インポートIDは、「ジョブ・ジョブネット リファレンス」に記載されている各インポートジョブの「plugin_id」を指定してください。
※オプションには、「ジョブ・ジョブネット リファレンス」に記載されている各インポートジョブの「plugin_id」以外の実行パラメータを指定できます。

出力値

```
im_import <object>
  ├─ executeId <string>
  ├─ faultCount <long>
  ├─ message <string>
  ├─ success <boolean>
  └─ totalCount <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_import	object	なし	
executeId	string	なし	インポート実行ID
faultCount	long	なし	インポート失敗件数
message	string	なし	メッセージ
success	boolean	なし	成功フラグ
totalCount	long	なし	インポート数合計

データエクスポート

データエクスポートを実行するタスクです。

入力値

```
im_export <object> *
  ├─ exportId <string> *
  ├─ options <map>
  └─ storage <storage>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_export	必須	object	なし	
exportId	必須	string	なし	エクスポートIDを指定してください。
options	任意	map	なし	エクスポート実行時に利用するオプションを指定してください。
storage	任意	storage	なし	エクスポート先を指定してください。

※エクスポートIDは、「ジョブ・ジョブネット リファレンス」に記載されている各エクスポートジョブの「plugin_id」を指定してください。
※オプションには、「ジョブ・ジョブネット リファレンス」に記載されている各エクスポートジョブの「plugin_id」以外の実行パラメータを指定できます。

出力値

```
im_export <object>
  ├ executeId <string>
  ├ faultCount <long>
  ├ message <string>
  ├ success <boolean>
  └ totalCount <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_export	object	なし	
executeId	string	なし	エクスポート実行ID
faultCount	long	なし	失敗件数
message	string	なし	メッセージ
success	boolean	なし	成功フラグ
totalCount	long	なし	エクスポート件数合計

アクセストークンの取得

OAuth クライアントモジュールを利用して連携されたアクセストークンを取得するタスクです。 外部連携アプリケーションにて利用中のアプリケーションとして連携されたアプリケーションのアクセストークンを取得します。

> **コラム**
>
> このタスクを利用するには 「OAuth クライアント」モジュールを含む環境を構築する必要があります。

入力値

```
im_getAccessToken <object> *
  ├ providerId <string> *
  └ providerType <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getAccessToken	必須	object	なし	
providerId	必須	string	なし	プロバイダIDを指定してください。
providerType	必須	string	なし	プロバイダ種別を指定してください。

※プロバイダIDおよびプロバイダ種別は、「設定ファイル OAuthプロバイダ設定」に設定されたOAuthプロバイダの「id」、「provider-type」を指定してください。

出力値

```
im_getAccessToken <object>
  ├ accessToken <string>
  ├ expires <date>
  ├ refreshToken <string>
  ├ scope <string>
  └ tokenType <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getAccessToken	object	なし	
accessToken	string	なし	アクセストークン
expires	date	なし	アクセストークンの有効期限
refreshToken	string	なし	リフレッシュトークン

項目名	型	配列/リスト	説明
tokenType	string	なし	トークン種別

アクセスセキュリティ

アカウント情報の取得

アカウント情報を取得します。

入力値

```
im_getAccountInfo <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getAccountInfo	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_getAccountInfo <object>
  ├ calendarId <string>
  ├ dateTimeFormat <object>
  │    ├ dateFormats <object>
  │    │    ├ input <string>
  │    │    ├ simple <string>
  │    │    └ standard <string>
  │    ├ formatSetId <string>
  │    ├ formatSetLocale <string>
  │    └ timeFormats <object>
  │         ├ input <string>
  │         ├ standard <string>
  │         └ timestamp <string>
  ├ encoding <string>
  ├ firstDayOfWeek <integer>
  ├ locale <locale>
  ├ lockDate <date>
  ├ loginFailureCount <integer>
  ├ notes <string>
  ├ password <string>
  ├ themeIdForPC <string>
  ├ themeIds <map>
  ├ timeZoneId <string>
  ├ userCd <string>
  ├ validEndDate <date>
  └ validStartDate <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getAccountInfo	object	なし	-
calendarId	string	なし	カレンダーID
dateTimeFormat	object	なし	-
dateFormats	object	なし	-
input	string	なし	入力用日付フォーマット
simple	string	なし	表示用簡易日付フォーマット
standard	string	なし	表示用標準日付フォーマット

項目名	型	配列/リスト	説明
formatSetId	string	なし	フォーマットセットID
formatSetLocale	string	なし	フォーマットセット・ロケール
timeFormats	object	なし	-
input	string	なし	入力用時刻フォーマット
standard	string	なし	表示用標準時刻フォーマット
timestamp	string	なし	表示用タイムスタンプ フォーマット
encoding	string	なし	エンコーディング
firstDayOfWeek	integer	なし	週の開始曜日
locale	locale	なし	ロケール
lockDate	date	なし	アカウントロック日付
loginFailureCount	integer	なし	ログイン失敗回数
notes	string	なし	説明
password	string	なし	パスワード
themeIdForPC	string	なし	PC用テーマID
themeIds	map	なし	テーマ情報一覧 key: クライアントタイプID、value: テーマID
timeZoneId	string	なし	タイムゾーンID
userCd	string	なし	ユーザコード
validEndDate	date	なし	有効終了日
validStartDate	date	なし	有効開始日

アカウントの追加

アカウントの追加を行うタスクです。
各項目に設定可能な値は、APIドキュメント「AccountInfo」を参照してください。
アカウントライセンスの登録は、*アカウントの有効化* を利用してください。

入力値

```
im_addAccount <object> *
  ├─ calendarId <string>
  ├─ dateTimeFormat <object>
  │    ├─ dateFormats <object>
  │    │    ├─ input <string>
  │    │    ├─ simple <string>
  │    │    └─ standard <string>
  │    ├─ formatSetId <string>
  │    ├─ formatSetLocale <string>
  │    └─ timeFormats <object>
  │         ├─ input <string>
  │         ├─ standard <string>
  │         └─ timestamp <string>
  ├─ encoding <string>
  ├─ firstDayOfWeek <integer>
  ├─ locale <locale>
  ├─ lockDate <date>
  ├─ loginFailureCount <integer>
  ├─ notes <string>
  ├─ password <string>
  ├─ themeIdForPC <string>
  ├─ themeIds <map>
  ├─ timeZoneId <string>
  ├─ userCd <string> *
  ├─ validEndDate <date>
  └─ validStartDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addAccount	必須	object	なし	-
calendarId	任意	string	なし	カレンダーID
dateTimeFormat	任意	object	なし	-
dateFormats	任意	object	なし	-
input	任意	string	なし	入力用日付フォーマット
simple	任意	string	なし	表示用簡易日付フォーマット
standard	任意	string	なし	表示用標準日付フォーマット
formatSetId	任意	string	なし	フォーマットセットID 日付、または、時刻のフォーマットを指定する場合は必須。
formatSetLocale	任意	string	なし	フォーマットセット・ロケール 日付、または、時刻のフォーマットを指定する場合は必須。
timeFormats	任意	object	なし	-
input	任意	string	なし	入力用時刻フォーマット
standard	任意	string	なし	表示用標準時刻フォーマット
timestamp	任意	string	なし	表示用タイムスタンプ フォーマット
encoding	任意	string	なし	エンコーディング
firstDayOfWeek	任意	integer	なし	週の開始曜日
locale	任意	locale	なし	ロケール
lockDate	任意	date	なし	アカウントロック日付
loginFailureCount	任意	integer	なし	ログイン失敗回数
notes	任意	string	なし	説明

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
password	任意	string	なし	パスワード アカウント追加時、パスワード利用可能文字のチェックは行われません。
themeIdForPC	任意	string	なし	PC用テーマID
themeIds	任意	map	なし	テーマ情報一覧 key: クライアントタイプID、value: テーマID
timeZoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード
validEndDate	任意	date	なし	有効終了日
validStartDate	任意	date	なし	有効開始日

出力値

```
im_addAccount <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addAccount	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウントの更新

アカウントの更新を行うタスクです。
各項目に設定可能な値は、APIドキュメント「AccountInfo」を参照してください。
アカウントライセンスの登録は、*アカウントの有効化* を利用してください。

入力値

```
im_updateAccount <object> *
  ├─ calendarId <string>
  ├─ dateTimeFormat <object>
  │    ├─ dateFormats <object>
  │    │    ├─ input <string>
  │    │    ├─ simple <string>
  │    │    └─ standard <string>
  │    ├─ formatSetId <string>
  │    ├─ formatSetLocale <string>
  │    └─ timeFormats <object>
  │         ├─ input <string>
  │         ├─ standard <string>
  │         └─ timestamp <string>
  ├─ encoding <string>
  ├─ firstDayOfWeek <integer>
  ├─ locale <locale>
  ├─ lockDate <date>
  ├─ loginFailureCount <integer>
  ├─ notes <string>
  ├─ password <string>
  ├─ themeIdForPC <string>
  ├─ themeIds <map>
  ├─ timeZoneId <string>
  ├─ userCd <string> *
  ├─ validEndDate <date>
  └─ validStartDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_updateAccount	必須	object	なし	-
calendarId	任意	string	なし	カレンダーID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
dateTimeFormat	任意	object	なし	-
dateFormats	任意	object	なし	-
input	任意	string	なし	入力用日付フォーマット
simple	任意	string	なし	表示用簡易日付フォーマット
standard	任意	string	なし	表示用標準日付フォーマット
formatSetId	任意	string	なし	フォーマットセットID 日付、または、時刻のフォーマットを指定する場合は必須。
formatSetLocale	任意	string	なし	フォーマットセット・ロケール 日付、または、時刻のフォーマットを指定する場合は必須。
timeFormats	任意	object	なし	-
input	任意	string	なし	入力用時刻フォーマット
standard	任意	string	なし	表示用標準時刻フォーマット
timestamp	任意	string	なし	表示用タイムスタンプ フォーマット
encoding	任意	string	なし	エンコーディング
firstDayOfWeek	任意	integer	なし	週の開始曜日
locale	任意	locale	なし	ロケール
lockDate	任意	date	なし	アカウントロック日付
loginFailureCount	任意	integer	なし	ログイン失敗回数
notes	任意	string	なし	説明
password	任意	string	なし	パスワード アカウント更新時、パスワード利用可能文字のチェックは行われません。
themeIdForPC	任意	string	なし	PC用テーマID
themeIds	任意	map	なし	テーマ情報一覧 key: クライアントタイプID、value: テーマID
timeZoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード
validEndDate	任意	date	なし	有効終了日
validStartDate	任意	date	なし	有効開始日

出力値

```
im_updateAccount <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_updateAccount	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウントの削除

アカウントの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteAccount <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteAccount	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_deleteAccount <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteAccount	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウントの有効化

アカウントの有効化を行うタスクです。 指定されたユーザのアカウントライセンスを登録します。

入力値

```
im_activateAccount <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_activateAccount	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_activateAccount <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_activateAccount	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウントの無効化

アカウントの無効化を行うタスクです。 指定されたユーザのアカウントライセンスを削除します。

入力値

```
im_deactivateAccount <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deactivateAccount	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_deactivateAccount <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deactivateAccount	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アプリケーションライセンスの登録

アカウントにアプリケーションライセンスを登録します。

入力値

```
im_registerApplicationLicense <object> *
  ├ applicationIds <string[]> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_registerApplicationLicense	必須	object	なし	-
applicationIds	必須	string	配列	アプリケーションID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_registerApplicationLicense <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_registerApplicationLicense	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アプリケーションライセンスの削除

アカウントからアプリケーションライセンスを削除します。

入力値

```
im_deleteApplicationLicense <object> *
  ├ applicationIds <string[]> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteApplicationLicense	必須	object	なし	-
applicationIds	必須	string	配列	アプリケーションID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_deleteApplicationLicense <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteApplicationLicense	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウント付与ロールの取得

アカウント付与ロールの取得を行うタスクです。

入力値

```
im_getAccountRoleIds <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getAccountRoleIds	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_getAccountRoleIds <object>
  └ roleIds <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getAccountRoleIds	object	なし	-
roleIds	string	配列	ロールID

アカウントにロールを追加

アカウントにロールを追加するタスクです。

入力値

```
im_grantAccountRole <object> *
  ├ roleIds <string[]> *
  ├ roleValidEndDate <date>
  ├ roleValidStartDate <date>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_grantAccountRole	必須	object	なし	-
roleIds	必須	string	配列	ロールID
roleValidEndDate	任意	date	なし	ロール有効終了日
roleValidStartDate	任意	date	なし	ロール有効開始日
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_grantAccountRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_grantAccountRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウントからロールを削除

アカウントからロールを削除するタスクです。

入力値

```
im_revokeAccountRole <object> *
  ├ roleIds <string[]> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_revokeAccountRole	必須	object	なし	-
roleIds	必須	string	配列	ロールID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_revokeAccountRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_revokeAccountRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ロールを保持するユーザの取得

指定されたロールを保持するユーザのユーザコードを取得します。

入力値

```
im_getUserCdsByRoleId <object> *
  ├─ roleId <string> *
  └─ targetDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getUserCdsByRoleId	必須	object	なし	-
roleId	必須	string	なし	ロールID
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。

出力値

```
im_getUserCdsByRoleId <object>
  └─ userCds <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getUserCdsByRoleId	object	なし	-
userCds	string	配列	ユーザコード

アカウント属性名の取得

アカウント属性名の取得を行うタスクです。

入力値

```
im_getAccountAttributeNames <object> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getAccountAttributeNames	必須	object	なし	-
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_getAccountAttributeNames <object>
  └ attributeNames <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getAccountAttributeNames	object	なし	-
attributeNames	string	配列	アカウント属性名

アカウント属性値の取得

アカウント属性値の取得を行うタスクです。

入力値

```
im_getAccountAttributeValue <object> *
  ├ attributeName <string> *
  ├ defaultValue <string>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getAccountAttributeValue	必須	object	なし	-
attributeName	必須	string	なし	属性名
defaultValue	任意	string	なし	デフォルト値 指定されたアカウント属性の値が設定されていない場合に返却される値です。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_getAccountAttributeValue <object>
  └ attributeValue <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getAccountAttributeValue	object	なし	-
attributeValue	string	なし	アカウント属性値

コラム

使用可能な属性名(attributeName)と、取得できる属性値(attributeValue)は以下の通りです。

属性名	属性値	説明
im_first_login	true false	初回ログインの判定
im_external_user	true false	外部ユーザの判定
im_menu.global_nav.dropdown.limitation	数値	グローバルナビ最大表示数
im_i18n_decimal_format_id	comma_period space_comma apostrophe_period period_comma	数値形式設定 comma_period: 123,456,789.123 space_comma: 123 456 789,123 apostrophe_period: 123‘456‘789.123 period_comma: 123.456.789,123
history_count	数値	イベントナビゲータにおけるナビゲート結果管理の履歴表示件数
im_multi_factor_authentication_user_disabled	true false	多要素認証設定が無効化されているかの判定

アカウント属性の追加

アカウント属性の追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addAccountAttribute <object> *
  ├─ attributeName <string> *
  ├─ attributeValue <string> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addAccountAttribute	必須	object	なし	-
attributeName	必須	string	なし	属性名
attributeValue	必須	string	なし	属性値
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

コラム

使用可能な属性名(attributeName)と属性値(attributeValue)は以下の通りです。

属性名	属性値	説明
im_first_login	true false	初回ログインの判定
im_external_user	true false	外部ユーザの判定
im_menu.global_nav.dropdown.limitation	数値	グローバルナビ最大表示数
im_i18n_decimal_format_id	comma_period space_comma apostrophe_period period_comma	数値形式設定 comma_period: 123,456,789.123 space_comma: 123 456 789,123 apostrophe_period: 123‘456‘789.123 period_comma: 123.456.789,123
history_count	数値	イベントナビゲータにおけるナビゲート結果管理の履歴表示件数
im_multi_factor_authentication_user_disabled	true false	多要素認証設定が無効化されているかの判定

出力値

```
im_addAccountAttribute <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addAccountAttribute	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アカウント属性の削除

アカウント属性の削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteAccountAttribute <object> *
  ├ attributeName <string> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteAccountAttribute	必須	object	なし	-
attributeName	必須	string	なし	属性名
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

コラム

使用可能な属性名(attributeName)は以下の通りです。

属性名	説明
im_first_login	初回ログインの判定
im_external_user	外部ユーザの判定
im_menu.global_nav.dropdown.limitation	グローバルナビ最大表示数
im_i18n_decimal_format_id	数値形式設定
history_count	イベントナビゲータにおけるナビゲート結果管理の履歴表示件数
im_multi_factor_authentication_user_disabled	多要素認証設定が無効化されているかの判定

出力値

```
im_deleteAccountAttribute <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteAccountAttribute	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ロール情報の取得

ロール情報の取得を行うタスクです。

入力値

```
im_getRole <object> *
  ├ locale <locale>
  └ roleId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getRole	必須	object	なし	-
locale	任意	locale	なし	取得するロール情報の対象ロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。
roleId	必須	string	なし	ロールID

出力値

```
im_getRole <object>
  ├ category <string>
  ├ displayName <string>
  ├ notes <string>
  ├ roleId <string>
  └ roleName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getRole	object	なし	-
category	string	なし	ロールカテゴリ
displayName	string	なし	ロール表示名 指定された対象ロケールの表示名が返却されます。

項目名	型	配列/リスト	説明
notes	string	なし	ロールの詳細
roleId	string	なし	ロールID
roleName	string	なし	ロール名

ロールの追加

ロールの追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addRole <object> *
  ├─ category <string>
  ├─ defaultLocaleDisplayName <string> *
  ├─ displayName <map>
  ├─ notes <string>
  ├─ roleId <string> *
  └─ roleName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addRole	必須	object	なし	-
category	任意	string	なし	ロールカテゴリ
defaultLocaleDisplayName	必須	string	なし	テナントのデフォルトロケール用ロール表示名
displayName	任意	map	なし	ロール表示名 key: ロケールID、value: 表示名 システムで利用可能なロケールに表示名が設定されていない場合、テナントのデフォルトロケール用表示名が設定されます。
notes	任意	string	なし	ロールの詳細
roleId	必須	string	なし	ロールID
roleName	必須	string	なし	ロール名

出力値

```
im_addRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ロールの更新

ロールの更新を行うタスクです。

入力値

```
im_updateRole <object> *
  ├─ category <string>
  ├─ displayName <map>
  ├─ notes <string>
  ├─ roleId <string> *
  └─ roleName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_updateRole	必須	object	なし	-
category	任意	string	なし	ロールカテゴリ
displayName	任意	map	なし	ロール表示名 key: ロケールID、value: 表示名
notes	任意	string	なし	ロールの詳細
roleId	必須	string	なし	ロールID
roleName	必須	string	なし	ロール名

出力値

```
im_updateRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_updateRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ロールの削除

ロールの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteRole <object> *
  └ roleId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteRole	必須	object	なし	-
roleId	必須	string	なし	ロールID

出力値

```
im_deleteRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

サブロール情報の取得

サブロール情報の取得を行うタスクです。

入力値

```
im_getSubRole <object> *
  ├ recursive <boolean>
  └ roleId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getSubRole	必須	object	なし	-

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
recursive	任意	boolean	なし	ネストしたサブロールを再帰的に探索する場合、 true 1階層のみを取得する場合、 false。
roleId	必須	string	なし	ロールID

出力値

```
im_getSubRole <object>
  └ subRoleIds <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getSubRole	object	なし	-
subRoleIds	string	配列	サブロールID

サブロールの追加

サブロールの追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addSubRole <object> *
  ├ roleId <string> *
  └ subRoleId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addSubRole	必須	object	なし	-
roleId	必須	string	なし	ロールID
subRoleId	必須	string	なし	サブロールID

出力値

```
im_addSubRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addSubRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

サブロールの削除

サブロールの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteSubRole <object> *
  ├ roleId <string> *
  └ subRoleId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteSubRole	必須	object	なし	-
roleId	必須	string	なし	ロールID
subRoleId	必須	string	なし	サブロールID

出力値

```
im_deleteSubRole <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteSubRole	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

カレンダー（日付情報）の取得

カレンダー（日付情報）の取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- DayInfoSummary
- DayInfo

入力値

```
im_getDayInfoSummaries <object> *
  ├─ calendarId <string> *
  ├─ end <calendar> *
  ├─ locale <locale>
  └─ start <calendar> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_getDayInfoSummaries	必須	object	なし	-
calendarId	必須	string	なし	カレンダーID
end	必須	calendar	なし	取得期間の終わりの日（指定した日を含む） Calendarのうち、year, month, dayOfMonthのフィールドのみを使用します。他のフィールドは無視されます。
locale	任意	locale	なし	取得対象のロケール 省略した場合、アカウントコンテキストのロケールが設定されます。
start	必須	calendar	なし	取得期間の最初の日 Calendarのうち、year, month, dayOfMonthのフィールドのみを使用します。他のフィールドは無視されます。

出力値

```
im_getDayInfoSummaries <object[]>
  ├─ color <string>
  ├─ currentDate <calendar>
  ├─ dayInfoNames <string[]>
  ├─ dayInfos <object[]>
  │    ├─ color <string>
  │    ├─ dataType <string>
  │    ├─ dayInfoId <string>
  │    ├─ dayInfoName <string>
  │    ├─ dayInfoSetId <string>
  │    ├─ dayOfMonth <integer>
  │    ├─ dayOfWeek <integer>
  │    ├─ dayOfWeekInMonth <integer>
  │    ├─ fullYear <integer>
  │    ├─ mergeSortKey <long>
  │    ├─ month <integer>
  │    ├─ sortKey <long>
  │    ├─ validEndYear <integer>
  │    ├─ validStartYear <integer>
  │    └─ weekOfMonth <integer>
  └─ holiday <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_getDayInfoSummaries	object	リスト	-
color	string	なし	この日の表示色
currentDate	calendar	なし	この日の日付
dayInfoNames	string	リスト	この日に登録されている日付情報の名前。 入力値に指定された取得対象ロケールの名前が格納されます。 並び順は、日付情報の優先度です。
dayInfos	object	リスト	-
color	string	なし	表示色
dataType	string	なし	データタイプ
dayInfoId	string	なし	日付情報ID
dayInfoName	string	なし	日付情報名 取得対象ロケールの日付情報名が格納されます。
dayInfoSetId	string	なし	日付情報セットID
dayOfMonth	integer	なし	対象日
dayOfWeek	integer	なし	対象曜日
dayOfWeekInMonth	integer	なし	対象第何曜日
fullYear	integer	なし	対象年
mergeSortKey	long	なし	マージソートキー
month	integer	なし	対象月
sortKey	long	なし	ソートキー
validEndYear	integer	なし	有効終了年
validStartYear	integer	なし	有効開始年
weekOfMonth	integer	なし	対象週
holiday	boolean	なし	休日フラグ 休日の場合 true、平日の場合 false。

認可サブジェクトグループの追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addAuthzSubjectGroup <object> *
  ├─ defaultLocaleDisplayName <string> *
  ├─ description <map>
  ├─ displayName <map>
  └─ subjectGroupExpression <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzSubjectGroup	必須	object	なし	-
defaultLocaleDisplayName	必須	string	なし	テナントのデフォルトロケール用表示名
description	任意	map	なし	認可サブジェクトグループの説明 key: ロケールID、value: 説明
displayName	任意	map	なし	表示名 key: ロケールID、value: 表示名 システムで利用可能なロケールに表示名が設定されていない場合、テナントのデフォルトロケール用表示名が設定されます。
subjectGroupExpression	必須	string	なし	サブジェクトグループ式 詳細は「認可仕様書」-「サブジェクト管理」を参照してください。

出力値

```
im_addAuthzSubjectGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzSubjectGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可サブジェクトグループの削除

認可サブジェクトグループの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteAuthzSubjectGroup <object> *
  └─ subjectGroupExpression <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzSubjectGroup	必須	object	なし	-
subjectGroupExpression	必須	string	なし	サブジェクトグループ式 詳細は「認可仕様書」-「サブジェクト管理」を参照してください。

出力値

```
im_deleteAuthzSubjectGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzSubjectGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可リソースの追加

認可リソースの追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addAuthzResource <object> *
  ├─ defaultLocaleDisplayName <string> *
  ├─ description <map>
  ├─ displayName <map>
  ├─ newGroupId <string>
  ├─ parentGroupId <string> *
  └─ resourceURI <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzResource	必須	object	なし	-
defaultLocaleDisplayName	必須	string	なし	テナントのデフォルトロケール用表示名
description	任意	map	なし	認可リソースの説明 key: ロケールID、value: 説明
displayName	任意	map	なし	表示名 key: ロケールID、value: 表示名 システムで利用可能なロケールに表示名が設定されていない場合、テナントのデフォルトロケール用表示名が設定されます。
newGroupId	任意	string	なし	リソースグループID 省略した場合、リソースURIから生成したリソースIDが設定されます。
parentGroupId	必須	string	なし	親リソースグループID
resourceURI	必須	string	なし	リソースURI

出力値

```
im_addAuthzResource <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzResource	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可リソースの削除

認可リソースの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteAuthzResource <object> *
  └─ resourceURI <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzResource	必須	object	なし	-
resourceURI	必須	string	なし	リソースURI

出力値

```
im_deleteAuthzResource <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzResource	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可リソースグループの追加

認可リソースグループの追加を行うタスクです。

入力値

```
im_addAuthzResourceGroup <object> *
  ├─ defaultLocaleDisplayName <string> *
  ├─ description <map>
  ├─ displayName <map>
  ├─ newGroupId <string> *
  └─ parentGroupId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzResourceGroup	必須	object	なし	-
defaultLocaleDisplayName	必須	string	なし	テナントのデフォルトロケール用表示名
description	任意	map	なし	認可リソースグループの説明 key: ロケールID、value: 説明
displayName	任意	map	なし	表示名 key: ロケールID、value: 表示名 システムで利用可能なロケールに表示名が設定されていない場合、テナントのデフォルトロケール用表示名が設定されます。
newGroupId	必須	string	なし	リソースグループID
parentGroupId	必須	string	なし	親リソースグループID

出力値

```
im_addAuthzResourceGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addAuthzResourceGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可リソースグループの削除

認可リソースグループの削除を行うタスクです。

入力値

```
im_deleteAuthzResourceGroup <object> *
  └─ resourceGroupId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzResourceGroup	必須	object	なし	-
resourceGroupId	必須	string	なし	リソースグループID

出力値

```
im_deleteAuthzResourceGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_deleteAuthzResourceGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可ポリシーの許可

認可ポリシーの許可を行うタスクです。

入力値

```
im_permitAuthzPolicy <object> *
  ├─ action <string> *
  ├─ resourceGroupId <string>
  ├─ resourceTypeId <string>
  ├─ resourceURI <string>
  └─ subjectGroupExpression <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_permitAuthzPolicy	必須	object	なし	-
action	必須	string	なし	アクション
resourceGroupId	任意	string	なし	リソースグループID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。
resourceTypeId	任意	string	なし	リソースタイプID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIが指定されている場合は、不要です。（リソースURIからリソースタイプIDを自動解決します）
resourceURI	任意	string	なし	リソースURI リソースグループIDが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。
subjectGroupExpression	必須	string	なし	サブジェクトグループ式 詳細は「認可仕様書」-「サブジェクト管理」を参照してください。

出力値

```
im_permitAuthzPolicy <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_permitAuthzPolicy	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可ポリシーの禁止

認可ポリシーの禁止を行うタスクです。

入力値

```
im_denyAuthzPolicy <object> *
  ├─ action <string> *
  ├─ resourceGroupId <string>
  ├─ resourceTypeId <string>
  ├─ resourceURI <string>
  └─ subjectGroupExpression <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_denyAuthzPolicy	必須	object	なし	-
action	必須	string	なし	アクション
resourceGroupId	任意	string	なし	リソースグループID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。
resourceTypeId	任意	string	なし	リソースタイプID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIが指定されている場合は、不要です。 （リソースURIからリソースタイプIDを自動解決します）
resourceURI	任意	string	なし	リソースURI リソースグループIDが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。
subjectGroupExpression	必須	string	なし	サブジェクトグループ式 詳細は「認可仕様書」-「サブジェクト管理」を参照してください。

出力値

```
im_denyAuthzPolicy <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_denyAuthzPolicy	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可ポリシーの解除

認可ポリシーの解除を行うタスクです。

入力値

```
im_unsetAuthzPolicy <object> *
  ├ action <string> *
  ├ resourceGroupId <string>
  ├ resourceTypeId <string>
  ├ resourceURI <string>
  └ subjectGroupExpression <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_unsetAuthzPolicy	必須	object	なし	-
action	必須	string	なし	アクション
resourceGroupId	任意	string	なし	リソースグループID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
resourceTypeId	任意	string	なし	リソースタイプID リソースURIが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIが指定されている場合は、不要です。 （リソースURIからリソースタイプIDを自動解決します）
resourceURI	任意	string	なし	リソースURI リソースグループIDが指定されていない場合は、必須です。 リソースURIとリソースグループIDの両方が指定されている場合は、 リソースURIだけが設定されている事として動作します。
subjectGroupExpression	必須	string	なし	サブジェクトグループ式 詳細は「認可仕様書」-「サブジェクト管理」を参照してください。

出力値

```
im_unsetAuthzPolicy <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_unsetAuthzPolicy	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可判断

認可判断を行うタスクです。

入力値

```
im_authorizeAuthz <object> *
  ├ action <string> *
  ├ resourceURI <string> *
  └ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_authorizeAuthz	必須	object	なし	-
action	必須	string	なし	アクション
resourceURI	必須	string	なし	リソースURI
userCd	任意	string	なし	ユーザコード 省略した場合、アカウントコンテキストのユーザコードを使用して認可を判断します。

出力値

```
im_authorizeAuthz <object>
  ├ effect <string>
  └ permit <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_authorizeAuthz	object	なし	-
effect	string	なし	認可判断の結果 許可: Permit、禁止: Deny、閉塞: Block

項目名	型	配列/リスト	説明
permit	boolean	なし	許可フラグ 許可(Permit)の場合は true、それ以外は false。

認可リソースグループの閉塞

認可リソースグループの閉塞を行うタスクです。

入力値

```
im_blockAuthzResourceGroup <object> *
  ├ action <string>
  ├ resourceGroupId <string> *
  └ resourceTypeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_blockAuthzResourceGroup	必須	object	なし	-
action	任意	string	なし	アクション リソースタイプID、または、アクションを省略した場合、指定したリソースグループとその配下のリソースグループ全体に対して閉塞します。
resourceGroupId	必須	string	なし	リソースグループID
resourceTypeId	任意	string	なし	リソースタイプID リソースタイプID、または、アクションを省略した場合、指定したリソースグループとその配下のリソースグループ全体に対して閉塞します。

出力値

```
im_blockAuthzResourceGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_blockAuthzResourceGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

認可リソースグループの閉塞解除

認可リソースグループの閉塞解除を行うタスクです。

入力値

```
im_unblockAuthzResourceGroup <object> *
  ├ action <string>
  ├ resourceGroupId <string> *
  └ resourceTypeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_unblockAuthzResourceGroup	必須	object	なし	-
action	任意	string	なし	アクション リソースタイプID、または、アクションを省略した場合、指定したリソースグループとその配下のリソースグループ全体に対して閉塞を解除します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
resourceGroupId	必須	string	なし	リソースグループID
resourceTypeId	任意	string	なし	リソースタイプID リソースタイプID、または、アクションを省略した場合、指定したリソースグループとその配下のリソースグループ全体に対して閉塞を解除します。

出力値

```
im_unblockAuthzResourceGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_unblockAuthzResourceGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM共通マスタ

ユーザプロファイルの取得

ユーザプロファイルの取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- User

入力値

```
im_immGetProfile <object> *
  ├ disable <boolean>
  ├ targetDate <date>
  ├ targetLocale <locale>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetProfile	必須	object	なし	
disable	任意	boolean	なし	論理削除データを取得する場合、 true を指定します。
targetDate	任意	date	なし	取得の基準日 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。
targetLocale	任意	locale	なし	取得する多言語情報のロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immGetProfile <object>
  ├─ disable <boolean>
  ├─ endDate <date>
  ├─ localize <object>
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ mobileEmailAddress <string>
  │    ├─ mobileNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    ├─ userName <string>
  │    ├─ userSearchName <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ sex <string>
  ├─ sortKey <integer>
  ├─ startDate <date>
  ├─ termCd <string>
  └─ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetProfile	object	なし	ユーザプロファイル情報
disable	boolean	なし	論理削除されている場合、true
endDate	date	なし	終了日
localize	object	なし	多言語情報
address1	string	なし	住所１
address2	string	なし	住所２
address3	string	なし	住所３
countryCd	string	なし	国コード
emailAddress1	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	string	なし	内線番号
faxNumber	string	なし	Fax番号
mobileEmailAddress	string	なし	メールアドレス（モバイル）
mobileNumber	string	なし	電話番号（モバイル）
notes	string	なし	備考
telephoneNumber	string	なし	電話番号
url	string	なし	URL
userName	string	なし	名前
userSearchName	string	なし	検索名
zipCode	string	なし	郵便番号

項目名	型	配列/リスト	説明
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sex	string	なし	性別 0：男性 1：女性 2：その他 9：回答しない
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザプロファイルの登録

ユーザプロファイルの登録を行うタスクです。

このタスクはユーザプロファイルのみ登録します。
アカウントの登録は、*アカウントの追加* を利用してください。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合はユーザプロファイルの登録後に*ユーザプロファイル多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRegisterProfile <object> *
  ├─ endDate <date> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ mobileEmailAddress <string>
  │    ├─ mobileNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    ├─ userName <string> *
  │    ├─ userSearchName <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ sex <string>
  ├─ sortKey <integer> *
  ├─ startDate <date> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterProfile	必須	object	なし	
endDate	必須	date	なし	終了日
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所 1
address2	任意	string	なし	住所 2

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
address3	任意	string	なし	住所３
countryCd	任意	string	なし	国コード
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
mobileEmailAddress	任意	string	なし	メールアドレス（モバイル）
mobileNumber	任意	string	なし	電話番号（モバイル）
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
userName	必須	string	なし	名前
userSearchName	任意	string	なし	検索名
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
sex	任意	string	なし	性別 「0」「1」「2」「9」のいずれかを指定してください。 0：男性 1：女性 2：その他 9：回答しない
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
startDate	必須	date	なし	開始日
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immRegisterProfile <object[]>
  ├ endDate <date>
  ├ startDate <date>
  └ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterProfile	object	リスト	登録されたユーザプロファイルの期間情報
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

ユーザプロファイルの更新

対象日付が含まれる期間のユーザプロファイルを更新するタスクです。

このタスクでは多言語情報の更新は行えません。
多言語情報の更新を行いたい場合は、*ユーザプロファイル多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immUpdateProfile <object> *
  ├─ disable <boolean>
  ├─ sex <string>
  ├─ sortKey <integer> *
  ├─ targetDate <date> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateProfile	必須	object	なし	
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ true を指定すると削除されたユーザプロファイルとして扱われます。
sex	任意	string	なし	性別 「0」「1」「2」「9」のいずれかを指定してください。 0：男性 1：女性 2：その他 9：回答しない
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
targetDate	必須	date	なし	対象日付
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immUpdateProfile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateProfile	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザプロファイル多言語情報の更新

指定された対象日付が含まれる期間のユーザプロファイル多言語情報を更新するタスクです。
指定された対象ロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_immUpdateLocalizedProfile <object> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ mobileEmailAddress <string>
  │    ├─ mobileNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    ├─ userName <string> *
  │    ├─ userSearchName <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ targetDate <date> *
  ├─ targetLocale <locale> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedProfile	必須	object	なし	
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所１
address2	任意	string	なし	住所２
address3	任意	string	なし	住所３
countryCd	任意	string	なし	国コード
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
mobileEmailAddress	任意	string	なし	メールアドレス（モバイル）
mobileNumber	任意	string	なし	電話番号（モバイル）
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
userName	必須	string	なし	名前
userSearchName	任意	string	なし	検索名
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
targetDate	必須	date	なし	対象日付
targetLocale	必須	locale	なし	対象ロケール
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immUpdateLocalizedProfile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedProfile	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザプロファイルの削除

ユーザプロファイルの削除を行うタスクです。
このタスクではすべての期間のユーザプロファイル情報を削除します。
一部の期間のみ無効化したい場合は*ユーザプロファイルの更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRemoveProfile <object> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveProfile	必須	object	なし	
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immRemoveProfile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveProfile	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

所属組織の取得

指定されたユーザの所属する組織情報を取得します。

入力値

```
im_immGetDepartmentByUser <object> *
  ├ disable <boolean>
  ├ main <boolean>
  ├ targetDate <date>
  ├ targetLocale <locale>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetDepartmentByUser	必須	object	なし	-
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ 論理削除データを取得する場合、 true を指定します。
main	任意	boolean	なし	主所属フラグ 主所属情報のみ取得する場合、true を指定します。
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合、システム日付が対象日付として使用されます。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetLocale	任意	locale	なし	対象ロケール 指定されていない場合、アカウントコンテキストのロケールが対象ロケールとして使用されます。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immGetDepartmentByUser <object>
  └ departments <object[]>
      ├ companyCd <string>
      ├ departmentSetCd <string>
      ├ departmentCd <string>
      ├ name <string>
      ├ shortName <string>
      └ description <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetDepartmentByUser	object	なし	-
departments	object	配列	組織情報
companyCd	string	なし	会社コード
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
departmentCd	string	なし	組織コード
name	string	なし	組織名 対象ロケールの組織名が取得されます。
shortName	string	なし	略称
description	string	なし	備考

組織に所属

ユーザを組織に所属させるタスクです。

入力値

```
im_immJoinDepartment <object> *
  ├ companyCd <string> *
  ├ departmentCd <string> *
  ├ departmentSetCd <string> *
  ├ disable <boolean>
  ├ endDate <date>
  ├ main <boolean>
  ├ startDate <date>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immJoinDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	削除フラグ 所属を無効にする場合、true を指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
endDate	任意	date	なし	終了日 指定されていない場合は、システム終了日が使用されます。
main	任意	boolean	なし	主所属フラグ 主所属組織として登録する場合、true を指定します。
startDate	任意	date	なし	開始日 指定されていない場合は、システム開始日が使用されます。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immJoinDepartment <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immJoinDepartment	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

組織を脱退

ユーザを組織から脱退させるタスクです。
このタスクでは、完全にユーザを組織から脱退させます。
特定の期間のみ所属しないようにしたい場合は、 *組織に所属* を利用してください。

入力値

```
im_immLeaveDepartment <object> *
  ├ companyCd <string> *
  ├ departmentCd <string> *
  ├ departmentSetCd <string> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immLeaveDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immLeaveDepartment <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immLeaveDepartment	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

役職の付与

ユーザに役職の付与を行うタスクです。
このタスクでは指定された対象日付が含まれる所属期間に対して役職が付与されます。

入力値

```
im_immGrantPost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ postCd <string> *
  ├─ targetDate <date> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGrantPost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
postCd	必須	string	なし	役職コード
targetDate	必須	date	なし	対象日付
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immGrantPost <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGrantPost	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

役職の剥奪

ユーザから役職の剥奪を行うタスクです。
このタスクでは指定された対象日付が含まれる所属期間に対して付与されている役職の剥奪を行います。

入力値

```
im_immRevokePost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ postCd <string> *
  ├─ targetDate <date> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRevokePost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
postCd	必須	string	なし	役職コード
targetDate	必須	date	なし	対象日付
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immRevokePost <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRevokePost	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

会社情報の取得

会社情報の取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Company
- Department

入力値

```
im_immGetCompany <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ targetDate <date>
  └─ targetLocale <locale>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetCompany	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
targetDate	任意	date	なし	取得の基準日 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。
targetLocale	任意	locale	なし	取得する多言語情報のロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。

出力値

```
im_immGetCompany <object>
  ├─ company <object>
  │    ├─ companyCd <string>
  │    ├─ recordDate <date>
  │    ├─ recordUserCd <string>
  │    └─ sortKey <integer>
  └─ department <object>
       ├─ companyCd <string>
       ├─ departmentCd <string>
       ├─ departmentSetCd <string>
       ├─ disable <boolean>
       ├─ endDate <date>
       ├─ localize <object>
       │    ├─ address1 <string>
       │    ├─ address2 <string>
       │    ├─ address3 <string>
       │    ├─ countryCd <string>
       │    ├─ departmentName <string>
       │    ├─ departmentSearchName <string>
       │    ├─ departmentShortName <string>
       │    ├─ emailAddress1 <string>
       │    ├─ emailAddress2 <string>
       │    ├─ extensionFaxNumber <string>
       │    ├─ extensionNumber <string>
       │    ├─ faxNumber <string>
       │    ├─ notes <string>
       │    ├─ telephoneNumber <string>
       │    ├─ url <string>
       │    └─ zipCode <string>
       ├─ recordDate <date>
       ├─ recordUserCd <string>
       ├─ sortKey <integer>
       ├─ startDate <date>
       └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetCompany	object	なし	
company	object	なし	会社情報
companyCd	string	なし	会社コード
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sortKey	integer	なし	ソートキー
department	object	なし	会社・組織情報
companyCd	string	なし	会社コード
departmentCd	string	なし	組織コード
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
disable	boolean	なし	論理削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localize	object	なし	多言語情報
address1	string	なし	住所１
address2	string	なし	住所２
address3	string	なし	住所３
countryCd	string	なし	国コード
departmentName	string	なし	組織名

項目名	型	配列/リスト	説明
departmentSearchName	string	なし	組織検索名
departmentShortName	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	string	なし	メールアドレス 1
emailAddress2	string	なし	メールアドレス 2
extensionFaxNumber	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	string	なし	内線番号
faxNumber	string	なし	Fax番号
notes	string	なし	備考
telephoneNumber	string	なし	電話番号
url	string	なし	URL
zipCode	string	なし	郵便番号
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

会社情報の登録

会社情報の登録を行うタスクです。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合は会社の登録後に*会社多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRegisterCompany <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ companySortKey <integer> *
  ├─ departmentSortKey <integer> *
  ├─ endDate <date> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ departmentName <string> *
  │    ├─ departmentSearchName <string>
  │    ├─ departmentShortName <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    └─ zipCode <string>
  └─ startDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterCompany	必須	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
companyCd	必須	string	なし	会社コード
companySortKey	必須	integer	なし	会社情報のソートキー 会社一覧表示時のソートキーです。
departmentSortKey	必須	integer	なし	会社・組織情報のソートキー
endDate	必須	date	なし	終了日
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所１
address2	任意	string	なし	住所２
address3	任意	string	なし	住所３
countryCd	任意	string	なし	国コード
departmentName	必須	string	なし	組織名
departmentSearchName	任意	string	なし	組織検索名
departmentShortName	任意	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
startDate	必須	date	なし	開始日

出力値

```
im_immRegisterCompany <object[]>
  ├─ endDate <date>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterCompany	object	リスト	登録された会社・組織の期間情報
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

会社情報の更新

会社情報の更新を行うタスクです。

入力値

```
im_immUpdateCompany <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  └─ sortKey <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateCompany	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー

出力値

```
im_immUpdateCompany <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateCompany	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

会社多言語情報の更新

指定された対象日付が含まれる期間の会社・組織多言語情報を更新するタスクです。
指定された対象ロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_immUpdateLocalizedCompany <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ departmentName <string> *
  │    ├─ departmentSearchName <string>
  │    ├─ departmentShortName <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ targetDate <date> *
  └─ targetLocale <locale> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedCompany	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所１
address2	任意	string	なし	住所２
address3	任意	string	なし	住所３
countryCd	任意	string	なし	国コード
departmentName	必須	string	なし	組織名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
departmentSearchName	任意	string	なし	組織検索名
departmentShortName	任意	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
targetDate	必須	date	なし	対象日付
targetLocale	必須	locale	なし	対象ロケール

出力値

```
im_immUpdateLocalizedCompany <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedCompany	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

会社情報の削除

会社情報の削除を行うタスクです。

入力値

```
im_immRemoveCompany <object> *
  └ companyCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveCompany	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード

出力値

```
im_immRemoveCompany <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveCompany	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

組織情報の取得

組織情報の取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Department

入力値

```
im_immGetDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ disable <boolean>
  ├─ targetDate <date>
  └─ targetLocale <locale>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ 論理削除されている組織情報も取得対象としたい場合は、trueを指定します。
targetDate	任意	date	なし	取得の基準日 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。
targetLocale	任意	locale	なし	取得する多言語情報のロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。

出力値

```
im_immGetDepartment <object>
  ├─ companyCd <string>
  ├─ departmentCd <string>
  ├─ departmentSetCd <string>
  ├─ disable <boolean>
  ├─ endDate <date>
  ├─ localize <object>
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ departmentName <string>
  │    ├─ departmentSearchName <string>
  │    ├─ departmentShortName <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ sortKey <integer>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetDepartment	object	なし	
companyCd	string	なし	会社コード
departmentCd	string	なし	組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
disable	boolean	なし	論理削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localize	object	なし	多言語情報
address1	string	なし	住所１
address2	string	なし	住所２
address3	string	なし	住所３
countryCd	string	なし	国コード
departmentName	string	なし	組織名
departmentSearchName	string	なし	組織検索名
departmentShortName	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	string	なし	内線番号
faxNumber	string	なし	Fax番号
notes	string	なし	備考
telephoneNumber	string	なし	電話番号
url	string	なし	URL
zipCode	string	なし	郵便番号
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

組織情報の登録

組織情報の登録を行うタスクです。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合は組織の登録後に*組織多言語情報の更新*を利用してください。

入力値

```
im_immRegisterDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ endDate <date> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ departmentName <string> *
  │    ├─ departmentSearchName <string>
  │    ├─ departmentShortName <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ startDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
endDate	必須	date	なし	終了日
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所１
address2	任意	string	なし	住所２
address3	任意	string	なし	住所３
countryCd	任意	string	なし	国コード
departmentName	必須	string	なし	組織名
departmentSearchName	任意	string	なし	組織検索名
departmentShortName	任意	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス１
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
startDate	必須	date	なし	開始日

出力値

```
im_immRegisterDepartment <object[]>
  ├─ endDate <date>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterDepartment	object	リスト	登録された組織の期間情報
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

組織情報の更新

対象日付が含まれる期間の組織情報の更新を行うタスクです。

このタスクでは多言語情報の更新は行えません。
多言語情報の更新を行いたい場合は、*組織多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immUpdateDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ disable <boolean>
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ targetDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ true を指定すると削除された組織として扱われます。
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
targetDate	必須	date	なし	対象日付

出力値

```
im_immUpdateDepartment <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateDepartment	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

組織多言語情報の更新

指定された対象日付が含まれる期間の組織多言語情報を更新するタスクです。
指定された対象ロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_immUpdateLocalizedDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ address1 <string>
  │    ├─ address2 <string>
  │    ├─ address3 <string>
  │    ├─ countryCd <string>
  │    ├─ departmentName <string> *
  │    ├─ departmentSearchName <string>
  │    ├─ departmentShortName <string>
  │    ├─ emailAddress1 <string>
  │    ├─ emailAddress2 <string>
  │    ├─ extensionFaxNumber <string>
  │    ├─ extensionNumber <string>
  │    ├─ faxNumber <string>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ telephoneNumber <string>
  │    ├─ url <string>
  │    └─ zipCode <string>
  ├─ targetDate <date> *
  └─ targetLocale <locale> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
localize	必須	object	なし	多言語情報
address1	任意	string	なし	住所 1
address2	任意	string	なし	住所 2
address3	任意	string	なし	住所 3
countryCd	任意	string	なし	国コード
departmentName	必須	string	なし	組織名
departmentSearchName	任意	string	なし	組織検索名
departmentShortName	任意	string	なし	組織短縮名
emailAddress1	任意	string	なし	メールアドレス 1
emailAddress2	任意	string	なし	メールアドレス 2
extensionFaxNumber	任意	string	なし	内線Fax番号
extensionNumber	任意	string	なし	内線番号
faxNumber	任意	string	なし	Fax番号
notes	任意	string	なし	備考
telephoneNumber	任意	string	なし	電話番号
url	任意	string	なし	URL
zipCode	任意	string	なし	郵便番号
targetDate	必須	date	なし	対象日付
targetLocale	必須	locale	なし	対象ロケール

出力値

```
im_immUpdateLocalizedDepartment <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedDepartment	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

組織情報の削除

組織情報の削除を行うタスクです。
このタスクではすべての期間の組織情報を削除します。
一部の期間のみ無効化したい場合は*組織情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRemoveDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  └─ departmentSetCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveDepartment	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード

出力値

```
im_immRemoveDepartment <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRemoveDepartment	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

組織に所属するユーザの取得

指定された組織に所属するユーザを取得します。

入力値

```
im_immGetUserByDepartment <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ includeSubDepartment <boolean>
  ├─ main <boolean>
  └─ targetDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetUserByDepartment	必須	object	なし	-
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentCd	必須	string	なし	組織コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
includeSubDepartment	任意	boolean	なし	下位組織を含む true の場合、下位組織に所属するユーザも取得されます。
main	任意	boolean	なし	主所属フラグ true の場合、主所属のユーザのみ取得されます。
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。

出力値

```
im_immGetUserByDepartment <object>
  └ users <object[]>
      ├ userCd <string>
      └ userName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetUserByDepartment	object	なし	-
users	object	配列	ユーザ情報
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	string	なし	ユーザ名 ログインユーザロケールのユーザ名が取得されます。

役職情報の取得

役職情報の取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- CompanyPost

入力値

```
im_immGetPost <object> *
  ├ companyCd <string> *
  ├ departmentSetCd <string> *
  ├ disable <boolean>
  ├ postCd <string> *
  ├ targetDate <date>
  └ targetLocale <locale>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetPost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ 論理削除されている役職情報も取得対象としたい場合は、trueを指定します。
postCd	必須	string	なし	役職コード
targetDate	任意	date	なし	取得の基準日 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetLocale	任意	locale	なし	取得する多言語情報のロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。

出力値

```
im_immGetPost <object>
  ├─ companyCd <string>
  ├─ departmentSetCd <string>
  ├─ disable <boolean>
  ├─ endDate <date>
  ├─ localize <object>
  │    ├─ notes <string>
  │    └─ postName <string>
  ├─ postCd <string>
  ├─ rank <integer>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ sortKey <integer>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetPost	object	なし	
companyCd	string	なし	会社コード
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
disable	boolean	なし	論理削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localize	object	なし	多言語情報
notes	string	なし	備考
postName	string	なし	役職名
postCd	string	なし	役職コード
rank	integer	なし	ランク
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

役職情報の登録

役職情報の登録を行うタスクです。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合は役職の登録後に *役職多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRegisterPost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ endDate <date> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ notes <string>
  │    └─ postName <string> *
  ├─ postCd <string> *
  ├─ rank <integer> *
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ startDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterPost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
endDate	必須	date	なし	終了日
localize	必須	object	なし	多言語情報
notes	任意	string	なし	備考
postName	必須	string	なし	役職名
postCd	必須	string	なし	役職コード
rank	必須	integer	なし	ランク
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
startDate	必須	date	なし	開始日

出力値

```
im_immRegisterPost <object[]>
  ├─ endDate <date>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterPost	object	リスト	登録された役職の期間情報
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

役職情報の更新

対象日付が含まれる期間の役職情報の更新を行うタスクです。

このタスクでは多言語情報の更新は行えません。
多言語情報の更新を行いたい場合は、*役職多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immUpdatePost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ disable <boolean>
  ├─ postCd <string> *
  ├─ rank <integer> *
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ targetDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdatePost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ true を指定すると削除された役職として扱われます。
postCd	必須	string	なし	役職コード
rank	必須	integer	なし	ランク
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
targetDate	必須	date	なし	対象日付

出力値

```
im_immUpdatePost <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdatePost	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

役職多言語情報の更新

指定された対象日付が含まれる期間の役職多言語情報を更新するタスクです。
指定された対象ロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_immUpdateLocalizedPost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ notes <string>
  │    └─ postName <string> *
  ├─ postCd <string> *
  ├─ targetDate <date> *
  └─ targetLocale <locale> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedPost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
localize	必須	object	なし	多言語情報
notes	任意	string	なし	備考
postName	必須	string	なし	役職名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
postCd	必須	string	なし	役職コード
targetDate	必須	date	なし	対象日付
targetLocale	必須	locale	なし	対象ロケール

出力値

```
im_immUpdateLocalizedPost <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedPost	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

役職情報の削除

役職情報の削除を行うタスクです。
このタスクではすべての期間の役職情報を削除します。
一部の期間のみ無効化したい場合は*役職情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRemovePost <object> *
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ departmentSetCd <string> *
  └─ postCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRemovePost	必須	object	なし	
companyCd	必須	string	なし	会社コード
departmentSetCd	必須	string	なし	組織セットコード
postCd	必須	string	なし	役職コード

出力値

```
im_immRemovePost <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRemovePost	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザの役職情報の取得

指定されたユーザの役職情報を取得します。

入力値

```
im_immGetPostByUser <object> *
  ├─ companyCd <string>
  ├─ departmentCd <string>
  ├─ departmentSetCd <string>
  ├─ disable <boolean>
  ├─ main <boolean>
  ├─ targetDate <date>
  ├─ targetLocale <locale>
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetPostByUser	必須	object	なし	-
companyCd	任意	string	なし	会社コード
departmentCd	任意	string	なし	組織コード
departmentSetCd	任意	string	なし	組織セットコード
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ 論理削除データを取得する場合、 true を指定します。
main	任意	boolean	なし	主所属フラグ 主所属の役職情報のみ取得する場合、true を指定します。
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合、システム日付が対象日付として使用されます。
targetLocale	任意	locale	なし	対象ロケール 指定されていない場合、アカウントコンテキストのロケールが対象ロケールとして使用されます。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immGetPostByUser <object>
  └ posts <object[]>
      ├ companyCd <string>
      ├ departmentSetCd <string>
      ├ departmentCd <string>
      ├ postCd <string>
      └ postName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetPostByUser	object	なし	-
posts	object	配列	役職情報
companyCd	string	なし	会社コード
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
departmentCd	string	なし	組織コード
postCd	string	なし	役職コード
postName	string	なし	対象ロケールの役職名

パブリックグループに所属するユーザの取得

指定されたパブリックグループに所属するユーザを取得します。

入力値

```
im_immGetUserByPublicGroup <object> *
  ├ publicGroupCd <string> *
  ├ publicGroupSetCd <string> *
  ├ includeSubGroup <boolean>
  └ targetDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetUserByPublicGroup	必須	object	なし	-
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
includeSubGroup	任意	boolean	なし	下位グループを含む true の場合、下位グループに所属するユーザも取得されます。
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合、システム日付が使用されます。

出力値

```
im_immGetUserByPublicGroup <object>
  └ users <object[]>
      ├ userCd <string>
      └ userName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetUserByPublicGroup	object	なし	-
users	object	配列	ユーザ情報
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	string	なし	ユーザ名 ログインユーザロケールのユーザ名が取得されます。

パブリックグループ情報の取得

パブリックグループ情報の取得を行うタスクです。
出力値項目の詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- PublicGroup

入力値

```
im_immGetPublicGroup <object> *
  ├ disable <boolean>
  ├ publicGroupCd <string> *
  ├ publicGroupSetCd <string> *
  ├ targetDate <date>
  └ targetLocale <locale>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetPublicGroup	必須	object	なし	
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ 論理削除されているパブリックグループ情報も取得対象としたい場合は、trueを指定します。
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
targetDate	任意	date	なし	取得の基準日 指定されていない場合は、システム日付が使用されます。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetLocale	任意	locale	なし	取得する多言語情報のロケール 指定されていない場合は、アカウントコンテキストのロケールが使用されます。

出力値

```
im_immGetPublicGroup <object>
  ├─ disable <boolean>
  ├─ endDate <date>
  ├─ localize <object>
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ publicGroupName <string>
  │    ├─ publicGroupSearchName <string>
  │    └─ publicGroupShortName <string>
  ├─ publicGroupCd <string>
  ├─ publicGroupSetCd <string>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ sortKey <integer>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetPublicGroup	object	なし	
disable	boolean	なし	論理削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localize	object	なし	多言語情報
notes	string	なし	備考
publicGroupName	string	なし	パブリックグループ名
publicGroupSearchName	string	なし	パブリックグループ検索名
publicGroupShortName	string	なし	パブリックグループ短縮名
publicGroupCd	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	string	なし	パブリックグループセットコード
recordDate	date	なし	更新日
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

パブリックグループ情報の登録

パブリックグループ情報の登録を行うタスクです。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合はパブリックグループの登録後に*パブリックグループ多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRegisterPublicGroup <object> *
  ├─ endDate <date> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ publicGroupName <string> *
  │    ├─ publicGroupSearchName <string>
  │    └─ publicGroupShortName <string>
  ├─ publicGroupCd <string> *
  ├─ publicGroupSetCd <string> *
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ startDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterPublicGroup	必須	object	なし	
endDate	必須	date	なし	終了日
localize	必須	object	なし	多言語情報
notes	任意	string	なし	備考
publicGroupName	必須	string	なし	パブリックグループ名
publicGroupSearchName	任意	string	なし	パブリックグループ検索名
publicGroupShortName	任意	string	なし	パブリックグループ短縮名
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
startDate	必須	date	なし	開始日

出力値

```
im_immRegisterPublicGroup <object[]>
  ├─ endDate <date>
  ├─ startDate <date>
  └─ termCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRegisterPublicGroup	object	リスト	登録されたパブリックグループの期間情報
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード

パブリックグループ情報の更新

対象日付が含まれる期間のパブリックグループ情報の更新を行うタスクです。

このタスクでは多言語情報の更新は行えません。
多言語情報の更新を行いたい場合は、*パブリックグループ多言語情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immUpdatePublicGroup <object> *
  ├─ disable <boolean>
  ├─ publicGroupCd <string> *
  ├─ publicGroupSetCd <string> *
  ├─ sortKey <integer> *
  └─ targetDate <date> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdatePublicGroup	必須	object	なし	
disable	任意	boolean	なし	論理削除フラグ true を指定すると削除されたパブリックグループとして扱われます。
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー
targetDate	必須	date	なし	対象日付

出力値

```
im_immUpdatePublicGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdatePublicGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

パブリックグループ多言語情報の更新

指定された対象日付が含まれる期間のパブリックグループ多言語情報を更新するタスクです。
指定された対象ロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_immUpdateLocalizedPublicGroup <object> *
  ├─ localize <object> *
  │    ├─ notes <string>
  │    ├─ publicGroupName <string> *
  │    ├─ publicGroupSearchName <string>
  │    └─ publicGroupShortName <string>
  ├─ publicGroupCd <string> *
  ├─ publicGroupSetCd <string> *
  ├─ targetDate <date> *
  └─ targetLocale <locale> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedPublicGroup	必須	object	なし	
localize	必須	object	なし	多言語情報
notes	任意	string	なし	備考
publicGroupName	必須	string	なし	パブリックグループ名
publicGroupSearchName	任意	string	なし	パブリックグループ検索名
publicGroupShortName	任意	string	なし	パブリックグループ短縮名
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
targetDate	必須	date	なし	対象日付
targetLocale	必須	locale	なし	対象ロケール

出力値

```
im_immUpdateLocalizedPublicGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immUpdateLocalizedPublicGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

パブリックグループ情報の削除

パブリックグループ情報の削除を行うタスクです。
このタスクではすべての期間のパブリックグループ情報を削除します。
一部の期間のみ無効化したい場合は*パブリックグループ情報の更新* を利用してください。

入力値

```
im_immRemovePublicGroup <object> *
  ├ publicGroupCd <string> *
  └ publicGroupSetCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immRemovePublicGroup	必須	object	なし	
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード

出力値

```
im_immRemovePublicGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immRemovePublicGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

所属グループの取得

指定されたユーザの所属するパブリックグループ情報を取得します。

入力値

```
im_immGetPublicGroupByUser <object> *
  ├ targetDate <date>
  ├ targetLocale <locale>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immGetPublicGroupByUser	必須	object	なし	-
targetDate	任意	date	なし	対象日付 指定されていない場合、システム日付が対象日付として使用されます。
targetLocale	任意	locale	なし	対象ロケール 指定されていない場合、アカウントコンテキストのロケールが対象ロケールとして使用されます。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immGetPublicGroupByUser <object>
  └ publicGroups <object[]>
      ├ publicGroupSetCd <string>
      ├ publicGroupCd <string>
      ├ name <string>
      ├ shortName <string>
      └ description <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immGetPublicGroupByUser	object	なし	-
publicGroups	object	配列	パブリックグループ情報
publicGroupSetCd	string	なし	パブリックグループセットコード
publicGroupCd	string	なし	パブリックグループコード
name	string	なし	パブリックグループ名 対象ロケールのパブリックグループ名が取得されます。
shortName	string	なし	略称
description	string	なし	備考

パブリックグループに所属

ユーザをパブリックグループに所属させるタスクです。

入力値

```
im_immJoinPublicGroup <object> *
  ├ disable <boolean>
  ├ endDate <date>
  ├ publicGroupCd <string> *
  ├ publicGroupSetCd <string> *
  ├ startDate <date> *
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immJoinPublicGroup	必須	object	なし	
disable	任意	boolean	なし	削除フラグ 所属を無効にする場合、true を指定します。
endDate	任意	date	なし	終了日 指定されていない場合は、システム終了日が使用されます。
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
startDate	必須	date	なし	開始日
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immJoinPublicGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immJoinPublicGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

パブリックグループを脱退

ユーザをパブリックグループから脱退させるタスクです。
このタスクでは、完全にユーザをパブリックグループから脱退させます。
特定の期間のみ所属しないようにしたい場合は、 *パブリックグループに所属* を利用してください。

入力値

```
im_immLeavePublicGroup <object> *
  ├─ publicGroupCd <string> *
  ├─ publicGroupSetSetCd <string> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_immLeavePublicGroup	必須	object	なし	
publicGroupCd	必須	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	必須	string	なし	パブリックグループセットコード
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_immLeavePublicGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_immLeavePublicGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Accel Collaboration

スケジュール登録

スケジュールを登録するタスクです。

> **コラム**
>
> 拡張項目について
>
> 拡張項目を一意に識別するための値として、「拡張項目コード」「拡張項目選択コード」があります。
> 「拡張項目コード」は拡張項目の入力種別が「テキストボックス」「テキストエリア」の場合に指定する必要のある項目です。
> 「拡張項目選択コード」は、拡張項目の入力種別が「セレクトボックス」「ラジオボタン」「チェックボックス」の場合に指定する必要のある項目です。
> 「拡張項目コード」「拡張項目選択コード」を確認するためには、 どちらも「拡張項目を設定する」の 「拡張項目コード」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRegisterSchedule <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterSchedule	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
customItem	任意	object	配列	拡張項目値
key	任意	object	なし	拡張項目キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
code	任意	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	任意	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	任意	object	配列	拡張項目選択値
key	任意	object	なし	拡張項目選択キー
code	任意	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	任意	string	なし	拡張項目選択値
description	任意	string	なし	説明
endDate	必須	imdatetime	なし	終了日
facilities	任意	object	配列	施設
code	任意	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	任意	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	任意	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	任意	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	任意	boolean	なし	説明公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	任意	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
participants	必須	string	配列	参加者
personalTags	任意	object	なし	個人タグ
functionKey	任意	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	任意	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	任意	string	なし	選択タグコード
place	任意	string	なし	場所
privateType	任意	string	なし	公開種別
reminder	任意	object	なし	リマインダ
isNotice1	任意	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	任意	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	任意	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	任意	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	任意	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	任意	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	任意	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	任意	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	任意	boolean	なし	リマインダ通知9

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
isNotice10	任意	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
repeatKey	任意	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	任意	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	任意	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
startDate	必須	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	必須	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル

出力値

```
im_iacRegisterSchedule <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterSchedule	object	なし	im_iacRegisterSchedule
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー

項目名	型	配列/リスト	説明
code	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	object	配列	拡張項目選択値
key	object	なし	拡張項目選択キー
code	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	string	なし	拡張項目選択値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
code	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダ
isNotice1	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	boolean	なし	リマインダ通知9
isNotice10	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー

項目名	型	配列/リスト	説明
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	object	なし	スケジュールキー
code	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

スケジュール更新

スケジュールを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateSchedule <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateSchedule	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
customItem	任意	object	配列	拡張項目値
key	任意	object	なし	拡張項目キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
code	任意	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	任意	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	任意	object	配列	拡張項目選択値
key	任意	object	なし	拡張項目選択キー
code	任意	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	任意	string	なし	拡張項目選択値
description	任意	string	なし	説明
endDate	必須	imdatetime	なし	終了日
facilities	任意	object	配列	施設
code	任意	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	任意	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	任意	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	任意	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	任意	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	任意	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
participants	必須	string	配列	参加者
personalTags	任意	object	なし	個人タグ
functionKey	任意	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	任意	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	任意	string	なし	選択タグコード
place	任意	string	なし	場所
privateType	任意	string	なし	公開種別
reminder	任意	object	なし	リマインダ
isNotice1	任意	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	任意	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	任意	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	任意	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	任意	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	任意	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	任意	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	任意	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	任意	boolean	なし	リマインダ通知9

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
isNotice10	任意	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
repeatKey	任意	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	任意	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	必須	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
startDate	必須	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	必須	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル

出力値

```
im_iacUpdateSchedule <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateSchedule	object	なし	im_iacUpdateSchedule
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー

項目名	型	配列/リスト	説明
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	object	配列	拡張項目選択値
key	object	なし	拡張項目選択キー
code	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	string	なし	拡張項目選択値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
code	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダ
isNotice1	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	boolean	なし	リマインダ通知9
isNotice10	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー

項目名	型	配列/リスト	説明
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	object	なし	スケジュールキー
code	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

スケジュール削除

スケジュールを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteSchedule <object>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ reason <string>
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteSchedule	任意	object	なし	
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
reason	任意	string	なし	削除理由
scheduleKey	必須	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacDeleteSchedule <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteSchedule	integer	なし	削除件数

スケジュール辞退

スケジュールを辞退するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRefuseSchedule <object>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ reason <string>
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRefuseSchedule	任意	object	なし	
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
reason	任意	string	なし	辞退理由
scheduleKey	必須	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacRefuseSchedule <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRefuseSchedule	integer	なし	辞退件数

スケジュール参加者を追加

スケジュールに参加者を追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddScheduleMember <object>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddScheduleMember	任意	object	なし	
participants	必須	string	配列	参加者
scheduleKey	必須	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacAddScheduleMember <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddScheduleMember	object	なし	im_iacAddScheduleMember
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
description	string	なし	説明

項目名	型	配列/リスト	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
code	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダ
isNotice1	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	boolean	なし	リマインダ通知9
isNotice10	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	object	なし	スケジュールキー
code	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

スケジュール参加者を削除

スケジュールから参加者を削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteScheduleMember <object>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ scheduleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteScheduleMember	任意	object	なし	
participants	必須	string	配列	参加者
scheduleKey	必須	object	なし	スケジュールキー
code	任意	string	なし	スケジュールコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacDeleteScheduleMember <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilities <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ isNotice1 <boolean>
  │    ├─ isNotice2 <boolean>
  │    ├─ isNotice3 <boolean>
  │    ├─ isNotice4 <boolean>
  │    ├─ isNotice5 <boolean>
  │    ├─ isNotice6 <boolean>
  │    ├─ isNotice7 <boolean>
  │    ├─ isNotice8 <boolean>
  │    ├─ isNotice9 <boolean>
  │    └─ isNotice10 <boolean>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ scheduleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteScheduleMember	object	なし	im_iacDeleteScheduleMember
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
description	string	なし	説明

項目名	型	配列/リスト	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
code	string	なし	施設コード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダ
isNotice1	boolean	なし	リマインダ通知1
isNotice2	boolean	なし	リマインダ通知2
isNotice3	boolean	なし	リマインダ通知3
isNotice4	boolean	なし	リマインダ通知4
isNotice5	boolean	なし	リマインダ通知5
isNotice6	boolean	なし	リマインダ通知6
isNotice7	boolean	なし	リマインダ通知7
isNotice8	boolean	なし	リマインダ通知8
isNotice9	boolean	なし	リマインダ通知9
isNotice10	boolean	なし	リマインダ通知10
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
scheduleKey	object	なし	スケジュールキー
code	string	なし	スケジュールコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

スケジュール検索

スケジュールを検索するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacSearchSchedule <object>
  ├─ facilityKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ targetDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  └─ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacSearchSchedule	任意	object	なし	
facilityKeys	任意	object	配列	施設キー
code	任意	string	なし	施設コード
targetDate	必須	imdatetime	なし	対象日
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
userCds	必須	string	配列	ユーザコード

出力値

```
im_iacSearchSchedule <object>
  └ displayInfos <object[]>
      ├ attachFiles <object[]>
      │   ├ key <object>
      │   │   └ code <string>
      │   ├ name <string>
      │   ├ registerDateTime <imdatetime>
      │   └ size <long>
      ├ attributes <map>
      ├ code <string>
      ├ description <string>
      ├ directoryPath <string>
      ├ endDate <imdatetime>
      ├ existsAttachFile <boolean>
      ├ isDisplaySchedule <boolean>
      ├ isEditable <boolean>
      ├ isEditable4Participant <boolean>
      ├ isGoingout <boolean>
      ├ isPrivate <boolean>
      ├ isPrivateAttachFile <boolean>
      ├ isPrivateDescription <boolean>
      ├ isVisitor <boolean>
      ├ joinUser <string>
      ├ participants <object[]>
      │   ├ code <string>
      │   └ name <string>
      ├ personalTags <object>
      │   ├ functionKey <string>
      │   ├ personalTagNames <string[]>
      │   └ selectedTagCd <string>
      ├ place <string>
      ├ privateType <string>
      ├ registerDate <imdatetime>
      ├ registerDepartmentCd <string>
      ├ registerDepartmentName <string>
      ├ registerUserCd <string>
      ├ registerUserName <string>
      ├ repeatKey <object>
      │   └ repeatCd <string>
      ├ selectedLocaleId <string>
      ├ startDate <imdatetime>
      ├ targetUserCd <string> *
      ├ targetUserCompanyCd <string>
      ├ targetUserDepartmentCd <string>
      ├ timezoneId <string>
      ├ title <string>
      ├ updateDate <imdatetime>
      ├ updateDepartmentCd <string>
      ├ updateDepartmentName <string>
      ├ updateUserCd <string>
      └ updateUserName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacSearchSchedule	object	なし	im_iacSearchSchedule
displayInfos	object	リスト	displayInfos
attachFiles	object	配列	添付ファイル
key	object	なし	ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
registerDateTime	imdatetime	なし	登録日時
size	long	なし	ファイルサイズ

項目名	型	配列/リスト	説明
attributes	map	なし	属性情報
code	string	なし	スケジュールキーまたはイベントキー
description	string	なし	説明
directoryPath	string	なし	添付ファイルパス
endDate	imdatetime	なし	終了日時
existsAttachFile	boolean	なし	添付ファイル有無。true：添付ファイルあり / false：添付ファイルなし
isDisplaySchedule	boolean	なし	スケジュールであるかどうかを示すフラグ。true：スケジュール / false：イベント
isEditable	boolean	なし	代理編集。true：代理編集が可能 / false：代理編集が不可
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivate	boolean	なし	非公開状態。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
joinUser	string	なし	参加者の文字列
participants	object	配列	参加者
code	string	なし	ユーザコード
name	string	なし	ユーザ名
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
repeatKey	object	なし	繰り返しキー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日時
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateDepartmentCd	string	なし	更新ユーザ組織コード
updateDepartmentName	string	なし	更新ユーザ組織名
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名

スケジュール候補検索

スケジュール候補を検索するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacCoordinateSchedule <object>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ facilityConditions <object[]>
  │    ├─ facilityKeys <object[]>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ priority <integer>
  ├─ isExcludeOnHoliday <boolean>
  ├─ isNarrowOnDayOfWeek <boolean>
  ├─ listLimit <integer>
  ├─ necessaryHour <integer> *
  ├─ necessaryMinute <integer> *
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ prospectTime <object[]> *
  │    ├─ endHour <integer>
  │    ├─ endMinute <integer>
  │    ├─ startHour <integer>
  │    └─ startMinute <integer>
  ├─ searchDayOfWeek <string[]>
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  └─ timezoneId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacCoordinateSchedule	任意	object	なし	
endDate	必須	imdatetime	なし	終了日
facilityConditions	任意	object	配列	施設に関する検索条件
facilityKeys	任意	object	配列	施設コードの配列
code	任意	string	なし	施設コード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
priority	必須	integer	なし	施設検索条件の優先順位。正の整数を指定します。 優先順位が高い施設検索条件でスケジュール候補が見つかった場合は、下位の優先順位の条件による検索をスキップします。
isExcludeOnHoliday	任意	boolean	なし	休日除外状態。true：休日を除く / false：休日を除かない
isNarrowOnDayOfWeek	任意	boolean	なし	曜日絞り込み状態。true：曜日を絞り込む / false：曜日を絞り込まない
listLimit	必須	integer	なし	取得件数
necessaryHour	必須	integer	なし	所要時間（時）
necessaryMinute	必須	integer	なし	所要時間（分）
participants	必須	string	配列	参加者
prospectTime	必須	object	配列	時間帯
endHour	任意	integer	なし	終了（時）
endMinute	任意	integer	なし	終了（分）
startHour	任意	integer	なし	開始（時）
startMinute	任意	integer	なし	開始（分）
searchDayOfWeek	任意	string	配列	検索対象の曜日 日曜日:”1” 月曜日:”2” 火曜日:”3” 水曜日:”4” 木曜日:”5” 金曜日:”6” 土曜日:”7” ※java.util.Calendar クラスの SUNDAY, MONDAY, TUESDAY, WEDNESDAY, THURSDAY, FRIDAY, SATURDAY で管理されている値に依存します。
startDate	必須	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	必須	string	なし	タイムゾーンID

出力値

```
im_iacCoordinateSchedule <object[]>
  ├─ conditionNumber <integer>
  ├─ endDate <imdatetime>
  └─ startDate <imdatetime>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacCoordinateSchedule	object	配列	im_iacCoordinateSchedule
conditionNumber	integer	なし	適用された施設検索条件の優先順位
endDate	imdatetime	なし	終了日時
startDate	imdatetime	なし	開始日時

イベント登録

イベントを登録するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRegisterEvent <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterEvent	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
customItem	任意	object	配列	拡張項目値
key	任意	object	なし	拡張項目キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
code	任意	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	任意	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	任意	object	配列	拡張項目選択値
key	任意	object	なし	拡張項目選択キー
code	任意	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	任意	string	なし	拡張項目選択値
description	任意	string	なし	説明
endDate	必須	imdatetime	なし	終了日時
eventKey	任意	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	任意	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	任意	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	任意	boolean	なし	添付ファイル公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	任意	boolean	なし	説明公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	任意	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
participants	必須	string	配列	参加者
personalTags	任意	object	なし	個人タグ
functionKey	任意	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	任意	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	任意	string	なし	選択タグコード
place	任意	string	なし	場所
privateType	任意	string	なし	公開種別
reminder	任意	object	なし	リマインダ
noticeDate	任意	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
repeatKey	任意	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	任意	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
startDate	必須	imdatetime	なし	開始日時
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	必須	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル

出力値

```
im_iacRegisterEvent <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterEvent	object	なし	im_iacRegisterEvent
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー

項目名	型	配列/リスト	説明
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	object	配列	拡張項目選択値
key	object	なし	拡張項目選択キー
code	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	string	なし	拡張項目選択値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日時
eventKey	object	なし	イベントキー
code	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダー
noticeDate	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

イベント更新

イベントを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateEvent <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateEvent	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
customItem	任意	object	配列	拡張項目値

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
key	任意	object	なし	拡張項目キー
code	任意	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	任意	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	任意	object	配列	拡張項目選択値
key	任意	object	なし	拡張項目選択キー
code	任意	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	任意	string	なし	拡張項目選択値
description	任意	string	なし	説明
endDate	必須	imdatetime	なし	終了日時
eventKey	必須	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	任意	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	任意	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	任意	boolean	なし	添付ファイル公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	任意	boolean	なし	説明公開種別。true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	任意	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
participants	必須	string	配列	参加者
personalTags	任意	object	なし	個人タグ
functionKey	任意	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	任意	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	任意	string	なし	選択タグコード
place	任意	string	なし	場所
privateType	任意	string	なし	公開種別
reminder	任意	object	なし	リマインダ
noticeDate	任意	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
repeatKey	任意	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	任意	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
startDate	必須	imdatetime	なし	開始日時

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	必須	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル

出力値

```
im_iacUpdateEvent <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ customItemOptionValues <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ selectedCode <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateEvent	object	なし	im_iacUpdateEvent
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値

項目名	型	配列/リスト	説明
key	object	なし	拡張項目キー
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
customItemOptionValues	object	配列	拡張項目選択値
key	object	なし	拡張項目選択キー
code	string	なし	拡張項目選択コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
selectedCode	string	なし	拡張項目選択値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日時
eventKey	object	なし	イベントキー
code	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダー
noticeDate	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID

項目名	型	配列/リスト	説明
title	string	なし	タイトル

イベント削除

イベントを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteEvent <object>
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ reason <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteEvent	任意	object	なし	
eventKey	必須	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
reason	任意	string	なし	削除理由
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacDeleteEvent <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteEvent	integer	なし	削除件数

イベント辞退

イベントを辞退するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRefuseEvent <object>
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ reason <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRefuseEvent	任意	object	なし	
eventKey	必須	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
noticeTargetType	任意	string	なし	通知ターゲット
reason	任意	string	なし	辞退理由
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacRefuseEvent <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRefuseEvent	integer	なし	辞退件数

イベント参加者を追加

イベント参加者を追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddEventMember <object>
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddEventMember	任意	object	なし	
eventKey	必須	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
participants	必須	string	配列	参加者
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacAddEventMember <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddEventMember	object	なし	im_iacAddEventMember
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日時

項目名	型	配列/リスト	説明
eventKey	object	なし	イベントキー
code	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダー
noticeDate	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

イベント参加者を削除

イベント参加者を削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteEventMember <object>
  ├─ eventKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  └─ targetUserDepartmentCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteEventMember	任意	object	なし	
eventKey	必須	object	なし	イベントキー
code	任意	string	なし	イベントコード
participants	必須	string	配列	参加者
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

出力値

```
im_iacDeleteEventMember <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ customItem <object[]>
  │    ├─ key <object>
  │    │    └─ code <string>
  │    └─ value <string>
  ├─ description <string>
  ├─ endDate <imdatetime> *
  ├─ eventKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ isEditable4Participant <boolean>
  ├─ isGoingout <boolean>
  ├─ isPrivateAttachFile <boolean>
  ├─ isPrivateDescription <boolean>
  ├─ isVisitor <boolean>
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ participants <string[]> *
  ├─ personalTags <object>
  │    ├─ functionKey <string>
  │    ├─ personalTagNames <string[]>
  │    └─ selectedTagCd <string>
  ├─ place <string>
  ├─ privateType <string>
  ├─ reminder <object>
  │    ├─ noticeDate <imdatetime>
  │    └─ timezoneId <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ repeatKey <object>
  │    └─ repeatCd <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ timezoneId <string> *
  └─ title <string> *
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteEventMember	object	なし	im_iacDeleteEventMember
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
customItem	object	配列	拡張項目値
key	object	なし	拡張項目キー
code	string	なし	拡張項目コード 詳細は *スケジュール登録* のコラムを参照してください。
value	string	なし	拡張項目値
description	string	なし	説明
endDate	imdatetime	なし	終了日時
eventKey	object	なし	イベントキー
code	string	なし	イベントコード
isEditable4Participant	boolean	なし	参加者編集。true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
isGoingout	boolean	なし	外出予定。true：外出予定 / false：外出予定ではない
isPrivateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。true：非公開状態 / false：公開状態
isPrivateDescription	boolean	なし	説明公開。説明公開 true：非公開状態 / false：公開状態
isVisitor	boolean	なし	来客予定。true：来客予定 / false：来客予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	string	配列	参加者
personalTags	object	なし	個人タグ
functionKey	string	なし	個人タグファンクションキー
personalTagNames	string	配列	個人タグ名
selectedTagCd	string	なし	選択タグコード
place	string	なし	場所
privateType	string	なし	公開種別
reminder	object	なし	リマインダー
noticeDate	imdatetime	なし	通知日時
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
repeatKey	object	なし	繰り返し条件キー
repeatCd	string	なし	繰り返し条件コード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	開始日
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル

インフォメーションの登録

インフォメーションを登録するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRegisterInformation <object>
 ├─ articleKey <object>
 │   └─ code <string>
 ├─ attachFiles <object[]>
 │   ├─ name <string>
 │   └─ path <string>
 ├─ categoryKey <object> *
 │   └─ code <string>
 ├─ categoryName <string>
 ├─ companyCd <string>
 ├─ contents <object> *
 │   ├─ html <string>
 │   ├─ plain <string>
 │   └─ textType <string>
 ├─ deliveryType <string>
 ├─ directoryPath <string>
 ├─ endDate <imdatetime>
 ├─ hasWfApproved <boolean>
 ├─ isExistWfProcessingAppendix <boolean>
 ├─ isPublish <boolean>
 ├─ isWfApproverCategory <boolean>
 ├─ registerDate <imdatetime>
 ├─ registerDepartmentCd <string>
 ├─ registerDepartmentName <string>
 ├─ registerUserCd <string>
 ├─ registerUserName <string>
 ├─ removeFileKeys <object[]>
 │   └─ code <string>
 ├─ selectedLocaleId <string> *
 ├─ sharedTagKeys <object[]>
 │   └─ code <string>
 ├─ startDate <imdatetime>
 ├─ systemMatterId <string>
 ├─ targetUserCd <string> *
 ├─ targetUserCompanyCd <string>
 ├─ targetUserDepartmentCd <string>
 ├─ temporaryArticleKey <object>
 │   └─ code <string>
 ├─ temporaryAttachKeys <object[]>
 │   └─ code <string>
 ├─ timezoneId <string>
 ├─ title <string> *
 ├─ updateDate <imdatetime>
 ├─ workflowApply <object>
 │   ├─ comment <string>
 │   ├─ flowId <string>
 │   └─ matterName <string>
 ├─ workflowApplyType <string>
 ├─ workflowArticleStatus <string>
 └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterInformation	任意	object	なし	
articleKey	任意	object	なし	記事キー
code	任意	string	なし	記事コード
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
categoryKey	必須	object	なし	カテゴリキー
code	任意	string	なし	カテゴリコード
categoryName	任意	string	なし	カテゴリ名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
companyCd	任意	string	なし	会社コード
contents	必須	object	なし	本文
html	任意	string	なし	本文（HTML）
plain	任意	string	なし	本文（テキスト）
textType	任意	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	任意	string	なし	配信種別
directoryPath	任意	string	なし	カテゴリパス
endDate	任意	imdatetime	なし	掲載終了日時
hasWfApproved	任意	boolean	なし	ワークフロー承認歴の有無
isExistWfProcessingAppendix	任意	boolean	なし	ワークフロー案件処理中の追記記事の有無
isPublish	任意	boolean	なし	公開状態。true：公開 / false：非公開
isWfApproverCategory	任意	boolean	なし	カテゴリのワークフロー承認設定のON/OFF
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	任意	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	任意	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	任意	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
sharedTagKeys	任意	object	配列	共有タグキー
code	任意	string	なし	共有タグコード
startDate	任意	imdatetime	なし	掲載開始日時
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
temporaryArticleKey	任意	object	なし	編集元の一時保存記事キー
code	任意	string	なし	一時保存記事コード
temporaryAttachKeys	任意	object	配列	一時保存記事の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
workflowApply	任意	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	任意	string	なし	コメント
flowId	任意	string	なし	フローID
matterName	任意	string	なし	案件名
workflowApplyType	任意	string	なし	ワークフロー申請種別

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
workflowArticleStatus	任意	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	任意	string	なし	ワークフロー案件状態

出力値

```
im_iacRegisterInformation <object>
  ├─ articleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ categoryKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ categoryName <string>
  ├─ companyCd <string>
  ├─ contents <object> *
  │    ├─ html <string>
  │    ├─ plain <string>
  │    └─ textType <string>
  ├─ deliveryType <string>
  ├─ directoryPath <string>
  ├─ endDate <imdatetime>
  ├─ hasWfApproved <boolean>
  ├─ isExistWfProcessingAppendix <boolean>
  ├─ isPublish <boolean>
  ├─ isWfApproverCategory <boolean>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ sharedTagKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ startDate <imdatetime>
  ├─ systemMatterId <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ temporaryArticleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ temporaryAttachKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ workflowApply <object>
  │    ├─ comment <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    └─ matterName <string>
  ├─ workflowApplyType <string>
  ├─ workflowArticleStatus <string>
  └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRegisterInformation	object	なし	im_iacRegisterInformation
articleKey	object	なし	記事キー
code	string	なし	記事コード
attachFiles	object	配列	添付ファイル

項目名	型	配列/リスト	説明
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
categoryKey	object	なし	カテゴリキー
code	string	なし	カテゴリコード
categoryName	string	なし	カテゴリ名
companyCd	string	なし	会社コード
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）
textType	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	string	なし	配信種別
directoryPath	string	なし	カテゴリパス
endDate	imdatetime	なし	掲載終了日時
hasWfApproved	boolean	なし	ワークフロー承認歴の有無
isExistWfProcessingAppendix	boolean	なし	ワークフロー案件処理中の追記記事の有無
isPublish	boolean	なし	公開状態。true：公開 / false：非公開
isWfApproverCategory	boolean	なし	カテゴリのワークフロー承認設定のON/OFF
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
sharedTagKeys	object	配列	共有タグキー
code	string	なし	共有タグコード
startDate	imdatetime	なし	掲載開始日時
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
temporaryArticleKey	object	なし	編集元の一時保存記事キー
code	string	なし	一時保存記事コード
temporaryAttachKeys	object	配列	一時保存記事の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時

項目名	型	配列/リスト	説明
workflowApply	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	string	なし	コメント
flowId	string	なし	フローID
matterName	string	なし	案件名
workflowApplyType	string	なし	ワークフロー申請種別
workflowArticleStatus	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	string	なし	ワークフロー案件状態

インフォメーションの編集

インフォメーションを編集するタスクです。

インフォメーション公開前に利用できます。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacEditInformation <object>
  ├─ articleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ categoryKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ categoryName <string>
  ├─ companyCd <string>
  ├─ contents <object> *
  │    ├─ html <string>
  │    ├─ plain <string>
  │    └─ textType <string>
  ├─ deliveryType <string>
  ├─ directoryPath <string>
  ├─ endDate <imdatetime>
  ├─ hasWfApproved <boolean>
  ├─ isExistWfProcessingAppendix <boolean>
  ├─ isPublish <boolean>
  ├─ isWfApproverCategory <boolean>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime>
  ├─ systemMatterId <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ temporaryArticleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ workflowApply <object>
  │    ├─ comment <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    └─ matterName <string>
  ├─ workflowApplyType <string>
  ├─ workflowArticleStatus <string>
  └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacEditInformation	任意	object	なし	
articleKey	必須	object	なし	記事キー
code	任意	string	なし	記事コード
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
categoryKey	必須	object	なし	カテゴリキー
code	任意	string	なし	カテゴリコード
categoryName	任意	string	なし	カテゴリ名
companyCd	任意	string	なし	会社コード
contents	必須	object	なし	本文

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
html	任意	string	なし	本文（HTML）
plain	任意	string	なし	本文（テキスト）
textType	任意	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	任意	string	なし	配信種別
directoryPath	任意	string	なし	カテゴリパス
endDate	任意	imdatetime	なし	掲載終了日時
hasWfApproved	任意	boolean	なし	ワークフロー承認歴の有無
isExistWfProcessingAppendix	任意	boolean	なし	ワークフロー案件処理中の追記記事の有無
isPublish	任意	boolean	なし	公開状態。true：公開 / false：非公開
isWfApproverCategory	任意	boolean	なし	カテゴリのワークフロー承認設定のON/OFF
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	任意	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	任意	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	任意	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
selectedLocaleId	必須	string	なし	選択ロケールID
startDate	任意	imdatetime	なし	掲載開始日時
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
temporaryArticleKey	任意	object	なし	編集元の一時保存記事キー
code	任意	string	なし	ファイルコード
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
workflowApply	任意	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	任意	string	なし	コメント
flowId	任意	string	なし	フローID
matterName	任意	string	なし	案件名
workflowApplyType	任意	string	なし	ワークフロー申請種別
workflowArticleStatus	任意	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	任意	string	なし	ワークフロー案件状態

出力値

```
im_iacEditInformation <object>
  ├─ articleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ categoryKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ categoryName <string>
  ├─ companyCd <string>
  ├─ contents <object> *
  │    ├─ html <string>
  │    ├─ plain <string>
  │    └─ textType <string>
  ├─ deliveryType <string>
  ├─ directoryPath <string>
  ├─ endDate <imdatetime>
  ├─ hasWfApproved <boolean>
  ├─ isExistWfProcessingAppendix <boolean>
  ├─ isPublish <boolean>
  ├─ isWfApproverCategory <boolean>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ startDate <imdatetime>
  ├─ systemMatterId <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ temporaryArticleKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ workflowApply <object>
  │    ├─ comment <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    └─ matterName <string>
  ├─ workflowApplyType <string>
  ├─ workflowArticleStatus <string>
  └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacEditInformation	object	なし	im_iacEditInformation
articleKey	object	なし	記事キー
code	string	なし	記事コード
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
categoryKey	object	なし	カテゴリキー
code	string	なし	カテゴリコード
categoryName	string	なし	カテゴリ名
companyCd	string	なし	会社コード
contents	object	なし	本文

項目名	型	配列/リスト	説明
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）
textType	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	string	なし	配信種別
directoryPath	string	なし	カテゴリパス
endDate	imdatetime	なし	掲載終了日時
hasWfApproved	boolean	なし	ワークフロー承認歴の有無
isExistWfProcessingAppendix	boolean	なし	ワークフロー案件処理中の追記記事の有無
isPublish	boolean	なし	公開状態。true：公開 / false：非公開
isWfApproverCategory	boolean	なし	カテゴリのワークフロー承認設定のON/OFF
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
startDate	imdatetime	なし	掲載開始日時
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
temporaryArticleKey	object	なし	編集元の一時保存記事キー
code	string	なし	ファイルコード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
workflowApply	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	string	なし	コメント
flowId	string	なし	フローID
matterName	string	なし	案件名
workflowApplyType	string	なし	ワークフロー申請種別
workflowArticleStatus	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	string	なし	ワークフロー案件状態

インフォメーションの追記

インフォメーションに追記を行うタスクです。

インフォメーション公開後に利用できます。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacPostscriptInformation <object>
  ├─ articleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ contents <object> *
  │    ├─ html <string>
  │    ├─ plain <string>
  │    └─ textType <string>
  ├─ deliveryType <string>
  ├─ hasWfApproved <boolean>
  ├─ key <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ matter <object>
  │    ├─ applyActFlag <string>
  │    ├─ applyAuthUserCode <string>
  │    ├─ applyAuthUserName <string>
  │    ├─ applyBaseDate <string>
  │    ├─ applyDate <string>
  │    ├─ applyExecuteUserCode <string>
  │    ├─ applyExecuteUserName <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    ├─ flowName <string>
  │    ├─ flowVersionId <string>
  │    ├─ lastProcessDate <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ matterStartDate <string>
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ systemMatterId <string>
  │    └─ userDataId <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ systemMatterId <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ workflowApply <object>
  │    ├─ comment <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    └─ matterName <string>
  ├─ workflowApplyType <string>
  ├─ workflowArticleStatus <string>
  └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacPostscriptInformation	任意	object	なし	
articleKey	必須	object	なし	記事キー
code	任意	string	なし	記事コード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル
name	任意	string	なし	ファイル名
path	任意	string	なし	ファイルパス
contents	必須	object	なし	本文
html	任意	string	なし	本文（HTML）
plain	任意	string	なし	本文（テキスト）
textType	任意	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	任意	string	なし	配信種別
hasWfApproved	任意	boolean	なし	ワークフロー承認歴
key	任意	object	なし	記事追記キー
code	任意	string	なし	記事追記コード
matter	任意	object	なし	ワークフローの案件情報
applyActFlag	任意	string	なし	申請代理フラグ
applyAuthUserCode	任意	string	なし	申請権限者コード
applyAuthUserName	任意	string	なし	申請権限者名
applyBaseDate	任意	string	なし	申請基準日（”yyyy/MM/dd”形式の文字列）
applyDate	任意	string	なし	申請日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
applyExecuteUserCode	任意	string	なし	申請実行者コード
applyExecuteUserName	任意	string	なし	申請実行者名
flowId	任意	string	なし	フローID
flowName	任意	string	なし	フロー名
flowVersionId	任意	string	なし	フローバージョンID
lastProcessDate	任意	string	なし	最終処理日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
matterStartDate	任意	string	なし	案件開始日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	任意	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	任意	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	任意	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	任意	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	任意	string	なし	ファイルコード
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workflowApply	任意	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	任意	string	なし	コメント
flowId	任意	string	なし	フローID
matterName	任意	string	なし	案件名
workflowApplyType	任意	string	なし	ワークフロー申請種別
workflowArticleStatus	任意	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	任意	string	なし	ワークフロー案件状態

出力値

```
im_iacPostscriptInformation <object>
  ├─ articleKey <object> *
  │    └─ code <string>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    └─ path <string>
  ├─ contents <object> *
  │    ├─ html <string>
  │    ├─ plain <string>
  │    └─ textType <string>
  ├─ deliveryType <string>
  ├─ hasWfApproved <boolean>
  ├─ key <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ matter <object>
  │    ├─ applyActFlag <string>
  │    ├─ applyAuthUserCode <string>
  │    ├─ applyAuthUserName <string>
  │    ├─ applyBaseDate <string>
  │    ├─ applyDate <string>
  │    ├─ applyExecuteUserCode <string>
  │    ├─ applyExecuteUserName <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    ├─ flowName <string>
  │    ├─ flowVersionId <string>
  │    ├─ lastProcessDate <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ matterStartDate <string>
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ systemMatterId <string>
  │    └─ userDataId <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ removeFileKeys <object[]>
  │    └─ code <string>
  ├─ systemMatterId <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ workflowApply <object>
  │    ├─ comment <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    └─ matterName <string>
  ├─ workflowApplyType <string>
  ├─ workflowArticleStatus <string>
  └─ workflowMatterState <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacPostscriptInformation	object	なし	im_iacPostscriptInformation
articleKey	object	なし	記事キー
code	string	なし	記事コード
attachFiles	object	配列	添付ファイル
name	string	なし	ファイル名
path	string	なし	ファイルパス
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）

項目名	型	配列/リスト	説明
textType	string	なし	テキストタイプ
deliveryType	string	なし	配信種別
hasWfApproved	boolean	なし	ワークフロー承認歴
key	object	なし	記事追記キー
code	string	なし	記事追記コード
matter	object	なし	ワークフローの案件情報
applyActFlag	string	なし	申請代理フラグ
applyAuthUserCode	string	なし	申請権限者コード
applyAuthUserName	string	なし	申請権限者名
applyBaseDate	string	なし	申請基準日（”yyyy/MM/dd”形式の文字列）
applyDate	string	なし	申請日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
applyExecuteUserCode	string	なし	申請実行者コード
applyExecuteUserName	string	なし	申請実行者名
flowId	string	なし	フローID
flowName	string	なし	フロー名
flowVersionId	string	なし	フローバージョンID
lastProcessDate	string	なし	最終処理日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
matterName	string	なし	案件名
matterNumber	string	なし	案件番号
matterStartDate	string	なし	案件開始日（”yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS”形式の文字列）
priorityLevel	string	なし	優先度
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
userDataId	string	なし	ユーザデータID
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
removeFileKeys	object	配列	削除対象の添付ファイルキー
code	string	なし	ファイルコード
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workflowApply	object	なし	ワークフロー申請情報
comment	string	なし	コメント
flowId	string	なし	フローID

項目名	型	配列/リスト	説明
matterName	string	なし	案件名
workflowApplyType	string	なし	ワークフロー申請種別
workflowArticleStatus	string	なし	ワークフロー承認ステータス
workflowMatterState	string	なし	ワークフロー案件状態

ワークスペースの追加

ワークスペースの追加を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacNewWorkspace <object>
  ├─ boxCd <string>
  ├─ categoryKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ detail <string>
  ├─ isActive <boolean>
  ├─ isAllowAddOwner <boolean>
  ├─ members <object[]> *
  │    ├─ isExtranalUser <boolean>
  │    ├─ isOwner <boolean>
  │    └─ userCd <string> *
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  └─ workspaceKey <object>
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacNewWorkspace	任意	object	なし	
boxCd	任意	string	なし	GroupBoxコード
categoryKey	任意	object	なし	カテゴリキー
code	任意	string	なし	カテゴリコード
detail	任意	string	なし	詳細
isActive	任意	boolean	なし	アクティブフラグ
isAllowAddOwner	任意	boolean	なし	アイテム追加許可フラグ
members	必須	object	配列	ワークスペースメンバー
isExtranalUser	任意	boolean	なし	外部ユーザフラグ
isOwner	任意	boolean	なし	オーナーフラグ
userCd	必須	string	なし	ユーザコード
noticeTargetType	任意	string	なし	通知設定

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
selectedLocaleId	必須	string	なし	ロケールID
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	必須	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
workspaceKey	任意	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacNewWorkspace <object>
  ├─ boxCd <string>
  ├─ categoryKey <object>
  │    └─ code <string>
  ├─ detail <string>
  ├─ isActive <boolean>
  ├─ isAllowAddOwner <boolean>
  ├─ members <object[]> *
  │    ├─ isExtranalUser <boolean>
  │    ├─ isOwner <boolean>
  │    └─ userCd <string> *
  ├─ noticeTargetType <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ selectedLocaleId <string> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  └─ workspaceKey <object>
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacNewWorkspace	object	なし	im_iacNewWorkspace
boxCd	string	なし	GroupBoxコード
categoryKey	object	なし	カテゴリキー
code	string	なし	カテゴリコード
detail	string	なし	詳細
isActive	boolean	なし	アクティブフラグ
isAllowAddOwner	boolean	なし	アイテム追加許可フラグ
members	object	配列	ワークスペースメンバー
isExtranalUser	boolean	なし	外部ユーザフラグ
isOwner	boolean	なし	オーナーフラグ
userCd	string	なし	ユーザコード

項目名	型	配列/リスト	説明
noticeTargetType	string	なし	通知設定
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
selectedLocaleId	string	なし	ロケールID
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペースの削除

ワークスペースの削除を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspace <object>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  └─ workspaceKey <object[]> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspace	任意	object	なし	
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceKey	必須	object	配列	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspace <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspace	integer	なし	削除件数

ワークスペースの有効化

ワークスペースの有効化を行うタスクです。

無効化されたワークスペースに対して利用できます。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacActivateWorkspace <object>
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceKey <object[]> *
      └ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacActivateWorkspace	任意	object	なし	
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceKey	必須	object	配列	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacActivateWorkspace <object[]>
  └ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacActivateWorkspace	object	配列	im_iacActivateWorkspace
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペースの無効化

ワークスペースの無効化を行うタスクです。

有効なワークスペースに対して利用できます。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeactivateWorkspace <object>
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceKey <object[]> *
      └ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeactivateWorkspace	任意	object	なし	
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceKey	必須	object	配列	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeactivateWorkspace <object[]>
  └ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeactivateWorkspace	object	配列	im_iacDeactivateWorkspace
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペースメンバーの追加

ワークスペースメンバーの追加を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceMember <object>
  ├ members <object[]> *
  │    ├ isExtranalUser <boolean>
  │    ├ isOwner <boolean>
  │    └ userCd <string> *
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceKey <object> *
       └ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceMember	任意	object	なし	
members	必須	object	配列	ワークスペースのメンバー
isExtranalUser	任意	boolean	なし	外部ユーザフラグ
isOwner	任意	boolean	なし	オーナーフラグ
userCd	必須	string	なし	ユーザコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceMember <object>
  ├─ members <object[]> *
  │    ├─ isExtranalUser <boolean>
  │    ├─ isOwner <boolean>
  │    └─ userCd <string> *
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceMember	object	なし	im_iacAddWorkspaceMember
members	object	配列	ワークスペースのメンバー
isExtranalUser	boolean	なし	外部ユーザフラグ
isOwner	boolean	なし	オーナーフラグ
userCd	string	なし	ユーザコード
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペースメンバーの削除

ワークスペースメンバーの削除を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspaceMember <object>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ userCds <string[]> *
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceMember	任意	object	なし	
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
userCds	必須	string	配列	ユーザコード
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspaceMember <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceMember	string	配列	離脱させたユーザコード

ワークスペース アナウンスアイテムの追加

ワークスペースにアナウンスアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceAnnounceItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ editType <string>
  ├─ editable <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceAnnounceItem	任意	object	なし	
contentsHtml	任意	string	なし	リッチテキスト
contentsText	任意	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	任意	string	なし	本文種別
editType	任意	string	なし	編集種別
editable	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true : あり / false : なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceAnnounceItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ editType <string>
  ├─ editable <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceAnnounceItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceAnnounceItem
contentsHtml	string	なし	リッチテキスト
contentsText	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	string	なし	本文種別
editType	string	なし	編集種別
editable	boolean	なし	アイテム編集権限。true : あり / false : なし
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード

項目名	型	配列/リスト	説明
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース アナウンスアイテムの更新

ワークスペースのアナウンスアイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceAnnounceItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ editType <string>
  ├─ editable <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceAnnounceItem	任意	object	なし	
contentsHtml	任意	string	なし	リッチテキスト
contentsText	任意	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	任意	string	なし	本文種別
editType	任意	string	なし	編集種別
editable	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true : あり / false : なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceAnnounceItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceAnnounceItem	integer	なし	更新件数

ワークスペース アナウンスアイテムの削除

ワークスペースのアナウンスアイテムを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspaceAnnounceItem <object>
  ├ itemCd <string> *
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceAnnounceItem	任意	object	なし	
itemCd	必須	string	なし	アイテムコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceCd	必須	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspaceAnnounceItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceAnnounceItem	integer	なし	削除件数

ワークスペース グループアイテムの追加

ワークスペースにグループアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceGroupItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ items <object[]>
  │    ├─ referenceItemKey <object>
  │    │    └─ itemCd <string>
  │    ├─ referenceItemType <string>
  │    ├─ sortKey <integer>
  │    └─ title <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceGroupItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
items	任意	object	配列	グループ内アイテム情報
referenceItemKey	任意	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	任意	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	任意	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	任意	string	なし	グループ内アイテムのタイトル
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceGroupItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ items <object[]>
  │    ├─ referenceItemKey <object>
  │    │    └─ itemCd <string>
  │    ├─ referenceItemType <string>
  │    ├─ sortKey <integer>
  │    └─ title <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceGroupItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceGroupItem
editType	string	なし	編集種別
editableFlag	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
items	object	配列	グループ内アイテム情報
referenceItemKey	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	string	なし	グループ内アイテムのタイトル
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名

項目名	型	配列/リスト	説明
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース グループアイテムの更新

ワークスペースのグループアイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceGroupItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ items <object[]>
  │    ├─ referenceItemKey <object>
  │    │    └─ itemCd <string>
  │    ├─ referenceItemType <string>
  │    ├─ sortKey <integer>
  │    └─ title <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceGroupItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
items	任意	object	配列	グループ内アイテム情報
referenceItemKey	任意	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	任意	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	任意	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	任意	string	なし	グループ内アイテムのタイトル
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceGroupItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceGroupItem	integer	なし	更新件数

ワークスペース グループアイテムにアイテムを追加

ワークスペースのグループアイテムにアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacMoveInWorkspaceGroupItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ items <object[]>
  │    ├─ referenceItemKey <object>
  │    │    └─ itemCd <string>
  │    ├─ referenceItemType <string>
  │    ├─ sortKey <integer>
  │    └─ title <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacMoveInWorkspaceGroupItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
items	任意	object	配列	グループ内アイテム情報
referenceItemKey	任意	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	任意	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	任意	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	任意	string	なし	グループ内アイテムのタイトル
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacMoveInWorkspaceGroupItem <object>
  └ displayInfos <object[]>
      ├ referenceItemKey <object>
      │   └ itemCd <string>
      ├ referenceItemType <string>
      ├ sortKey <integer>
      └ title <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacMoveInWorkspaceGroupItem	object	なし	im_iacMoveInWorkspaceGroupItem
references	object	リスト	references
referenceItemKey	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	string	なし	グループ内アイテムのタイトル

ワークスペース グループアイテムからアイテムを削除

ワークスペースのグループアイテムからアイテムを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacMoveOutWorkspaceGroupItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ items <object[]>
  │    ├─ referenceItemKey <object>
  │    │    └─ itemCd <string>
  │    ├─ referenceItemType <string>
  │    ├─ sortKey <integer>
  │    └─ title <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacMoveOutWorkspaceGroupItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true : あり / false : なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
items	任意	object	配列	グループ内アイテム情報
referenceItemKey	任意	object	なし	グループ内アイテムのアイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
referenceItemType	任意	string	なし	グループ内アイテムのアイテム種別
sortKey	任意	integer	なし	グループ内アイテムの表示順序
title	任意	string	なし	グループ内アイテムのタイトル
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacMoveOutWorkspaceGroupItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacMoveOutWorkspaceGroupItem	integer	なし	処理件数

ワークスペース チェックリストアイテムの追加

ワークスペースにチェックリストアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceChecklistItem <object>
  ├ editType <string>
  ├ editableFlag <boolean>
  ├ itemKey <object>
  │   └ itemCd <string>
  ├ itemType <string>
  ├ relateToDoFlag <boolean>
  ├ secondSortColumn <string>
  ├ secondSortOrder <string>
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  ├ title <string>
  ├ updateDate <imdatetime>
  ├ updateUserCd <string>
  ├ updateUserName <string>
  └ workspaceKey <object> *
      └ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceChecklistItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	編集権限の有無。true :編集権限あり false : 編集権限なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
relateToDoFlag	任意	boolean	なし	ToDo連携フラグ。true : ToDo連携 / false : ToDo連携しない
secondSortColumn	任意	string	なし	第2ソートカラム
secondSortOrder	任意	string	なし	第2ソート順序

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceChecklistItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ relateToDoFlag <boolean>
  ├─ secondSortColumn <string>
  ├─ secondSortOrder <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceChecklistItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceChecklistItem
editType	string	なし	editType
editableFlag	boolean	なし	編集種別
itemKey	object	なし	編集権限の有無。true :編集権限あり false : 編集権限なし
itemCd	string	なし	アイテムキー
itemType	string	なし	アイテムコード
relateToDoFlag	boolean	なし	アイテム種別
secondSortColumn	string	なし	ToDo連携フラグ。true : ToDo連携 / false : ToDo連携しない
secondSortOrder	string	なし	第2ソートカラム
targetUserCd	string	なし	第2ソート順序
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
title	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
updateDate	imdatetime	なし	タイトル
updateUserCd	string	なし	更新日時
updateUserName	string	なし	更新ユーザコード
workspaceKey	object	なし	更新ユーザ名
workspaceCd	string	なし	ワークスペースキー

ワークスペース チェックリストアイテムの更新

ワークスペースのチェックリストアイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceChecklistItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ relateToDoFlag <boolean>
  ├─ secondSortColumn <string>
  ├─ secondSortOrder <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceChecklistItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	編集権限の有無。true :編集権限あり false : 編集権限なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
relateToDoFlag	任意	boolean	なし	ToDo連携フラグ。true : ToDo連携 / false : ToDo連携しない
secondSortColumn	任意	string	なし	第2ソートカラム
secondSortOrder	任意	string	なし	第2ソート順序
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceChecklistItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceChecklistItem	integer	なし	更新件数

ワークスペース チェックリストアイテムにアイテムを追加

ワークスペースのチェックリストアイテムにアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceChecklistTask <object>
  ├─ assignUserCd <string>
  ├─ assignUserName <string>
  ├─ completeFlag <boolean>
  ├─ contents <string>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ taskDate <imdatetime>
  ├─ taskKey <object>
  │    └─ taskCd <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceChecklistTask	任意	object	なし	
assignUserCd	任意	string	なし	担当ユーザコード
assignUserName	任意	string	なし	担当者ユーザ名
completeFlag	任意	boolean	なし	ステータス。true：完了 / false：未完了
contents	任意	string	なし	本文
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerUserCd	任意	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
taskDate	任意	imdatetime	なし	タスク日時
taskKey	任意	object	なし	タスクキー
taskCd	任意	string	なし	タスクコード
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceChecklistTask <object>
  ├─ assignUserCd <string>
  ├─ assignUserName <string>
  ├─ completeFlag <boolean>
  ├─ contents <string>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ taskDate <imdatetime>
  ├─ taskKey <object>
  │    └─ taskCd <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceChecklistTask	object	なし	im_iacAddWorkspaceChecklistTask
assignUserCd	string	なし	担当ユーザコード
assignUserName	string	なし	担当者ユーザ名
completeFlag	boolean	なし	ステータス。true : 完了 / false : 未完了
contents	string	なし	本文
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
registerDate	imdatetime	なし	登録日時
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
taskDate	imdatetime	なし	タスク日時
taskKey	object	なし	タスクキー
taskCd	string	なし	タスクコード
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー

項目名	型	配列/リスト	説明
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース チェックリストアイテムからアイテムを削除

ワークスペースのチェックリストアイテムからアイテムを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacRemoveWorkspaceChecklistTask <object>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  └─ taskKey <object> *
       └─ taskCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacRemoveWorkspaceChecklistTask	任意	object	なし	
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
taskKey	必須	object	なし	タスクキー
taskCd	任意	string	なし	タスクコード

出力値

```
im_iacRemoveWorkspaceChecklistTask <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacRemoveWorkspaceChecklistTask	integer	なし	処理件数

ワークスペース チェックリストアイテムの中のアイテムを更新

ワークスペースのチェックリストアイテムの中のアイテムのステータスを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceChecklistTask <object>
  ├─ assignUserCd <string>
  ├─ assignUserName <string>
  ├─ completeFlag <boolean>
  ├─ contents <string>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ registerDate <imdatetime>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ taskDate <imdatetime>
  ├─ taskKey <object> *
  │    └─ taskCd <string>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceChecklistTask	任意	object	なし	
assignUserCd	任意	string	なし	担当ユーザコード
assignUserName	任意	string	なし	担当者ユーザ名
completeFlag	任意	boolean	なし	ステータス。true：完了 / false：未完了
contents	任意	string	なし	本文
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
registerDate	任意	imdatetime	なし	登録日時
registerUserCd	任意	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	任意	string	なし	登録ユーザ名
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
taskDate	任意	imdatetime	なし	タスク日時
taskKey	必須	object	なし	タスクキー
taskCd	任意	string	なし	タスクコード
timezoneId	任意	string	なし	タイムゾーンID
title	必須	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceChecklistTask <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceChecklistTask	integer	なし	処理件数

ワークスペース 決定事項アイテムの追加

ワークスペースに決定事項アイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceDecisionItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ decisionDate <imdatetime>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceDecisionItem	任意	object	なし	
contentsHtml	任意	string	なし	リッチテキスト
contentsText	任意	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	任意	string	なし	本文種別
decisionDate	任意	imdatetime	なし	決定日
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceDecisionItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ decisionDate <imdatetime>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceDecisionItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceDecisionItem
contentsHtml	string	なし	リッチテキスト
contentsText	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	string	なし	本文種別
decisionDate	imdatetime	なし	決定日
editType	string	なし	編集種別
editableFlag	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース 決定事項アイテムの更新

ワークスペースの決定事項アイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceDecisionItem <object>
  ├─ contentsHtml <string>
  ├─ contentsText <string>
  ├─ contentsType <string>
  ├─ decisionDate <imdatetime>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceDecisionItem	任意	object	なし	
contentsHtml	任意	string	なし	リッチテキスト
contentsText	任意	string	なし	プレーンテキスト
contentsType	任意	string	なし	本文種別
decisionDate	任意	imdatetime	なし	決定日
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceDecisionItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceDecisionItem	integer	なし	更新件数

ワークスペース 決定事項アイテムの削除

ワークスペースの決定事項アイテムを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspaceDecisionItem <object>
  ├ itemCd <string> *
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceDecisionItem	任意	object	なし	
itemCd	必須	string	なし	アイテムコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceCd	必須	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspaceDecisionItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceDecisionItem	integer	なし	処理件数

ワークスペース オピニオンアイテムの追加

ワークスペースにオピニオンアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceOpinionItem <object>
  ├─ closeFlag <boolean>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ theme <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceOpinionItem	任意	object	なし	
closeFlag	任意	boolean	なし	締め切りフラグ。true : 締めきっている / false : 締めきっていない
editableFlag	任意	boolean	なし	編集権限フラグ。true : 編集権限あり / false : 編集権限なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
theme	任意	string	なし	テーマ
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceOpinionItem <object>
  ├─ closeFlag <boolean>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ theme <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceOpinionItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceOpinionItem
closeFlag	boolean	なし	締め切りフラグ。true : 締めきっている / false : 締めきっていない
editableFlag	boolean	なし	編集権限フラグ。true : 編集権限あり / false : 編集権限なし
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
theme	string	なし	テーマ
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース オピニオンアイテムの更新

ワークスペースのオピニオンアイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceOpinionItem <object>
  ├─ closeFlag <boolean>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ theme <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceOpinionItem	任意	object	なし	
closeFlag	任意	boolean	なし	締め切りフラグ。true：締めきっている / false：締めきっていない
editableFlag	任意	boolean	なし	編集権限フラグ。true：編集権限あり / false：編集権限なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
theme	任意	string	なし	テーマ
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceOpinionItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceOpinionItem	integer	なし	処理件数

ワークスペース オピニオンアイテムの削除

ワークスペースのオピニオンアイテムを削除するタスクです

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspaceOpinionItem <object>
  ├ itemCd <string> *
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceOpinionItem	任意	object	なし	
itemCd	必須	string	なし	アイテムコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceCd	必須	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspaceOpinionItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceOpinionItem	integer	なし	処理件数

ワークスペース WEBページアイテムの追加

ワークスペースにWebページアイテムを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacAddWorkspaceWebPageItem <object>
  ├ editType <string>
  ├ editableFlag <boolean>
  ├ itemKey <object>
  │   └ itemCd <string>
  ├ itemType <string>
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  ├ title <string>
  ├ updateDate <imdatetime>
  ├ updateUserCd <string>
  ├ updateUserName <string>
  └ workspaceKey <object> *
      └ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceWebPageItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	任意	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacAddWorkspaceWebPageItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object>
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacAddWorkspaceWebPageItem	object	なし	im_iacAddWorkspaceWebPageItem
editType	string	なし	編集種別
editableFlag	boolean	なし	アイテム編集権限。true：あり / false：なし
itemKey	object	なし	アイテムキー
itemCd	string	なし	アイテムコード
itemType	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	string	なし	実行ユーザの所属組織コード

項目名	型	配列/リスト	説明
title	string	なし	タイトル
updateDate	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	string	なし	更新ユーザコード
updateUserName	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	string	なし	ワークスペースコード

ワークスペース WEBページアイテムの更新

ワークスペースのWebページアイテムを更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacUpdateWorkspaceWebPageItem <object>
  ├─ editType <string>
  ├─ editableFlag <boolean>
  ├─ itemKey <object> *
  │    └─ itemCd <string>
  ├─ itemType <string>
  ├─ targetUserCd <string> *
  ├─ targetUserCompanyCd <string>
  ├─ targetUserDepartmentCd <string>
  ├─ title <string>
  ├─ updateDate <imdatetime>
  ├─ updateUserCd <string>
  ├─ updateUserName <string>
  └─ workspaceKey <object> *
       └─ workspaceCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceWebPageItem	任意	object	なし	
editType	任意	string	なし	編集種別
editableFlag	任意	boolean	なし	アイテム編集権限。true : あり / false : なし
itemKey	必須	object	なし	アイテムキー
itemCd	任意	string	なし	アイテムコード
itemType	任意	string	なし	アイテム種別
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
title	任意	string	なし	タイトル
updateDate	任意	imdatetime	なし	更新日時
updateUserCd	任意	string	なし	更新ユーザコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
updateUserName	任意	string	なし	更新ユーザ名
workspaceKey	必須	object	なし	ワークスペースキー
workspaceCd	任意	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacUpdateWorkspaceWebPageItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacUpdateWorkspaceWebPageItem	integer	なし	処理件数

ワークスペース WEBページアイテムの削除

ワークスペースのWebページアイテムを削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_iacDeleteWorkspaceWebPageItem <object>
  ├ itemCd <string> *
  ├ targetUserCd <string> *
  ├ targetUserCompanyCd <string>
  ├ targetUserDepartmentCd <string>
  └ workspaceCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceWebPageItem	任意	object	なし	
itemCd	必須	string	なし	アイテムコード
targetUserCd	必須	string	なし	実行ユーザコード
targetUserCompanyCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属会社コード
targetUserDepartmentCd	任意	string	なし	実行ユーザの所属組織コード
workspaceCd	必須	string	なし	ワークスペースコード

出力値

```
im_iacDeleteWorkspaceWebPageItem <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iacDeleteWorkspaceWebPageItem	integer	なし	処理件数

IMBox

アプリケーションボックスに投稿

アプリケーションボックスに投稿を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
アプリケーションコード	必須	text		

入力値

```
im_sendApplicationBox <object>
  ├─ message <string> *
  ├─ messageTypeCd <string>
  ├─ noticeUserCd <string[]> *
  ├─ sendUserCd <string> *
  ├─ threadSummarizeCd <string>
  ├─ uri <string>
  ├─ uriText <string>
  └─ uriTitle <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendApplicationBox	任意	object	なし	
message	必須	string	なし	メッセージを指定してください。
messageTypeCd	任意	string	なし	メッセージ種別コードを指定してください。
noticeUserCd	必須	string	配列	通知先ユーザコード配列を指定してください。
sendUserCd	必須	string	なし	送信ユーザコードを指定してください。
threadSummarizeCd	任意	string	なし	対象となる業務キーを指定してください。
uri	任意	string	なし	URIを指定してください。
uriText	任意	string	なし	URIの説明を指定してください。
uriTitle	任意	string	なし	URIに対するタイトルを指定してください。

出力値

```
im_sendApplicationBox <object>
  ├─ boxCd <string>
  ├─ messageId <string>
  └─ threadId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendApplicationBox	object	なし	
boxCd	string	なし	送信されたボックスコード
messageId	string	なし	送信されたメッセージID
threadId	string	なし	送信されたスレッドID

カンパニーボックスに投稿

カンパニーボックスに投稿を行うタスクです。

入力値

```
im_sendCompanyBox <object>
  ├─ attachFiles <object[]>
  │    ├─ fileData <binary>
  │    └─ fileName <string>
  ├─ companyCd <string> *
  ├─ message <string> *
  ├─ messageTypeCd <string>
  ├─ noticeUserCds <string[]>
  ├─ postUserCd <string> *
  ├─ replyMessageId <string>
  └─ threadId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendCompanyBox	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル配列を指定してください。
fileData	任意	binary	なし	添付ファイルのデータを指定してください。
fileName	任意	string	なし	添付ファイルのファイル名を指定してください。
companyCd	必須	string	なし	会社コードを指定してください。
message	必須	string	なし	メッセージを指定してください。
messageTypeCd	任意	string	なし	メッセージ種別コードを指定してください。
noticeUserCds	任意	string	配列	通知先ユーザコード配列を指定してください。
postUserCd	必須	string	なし	投稿者ユーザコードを指定してください。
replyMessageId	任意	string	なし	返信を行う場合に利用します、返信対象となるメッセージIDを指定してください。
threadId	任意	string	なし	返信を行う場合に利用します、返信対象となるスレッドIDを指定してください。

出力値

```
im_sendCompanyBox <object>
  ├─ boxCd <string>
  ├─ messageId <string>
  └─ threadId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendCompanyBox	object	なし	
boxCd	string	なし	投稿したカンパニーボックスコード
messageId	string	なし	投稿したメッセージID
threadId	string	なし	投稿したスレッドID

グループボックスに投稿

任意のグループボックスに投稿を行うタスクです。

入力値

```
im_sendGroupBox <object>
  ├ attachFiles <object[]>
  │    ├ fileData <binary>
  │    └ fileName <string>
  ├ boxCd <string> *
  ├ message <string> *
  ├ messageTypeCd <string>
  ├ noticeUserCds <string[]>
  ├ postUserCd <string> *
  ├ replyMessageId <string>
  └ threadId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendGroupBox	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイルを指定してください。
fileData	任意	binary	なし	添付ファイルのデータを指定してください。
fileName	任意	string	なし	添付ファイルのファイル名を指定してください。
boxCd	必須	string	なし	投稿を行うグループボックスコードを指定してください。
message	必須	string	なし	メッセージを指定してください。
messageTypeCd	任意	string	なし	メッセージ種別を指定してください。
noticeUserCds	任意	string	配列	通知先ユーザコード配列を指定してください。
postUserCd	必須	string	なし	投稿者ユーザコードを指定してください。
replyMessageId	任意	string	なし	返信を行う際に利用します、返信対象のメッセージIDを指定してください。
threadId	任意	string	なし	返信を行う場合に利用します、返信を行うスレッドIDを指定してください。

出力値

```
im_sendGroupBox <object>
  ├ boxCd <string>
  ├ messageId <string>
  └ threadId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendGroupBox	object	なし	
boxCd	string	なし	投稿されたグループボックスコード
messageId	string	なし	投稿されたメッセージID
threadId	string	なし	投稿されたスレッドID

ダイレクトメッセージボックスに投稿

ダイレクトメッセージを投稿するタスクです。

入力値

```
im_sendDirectMessageBox <object>
  ├ attachFiles <object[]>
  │    ├ fileData <binary>
  │    └ fileName <string>
  ├ dmReferenceUserCds <string[]> *
  ├ message <string> *
  ├ messageTypeCd <string>
  ├ postUserCd <string> *
  ├ replyMessageId <string>
  └ threadId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sendDirectMessageBox	任意	object	なし	
attachFiles	任意	object	配列	添付ファイル配列を指定してください。
fileData	任意	binary	なし	添付ファイルのデータを指定してください。
fileName	任意	string	なし	添付ファイルのファイル名を指定してください。
dmReferenceUserCds	必須	string	配列	ダイレクトメッセージの宛先となるユーザを指定してください、返信を行う場合には指定できません。
message	必須	string	なし	メッセージを指定してください。
messageTypeCd	任意	string	なし	メッセージ種別を指定してください。
postUserCd	必須	string	なし	投稿者ユーザコードを指定してください。
replyMessageId	任意	string	なし	返信を行う場合に利用します、返信対象となるメッセージIDを指定してください。
threadId	任意	string	なし	返信を行う場合に利用します、返信対象となるスレッドIDを指定してください。

出力値

```
im_sendDirectMessageBox <object>
  ├ boxCd <string>
  ├ messageId <string>
  └ threadId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sendDirectMessageBox	object	なし	im_sendDirectMessageBox
boxCd	string	なし	boxCd
messageId	string	なし	messageId
threadId	string	なし	threadId

タグを追加

指定されたスレッドにタグを追加するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_addImboxTag <object>
  ├─ boxCd <string> *
  ├─ tags <string[]> *
  ├─ threadId <string> *
  └─ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addImboxTag	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	ボックスコード
tags	必須	string	配列	タグ
threadId	必須	string	なし	スレッドID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_addImboxTag <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addImboxTag	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

グループボックスへ参加

グループボックスへ参加を行うタスクです。

指定されたグループボックスが公開されている、または招待を受けている場合は参加を行います。 それ以外の場合は参加申請を行います。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_joinGroup <object>
  └─ boxCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_joinGroup	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	参加するボックスのボックスコード

出力値

```
im_joinGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_joinGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

参加申請の取り消し

参加申請の取り消しを行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_cancelRequestJoin <object>
 └ boxCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_cancelRequestJoin	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	取り消しを行うボックスのボックスコード

出力値

```
im_cancelRequestJoin <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_cancelRequestJoin	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

グループボックスへ招待

グループボックスへユーザの招待を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_invitationGroup <object>
 ├ boxCd <string> *
 └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_invitationGroup	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	招待を行うボックスのボックスコード
userCds	必須	string	配列	招待するユーザのユーザコード

出力値

```
im_invitationGroup <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_invitationGroup	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

招待の取り消し

グループボックスへの招待の取り消しを行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_cancelInvitation <object>
  ├ boxCd <string> *
  └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_cancelInvitation	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	取り消しを行うボックスのボックスコード
userCds	必須	string	配列	取り消しを行うユーザのユーザコード

出力値

```
im_cancelInvitation <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_cancelInvitation	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

参加申請の承認

参加申請の承認を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_approveJoin <object>
  ├ boxCd <string> *
  └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_approveJoin	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	承認を行うボックスのボックスコード
userCds	必須	string	配列	承認するユーザのユーザコード

出力値

```
im_approveJoin <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_approveJoin	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

参加申請の否認

参加申請の否認を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_denyJoin <object>
  ├ boxCd <string> *
  └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_denyJoin	任意	object	なし	
boxCd	必須	string	なし	否認を行うボックスのボックスコード
userCds	必須	string	配列	否認をするユーザのユーザコード

出力値

```
im_denyJoin <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_denyJoin	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM-BPM

プロセス定義IDで開始

プロセス定義IDでプロセスインスタンスを開始するタスクです。

入力値

```
im_bpmStartProcessInstanceById <object>
  ├ businessKey <string>
  ├ processDefinitionId <string> *
  └ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceById	任意	object	なし	
businessKey	任意	string	なし	業務キー
processDefinitionId	必須	string	なし	プロセス定義ID
variables	任意	map	なし	変数 key : 変数名 <string> value : 変数値 <object>

出力値

```
im_bpmStartProcessInstanceById <object>
  └ processInstanceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceById	object	なし	
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID

プロセス定義キーで開始

プロセス定義キーでプロセスインスタンスを開始するタスクです。

入力値

```
im_bpmStartProcessInstanceByKey <object>
  ├─ businessKey <string>
  ├─ processDefinitionKey <string> *
  └─ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceByKey	任意	object	なし	
businessKey	任意	string	なし	業務キー
processDefinitionKey	必須	string	なし	プロセス定義キー
variables	任意	map	なし	変数 key : 変数名 <string> value : 変数値 <object>

出力値

```
im_bpmStartProcessInstanceByKey <object>
  └─ processInstanceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceByKey	object	なし	
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID

メッセージで開始

メッセージでプロセスインスタンスを開始するタスクです。

入力値

```
im_bpmStartProcessInstanceByMessage <object>
  ├─ businessKey <string>
  ├─ message <string> *
  └─ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceByMessage	任意	object	なし	
businessKey	任意	string	なし	業務キー
message	必須	string	なし	メッセージ
variables	任意	map	なし	変数 key : 変数名 <string> value : 変数値 <object>

出力値

```
im_bpmStartProcessInstanceByMessage <object>
  └ processInstanceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmStartProcessInstanceByMessage	object	なし	
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID

個人タスク取得

個人タスクを取得するタスクです。
本タスクは処理結果が確定しているタスク情報の検索を行うタスクです。同一トランザクション内で処理を行っている未確定のタスク情報の検索を目的とした使用は想定されません。

入力値

```
im_bpmQueryUserTasks <object>
  ├─ active <boolean>
  ├─ assignee <string>
  ├─ assigneeLike <string>
  ├─ candidateGroup <string>
  ├─ candidateGroupIn <string[]>
  ├─ candidateOrAssigned <string>
  ├─ candidateUser <string>
  ├─ createdAfter <date>
  ├─ createdBefore <date>
  ├─ createdOn <date>
  ├─ delegationState <string>
  ├─ description <string>
  ├─ descriptionLike <string>
  ├─ dueAfter <date>
  ├─ dueBefore <date>
  ├─ dueDate <date>
  ├─ excludeSubTasks <boolean>
  ├─ executionId <string>
  ├─ includeProcessVariables <boolean>
  ├─ includeTaskLocalVariables <boolean>
  ├─ involvedUser <string>
  ├─ maximumPriority <integer>
  ├─ minimumPriority <integer>
  ├─ name <string>
  ├─ nameLike <string>
  ├─ owner <string>
  ├─ ownerLike <string>
  ├─ pagination <object>
  │    ├─ limit <integer>
  │    └─ offset <integer>
  ├─ priority <integer>
  ├─ processDefinitionId <string>
  ├─ processDefinitionKey <string>
  ├─ processDefinitionKeyLike <string>
  ├─ processDefinitionName <string>
  ├─ processDefinitionNameLike <string>
  ├─ processInstanceBusinessKey <string>
  ├─ processInstanceBusinessKeyLike <string>
  ├─ processInstanceId <string>
  ├─ processInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ sort <object>
  │    ├─ order <string>
  │    ├─ secondOrder <string>
  │    ├─ secondSort <string>
  │    └─ sort <string>
  ├─ taskDefinitionKey <string>
  ├─ taskDefinitionKeyLike <string>
  ├─ taskOrProcessInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ taskVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ tenantId <string>
  ├─ tenantIdLike <string>
  ├─ unassigned <boolean>
  ├─ withoutDueDate <boolean>
  └─ withoutTenantId <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryUserTasks	任意	object	なし	検索条件
active	任意	boolean	なし	有効状態
assignee	任意	string	なし	担当者
assigneeLike	任意	string	なし	担当者（部分一致）
candidateGroup	任意	string	なし	関連グループ
candidateGroupIn	任意	string	リスト	関連グループリスト
candidateOrAssigned	任意	string	なし	関連者、または担当者
candidateUser	任意	string	なし	関連者
createdAfter	任意	date	なし	作成日時（以後）
createdBefore	任意	date	なし	作成日時（以前）
createdOn	任意	date	なし	作成日時
delegationState	任意	string	なし	委任状態 以下のいずれかの値を設定してください。 pending, resolved
description	任意	string	なし	備考
descriptionLike	任意	string	なし	備考（部分一致）
dueAfter	任意	date	なし	期限日時（以降）
dueBefore	任意	date	なし	期限日時（以前）
dueDate	任意	date	なし	期限日時
excludeSubTasks	任意	boolean	なし	サブタスクの除外
executionId	任意	string	なし	エグゼキューションID
includeProcessVariables	任意	boolean	なし	プロセスインスタンス変数の情報を結果に含める
includeTaskLocalVariables	任意	boolean	なし	タスク変数の情報を結果に含める
involvedUser	任意	string	なし	関係者
maximumPriority	任意	integer	なし	優先度（最大）
minimumPriority	任意	integer	なし	優先度（最小）
name	任意	string	なし	タスク名
nameLike	任意	string	なし	タスク名（部分一致）
owner	任意	string	なし	オーナ
ownerLike	任意	string	なし	オーナ（部分一致）
pagination	任意	object	なし	ページング条件
limit	任意	integer	なし	取得するデータの最大レコード数を設定してください（0以上。0の場合、offset以降の全件）。
offset	任意	integer	なし	取得するデータの開始レコード位置を設定してください（1以上を設定してください）。
priority	任意	integer	なし	優先度
processDefinitionId	任意	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	任意	string	なし	プロセス定義キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
processDefinitionKeyLike	任意	string	なし	プロセス定義キー（部分一致）
processDefinitionName	任意	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionNameLike	任意	string	なし	プロセス定義名（部分一致）
processInstanceBusinessKey	任意	string	なし	業務キー
processInstanceBusinessKeyLike	任意	string	なし	業務キー（部分一致）
processInstanceId	任意	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariables	任意	object	リスト	プロセスインスタンス変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
sort	任意	object	なし	ソート条件
order	任意	string	なし	第一ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondOrder	任意	string	なし	第二ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondSort	任意	string	なし	第二ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください（第一ソートキーが設定されていない場合は無効です）。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
sort	任意	string	なし	第一ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
taskDefinitionKey	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskDefinitionKeyLike	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）（部分一致）
taskOrProcessInstanceVariables	任意	object	リスト	タスク変数、またはプロセスインスタンス変数

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
taskVariables	任意	object	リスト	タスク変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
tenantId	任意	string	なし	テナントID
tenantIdLike	任意	string	なし	テナントID（部分一致）
unassigned	任意	boolean	なし	担当者なし
withoutDueDate	任意	boolean	なし	期限日時なし
withoutTenantId	任意	boolean	なし	テナントIDなし

コラム

部分一致検索項目では、ワイルドカード（”%”、”_”など）を使用できます。ワイルドカードを使用しない場合、完全一致の検索条件として検索が実行されます。

例: `キーワード` を含む文字列を部分一致検索する場合
`‘%キーワード%‘`

コラム

第一ソートキーが指定されており、第一ソートキー、第二ソートキーでソート結果が一意とならない場合、idが暗黙ソートキーとして追加で指定されます。

出力値

```
im_bpmQueryUserTasks <object>
  ├─ metaData <object>
  │    └─ total <long>
  └─ queryTasksResults <object[]>
       ├─ assignee <string>
       ├─ category <string>
       ├─ createTime <date>
       ├─ delegationState <string>
       ├─ description <string>
       ├─ dueDate <date>
       ├─ executionId <string>
       ├─ formKey <string>
       ├─ id <string>
       ├─ name <string>
       ├─ owner <string>
       ├─ parentTaskId <string>
       ├─ priority <integer>
       ├─ processDefinitionId <string>
       ├─ processDefinitionName <string>
       ├─ processDefinitionType <string>
       ├─ processInstanceBusinessKey <string>
       ├─ processInstanceId <string>
       ├─ processInstanceVariablesMap <map>
       ├─ suspended <boolean>
       ├─ taskDefinitionKey <string>
       ├─ taskVariablesMap <map>
       ├─ tenantId <string>
       └─ variables <object[]>
            ├─ name <string>
            ├─ scope <string>
            ├─ type <string>
            ├─ value <any>
            └─ variableScope <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryUserTasks	object	なし	
metaData	object	なし	検索結果メタデータ
total	long	なし	検索条件に合致する総件数 ページング条件の影響は受けません。
queryTasksResults	object	リスト	検索結果
assignee	string	なし	担当者
category	string	なし	カテゴリ
createTime	date	なし	作成日時
delegationState	string	なし	委任状態
description	string	なし	備考
dueDate	date	なし	期限日時
executionId	string	なし	エグゼキューションID
formKey	string	なし	フォームキー
id	string	なし	タスクID
name	string	なし	タスク名
owner	string	なし	オーナ
parentTaskId	string	なし	親タスクID
priority	integer	なし	優先度
processDefinitionId	string	なし	プロセス定義ID

項目名	型	配列/リスト	説明
processDefinitionName	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionType	string	なし	定義種別 プロセスの場合、PROCESS ケースの場合、CASE
processInstanceBusinessKey	string	なし	業務キー
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariablesMap	map	なし	プロセスインスタンス変数マップ key：変数名、value：値
suspended	boolean	なし	中断
taskDefinitionKey	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskVariablesMap	map	なし	タスク変数マップ key：変数名、value：値
tenantId	string	なし	テナントID
variables	object	リスト	変数
name	string	なし	変数名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, date があります。
value	any	なし	値
variableScope	object	なし	スコープオブジェクト

グループタスク取得

グループタスクを取得するタスクです。
本タスクは処理結果が確定しているタスク情報の検索を行うタスクです。同一トランザクション内で処理を行っている未確定のタスク情報の検索を目的とした使用は想定されません。

入力値

```
im_bpmQueryGroupTasks <object>
  ├─ active <boolean>
  ├─ assignee <string>
  ├─ assigneeLike <string>
  ├─ candidateGroup <string>
  ├─ candidateGroupIn <string[]>
  ├─ candidateOrAssigned <string>
  ├─ candidateUser <string>
  ├─ createdAfter <date>
  ├─ createdBefore <date>
  ├─ createdOn <date>
  ├─ delegationState <string>
  ├─ description <string>
  ├─ descriptionLike <string>
  ├─ dueAfter <date>
  ├─ dueBefore <date>
  ├─ dueDate <date>
  ├─ excludeSubTasks <boolean>
  ├─ executionId <string>
  ├─ includeProcessVariables <boolean>
  ├─ includeTaskLocalVariables <boolean>
  ├─ involvedUser <string>
  ├─ maximumPriority <integer>
  ├─ minimumPriority <integer>
  ├─ name <string>
  ├─ nameLike <string>
  ├─ owner <string>
  ├─ ownerLike <string>
  ├─ pagination <object>
  │    ├─ limit <integer>
  │    └─ offset <integer>
  ├─ priority <integer>
  ├─ processDefinitionId <string>
  ├─ processDefinitionKey <string>
  ├─ processDefinitionKeyLike <string>
  ├─ processDefinitionName <string>
  ├─ processDefinitionNameLike <string>
  ├─ processInstanceBusinessKey <string>
  ├─ processInstanceBusinessKeyLike <string>
  ├─ processInstanceId <string>
  ├─ processInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ sort <object>
  │    ├─ order <string>
  │    ├─ secondOrder <string>
  │    ├─ secondSort <string>
  │    └─ sort <string>
  ├─ taskDefinitionKey <string>
  ├─ taskDefinitionKeyLike <string>
  ├─ taskOrProcessInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ taskVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ tenantId <string>
  ├─ tenantIdLike <string>
  ├─ unassigned <boolean>
  ├─ withoutDueDate <boolean>
  └─ withoutTenantId <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryGroupTasks	任意	object	なし	検索条件
active	任意	boolean	なし	有効状態
assignee	任意	string	なし	担当者
assigneeLike	任意	string	なし	担当者（部分一致）
candidateGroup	任意	string	なし	関連グループ
candidateGroupIn	任意	string	リスト	関連グループリスト
candidateOrAssigned	任意	string	なし	関連者、または担当者
candidateUser	任意	string	なし	関連者
createdAfter	任意	date	なし	作成日時（以後）
createdBefore	任意	date	なし	作成日時（以前）
createdOn	任意	date	なし	作成日時
delegationState	任意	string	なし	委任状態 以下のいずれかの値を設定してください。 pending, resolved
description	任意	string	なし	備考
descriptionLike	任意	string	なし	備考（部分一致）
dueAfter	任意	date	なし	期限日時（以降）
dueBefore	任意	date	なし	期限日時（以前）
dueDate	任意	date	なし	期限日時
excludeSubTasks	任意	boolean	なし	サブタスクの除外
executionId	任意	string	なし	エグゼキューションID
includeProcessVariables	任意	boolean	なし	プロセスインスタンス変数の情報を結果に含める
includeTaskLocalVariables	任意	boolean	なし	タスク変数の情報を結果に含める
involvedUser	任意	string	なし	関係者
maximumPriority	任意	integer	なし	優先度（最大）
minimumPriority	任意	integer	なし	優先度（最小）
name	任意	string	なし	タスク名
nameLike	任意	string	なし	タスク名（部分一致）
owner	任意	string	なし	オーナ
ownerLike	任意	string	なし	オーナ（部分一致）
pagination	任意	object	なし	ページング条件
limit	任意	integer	なし	取得するデータの最大レコード数を設定してください（0以上。0の場合、offset以降の全件）。
offset	任意	integer	なし	取得するデータの開始レコード位置を設定してください（1以上を設定してください）。
priority	任意	integer	なし	優先度
processDefinitionId	任意	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	任意	string	なし	プロセス定義キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
processDefinitionKeyLike	任意	string	なし	プロセス定義キー（部分一致）
processDefinitionName	任意	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionNameLike	任意	string	なし	プロセス定義名（部分一致）
processInstanceBusinessKey	任意	string	なし	業務キー
processInstanceBusinessKeyLike	任意	string	なし	業務キー（部分一致）
processInstanceId	任意	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariables	任意	object	リスト	プロセスインスタンス変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
sort	任意	object	なし	ソート条件
order	任意	string	なし	第一ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondOrder	任意	string	なし	第二ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondSort	任意	string	なし	第二ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください（第一ソートキーが設定されていない場合は無効です）。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
sort	任意	string	なし	第一ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
taskDefinitionKey	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskDefinitionKeyLike	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）（部分一致）
taskOrProcessInstanceVariables	任意	object	リスト	タスク変数、またはプロセスインスタンス変数

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
taskVariables	任意	object	リスト	タスク変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
tenantId	任意	string	なし	テナントID
tenantIdLike	任意	string	なし	テナントID（部分一致）
unassigned	任意	boolean	なし	担当者なし
withoutDueDate	任意	boolean	なし	期限日時なし
withoutTenantId	任意	boolean	なし	テナントIDなし

コラム

部分一致検索項目では、ワイルドカード（”%”、”_”など）を使用できます。ワイルドカードを使用しない場合、完全一致の検索条件として検索が実行されます。

例: `キーワード` を含む文字列を部分一致検索する場合
　‘%キーワード%‘

コラム

第一ソートキーが指定されており、第一ソートキー、第二ソートキーでソート結果が一意とならない場合、idが暗黙ソートキーとして追加で指定されます。

出力値

```
im_bpmQueryGroupTasks <object>
  ├─ metaData <object>
  │   └─ total <long>
  └─ queryTasksResults <object[]>
      ├─ assignee <string>
      ├─ category <string>
      ├─ createTime <date>
      ├─ delegationState <string>
      ├─ description <string>
      ├─ dueDate <date>
      ├─ executionId <string>
      ├─ formKey <string>
      ├─ id <string>
      ├─ name <string>
      ├─ owner <string>
      ├─ parentTaskId <string>
      ├─ priority <integer>
      ├─ processDefinitionId <string>
      ├─ processDefinitionName <string>
      ├─ processDefinitionType <string>
      ├─ processInstanceBusinessKey <string>
      ├─ processInstanceId <string>
      ├─ processInstanceVariablesMap <map>
      ├─ suspended <boolean>
      ├─ taskDefinitionKey <string>
      ├─ taskVariablesMap <map>
      ├─ tenantId <string>
      └─ variables <object[]>
          ├─ name <string>
          ├─ scope <string>
          ├─ type <string>
          ├─ value <any>
          └─ variableScope <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryGroupTasks	object	なし	
metaData	object	なし	検索結果メタデータ
total	long	なし	検索条件に合致する総件数 ページング条件の影響は受けません。
queryTasksResults	object	リスト	検索結果
assignee	string	なし	担当者
category	string	なし	カテゴリ
createTime	date	なし	作成日時
delegationState	string	なし	委任状態
description	string	なし	備考
dueDate	date	なし	期限日時
executionId	string	なし	エグゼキューションID
formKey	string	なし	フォームキー
id	string	なし	タスクID
name	string	なし	タスク名
owner	string	なし	オーナ
parentTaskId	string	なし	親タスクID
priority	integer	なし	優先度
processDefinitionId	string	なし	プロセス定義ID

項目名	型	配列/リスト	説明
processDefinitionName	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionType	string	なし	定義種別 プロセスの場合、PROCESS ケースの場合、CASE
processInstanceBusinessKey	string	なし	業務キー
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariablesMap	map	なし	プロセスインスタンス変数マップ key：変数名、value：値
suspended	boolean	なし	中断
taskDefinitionKey	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskVariablesMap	map	なし	タスク変数マップ key：変数名、value：値
tenantId	string	なし	テナントID
variables	object	リスト	変数
name	string	なし	変数名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, date があります。
value	any	なし	値
variableScope	object	なし	スコープオブジェクト

タスク完了

タスクを完了するタスクです。

入力値

```
im_bpmCompleteTask <object>
  ├─ localScope <boolean>
  ├─ taskId <string> *
  └─ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmCompleteTask	任意	object	なし	
localScope	任意	boolean	なし	ローカルスコープフラグ true：変数をタスクローカル変数として登録する false：変数をプロセスの変数として登録する 設定しない場合はプロセスの変数として登録する
taskId	必須	string	なし	タスクID
variables	任意	map	なし	変数 key：変数名 <string> value：変数値 <object>

出力値

```
im_bpmCompleteTask <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmCompleteTask	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスク担当者振り分け

タスクに担当者を振り分けるタスクです。

入力値

```
im_bpmClaimTask <object>
  ├ taskId <string> *
  └ userId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmClaimTask	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
userId	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_bpmClaimTask <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmClaimTask	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスク担当者を外す

タスクから担当者を外すタスクです。

入力値

```
im_bpmUnclaimTask <object>
  └ taskId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmUnclaimTask	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID

出力値

```
im_bpmUnclaimTask <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmUnclaimTask	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

メッセージ送信

メッセージを送信するタスクです。

入力値

```
im_bpmMessage <object>
  ├─ executionId <string> *
  ├─ message <string> *
  └─ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmMessage	任意	object	なし	
executionId	必須	string	なし	エグゼキューションID
message	必須	string	なし	メッセージ
variables	任意	map	なし	変数 key : 変数名 <string> value : 変数値 <object>

出力値

```
im_bpmMessage <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmMessage	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

シグナル送信

シグナルを送信するタスクです。

シグナルを設定した場合、シグナルはブロードキャストされます。
エグゼキューションIDを設定した場合、該当のエグゼキューションにのみシグナルが送信されます。
エグゼキューションIDかシグナルのどちらかを設定する必要があります。
非同期の場合、変数を設定することはできません（設定しても無効で、エラーにはなりません）。

入力値

```
im_bpmSignal <object>
  ├─ async <boolean>
  ├─ executionId <string>
  ├─ signal <string>
  └─ variables <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmSignal	任意	object	なし	
async	任意	boolean	なし	非同期 true : 非同期 false : 同期 設定しない場合は同期
executionId	任意	string	なし	エグゼキューションID
signal	任意	string	なし	シグナル
variables	任意	map	なし	変数 key : 変数名 <string> value : 変数値 <object>

出力値

```
im_bpmSignal <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmSignal	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

エグゼキューション検索

エグゼキューションを検索するタスクです。
本タスクは処理結果が確定しているエグゼキューション情報の検索を行うタスクです。同一トランザクション内で処理を行っているエグゼキューション情報の検索を目的とした使用は想定されません。

> **コラム**
>
> エグゼキューションについて
>
> エグゼキューションの詳細は、「IM-BPM 仕様書」 - 「エグゼキューション」を参照してください。

> **コラム**
>
> エグゼキューションの特定方法について
>
> エグゼキューションの特定方法は、「IM-BPM プログラミングガイド」 - 「エグゼキューション」を参照してください。

> **コラム**
>
> エグゼキューション検索タスクの利用方法
>
> エグゼキューション検索タスクの利用方法は、「IM-BPM チュートリアルガイド」 - 「実用編」- 「IM-LogicDesignerタスクを利用してメッセージを送信する際に指定するエグゼキューションを取得する」を参照してください。

入力値

```
im_bpmQueryExecutions <object>
  ├─ activityId <string>
  ├─ id <string>
  ├─ includeExecutionLocalVariables <boolean>
  ├─ includeProcessVariables <boolean>
  ├─ messageEventSubscriptionName <string>
  ├─ pagination <object>
  │    ├─ limit <integer>
  │    └─ offset <integer>
  ├─ parentId <string>
  ├─ processBusinessKey <string>
  ├─ processDefinitionId <string>
  ├─ processDefinitionKey <string>
  ├─ processInstanceId <string>
  ├─ processInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ signalEventSubscriptionName <string>
  ├─ sort <object>
  │    ├─ order <string>
  │    ├─ secondOrder <string>
  │    ├─ secondSort <string>
  │    └─ sort <string>
  ├─ tenantId <string>
  ├─ tenantIdLike <string>
  ├─ variables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  └─ withoutTenantId <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryExecutions	任意	object	なし	検索条件
activityId	任意	string	なし	アクティビティID
id	任意	string	なし	エグゼキューションID
includeExecutionLocalVariables	任意	boolean	なし	エグゼキューション変数の情報を結果に含める
includeProcessVariables	任意	boolean	なし	プロセスインスタンス変数の情報を結果に含める
messageEventSubscriptionName	任意	string	なし	メッセージ名
pagination	任意	object	なし	ページング条件
limit	任意	integer	なし	取得するデータの最大レコード数を設定してください（0以上。0の場合、offset以降の全件）。
offset	任意	integer	なし	取得するデータの開始レコード位置を設定してください（1以上を設定してください）。
parentId	任意	string	なし	親エグゼキューションID
processBusinessKey	任意	string	なし	業務キー
processDefinitionId	任意	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	任意	string	なし	プロセス定義キー
processInstanceId	任意	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariables	任意	object	リスト	プロセスインスタンス変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
signalEventSubscriptionName	任意	string	なし	シグナル名
sort	任意	object	なし	ソート条件
order	任意	string	なし	第一ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondOrder	任意	string	なし	第二ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
secondSort	任意	string	なし	第二ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください（第一ソートキーが設定されていない場合は無効です）。 id, processDefinitionId, processDefinitionKey, processInstanceId
sort	任意	string	なし	第一ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください。 id, processDefinitionId, processDefinitionKey, processInstanceId
tenantId	任意	string	なし	テナントID
tenantIdLike	任意	string	なし	テナントID（部分一致）
variables	任意	object	リスト	エグゼキューション変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
withoutTenantId	任意	boolean	なし	テナントIDなし

コラム

部分一致検索項目では、ワイルドカード（”%”、”_”など）を使用できます。ワイルドカードを使用しない場合、完全一致の検索条件として検索が実行されます。

例: `キーワード` を含む文字列を部分一致検索する場合
`‘%キーワード%‘`

コラム

第一ソートキーが指定されており、第一ソートキー、第二ソートキーでソート結果が一意とならない場合、idが暗黙ソートキーとして追加で指定されます。

出力値

```
im_bpmQueryExecutions <object>
  ├─ metaData <object>
  │    └─ total <long>
  └─ queryExecutionsResults <object[]>
       ├─ activityId <string>
       ├─ description <string>
       ├─ ended <boolean>
       ├─ executionLocalVariablesMap <map>
       ├─ id <string>
       ├─ name <string>
       ├─ parentId <string>
       ├─ processInstanceId <string>
       ├─ processInstanceVariablesMap <map>
       ├─ superExecutionId <string>
       ├─ suspended <boolean>
       ├─ tenantId <string>
       └─ variables <object[]>
            ├─ name <string>
            ├─ scope <string>
            ├─ type <string>
            ├─ value <any>
            └─ variableScope <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryExecutions	object	なし	
metaData	object	なし	検索結果メタデータ
total	long	なし	検索条件に合致する総件数 ページング条件の影響は受けません。
queryExecutionsResults	object	リスト	検索結果
activityId	string	なし	アクティビティID
description	string	なし	説明
ended	boolean	なし	終了
executionLocalVariablesMap	map	なし	エグゼキューション変数マップ key：変数名、value：値
id	string	なし	エグゼキューションID
name	string	なし	名前
parentId	string	なし	親エグゼキューションID
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariablesMap	map	なし	プロセスインスタンス変数マップ key：変数名、value：値
superExecutionId	string	なし	親プロセスのエグゼキューションID
suspended	boolean	なし	中断
tenantId	string	なし	テナントID
variables	object	リスト	変数
name	string	なし	変数名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, date があります。
value	any	なし	値

項目名	型	配列/リスト	説明
variableScope	object	なし	スコープオブジェクト

プロセスインスタンスの変数更新

プロセスインスタンスの変数を更新するタスクです。

入力値

```
im_bpmSetProcessVariables <object>
 ├─ processInstanceId <string> *
 ├─ variableName <string>
 ├─ variableValue <any>
 └─ variablesMap <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetProcessVariables	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID
variableName	任意	string	なし	変数名
variableValue	任意	any	なし	変数値
variablesMap	任意	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

出力値

```
im_bpmSetProcessVariables <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetProcessVariables	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

エグゼキューションの変数更新

エグゼキューションの変数を更新するタスクです。

入力値

```
im_bpmSetExecutionVariables <object>
 ├─ executionId <string> *
 ├─ variableName <string>
 ├─ variableValue <any>
 └─ variablesMap <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetExecutionVariables	任意	object	なし	
executionId	必須	string	なし	エグゼキューションID
variableName	任意	string	なし	変数名
variableValue	任意	any	なし	変数値
variablesMap	任意	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

出力値

```
im_bpmSetExecutionVariables <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetExecutionVariables	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスクの変数更新

タスクの変数を更新するタスクです。

入力値

```
im_bpmSetTaskVariables <object>
 ├─ taskId <string> *
 ├─ variableName <string>
 ├─ variableValue <any>
 └─ variablesMap <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetTaskVariables	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
variableName	任意	string	なし	変数名
variableValue	任意	any	なし	変数値
variablesMap	任意	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

出力値

```
im_bpmSetTaskVariables <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmSetTaskVariables	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロセスデザイナからのデプロイ

プロセスデザイナからデプロイするタスクです。

入力値

```
im_bpmProcessDesignerDeploy <object>
  ├─ deploymentCategory <string>
  ├─ deploymentComment <string>
  ├─ deploymentName <string> *
  ├─ projectId <string> *
  └─ processResourceNameList <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmProcessDesignerDeploy	任意	object	なし	
deploymentCategory	任意	string	なし	デプロイメントカテゴリ
deploymentComment	任意	string	なし	デプロイメントコメント
deploymentName	必須	string	なし	デプロイメント名
projectId	必須	string	なし	プロジェクトID
processResourceNameList	必須	string	リスト	プロセス定義リソース名リスト

出力値

```
im_bpmProcessDesignerDeploy <object>
  ├─ deploymentCategory <string>
  ├─ deploymentId <string>
  ├─ deploymentName <string>
  └─ deploymentTime <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmProcessDesignerDeploy	object	なし	
deploymentCategory	string	なし	デプロイメントカテゴリ
deploymentId	string	なし	デプロイメントID
deploymentName	string	なし	デプロイメント名
deploymentTime	date	なし	デプロイメント時間

インポート

インポートするタスクです。

入力値

```
im_bpmImport <object>
  └─ zipFile <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmImport	任意	object	なし	
zipFile	必須	storage	なし	インポートファイル（zipファイル）

出力値

```
im_bpmImport <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmImport	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスクの処理対象ユーザの追加

タスクの処理対象ユーザを追加するタスクです。

入力値

```
im_bpmAddTaskCandidateUser <object>
  ├─ taskId <string> *
  └─ userIds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddTaskCandidateUser	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
userIds	必須	string	リスト	ユーザコードのリスト

出力値

```
im_bpmAddTaskCandidateUser <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddTaskCandidateUser	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスクの処理対象グループの追加

タスクの処理対象グループを追加するタスクです。

入力値

```
im_bpmAddTaskCandidateGroup <object>
  ├ taskId <string> *
  └ groupIds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddTaskCandidateGroup	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
groupIds	必須	string	リスト	グループ（ロールID）リスト

出力値

```
im_bpmAddTaskCandidateGroup <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddTaskCandidateGroup	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロセスインスタンス検索

プロセスインスタンスを検索するタスクです。

入力値

```
im_bpmQueryProcessInstances <object>
  ├─ excludeSubprocesses <boolean>
  ├─ finished <boolean>
  ├─ finishedAfter <date>
  ├─ finishedBefore <date>
  ├─ includeProcessVariables <boolean>
  ├─ involvedGroups <string[]>
  ├─ involvedUser <string>
  ├─ pagination <object>
  │    ├─ limit <integer>
  │    └─ offset <integer>
  ├─ processBusinessKey <string>
  ├─ processBusinessKeyLike <string>
  ├─ processDefinitionCategory <string>
  ├─ processDefinitionCategoryLike <string>
  ├─ processDefinitionId <string>
  ├─ processDefinitionKey <string>
  ├─ processDefinitionKeyLike <string>
  ├─ processDefinitionName <string>
  ├─ processDefinitionNameLike <string>
  ├─ processDefinitionType <string>
  ├─ processDefinitionVersion <integer>
  ├─ processInstanceId <string>
  ├─ processInstanceIds <string[]>
  ├─ sort <object>
  │    ├─ order <string>
  │    ├─ secondOrder <string>
  │    ├─ secondSort <string>
  │    └─ sort <string>
  ├─ startedAfter <date>
  ├─ startedBefore <date>
  ├─ startedBy <string>
  ├─ superProcessInstanceId <string>
  ├─ variables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  └─ withException <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryProcessInstances	任意	object	なし	検索条件
excludeSubprocesses	任意	boolean	なし	サブプロセスの除外
finished	任意	boolean	なし	終了済み
finishedAfter	任意	date	なし	終了日時（以後）
finishedBefore	任意	date	なし	終了日時（以前）
includeProcessVariables	任意	boolean	なし	プロセスインスタンス変数の情報を結果に含める
involvedGroups	任意	string	リスト	関係者グループ
involvedUser	任意	string	なし	関係者
pagination	任意	object	なし	ページング条件
limit	任意	integer	なし	取得するデータの最大レコード数を設定してください（0以上。0の場合、offset以降の全件）。
offset	任意	integer	なし	取得するデータの開始レコード位置を設定してください（1以上を設定してください）。
processBusinessKey	任意	string	なし	業務キー

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
processBusinessKeyLike	任意	string	なし	業務キー（部分一致）
processDefinitionCategory	任意	string	なし	カテゴリ
processDefinitionCategoryLike	任意	string	なし	カテゴリ（部分一致）
processDefinitionId	任意	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	任意	string	なし	プロセス定義キー
processDefinitionKeyLike	任意	string	なし	プロセス定義キー（部分一致）
processDefinitionName	任意	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionNameLike	任意	string	なし	プロセス定義名（部分一致）
processDefinitionType	任意	string	なし	定義種別 以下のいずれかの値を設定してください。 プロセスの場合、PROCESS ケースの場合、CASE
processDefinitionVersion	任意	integer	なし	プロセス定義バージョン
processInstanceId	任意	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceIds	任意	string	リスト	プロセスインスタンスIDリスト
sort	任意	object	なし	ソート条件
order	任意	string	なし	第一ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondOrder	任意	string	なし	第二ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondSort	任意	string	なし	第二ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください（第一ソートキーが設定されていない場合は無効です）。 businessKey, duration, endTime, processDefinitionId, processDefinitionKey, processDefinitionName, processDefinitionType, processInstanceId, startTime
sort	任意	string	なし	第一ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください。 businessKey, duration, endTime, processDefinitionId, processDefinitionKey, processDefinitionName, processDefinitionType, processInstanceId, startTime
startedAfter	任意	date	なし	開始日時（以後）
startedBefore	任意	date	なし	開始日時（以前）
startedBy	任意	string	なし	開始ユーザコード
superProcessInstanceId	任意	string	なし	親プロセスインスタンスID
variables	任意	object	リスト	変数
name	任意	string	なし	変数名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
withException	任意	boolean	なし	例外を伴う true：障害中のプロセスインスタンスのみを検索対象とします。 false：障害の有無を問わずに検索を行います。 設定しない場合はfalseとして検索を行います。

コラム

部分一致検索項目では、ワイルドカード（”%”、”_”など）を使用できます。ワイルドカードを使用しない場合、完全一致の検索条件として検索が実行されます。

例: `キーワード` を含む文字列を部分一致検索する場合
`‘%キーワード%‘`

コラム

第一ソートキーが指定されており、第一ソートキー、第二ソートキーでソート結果が一意とならない場合、processInstanceIdが暗黙ソートキーとして追加で指定されます。

出力値

```
im_bpmQueryProcessInstances <object>
  ├─ metaData <object>
  │    └─ total <long>
  └─ queryProcessInstancesResults <object[]>
       ├─ deleteReason <string>
       ├─ durationInMillis <long>
       ├─ endActivityId <string>
       ├─ finishTime <date>
       ├─ isError <boolean>
       ├─ processBusinessKey <string>
       ├─ processDefinitionId <string>
       ├─ processDefinitionKey <string>
       ├─ processDefinitionName <string>
       ├─ processDefinitionType <string>
       ├─ processDefinitionVersion <integer>
       ├─ processInstanceId <string>
       ├─ startActivityId <string>
       ├─ startTime <date>
       ├─ startUserName <string>
       ├─ startedBy <string>
       ├─ superProcessInstanceId <string>
       ├─ variables <object[]>
       │    ├─ name <string>
       │    ├─ scope <string>
       │    ├─ type <string>
       │    └─ value <any>
       └─ variablesMap <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryProcessInstances	任意	object	なし
metaData	object	なし	検索結果メタデータ
total	long	なし	検索条件に合致する総件数 ページング条件の影響は受けません。
queryProcessInstancesResults	object	リスト	検索結果
deleteReason	string	なし	削除理由
durationInMillis	long	なし	開始時間から終了時間までのミリ秒
endActivityId	string	なし	終了アクティビティID
finishTime	date	なし	終了日時
isError	boolean	なし	障害の有無 プロセスインスタンスが障害中の場合、true プロセスインスタンスが障害中ではない場合、false
processBusinessKey	string	なし	業務キー
processDefinitionId	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	string	なし	プロセス定義キー
processDefinitionName	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionType	string	なし	定義種別 プロセスの場合、PROCESS ケースの場合、CASE
processDefinitionVersion	integer	なし	プロセス定義バージョン
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
startActivityId	string	なし	開始アクティビティID
startTime	date	なし	開始日時
startUserName	string	なし	開始ユーザ名

項目名	型	配列/リスト	説明
startedBy	string	なし	開始ユーザコード
superProcessInstanceId	string	なし	親プロセスインスタンスID
variables	object	リスト	変数
name	string	なし	変数名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, dateがあります。
value	any	なし	値
variablesMap	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

タスク検索

タスクを検索するタスクです。
本タスクは処理結果が確定しているタスク情報の検索を行うタスクです。同一トランザクション内で処理を行っている未確定のタスク情報の検索を目的とした使用は想定されません。

入力値

```
im_bpmQueryTasksForManagement <object>
  ├─ active <boolean>
  ├─ assignee <string>
  ├─ assigneeLike <string>
  ├─ candidateGroup <string>
  ├─ candidateGroupIn <string[]>
  ├─ candidateOrAssigned <string>
  ├─ candidateUser <string>
  ├─ createdAfter <date>
  ├─ createdBefore <date>
  ├─ createdOn <date>
  ├─ dueAfter <date>
  ├─ dueBefore <date>
  ├─ dueDate <date>
  ├─ executionId <string>
  ├─ includeProcessVariables <boolean>
  ├─ includeTaskLocalVariables <boolean>
  ├─ involvedUser <string>
  ├─ maximumPriority <integer>
  ├─ minimumPriority <integer>
  ├─ name <string>
  ├─ nameLike <string>
  ├─ pagination <object>
  │    ├─ limit <integer>
  │    └─ offset <integer>
  ├─ priority <integer>
  ├─ processDefinitionId <string>
  ├─ processDefinitionKey <string>
  ├─ processDefinitionKeyLike <string>
  ├─ processDefinitionName <string>
  ├─ processDefinitionNameLike <string>
  ├─ processInstanceBusinessKey <string>
  ├─ processInstanceBusinessKeyLike <string>
  ├─ processInstanceId <string>
  ├─ processInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ sort <object>
  │    ├─ order <string>
  │    ├─ secondOrder <string>
  │    ├─ secondSort <string>
  │    └─ sort <string>
  ├─ taskCategory <string>
  ├─ taskDefinitionKey <string>
  ├─ taskDefinitionKeyLike <string>
  ├─ taskId <string>
  ├─ taskOrProcessInstanceVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ taskVariables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ operation <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  ├─ unassigned <boolean>
  └─ withoutDueDate <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryTasksForManagement	任意	object	なし	検索条件
active	任意	boolean	なし	有効状態

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
assignee	任意	string	なし	担当者
assigneeLike	任意	string	なし	担当者（部分一致）
candidateGroup	任意	string	なし	関連グループ
candidateGroupIn	任意	string	リスト	関連グループリスト
candidateOrAssigned	任意	string	なし	関連者、または担当者
candidateUser	任意	string	なし	関連者
createdAfter	任意	date	なし	作成日時（以後）
createdBefore	任意	date	なし	作成日時（以前）
createdOn	任意	date	なし	作成日時
dueAfter	任意	date	なし	期限日時（以降）
dueBefore	任意	date	なし	期限日時（以前）
dueDate	任意	date	なし	期限日時
executionId	任意	string	なし	エグゼキューションID
includeProcessVariables	任意	boolean	なし	プロセスインスタンス変数の情報を結果に含める
includeTaskLocalVariables	任意	boolean	なし	タスク変数の情報を結果に含める
involvedUser	任意	string	なし	関係者
maximumPriority	任意	integer	なし	優先度（最大）
minimumPriority	任意	integer	なし	優先度（最小）
name	任意	string	なし	タスク名
nameLike	任意	string	なし	タスク名（部分一致）
pagination	任意	object	なし	ページング条件
limit	任意	integer	なし	取得するデータの最大レコード数を設定してください（0以上。0の場合、offset以降の全件）。
offset	任意	integer	なし	取得するデータの開始レコード位置を設定してください（1以上を設定してください）。
priority	任意	integer	なし	優先度
processDefinitionId	任意	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionKey	任意	string	なし	プロセス定義キー
processDefinitionKeyLike	任意	string	なし	プロセス定義キー（部分一致）
processDefinitionName	任意	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionNameLike	任意	string	なし	プロセス定義名（部分一致）
processInstanceBusinessKey	任意	string	なし	業務キー
processInstanceBusinessKeyLike	任意	string	なし	業務キー（部分一致）
processInstanceId	任意	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariables	任意	object	リスト	プロセスインスタンス変数
name	任意	string	なし	変数名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
sort	任意	object	なし	ソート条件
order	任意	string	なし	第一ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondOrder	任意	string	なし	第二ソートキーのソート順 以下のいずれかの値を設定してください（設定なしの場合、ソート順はasc（昇順）です）。 asc, desc
secondSort	任意	string	なし	第二ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください（第一ソートキーが設定されていない場合は無効です）。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
sort	任意	string	なし	第一ソートキー 以下のいずれかの値を設定してください。 id, name, description, dueDate, createTime, priority, executionId, processInstanceId, assignee, category, processDefinitionName, processInstanceBusinessKey
taskCategory	任意	string	なし	カテゴリ
taskDefinitionKey	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskDefinitionKeyLike	任意	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）（部分一致）
taskId	任意	string	なし	タスクID
taskOrProcessInstanceVariables	任意	object	リスト	タスク変数、またはプロセスインスタンス変数
name	任意	string	なし	変数名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
taskVariables	任意	object	リスト	タスク変数
name	任意	string	なし	変数名
operation	任意	string	なし	オペレーション 以下のいずれかの値を設定してください。 equals, notEquals, equalsIgnoreCase, notEqualsIgnoreCase, like, greaterThan, greaterThanOrEquals, lessThan, lessThanOrEquals
type	任意	string	なし	タイプ 以下のいずれかの値を設定してください。 string, integer, long, short, double, boolean, date
value	任意	any	なし	値
unassigned	任意	boolean	なし	担当者なし
withoutDueDate	任意	boolean	なし	期限日時なし

コラム

部分一致検索項目では、ワイルドカード（”%”、”_”など）を使用できます。ワイルドカードを使用しない場合、完全一致の検索条件として検索が実行されます。

例: `キーワード` を含む文字列を部分一致検索する場合
`‘%キーワード%‘`

コラム

第一ソートキーが指定されており、第一ソートキー、第二ソートキーでソート結果が一意とならない場合、idが暗黙ソートキーとして追加で指定されます。

出力値

```
im_bpmQueryTasksForManagement <object>
  ├─ metaData <object>
  │    └─ total <long>
  └─ queryTasksResults <object[]>
       ├─ assignee <string>
       ├─ createTime <date>
       ├─ dueDate <date>
       ├─ executionId <string>
       ├─ formKey <string>
       ├─ name <string>
       ├─ priority <integer>
       ├─ processDefinitionId <string>
       ├─ processDefinitionName <string>
       ├─ processDefinitionType <string>
       ├─ processInstanceBusinessKey <string>
       ├─ processInstanceId <string>
       ├─ processInstanceVariablesMap <map>
       ├─ suspended <boolean>
       ├─ taskCategory <string>
       ├─ taskDefinitionKey <string>
       ├─ taskId <string>
       ├─ taskVariablesMap <map>
       └─ variables <object[]>
            ├─ name <string>
            ├─ scope <string>
            ├─ type <string>
            └─ value <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmQueryTasksForManagement	object	なし	
metaData	object	なし	検索結果メタデータ
total	long	なし	検索条件に合致する総件数 ページング条件の影響は受けません。
queryTasksResults	object	リスト	検索結果
assignee	string	なし	担当者
createTime	date	なし	作成日時
dueDate	date	なし	期限日時
executionId	string	なし	エグゼキューションID
formKey	string	なし	フォームキー
name	string	なし	タスク名
priority	integer	なし	優先度
processDefinitionId	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionName	string	なし	プロセス定義名
processDefinitionType	string	なし	定義種別 プロセスの場合、PROCESS ケースの場合、CASE
processInstanceBusinessKey	string	なし	業務キー
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
processInstanceVariablesMap	map	なし	プロセスインスタンス変数マップ key：変数名、value：値
suspended	boolean	なし	中断
taskCategory	string	なし	カテゴリ

項目名	型	配列/リスト	説明
taskDefinitionKey	string	なし	タスク定義キー（アクティビティID）
taskId	string	なし	タスクID
taskVariablesMap	map	なし	タスク変数マップ key：変数名、value：値
variables	object	リスト	変数
name	string	なし	変数名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, dateがあります。
value	any	なし	値

プロセスインスタンスの変数取得

プロセスインスタンスの変数を取得するタスクです。

入力値

```
im_bpmGetProcessVariables <object>
  ├─ processInstanceId <string> *
  └─ variableNames <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetProcessVariables	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID
variableNames	任意	string	リスト	変数名 変数名が未指定の場合、processInstanceIdで指定されたプロセスインスタンスのプロセスインスタンス変数を全て取得します。

出力値

```
im_bpmGetProcessVariables <object>
  ├─ variables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ scope <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  └─ variablesMap <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetProcessVariables	object	なし	
variables	object	リスト	変数 入力値の変数名が未指定の場合、格納順は保証されません。 格納順は入力パラメータのvariableNamesに準じます。
name	string	なし	タスク名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。

項目名	型	配列/リスト	説明
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, dateがあります。
value	any	なし	値
variablesMap	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

エグゼキューションの変数取得

エグゼキューションの変数を取得するタスクです。

入力値

```
im_bpmGetExecutionVariables <object>
  ├─ executionId <string> *
  └─ variableNames <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetExecutionVariables	任意	object	なし	
executionId	必須	string	なし	エグゼキューションID
variableNames	任意	string	リスト	変数名 変数名が未指定の場合、executionIdで指定されたエグゼキューションのエグゼキューション変数を全て取得します。

出力値

```
im_bpmGetExecutionVariables <object>
  ├─ variables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ scope <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  └─ variablesMap <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetExecutionVariables	object	なし	
variables	object	リスト	変数 入力値の変数名が未指定の場合、格納順は保証されません。 格納順は入力パラメータのvariableNamesに準じます。
name	string	なし	タスク名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, dateがあります。
value	any	なし	値
variablesMap	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

タスクの変数取得

タスクの変数を取得するタスクです。

入力値

```
im_bpmGetTaskVariables <object>
  ├─ taskId <string> *
  └─ variableNames <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetTaskVariables	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
variableNames	任意	string	リスト	変数名 変数名が未指定の場合、taskIdで指定されたタスクのタスク変数を全て取得します。

出力値

```
im_bpmGetTaskVariables <object>
  ├─ variables <object[]>
  │    ├─ name <string>
  │    ├─ scope <string>
  │    ├─ type <string>
  │    └─ value <any>
  └─ variablesMap <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetTaskVariables	object	なし	
variables	object	リスト	変数 入力値の変数名が未指定の場合、格納順は保証されません。 格納順は入力パラメータのvariableNamesに準じます。
name	string	なし	タスク名
scope	string	なし	スコープ globalとlocalがあります。
type	string	なし	タイプ string, integer, long, short, double, boolean, dateがあります。
value	any	なし	値
variablesMap	map	なし	変数マップ key：変数名、value：値

プロセスインスタンスの参加者の追加

プロセスインスタンスの参加者を追加するタスクです。

入力値

```
im_bpmAddProcessInstanceParticipants <object>
  ├─ processInstanceId <string> *
  └─ userIds <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddProcessInstanceParticipants	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID
userIds	任意	string	リスト	ユーザコードのリスト

出力値

```
im_bpmAddProcessInstanceParticipants <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddProcessInstanceParticipants	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロセスインスタンスの参加グループの追加

プロセスインスタンスの参加グループを追加するタスクです。

入力値

```
im_bpmAddProcessInstanceParticipantGroups <object>
  ├ groupIds <string[]>
  └ processInstanceId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddProcessInstanceParticipantGroups	任意	object	なし	
groupIds	任意	string	リスト	グループ（ロールID）リスト
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID

出力値

```
im_bpmAddProcessInstanceParticipantGroups <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmAddProcessInstanceParticipantGroups	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロセスインスタンスの履歴取得

プロセスインスタンスの履歴を取得します。
本タスクは処理結果が確定している履歴情報の取得を行うタスクです。同一トランザクション内で処理を行っているアクティビティの履歴情報の取得を目的とした使用は想定されません。

入力値

```
im_bpmGetHistoricProcessInstanceDetail <object>
  ├ processInstanceId <string> *
  ├ sortOrderDesc <boolean>
  └ includeSuperChildProcesses <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetHistoricProcessInstanceDetail	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
sortOrderDesc	任意	boolean	なし	履歴情報のソート順を降順にする true：開始時間の降順（Desc） false：開始時間の昇順（Asc） 設定しない場合は開始時間の昇順（Asc）
includeSuperChildProcesses	任意	boolean	なし	親子のプロセスインスタンス履歴を含める true：親子のプロセスインスタンス履歴を含めて取得します false：入力値で指定されたプロセスインスタンスの履歴のみ取得します 設定しない場合は入力値で指定されたプロセスインスタンスの履歴のみ取得します

出力値

```
im_bpmGetHistoricProcessInstanceDetail <object>
  └ getHistoricProcessInstanceDetailResult <object[]>
      ├ activityHistoricId <string>
      ├ activityId  <string>
      ├ activityName <string>
      ├ activityType <string>
      ├ activityTypeName <string>
      ├ assignee <string>
      ├ assigneeName <string>
      ├ calledProcessInstanceId <string>
      ├ dueDate <date>
      ├ durationInMillis <long>
      ├ durationNowMillis <long>
      ├ endTime <date>
      ├ executionId <string>
      ├ processDefinitionId <string>
      ├ processDefinitionName <string>
      ├ processInstanceId <string>
      ├ startTime <date>
      └ taskId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmGetHistoricProcessInstanceDetail	任意	object	なし
getHistoricProcessInstanceDetailResult	object	リスト	取得結果
activityHistoricId	string	なし	アクティビティ履歴ID
activityId	string	なし	アクティビティID
activityName	string	なし	アクティビティ名
activityType	string	なし	アクティビティ種別
activityTypeName	string	なし	アクティビティ種別名
assignee	string	なし	担当者
assigneeName	string	なし	担当者名
calledProcessInstanceId	string	なし	呼び出したプロセスのプロセスインスタンスID
dueDate	date	なし	期限日時
durationInMillis	long	なし	開始日時から終了日時までの経過時間

項目名	型	配列/リスト	説明
durationNowMillis	long	なし	開始日時から現在日時までの経過時間 終了日時が設定されているアクティビティの場合 nullが設定されます
endTime	date	なし	終了日時
executionId	string	なし	エグゼキューションID
processDefinitionId	string	なし	プロセス定義ID
processDefinitionName	string	なし	プロセス定義名
processInstanceId	string	なし	プロセスインスタンスID
startTime	date	なし	開始日時
taskId	string	なし	タスクID

プロセスインスタンスの参加者の削除

プロセスインスタンスの参加者を削除するタスクです。

入力値

```
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipants <object>
  ├ processInstanceId <string> *
  └ userIds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipants	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID
userIds	必須	string	リスト	ユーザコードのリスト

出力値

```
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipants <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipants	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロセスインスタンスの参加グループの削除

プロセスインスタンスの参加グループを削除するタスクです。

入力値

```
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipantGroups <object>
  ├ processInstanceId <string> *
  └ groupIds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipantGroups	任意	object	なし	
processInstanceId	必須	string	なし	プロセスインスタンスID
groupIds	必須	string	リスト	グループ（ロールID）リスト

出力値

```
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipantGroups <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteProcessInstanceParticipantGroups	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスクの処理対象ユーザの削除

タスクの処理対象ユーザを削除するタスクです。

入力値

```
im_bpmDeleteTaskCandidateUser <object>
  ├ taskId <string> *
  ├ userIds <string[]> *
  └ deleteAsParticipant <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteTaskCandidateUser	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
userIds	必須	string	リスト	ユーザコードのリスト
deleteAsParticipant	任意	boolean	なし	削除後に参加者としても削除するオプション。デフォルトは true。 true の場合、プロセスインスタンスの参加者からも削除します。 false の場合、タスクの処理対象のみ削除します。

コラム

参加者としての削除について

処理対象ユーザを追加すると、同時にプロセスの参加者としても登録されます。
このオプションで参加者からも削除すると、当該ユーザは関係者権限を失い、履歴画面などにアクセスできなくなります。
詳細は「IM-BPM 仕様書」-「機能仕様」-「関係者権限」を参照してください。

出力値

```
im_bpmDeleteTaskCandidateUser <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteTaskCandidateUser	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

タスクの処理対象グループの削除

タスクの処理対象グループを削除するタスクです。

入力値

```
im_bpmDeleteTaskCandidateGroup <object>
  ├ taskId <string> *
  ├ groupIds <string[]> *
  └ deleteAsParticipant <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteTaskCandidateGroup	任意	object	なし	
taskId	必須	string	なし	タスクID
groupIds	必須	string	リスト	グループ（ロールID）リスト
deleteAsParticipant	任意	boolean	なし	削除後に参加者としても削除するオプション。デフォルトは true。 true の場合、プロセスインスタンスの参加グループからも削除します。 false の場合、タスクの処理対象グループのみ削除します。

コラム

参加グループとしての削除について

処理対象グループを追加すると、同時にプロセスの参加グループとしても登録されます。
このオプションで参加グループからも削除すると、当該グループに所属するユーザは関係者権限を失い、履歴画面などにアクセスできなくなります。
詳細は「IM-BPM 仕様書」-「機能仕様」-「関係者権限」を参照してください。

出力値

```
im_bpmDeleteTaskCandidateGroup <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bpmDeleteTaskCandidateGroup	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM-BIS

起票案件作成

IM-BIS ワークフローの起票案件を作成するタスクです。

入力値項目のうち、「申請処理対象者情報（プラグイン情報）」（applyUserPlugin）、および「起票情報」（draftInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- DraftParamInfoオブジェクト

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDraft <object>
  ├─ applyUserPlugin <object[]>
  │    ├─ extensionPointId <string>
  │    ├─ parameter <string>
  │    └─ pluginId <string>
  ├─ draftInfo <object>
  │    ├─ applyBaseDate <date> *
  │    ├─ draftUserCode <string> *
  │    ├─ flowId <string> *
  │    ├─ matterName <string> *
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    └─ userDataId <string>
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  └─ formaTableItemInfo <object[]>
       ├─ tableData <object[]>
       │    └─ rowInfo <object[]>
       │         ├─ fieldId <string>
       │         └─ inputValue <any>
       └─ tableFieldId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDraft	任意	object	なし	
applyUserPlugin	任意	object	リスト	申請処理対象者情報（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
draftInfo	任意	object	なし	起票情報
applyBaseDate	必須	date	なし	申請基準日
draftUserCode	必須	string	なし	起票者コード
flowId	必須	string	なし	フローID
matterName	必須	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 起票処理時にFormaのアプリケーションデータを登録する場合に指定します。 メインフォームに含まれるアイテムが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 起票処理時にFormaのアプリケーションデータを登録する場合に指定します。 メインフォームに含まれるテーブル系アイテムが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisDraft <object>
  ├─ matterNumber <string>
  ├─ systemMatterId <string>
  └─ userDataId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDraft	object	なし	
matterNumber	string	なし	案件番号
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
userDataId	string	なし	ユーザデータID

申請

IM-BIS ワークフローを申請するタスクです。

入力値項目のうち、「申請情報」（applyInfo）、および「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ApplyParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理申請
- 添付ファイル
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisApply <object>
  ├ applyInfo <object>
  │    ├ applyAuthUserCode <string> *
  │    ├ applyBaseDate <date> *
  │    ├ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├ companyCode <string>
  │    │    ├ orgzCode <string>
  │    │    └ orgzSetCode <string>
  │    ├ flowId <string> *
  │    ├ matterName <string> *
  │    ├ matterNumber <string>
  │    ├ priorityLevel <string>
  │    ├ processComment <string>
  │    └ userDataId <string>
  ├ formaItemInfo <object[]>
  │    ├ fieldId <string>
  │    └ inputValue <any>
  ├ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├ tableData <object[]>
  │    │    └ rowInfo <object[]>
  │    │         ├ fieldId <string>
  │    │         └ inputValue <any>
  │    └ tableFieldId <string>
  ├ userParamInfo <object[]>
  │    ├ userParamKey <string>
  │    └ userParamValue <any>
  └ workflowAdvancedSettingInfo <object>
       ├ branchSelectInfo <object[]>
       │    ├ branchStartNodeId <string>
       │    └ forwardNodeIds <string[]>
       ├ confirmNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ nodeId <string>
       │    └ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├ extensionPointId <string>
       │         ├ parameter <string>
       │         └ pluginId <string>
       ├ dynamicNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ nodeId <string>
       │    ├ nodeSkipFlag <boolean>
       │    └ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├ extensionPointId <string>
       │         ├ parameter <string>
       │         └ pluginId <string>
       ├ horizontalNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ matterNodeExpansions <object[]>
       │    │    ├ nodeName <string>
       │    │    └ processTargetConfigModel <object[]>
       │    │         ├ extensionPointId <string>
       │    │         ├ parameter <string>
       │    │         └ pluginId <string>
       │    └ nodeId <string>
       └ verticalNodeConfigInfo <object[]>
            ├ matterNodeExpansions <object[]>
            │    ├ nodeName <string>
            │    └ processTargetConfigModel <object[]>
            │         ├ extensionPointId <string>
            │         ├ parameter <string>
            │         └ pluginId <string>
            └ nodeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisApply	任意	object	なし	
applyInfo	任意	object	なし	申請情報
applyAuthUserCode	必須	string	なし	申請権限者コード
applyBaseDate	必須	date	なし	申請基準日

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
flowId	必須	string	なし	フローID
matterName	必須	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるアイテムのみが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるテーブル系アイテムのみが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値
workflowAdvancedSettingInfo	任意	object	なし	ワークフロー設定情報（高度な設定）
branchSelectInfo	任意	object	リスト	分岐先選択情報
branchStartNodeId	任意	string	なし	分岐開始ノードID
forwardNodeIds	任意	string	リスト	分岐先ノードID
confirmNodeConfigInfo	任意	object	リスト	確認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 確認処理の実行対象ノードID（確認ノードID）を指定します。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	確認対象設定（プラグイン情報）

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
dynamicNodeConfigInfo	任意	object	リスト	動的承認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 動的承認処理の実行対象ノードID（動的承認ノードID）を指定します。
nodeSkipFlag	任意	boolean	なし	ノードスキップフラグ 当該ノードを処理せず次に進む場合は true、それ以外は false。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
horizontalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	横配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は横配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 横配置ノード設定情報の対象ノードIDです。
verticalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	縦配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は縦配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 縦配置ノード設定情報の対象ノードIDです。

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisApply <object>
  ├ matterNumber <string>
  ├ systemMatterId <string>
  └ userDataId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisApply	object	なし	
matterNumber	string	なし	案件番号
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
userDataId	string	なし	ユーザデータID

起票案件の申請

IM-BIS ワークフローの起票した案件を申請するタスクです。

入力値項目のうち、「起票案件の申請情報」（applyFromUnapplyInfo）、および「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ApplyFromUnapplyParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理申請
- 添付ファイル
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisApplyFromUnapply <object>
  ├─ applyFromUnapplyInfo <object>
  │    ├─ applyAuthUserCode <string> *
  │    ├─ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├─ companyCode <string>
  │    │    ├─ orgzCode <string>
  │    │    └─ orgzSetCode <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ nodeId <string> *
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ processComment <string>
  │    └─ systemMatterId <string> *
  ├─ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  ├─ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├─ tableData <object[]>
  │    │    └─ rowInfo <object[]>
  │    │         ├─ fieldId <string>
  │    │         └─ inputValue <any>
  │    └─ tableFieldId <string>
  ├─ userParamInfo <object[]>
  │    ├─ userParamKey <string>
  │    └─ userParamValue <any>
  └─ workflowAdvancedSettingInfo <object>
       ├─ branchSelectInfo <object[]>
       │    ├─ branchStartNodeId <string>
       │    └─ forwardNodeIds <string[]>
       ├─ confirmNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ nodeId <string>
       │    └─ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├─ extensionPointId <string>
       │         ├─ parameter <string>
       │         └─ pluginId <string>
       ├─ dynamicNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ nodeId <string>
       │    ├─ nodeSkipFlag <boolean>
       │    └─ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├─ extensionPointId <string>
       │         ├─ parameter <string>
       │         └─ pluginId <string>
       ├─ horizontalNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ matterNodeExpansions <object[]>
       │    │    ├─ nodeName <string>
       │    │    └─ processTargetConfigModel <object[]>
       │    │         ├─ extensionPointId <string>
       │    │         ├─ parameter <string>
       │    │         └─ pluginId <string>
       │    └─ nodeId <string>
       └─ verticalNodeConfigInfo <object[]>
            ├─ matterNodeExpansions <object[]>
            │    ├─ nodeName <string>
            │    └─ processTargetConfigModel <object[]>
            │         ├─ extensionPointId <string>
            │         ├─ parameter <string>
            │         └─ pluginId <string>
            └─ nodeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisApplyFromUnapply	任意	object	なし	
applyFromUnapplyInfo	任意	object	なし	起票案件の申請情報
applyAuthUserCode	必須	string	なし	申請権限者コード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
nodeId	必須	string	なし	ノードID 起票からの申請処理の実行対象ノードID（申請ノードID）を指定します。
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるアイテムのみが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるテーブル系アイテムのみが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
workflowAdvancedSettingInfo	任意	object	なし	ワークフロー設定情報（高度な設定）
branchSelectInfo	任意	object	リスト	分岐先選択情報
branchStartNodeId	任意	string	なし	分岐開始ノードID
forwardNodeIds	任意	string	リスト	分岐先ノードID
confirmNodeConfigInfo	任意	object	リスト	確認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 確認処理の実行対象ノードID（確認ノードID）を指定します。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	確認対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
dynamicNodeConfigInfo	任意	object	リスト	動的承認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 動的承認処理の実行対象ノードID（動的承認ノードID）を指定します。
nodeSkipFlag	任意	boolean	なし	ノードスキップフラグ 当該ノードを処理せず次に進む場合は true、それ以外は false。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
horizontalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	横配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は横配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 横配置ノード設定情報の対象ノードIDです。
verticalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	縦配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は縦配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 縦配置ノード設定情報の対象ノードIDです。

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisApplyFromUnapply <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisApplyFromUnapply	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

再申請

IM-BIS ワークフローを再申請するタスクです。

入力値項目のうち、「再申請情報」（reapplyInfo）、および「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ReapplyParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理申請
- 添付ファイル
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisReapply <object>
  ├─ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  ├─ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├─ tableData <object[]>
  │    │    └─ rowInfo <object[]>
  │    │         ├─ fieldId <string>
  │    │         └─ inputValue <any>
  │    └─ tableFieldId <string>
  ├─ reapplyInfo <object>
  │    ├─ applyAuthUserCode <string> *
  │    ├─ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├─ companyCode <string>
  │    │    ├─ orgzCode <string>
  │    │    └─ orgzSetCode <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ nodeId <string> *
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ processComment <string>
  │    └─ systemMatterId <string> *
  ├─ userParamInfo <object[]>
  │    ├─ userParamKey <string>
  │    └─ userParamValue <any>
  └─ workflowAdvancedSettingInfo <object>
       ├─ branchSelectInfo <object[]>
       │    ├─ branchStartNodeId <string>
       │    └─ forwardNodeIds <string[]>
       ├─ confirmNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ nodeId <string>
       │    └─ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├─ extensionPointId <string>
       │         ├─ parameter <string>
       │         └─ pluginId <string>
       ├─ dynamicNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ nodeId <string>
       │    ├─ nodeSkipFlag <boolean>
       │    └─ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├─ extensionPointId <string>
       │         ├─ parameter <string>
       │         └─ pluginId <string>
       ├─ horizontalNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├─ matterNodeExpansions <object[]>
       │    │    ├─ nodeName <string>
       │    │    └─ processTargetConfigModel <object[]>
       │    │         ├─ extensionPointId <string>
       │    │         ├─ parameter <string>
       │    │         └─ pluginId <string>
       │    └─ nodeId <string>
       └─ verticalNodeConfigInfo <object[]>
            ├─ matterNodeExpansions <object[]>
            │    ├─ nodeName <string>
            │    └─ processTargetConfigModel <object[]>
            │         ├─ extensionPointId <string>
            │         ├─ parameter <string>
            │         └─ pluginId <string>
            └─ nodeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisReapply	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるアイテムのみが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 申請ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるテーブル系アイテムのみが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
reapplyInfo	任意	object	なし	再申請情報
applyAuthUserCode	必須	string	なし	権限者コード
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
nodeId	必須	string	なし	ノードID 再申請処理の実行対象ノードID（申請ノードID）を指定します。
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値
workflowAdvancedSettingInfo	任意	object	なし	ワークフロー設定情報（高度な設定）
branchSelectInfo	任意	object	リスト	分岐先選択情報
branchStartNodeId	任意	string	なし	分岐開始ノードID
forwardNodeIds	任意	string	リスト	分岐先ノードID
confirmNodeConfigInfo	任意	object	リスト	確認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 確認処理の実行対象ノードID（確認ノードID）を指定します。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	確認対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
dynamicNodeConfigInfo	任意	object	リスト	動的承認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 動的承認処理の実行対象ノードID（動的承認ノードID）を指定します。
nodeSkipFlag	任意	boolean	なし	ノードスキップフラグ 当該ノードを処理せず次に進む場合は true、それ以外は false。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
horizontalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	横配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は横配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 横配置ノード設定情報の対象ノードIDです。
verticalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	縦配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は縦配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 縦配置ノード設定情報の対象ノードIDです。

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisReapply <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisReapply	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

取止め

IM-BIS ワークフローを取止めするタスクです。

入力値項目のうち、「取止め情報」（discontinueInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- DiscontinueParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDiscontinue <object>
  ├─ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├─ discontinueInfo <object>
  │    ├─ authUserCode <string> *
  │    ├─ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├─ companyCode <string>
  │    │    ├─ orgzCode <string>
  │    │    └─ orgzSetCode <string>
  │    ├─ nodeId <string> *
  │    ├─ processComment <string>
  │    └─ systemMatterId <string> *
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  ├─ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├─ tableData <object[]>
  │    │    └─ rowInfo <object[]>
  │    │         ├─ fieldId <string>
  │    │         └─ inputValue <any>
  │    └─ tableFieldId <string>
  └─ userParamInfo <object[]>
       ├─ userParamKey <string>
       └─ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDiscontinue	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
discontinueInfo	任意	object	なし	取止め情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
nodeId	必須	string	なし	ノードID 取止め処理の実行対象ノードID（申請ノードID）を指定します。
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisDiscontinue <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDiscontinue	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

承認

IM-BIS ワークフローを承認するタスクです。

入力値項目のうち、「承認情報」（approveInfo）、および「ワークフロー設定情報（高度な設定）」（workflowAdvancedSettingInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ApproveParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理承認
- 添付ファイル
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisApprove <object>
  ├ approveInfo <object>
  │    ├ authUserCode <string> *
  │    ├ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├ companyCode <string>
  │    │    ├ orgzCode <string>
  │    │    └ orgzSetCode <string>
  │    ├ matterName <string>
  │    ├ matterNumber <string>
  │    ├ nodeId <string> *
  │    ├ priorityLevel <string>
  │    ├ processComment <string>
  │    └ systemMatterId <string> *
  ├ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├ formaItemInfo <object[]>
  │    ├ fieldId <string>
  │    └ inputValue <any>
  ├ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├ tableData <object[]>
  │    │    └ rowInfo <object[]>
  │    │         ├ fieldId <string>
  │    │         └ inputValue <any>
  │    └ tableFieldId <string>
  ├ userParamInfo <object[]>
  │    ├ userParamKey <string>
  │    └ userParamValue <any>
  └ workflowAdvancedSettingInfo <object>
       ├ branchSelectInfo <object[]>
       │    ├ branchStartNodeId <string>
       │    └ forwardNodeIds <string[]>
       ├ confirmNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ nodeId <string>
       │    └ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├ extensionPointId <string>
       │         ├ parameter <string>
       │         └ pluginId <string>
       ├ dynamicNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ nodeId <string>
       │    ├ nodeSkipFlag <boolean>
       │    └ processTargetConfigs <object[]>
       │         ├ extensionPointId <string>
       │         ├ parameter <string>
       │         └ pluginId <string>
       ├ horizontalNodeConfigInfo <object[]>
       │    ├ matterNodeExpansions <object[]>
       │    │    ├ nodeName <string>
       │    │    └ processTargetConfigModel <object[]>
       │    │         ├ extensionPointId <string>
       │    │         ├ parameter <string>
       │    │         └ pluginId <string>
       │    └ nodeId <string>
       └ verticalNodeConfigInfo <object[]>
            ├ matterNodeExpansions <object[]>
            │    ├ nodeName <string>
            │    └ processTargetConfigModel <object[]>
            │         ├ extensionPointId <string>
            │         ├ parameter <string>
            │         └ pluginId <string>
            └ nodeId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisApprove	任意	object	なし	
approveInfo	任意	object	なし	承認情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
nodeId	必須	string	なし	ノードID 承認処理の実行対象ノードID（承認ノードID）を指定します。
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 承認ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるアイテムのみが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 承認ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるテーブル系アイテムのみが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値
workflowAdvancedSettingInfo	任意	object	なし	ワークフロー設定情報（高度な設定）

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
branchSelectInfo	任意	object	リスト	分岐先選択情報
branchStartNodeId	任意	string	なし	分岐開始ノードID
forwardNodeIds	任意	string	リスト	分岐先ノードID
confirmNodeConfigInfo	任意	object	リスト	確認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 確認処理の実行対象ノードID（確認ノードID）を指定します。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	確認対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
dynamicNodeConfigInfo	任意	object	リスト	動的承認ノード設定情報
nodeId	任意	string	なし	ノードID 動的承認処理の実行対象ノードID（動的承認ノードID）を指定します。
nodeSkipFlag	任意	boolean	なし	ノードスキップフラグ 当該ノードを処理せず次に進む場合は true、それ以外は false。
processTargetConfigs	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
horizontalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	横配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は横配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID
nodeId	任意	string	なし	ノードID 横配置ノード設定情報の対象ノードIDです。
verticalNodeConfigInfo	任意	object	リスト	縦配置ノード設定情報
matterNodeExpansions	任意	object	リスト	案件ノード展開情報
nodeName	任意	string	なし	ノード名 設定した名称は縦配置ノードの展開後のノード名に表示されます。
processTargetConfigModel	任意	object	リスト	処理対象設定（プラグイン情報）
extensionPointId	任意	string	なし	拡張ポイントID
parameter	任意	string	なし	パラメータ
pluginId	任意	string	なし	プラグインID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
nodeId	任意	string	なし	ノードID 縦配置ノード設定情報の対象ノードIDです。

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisApprove <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisApprove	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

承認終了

IM-BIS ワークフローを承認終了するタスクです。

入力値項目のうち、「承認終了情報」（approveEndInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ApproveEndParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理承認
- 添付ファイル
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisApproveEnd <object>
  ├─ approveEndInfo <object>
  │    ├─ authUserCode <string> *
  │    ├─ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├─ companyCode <string>
  │    │    ├─ orgzCode <string>
  │    │    └─ orgzSetCode <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ nodeId <string> *
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ processComment <string>
  │    └─ systemMatterId <string> *
  ├─ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  ├─ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├─ tableData <object[]>
  │    │    └─ rowInfo <object[]>
  │    │         ├─ fieldId <string>
  │    │         └─ inputValue <any>
  │    └─ tableFieldId <string>
  └─ userParamInfo <object[]>
       ├─ userParamKey <string>
       └─ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisApproveEnd	任意	object	なし	
approveEndInfo	任意	object	なし	承認終了情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
nodeId	必須	string	なし	ノードID 承認終了処理の実行対象ノードID（承認ノードID等）を指定します。
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 承認ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるアイテムのみが指定可能です。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 承認ノードに設定している画面遷移のフォームに含まれるテーブル系アイテムのみが指定可能です。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisApproveEnd <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisApproveEnd	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

否認

IM-BIS ワークフローを否認するタスクです。

入力値項目のうち、「否認情報」（denyInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- DenyParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeny <object>
 ├ asyncProcessingFlag <boolean>
 ├ denyInfo <object>
 │   ├ authUserCode <string> *
 │   ├ authUserOrgzInfo <object> *
 │   │   ├ companyCode <string>
 │   │   ├ orgzCode <string>
 │   │   └ orgzSetCode <string>
 │   ├ nodeId <string> *
 │   ├ processComment <string>
 │   └ systemMatterId <string> *
 ├ formaItemInfo <object[]>
 │   ├ fieldId <string>
 │   └ inputValue <any>
 ├ formaTableItemInfo <object[]>
 │   ├ tableData <object[]>
 │   │   └ rowInfo <object[]>
 │   │       ├ fieldId <string>
 │   │       └ inputValue <any>
 │   └ tableFieldId <string>
 └ userParamInfo <object[]>
     ├ userParamKey <string>
     └ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeny	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
denyInfo	任意	object	なし	否認情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
nodeId	必須	string	なし	ノードID 否認処理の実行対象ノードID（承認ノードID等）を指定します。
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisDeny <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeny	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

保留

IM-BIS ワークフローを保留するタスクです。

入力値項目のうち、「保留情報」（reserveInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ReserveParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisReserve <object>
  ├ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├ formaItemInfo <object[]>
  │    ├ fieldId <string>
  │    └ inputValue <any>
  ├ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├ tableData <object[]>
  │    │    └ rowInfo <object[]>
  │    │         ├ fieldId <string>
  │    │         └ inputValue <any>
  │    └ tableFieldId <string>
  ├ reserveInfo <object>
  │    ├ authUserCode <string> *
  │    ├ nodeId <string> *
  │    ├ processComment <string>
  │    └ systemMatterId <string> *
  └ userParamInfo <object[]>
       ├ userParamKey <string>
       └ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisReserve	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
reserveInfo	任意	object	なし	保留情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
nodeId	必須	string	なし	ノードID 保留処理の実行対象ノードID（承認ノードID等）を指定します。
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisReserve <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisReserve	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

保留解除

IM-BIS ワークフローを保留解除するタスクです。

入力値項目のうち、「保留解除情報」（reserveCancelInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- ReserveCancelParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisReserveCancel <object>
  ├ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├ formaItemInfo <object[]>
  │    ├ fieldId <string>
  │    └ inputValue <any>
  ├ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├ tableData <object[]>
  │    │    └ rowInfo <object[]>
  │    │         ├ fieldId <string>
  │    │         └ inputValue <any>
  │    └ tableFieldId <string>
  ├ reserveCancelInfo <object>
  │    ├ authUserCode <string> *
  │    ├ nodeId <string> *
  │    ├ processComment <string>
  │    └ systemMatterId <string> *
  └ userParamInfo <object[]>
       ├ userParamKey <string>
       └ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisReserveCancel	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
reserveCancelInfo	任意	object	なし	保留解除情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
nodeId	必須	string	なし	ノードID 保留解除処理の実行対象ノードID（承認ノードID等）を指定します。
processComment	任意	string	なし	処理コメント
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisReserveCancel <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisReserveCancel	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

引戻し

IM-BIS ワークフローを引戻しするタスクです。

入力値項目のうち、「引戻し情報」（pullBackInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- PullBackParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisPullBack <object>
  ├ formaItemInfo <object[]>
  │    ├ fieldId <string>
  │    └ inputValue <any>
  ├ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├ tableData <object[]>
  │    │    └ rowInfo <object[]>
  │    │         ├ fieldId <string>
  │    │         └ inputValue <any>
  │    └ tableFieldId <string>
  ├ pullBackInfo <object>
  │    ├ authUserCode <string> *
  │    ├ processComment <string>
  │    ├ pullBackTargetNodeId <string> *
  │    └ systemMatterId <string> *
  └ userParamInfo <object[]>
       ├ userParamKey <string>
       └ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisPullBack	任意	object	なし	
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
pullBackInfo	任意	object	なし	引戻し情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
processComment	任意	string	なし	処理コメント
pullBackTargetNodeId	必須	string	なし	引戻し先ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定」

出力値

```
im_bisPullBack <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisPullBack	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

差戻し

IM-BIS ワークフローを差戻しするタスクです。

入力値項目のうち、「差戻し情報」（sendBackInfo）に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- SendBackParamInfoオブジェクト

IM-BIS for Accel Platform の API と比較すると、以下の機能には対応していません。

- 代理処理
- 根回し通知

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisSendBack <object>
  ├─ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├─ formaItemInfo <object[]>
  │    ├─ fieldId <string>
  │    └─ inputValue <any>
  ├─ formaTableItemInfo <object[]>
  │    ├─ tableData <object[]>
  │    │    └─ rowInfo <object[]>
  │    │         ├─ fieldId <string>
  │    │         └─ inputValue <any>
  │    └─ tableFieldId <string>
  ├─ sendBackInfo <object>
  │    ├─ authUserCode <string> *
  │    ├─ authUserOrgzInfo <object> *
  │    │    ├─ companyCode <string>
  │    │    ├─ orgzCode <string>
  │    │    └─ orgzSetCode <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ nodeId <string> *
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ processComment <string>
  │    ├─ sendBackNodeId <string[]> *
  │    └─ systemMatterId <string> *
  └─ userParamInfo <object[]>
       ├─ userParamKey <string>
       └─ userParamValue <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisSendBack	任意	object	なし	
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
formaItemInfo	任意	object	リスト	画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
fieldId	任意	string	なし	画面アイテムのフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	画面アイテムの入力値
formaTableItemInfo	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム入力情報 IM-BIS ワークフロータスクは、ワークフロー案件処理Web APIを拡張した機能であるため、ワークフロー案件処理Web APIの同様の制限が存在します。 そのため、このパラメータに値を設定する必要はありません。
tableData	任意	object	リスト	テーブル系画面アイテム情報
rowInfo	任意	object	リスト	テーブル行情報
fieldId	任意	string	なし	テーブル列のフィールド識別ID
inputValue	任意	any	なし	テーブル列の入力値
tableFieldId	任意	string	なし	テーブル識別ID
sendBackInfo	任意	object	なし	差戻し情報
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
authUserOrgzInfo	必須	object	なし	権限者所属組織情報 組織を指定する場合は、当オブジェクト配下のすべてのプロパティを指定してください。 また、組織の指定内容は妥当性チェックの対象ですので、以下のコラム「担当組織の妥当性チェック」を参照してください。 所属なしユーザを指定する場合は、当オブジェクト配下のプロパティに空文字を指定してください。
companyCode	任意	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	任意	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	任意	string	なし	権限者組織セットコード
matterName	任意	string	なし	案件名
matterNumber	任意	string	なし	案件番号
nodeId	必須	string	なし	ノードID 差戻し処理の実行対象ノードID（承認ノードID等）を指定します。
priorityLevel	任意	string	なし	優先度
processComment	任意	string	なし	処理コメント
sendBackNodeId	必須	string	配列	差戻し先ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userParamInfo	任意	object	リスト	ユーザパラメータ
userParamKey	任意	string	なし	ユーザパラメータのキー
userParamValue	任意	any	なし	ユーザパラメータの値

コラム

担当組織の妥当性チェック

「権限者所属組織情報」に所属組織の情報を指定する場合、画面から案件処理を行ったときに担当組織として表示される組織を指定してください。
担当組織として表示されない組織を指定した場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

注意

IM-BISタスクに案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定とロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティの関係

当該タスクを含むロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを入れた場合、案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定が同期（false）でも、各処理は非同期で実行します。
各処理を設定通りの同期で実行したい場合は、ロジックフローの「トランザクションを使用する」プロパティのチェックを外してください。
案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定については、以下のドキュメントを参照してください。

- 「 案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理の同期／非同期制御の設定 」

出力値

```
im_bisSendBack <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisSendBack	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

処理対象者取得

IM-BIS ワークフローの未完了案件の処理対象者を取得するタスクです。

このタスクでは、未到達ノード、処理待ちノードの申請ノード、承認ノード、動的承認ノードの処理対象者を取得できます。
処理済ノードから処理対象者を取得できません。

未到達ノード :処理権限者プラグインを展開して処理対象者を取得します。
処理待ちノード :データベーステーブル「imw_t_actv_executable_user」から処理対象者を取得します。

コラム

未到達ノードについて

未到達ノードの処理対象者を取得する場合、「対象者を展開する日」の設定に応じて以下の動作を行います。
「申請基準日」に設定されている場合、申請基準日で展開した処理対象者を返却します。
「システム日」に設定されている場合、タスク動作時の現在日時で展開した処理対象者を返却します。
対象ノードに処理対象者変更履歴が存在する場合、タスク動作時の現在日時で展開した処理対象者を返却します。

入力値の「基準日」（baseDate）指定時、指定した日付で展開した処理対象者を返却します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetProcessTargetUser <object>
  ├─ nodeId <string> *
  ├─ systemMatterId <string> *
  └─ baseDate <date>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetProcessTargetUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
baseDate	任意	date	なし	基準日

出力値

```
im_bisGetProcessTargetUser <object>
  └─ userCds <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetProcessTargetUser	object	なし	
userCds	string	配列	ユーザコード一覧

処理対象者追加

IM-BIS ワークフローの未完了案件の処理対象者を追加するタスクです。

未到達ノード、処理待ちノードの申請ノード、承認ノード、動的承認ノードに処理対象者を追加できます。
処理済ノードは処理対象者を追加できません。

未到達ノード指定時は、flow.xmlへ処理対象者情報の追加、更新処理のみ行います。
処理待ちノード指定時は、flow.xmlへ処理対象者情報の追加、更新処理と、処理対象者情報を保存しているデータベーステーブル「imw_t_actv_executable_user」、「imw_t_actv_user_orgz」への展開処理を行います。

また、flow.xmlへ処理対象者情報の追加、更新処理をする際の処理権限者プラグインのプラグイン名は、「ユーザ」で追加されます。

> **注意**
>
> **アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合**
>
> 本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
> そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。
>
> ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddProcessTargetUser <object>
  ├ nodeId <string> *
  ├ systemMatterId <string> *
  └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddProcessTargetUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userCds	必須	string	配列	ユーザコード一覧

コラム

ユーザコード一覧の妥当性チェック

「ユーザコード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisAddProcessTargetUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddProcessTargetUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

処理対象者削除

IM-BIS ワークフローの未完了案件の処理対象者を全削除するタスクです。

未到達ノード、処理待ちノードの申請ノード、承認ノード、動的承認ノードの処理対象者を削除できます。
処理済ノードは処理対象者を削除できません。

未到達ノード指定時は、flow.xmlの処理対象者情報の全削除処理のみ行います。
処理待ちノード指定時は、flow.xmlの処理対象者情報の全削除処理と、処理対象者情報を保存しているデータベーステーブル「imw_t_actv_executable_user」、「imw_t_actv_user_orgz」への展開処理を行います。

注意

アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合

本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。

ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteProcessTargetUser <object>
  ├ nodeId <string> *
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteProcessTargetUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteProcessTargetUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteProcessTargetUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

参照者取得

IM-BIS ワークフローの参照者を取得するタスクです。

このタスクは、データベーステーブル「imw_t_actv_matter_handle_user」、または、「imw_t_cpl_matter_handle_user」から、案件操作権限者情報を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetMatterHandleAuthUser <object>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterHandleAuthUser	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisGetMatterHandleAuthUser <object>
  └ MatterHandleAuthUserInfoList <object[]>
      ├ matterHandleAuthInfo <object>
      │   ├ changeUserFlag <string>
      │   ├ deleteDynamicNodeFlag <string>
      │   ├ expandUserFlag <string>
      │   ├ handleMoveBackwardFlag <string>
      │   ├ handleMoveForwardFlag <string>
      │   ├ handleTerminateFlag <string>
      │   ├ horizontalNodeConfigFlag <string>
      │   ├ reserveCancelFlag <string>
      │   ├ undeleteDynamicNodeFlag <string>
      │   └ verticalNodeConfigFlag <string>
      └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterHandleAuthUser	object	なし	
MatterHandleAuthUserInfoList	object	配列	案件操作権限者情報

項目名	型	配列/リスト	説明
MatterHandleAuthInfo	object	なし	案件操作権限情報
changeUserFlag	string	なし	処理対象者変更可否フラグ 0:無効 / 1:有効
deleteDynamicNodeFlag	string	なし	動的処理ノード削除可否フラグ 0:無効 / 1:有効
expandUserFlag	string	なし	処理対象者展開可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleMoveBackwardFlag	string	なし	案件操作後進可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleMoveForwardFlag	string	なし	案件操作前進可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleTerminateFlag	string	なし	案件操作終了可否フラグ 0:無効 / 1:有効
horizontalNodeConfigFlag	string	なし	横配置ノード設定可否フラグ 0:無効 / 1:有効
reserveCancelFlag	string	なし	保留解除可否フラグ 0:無効 / 1:有効
undeleteDynamicNodeFlag	string	なし	動的処理ノード復活可否フラグ 0:無効 / 1:有効
verticalNodeConfigFlag	string	なし	縦配置ノード設定可否フラグ 0:無効 / 1:有効
userCd	string	なし	ユーザコード

参照者追加

IM-BIS ワークフローの参照者を追加するタスクです。

このタスクでは、flow.xmlへ参照者情報の追加、更新処理と、参照者情報を保存しているデータベーステーブル「imw_t_actv_matter_handle_user」、または、「imw_t_cpl_matter_handle_user」への展開処理を行います。
また、flow.xmlへ参照者情報の追加、更新処理をする際の案件操作権限者プラグインのプラグイン名は、「ユーザ」で追加されます。

コラム

既に登録されているユーザを追加した場合の動作について

プラグイン名が「ユーザ」である案件操作権限者プラグインで登録されているユーザを追加した場合、案件操作権限情報は上書きされます。
プラグイン名が「ユーザ」でない案件操作権限者プラグインで登録されているユーザを追加した場合、案件操作権限情報は両者の論理和を取ります。

注意

アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合

本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。

ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddMatterHandleAuthUser <object>
 ├─ matterHandleAuthInfo <object>
 │    ├─ changeUserFlag <string>
 │    ├─ deleteDynamicNodeFlag <string>
 │    ├─ expandUserFlag <string>
 │    ├─ handleMoveBackwardFlag <string>
 │    ├─ handleMoveForwardFlag <string>
 │    ├─ handleTerminateFlag <string>
 │    ├─ horizontalNodeConfigFlag <string>
 │    ├─ reserveCancelFlag <string>
 │    ├─ undeleteDynamicNodeFlag <string>
 │    └─ verticalNodeConfigFlag <string>
 ├─ systemMatterId <string> *
 └─ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddMatterHandleAuthUser	任意	object	なし	
matterHandleAuthInfo	任意	object	なし	案件操作権限情報 各権限を指定しない場合、または、0,1以外の値を指定した場合、各権限は無効と判断されます。
changeUserFlag	任意	string	なし	処理対象者変更可否フラグ 0:無効 / 1:有効
deleteDynamicNodeFlag	任意	string	なし	動的処理ノード削除可否フラグ 0:無効 / 1:有効
expandUserFlag	任意	string	なし	処理対象者展開可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleMoveBackwardFlag	任意	string	なし	案件操作後進可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleMoveForwardFlag	任意	string	なし	案件操作前進可否フラグ 0:無効 / 1:有効
handleTerminateFlag	任意	string	なし	案件操作終了可否フラグ 0:無効 / 1:有効
horizontalNodeConfigFlag	任意	string	なし	横配置ノード設定可否フラグ 0:無効 / 1:有効
reserveCancelFlag	任意	string	なし	保留解除可否フラグ 0:無効 / 1:有効
undeleteDynamicNodeFlag	任意	string	なし	動的処理ノード復活可否フラグ 0:無効 / 1:有効
verticalNodeConfigFlag	任意	string	なし	縦配置ノード設定可否フラグ 0:無効 / 1:有効
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userCds	必須	string	配列	ユーザコード一覧

> **コラム**
>
> **ユーザコード一覧の妥当性チェック**
>
> 「ユーザコード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
> ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisAddMatterHandleAuthUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddMatterHandleAuthUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

参照者削除

IM-BIS ワークフローの参照者を全て削除するタスクです。

このタスクでは、flow.xmlの参照者情報の全削除処理と、 参照者情報を保存しているデータベーステーブル「imw_t_actv_matter_handle_user」、または、「imw_t_cpl_matter_handle_user」への展開処理を行います。

> **注意**
>
> **アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合**
>
> 本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
> そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。
>
> ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteMatterHandleAuthUser <object>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteMatterHandleAuthUser	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteMatterHandleAuthUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteMatterHandleAuthUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

過去案件参照者追加

IM-BIS ワークフローの過去案件参照者追加タスクです。

過去案件参照者を追加します。

入力値の「過去案件参照者コード一覧」（referableUserCds）に指定した追加対象ユーザが存在しないユーザでも、権限者テーブルに追加され、正常終了します。
既に参照者として登録されているユーザに対しては、追加処理を行いません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddArchiveReferableUser <object>
  ├ referableUserCds <string[]> *
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddArchiveReferableUser	任意	object	なし	
referableUserCds	必須	string[]	配列	過去案件参照者コード一覧
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

コラム

過去案件参照者コード一覧の妥当性チェック

「過去案件参照者コード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisAddArchiveReferableUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddArchiveReferableUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

過去案件参照者削除

IM-BIS ワークフローの過去案件参照者削除タスクです。

過去案件参照者を削除します。

入力値の「過去案件参照者コード一覧」（referableUserCds）に指定した削除対象ユーザが存在しないユーザでも正常終了します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteArchiveReferableUser <object>
  ├ deleteAllUser <boolean> *
  ├ referableUserCds <string[]>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteArchiveReferableUser	任意	object	なし	
deleteAllUser	必須	boolean	なし	過去案件参照者全削除フラグ referableUserCdsに関係なく、過去案件参照者を全てを削除する場合:true referableUserCdsに設定された過去案件参照者を削除する場合:false
referableUserCds	任意	string[]	配列	過去案件参照者コード一覧 deleteAllUserがfalseの場合利用されます。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

コラム

過去案件参照者コード一覧の妥当性チェック

「過去案件参照者コード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisDeleteArchiveReferableUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteArchiveReferableUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

確認者取得

IM-BIS ワークフローの確認者取得タスクです。

このタスクは、以下のデータベーステーブルから、確認処理権限者情報を取得します。

未完了案件:「imw_t_confirm_orgz」、「imw_t_confirm_user」
完了案件：「imw_t_cpl_matter_confirm_orgz」、「imw_t_cpl_matter_confirm_user」

コラム

未到達ノードについて

未到達ノードの情報を取得する場合、「対象者を展開する日」の設定に応じて以下の動作を行います。
「申請基準日」に設定されている場合、申請基準日で展開した情報を返却します。
「システム日」に設定されている場合、タスク動作時の現在日時で展開した情報を返却します。

詳細は、以下のドキュメントを参照してください。

- 対象者を展開する日付

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetConfirmUser <object>
 ├ nodeId <string> *
 └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetConfirmUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisGetConfirmUser <object[]>
  ├ confirmCplFlag <string>
  └ confirmUserCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetConfirmUser	object	リスト	
confirmCplFlag	string	なし	確認済みフラグ 0:未確認 / 1:確認済み
confirmUserCd	string	なし	確認者コード

確認者追加

IM-BIS ワークフローの確認者追加タスクです。

このタスクでは、flow.xmlの、確認処理権限者情報の追加処理と、確認処理権限者情報を保存している以下のデータベーステーブルへの展開処理を行います。

未完了案件:「imw_t_confirm_orgz」、「imw_t_confirm_user」
完了案件：「imw_t_cpl_matter_confirm_orgz」、「imw_t_cpl_matter_confirm_user」

> **注意**
>
> **アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合**
>
> 本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
> そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。
>
> ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddConfirmUser <object>
  ├ nodeId <string> *
  ├ systemMatterId <string> *
  └ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddConfirmUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
userCds	必須	string	配列	ユーザコード一覧

コラム

ユーザコード一覧の妥当性チェック

「ユーザコード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisAddConfirmUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddConfirmUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

確認者削除

IM-BIS ワークフローの確認者削除タスクです。

このタスクでは、flow.xmlの、確認処理権限者情報の全削除処理と、確認処理権限者情報を保存している以下のデータベーステーブルへの展開処理を行います。

未完了案件:「imw_t_confirm_orgz」、「imw_t_confirm_user」
完了案件：「imw_t_cpl_matter_confirm_orgz」、「imw_t_cpl_matter_confirm_user」

コラム

確認処理履歴について

確認処理権限者の確認処理履歴情報を保持しているデータベーステーブル「imw_t_confirm」、または、「imw_t_cpl_matter_confirm」からの削除は行いませんので、確認済みの処理履歴情報は残ります。

注意

アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合

本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。

ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteConfirmUser <object>
  ├ nodeId <string> *
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteConfirmUser	任意	object	なし	
nodeId	必須	string	なし	ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteConfirmUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteConfirmUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

縦配置・横配置ノード展開

IM-BIS ワークフローの未完了案件の縦配置・横配置ノードを展開するタスクです。

未展開の横配置・縦配置ノードに対して本タスクを実行した場合、入力値の情報で展開します。
展開済の横配置・縦配置ノードに対して本タスクを実行した場合、展開済みノードの状態によってタスク実行結果が異なります。

- 展開済みノードが未到達である場合、現在の展開情報を削除して入力値の情報で再展開します。
- 展開済みノードが処理待ち・処理済である場合、エラーが発生します。

また、flow.xmlへ処理対象者情報の追加、更新処理をする際の処理権限者プラグインのプラグイン名は、「ユーザ」で追加されます。

> **注意**
>
> **アクション処理で設定されているロジックフローで本タスクを使用する場合**
>
> 本タスクは内部で「WorkflowActionProcessNotifyManager#updateFlow」を実行しています。
> そのため、アクション処理内でこのタスクを実行したときの処理画面での入力の扱いについては、ワークフローパラメータ「update-flow-xml-before-action-process」の設定に従います。
>
> ワークフローパラメータの詳細は「 アクション処理実行前にフロー情報を更新するかの設定 」を参照してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisExpandHorizontalVerticalNode <object>
 ├ expandNodeInfo<object[]>*
 │   ├ nodeName <string> *
 │   └ userCds <string[]> *
 ├ nodeId <string> *
 └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisExpandHorizontalVerticalNode	任意	object	なし	
expandNodeInfo	必須	object	配列	縦配置・横配置ノード展開設定情報 空配列を指定することでそのノードの展開数は0となりスキップされます。
nodeName	必須	string	なし	ノード名
userCds	必須	string	配列	ユーザコード一覧
nodeId	必須	string	なし	縦配置・横配置ノードID
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

コラム

ユーザコード一覧の妥当性チェック

「ユーザコード一覧」にユーザコードを指定する場合、重複の無い一覧を指定してください。
ユーザコードが重複している場合は、妥当性チェックによりエラーが発生します。

出力値

```
im_bisExpandHorizontalVerticalNode <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisExpandHorizontalVerticalNode	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

振替

IM-BIS ワークフローの未完了案件の処理権限を振替するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisTransfer <object>
  ├ asyncProcessingFlag <boolean>
  ├ executeUserCode <string> *
  ├ nodeId <string> *
  ├ noticeComment <string>
  ├ sendMailFlg <boolean>
  ├ systemMatterId <string> *
  ├ transferOriginalUserCode <string> *
  └ transferUserCode <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
asyncProcessingFlag	任意	boolean	なし	非同期処理中実行フラグ 非同期処理中実行フラグに true を指定することで、到達処理ユーザプログラムで、当該案件を処理できます。 また、以下の注意「到達処理で利用する場合について」を参照してください。 指定しない場合、非同期処理中実行フラグはfalseが設定されます。
executeUserCode	必須	string	なし	実行者コード
nodeId	必須	string	なし	ノードID 振替処理の実行対象ノードID（承認ノードID）を指定します。
noticeComment	任意	string	なし	振替通知コメント
sendMailFlg	任意	boolean	なし	振替通知メール送信フラグ 指定しない場合、振替通知メール送信フラグはfalseが設定されます。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
transferOriginalUserCode	必須	string	なし	振替元権限者コード

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
transferUserCode	必須	string	なし	振替先ユーザコード

注意

到達処理で利用する場合について

分岐ノード、同期ノード、縦配置ノード等のノード内の到達処理で利用する場合は、ノード間でロジックフローが同時実行される可能性があるため、アプリケーションロックと一緒に利用してください。
アプリケーションロックについては、以下のドキュメントを参照してください。

- 「*ロック取得*」
- 「*ロック解放*」

出力値

```
im_bisTransfer <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisTransfer	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザデータ案件プロパティ情報取得

IM-BIS ワークフローのユーザデータ案件プロパティ情報を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetUserMatterProperty <object>
  ├─ userDataId <string> *
  └─ matterPropertyKey <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetUserMatterProperty	任意	object	なし	
userDataId	必須	string	なし	ユーザデータID
matterPropertyKey	必須	string	なし	案件プロパティキー

出力値

```
im_bisGetUserMatterProperty <object>
  ├─ userDataId <string>
  ├─ matterPropertyKey <string>
  └─ matterPropertyValue <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetUserMatterProperty	object	なし	
userDataId	string	なし	ユーザデータID
matterPropertyKey	string	なし	案件プロパティキー
matterPropertyValue	string	なし	案件プロパティ値

ユーザデータ案件プロパティ情報登録・更新

IM-BIS ワークフローのユーザデータ案件プロパティ情報を登録・更新するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisRegisterUserMatterProperty <object>
  ├─ userDataId <string> *
  ├─ matterPropertyKey <string> *
  └─ matterPropertyValue <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisRegisterUserMatterProperty	任意	object	なし	
userDataId	必須	string	なし	ユーザデータID
matterPropertyKey	必須	string	なし	案件プロパティキー
matterPropertyValue	必須	string	なし	案件プロパティ値 更新時に、値を削除する場合は、空文字を入力してください。

出力値

```
im_bisRegisterUserMatterProperty <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisRegisterUserMatterProperty	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ユーザデータ案件プロパティ情報削除

IM-BIS ワークフローのユーザデータ案件プロパティ情報を削除するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteUserMatterProperty <object>
  ├─ userDataId <string> *
  └─ matterPropertyKey <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteUserMatterProperty	任意	object	なし	
userDataId	必須	string	なし	ユーザデータID
matterPropertyKey	必須	string	なし	案件プロパティキー

出力値

```
im_bisDeleteUserMatterProperty <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteUserMatterProperty	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

アーカイブ処理

IM-BIS ワークフローのアーカイブ処理タスクです。

指定した完了案件のアーカイブ処理を行います。

入力値の「過去案件参照者使用フラグ」（useReferableUser）がtrueの場合、ジョブのアーカイブと同様の参照権限が設定されます。
詳細は、以下のドキュメントを参照してください。

- アーカイブ 参照権限

本アーカイブ処理タスクで行われる退避処理では、案件退避リスナーは実行されません。
案件退避リスナーの実行と共に退避処理を行うには、「 アーカイブ 」ジョブを利用する必要があります。

> **注意**
>
> **Oracle Databaseについて**
>
> 過去案件テーブルが存在しない場合、新規でテーブルを生成する処理は、「CREATE TABLE」で行っています。
> Oracle Databaseの仕様上、「CREATE TABLE」を行う際は暗黙コミットがされます。
> トランザクションをロールバックした場合、生成されたテーブルは元に戻りません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisArchive <object>
  ├─ systemMatterId <string> *
  └─ useReferableUser <boolean> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisArchive	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
useReferableUser	必須	boolean	なし	過去案件参照者使用フラグ 過去案件参照者に、案件の処理を行った処理権限者を設定する場合:true 過去案件参照者に、何も設定しない場合:false

出力値

```
im_bisArchive <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisArchive	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

処理対象者再展開

IM-BIS ワークフローの処理対象者を再展開するタスクです。

コラム

パフォーマンス

繰り返しタスクを用いて多数の案件を展開するなど、作成するロジックフローによっては、処理に時間がかかります。

注意

処理対象者標準プラグイン結果キャッシュについて

処理対象者標準プラグイン結果キャッシュが有効な場合、古い情報で展開される可能性があります。
当タスクを実行する前に必要に応じて「 処理対象者標準プラグイン結果キャッシュ削除 」ジョブを実行してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisReExpandExecutableUser <object>
  ├─ systemMatterId <string> *
  └─ nodeId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisReExpandExecutableUser	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID
nodeId	必須	string	なし	ノードID

出力値

```
im_bisReExpandExecutableUser <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisReExpandExecutableUser	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Workflow案件情報削除

IM-BIS ワークフローのWorkflow案件情報を削除するタスクです。

未完了案件、完了案件、過去案件のWorkflow案件情報を削除できます。
タスクの処理では以下のAPIを実行しています。

- MatterDeleteManagerオブジェクト

削除対象となるデータベーステーブルは、以下のドキュメントを参照してください。

- 未完了案件のWorkflow案件情報削除: deleteActvMatter
- 完了案件のWorkflow案件情報削除: deleteCplMatter
- 過去案件のWorkflow案件情報削除: deleteArcMatter

BISのトランザクションデータを削除する場合は、*BIS案件付属情報削除* を利用してください。
Formaのトランザクションデータを削除する場合は、*Formaアプリケーション登録データ削除* を利用してください。

> **注意**
>
> **トランザクションをロールバックした場合の挙動について**
>
> 保存先がストレージで、トランザクションをロールバックした場合は、データベースの削除データのみロールバックされます。
> 生成した履歴ファイルや、削除したトランザクションファイルデータは元に戻りません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteWorkflowTransactionData <object>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteWorkflowTransactionData	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteWorkflowTransactionData <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteWorkflowTransactionData	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

BIS案件付属情報削除

IM-BIS ワークフローのBIS案件付属情報を削除するタスクです。

このタスクでは、以下のデータベーステーブルに対して削除処理を行います。

- imbis_t_bam_summary
- imbis_t_bam_time
- imbis_t_history_json（DB保存時に削除）
- imbis_t_history
- imbis_t_subflow_matter

> **コラム**
>
> **imbis_t_bam_summaryで削除するデータについて**
>
> 指定されたシステム案件IDをもとに、メインフローが作成したデータを削除します。
> imbis_t_subflow_matterテーブルのデータを削除したとしても、サブフローの案件情報は削除されません。

タスクの処理では以下のAPIを実行しています。

- BisDeleteTransactionManagerオブジェクト

Workflowの案件情報を削除する場合は、*Workflow案件情報削除* を利用してください。
Formaのトランザクションデータを削除する場合は、*Formaアプリケーション登録データ削除* を利用してください。

注意

トランザクションをロールバックした場合の挙動について

保存先がストレージで、トランザクションをロールバックした場合、データベースの削除データのみロールバックされます。
削除した履歴jsonファイルデータは元に戻りません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteBisTransactionData <object>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteBisTransactionData	任意	object	なし	
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteBisTransactionData  <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteBisTransactionData	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Formaアプリケーション登録データ削除

IM-BIS ワークフローのFormaアプリケーション登録データを削除するタスクです。

このタスクでは、以下のデータベーステーブルに対して削除処理を行います。

- imfr_ut_xxx(xxxはアプリケーション名)
- imfr_t_fileupload
- imfr_t_fileupload_binary(DB保存時に削除)

アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-BISフロー」、「BIS-ワークフロー」は上記に加えて、以下のデータベーステーブルに対しても削除処理を行います。

- imfr_t_imw_matter

タスクの処理では以下のAPIを実行しています。

- ApplicationDataManager
- FormaImwMatterManagerオブジェクト

Workflowの案件情報を削除する場合は、*Workflow案件情報削除* を利用してください。
BISのトランザクションデータを削除する場合は、*BIS案件付属情報削除* を利用してください。

注意

トランザクションをロールバックした場合の挙動について

保存先がストレージで、トランザクションをロールバックした場合は、データベースの削除データのみロールバックされます。
削除したトランザクションファイルデータは元に戻りません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteFormaTransactionData <object>
  ├ applicationId <string>
  ├ insertId <string>
  ├ systemMatterId <string>
  ├ userDataId <string>
  └ verNo <long>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteFormaTransactionData	任意	object	なし	
applicationId	任意	string	なし	アプリケーションID アプリケーション種別「標準」のFormaアプリケーション登録データを削除する場合は必須です。 システム案件IDとユーザデータIDが設定されている場合は、値を設定する必要はありません。
insertId	任意	string	なし	登録データID アプリケーション種別「標準」のFormaアプリケーション登録データを削除する場合は必須です。 システム案件IDとユーザデータIDが設定されている場合は、値を設定する必要はありません。
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-BISフロー」、「BIS-ワークフロー」のFormaアプリケーション登録データを削除する場合は必須です。 アプリケーションIDと登録データIDが設定されている場合は、値を設定する必要はありません。
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-BISフロー」、「BIS-ワークフロー」のFormaアプリケーション登録データを削除する場合は必須です。 アプリケーションIDと登録データIDが設定されている場合は、値を設定する必要はありません。
verNo	任意	long	なし	データバージョンNo 値が設定されている場合は排他チェックを行います。

出力値

```
im_bisDeleteFormaTransactionData <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteFormaTransactionData	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

代理先設定新規作成

ワークフローの代理先設定を新規作成するタスクです。

入力値の「代理元ユーザコード」（originalActUserCd）に対して代理先情報を登録します。

「代理先ユーザコード」（targetActUserCd）に指定したユーザが存在しないユーザでも、代理設定情報テーブルに追加され、正常終了します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddTargetActSetting <object>
  ├─ canApply <boolean>
  ├─ canApprove <boolean>
  ├─ canSendMail <boolean>
  ├─ limitDate <date> *
  ├─ note <string>
  ├─ noticeComment <string>
  ├─ originalActUserCd <string> *
  ├─ startDate <date> *
  └─ targetActUserCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddTargetActSetting	任意	object	なし	
canApply	任意	boolean	なし	申請権限 指定しない場合、申請権限はtrueが設定されます。
canApprove	任意	boolean	なし	承認権限 指定しない場合、承認権限はtrueが設定されます。
canSendMail	任意	boolean	なし	代理設定通知メール送信フラグ trueを指定した場合、「代理設定通知コメント」（noticeComment）を本文に含めた代理設定通知メールを送信します。
limitDate	必須	date	なし	終了日
note	任意	string	なし	備考
noticeComment	任意	string	なし	代理通知コメント
originalActUserCd	必須	string	なし	代理元ユーザコード
startDate	必須	date	なし	開始日
targetActUserCd	必須	string	なし	代理先ユーザコード

出力値

```
im_bisAddTargetActSetting <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddTargetActSetting	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

処理履歴情報取得

IM-BIS ワークフローの処理履歴情報を取得するタスクです。

IM-Workflow API「MatterHistory」のgetMatterHistoryと同様の出力結果を取得します。詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- MatterHistory

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetMatterHistory <object>
  ├ localeId <string> *
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterHistory	任意	object	なし	
localeId	必須	string	なし	ロケールID 指定したロケールで結果を取得します。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisGetMatterHistory <object[]>
  ├ actFlag <string>
  ├ authOrgzName <string>
  ├ authUserOrgzInfo <object>
  │    ├ companyCode <string>
  │    ├ orgzCode <string>
  │    └ orgzSetCode <string>
  ├ authUserCd <string>
  ├ authUserName <string>
  ├ endDate <date>
  ├ executeUserCd <string>
  ├ executeUserName <string>
  ├ nodeId <string>
  ├ nodeName <string>
  ├ originalAuthList <string[]>
  ├ postNames <string[]>
  ├ processComment <string>
  ├ statusCd <string>
  ├ statusName <string>
  ├ targetAuthList <string[]>
  ├ taskId <string>
  └ transferFlag <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterHistory	object	リスト	
actFlag	string	なし	代理フラグ 0:代理設定なし / 1:代理設定あり
authOrgzName	string	なし	権限者組織名

項目名	型	配列/リスト	説明
authUserOrgzInfo	object	なし	権限者所属組織情報
companyCode	string	なし	権限者会社コード
orgzCode	string	なし	権限者組織コード
orgzSetCode	string	なし	権限者組織セットコード
authUserCd	string	なし	権限者コード
authUserName	string	なし	権限者名
endDate	date	なし	処理日時
executeUserCd	string	なし	実行者コード
executeUserName	string	なし	実行者名
nodeId	string	なし	ノードID
nodeName	string	なし	ノード名
originalAuthList	string[]	配列	変更元
postNames	string[]	配列	役職 ※postNamesはstring[]型とありますが、常にnullが返却されます。
processComment	string	なし	処理コメント
statusCd	string	なし	ステータスコード
statusName	string	なし	ステータス名
targetAuthList	string[]	配列	変更先
taskId	string	なし	タスクID
transferFlag	string	なし	振替フラグ 0:振替なし / 1:振替あり

確認履歴情報取得

IM-BIS ワークフローの確認履歴情報を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetConfirmHistory <object>
  ├─ localeId <string> *
  └─ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetConfirmHistory	任意	object	なし	
localeId	必須	string	なし	ロケールID 指定したロケールで結果を取得します。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisGetConfirmHistory <object[]>
  ├ arrivedDate <date>
  ├ companyCode <string>
  ├ companyName <string>
  ├ confirmComment <string>
  ├ confirmDate <date>
  ├ confirmId <string>
  ├ nodeId <string>
  ├ orgzCode <string>
  ├ orgzName <string>
  ├ orgzSetCode <string>
  ├ userCode <string>
  └ userName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetConfirmHistory	object	リスト	
arrivedDate	date	なし	到達日時
companyCode	string	なし	確認者会社コード
companyName	string	なし	確認者会社名
confirmComment	string	なし	コメント
confirmDate	date	なし	処理日時（確認日時）
confirmId	string	なし	連番
nodeId	string	なし	ノードID
orgzCode	string	なし	確認者組織コード
orgzName	string	なし	確認者組織名
orgzSetCode	string	なし	確認者組織セットコード
userCode	string	なし	確認者コード
userName	string	なし	確認者

未処理一覧取得

IM-BIS ワークフローの未処理の一覧を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetUnprocessedList <object>
  ├ applyAuthUserCode <string>
  ├ applyBaseDateFrom <date>
  ├ applyBaseDateTo <date>
  ├ applyDateFrom <date>
  ├ applyDateTo <date>
  ├ flowGroupId <string[]>
  ├ flowId <string[]>
  ├ localeId <string> *
  ├ nodeId <string[]>
  ├ nodeType <string>
  └ sysDateTargetExpandFlag <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetUnprocessedList	任意	object	なし	
applyAuthUserCode	任意	string	なし	申請権限者コード
applyBaseDateFrom	任意	date	なし	申請基準日From 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 申請基準日Fromと申請基準日Toの両方に値を指定してください。 申請基準日Fromには、申請基準日To未満の日付を指定してください。
applyBaseDateTo	任意	date	なし	申請基準日To 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請基準日Fromと申請基準日Toの両方に値を指定してください。 申請基準日Toには、申請基準日From以降の日付を指定してください。
applyDateFrom	任意	date	なし	申請日From 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請日Fromと申請日Toの両方に値を指定してください。 申請日Fromには、申請日To未満の日付を指定してください。
applyDateTo	任意	date	なし	申請日To 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請日Fromと申請日Toの両方に値を指定してください。 申請日Toには、申請日From以降の日付を指定してください。
flowGroupId	任意	string	配列	フローグループID 指定された場合、フローグループに属する全てのフローIDが検索条件として使用されます。 フローIDと同時に指定した場合、どちらも検索条件として使用されます。 存在しないフローグループIDを指定した場合、所属するフローIDが存在しないため、検索条件から除外されます。
flowId	任意	string	配列	フローID フローグループIDと同時に指定した場合、どちらも検索条件として使用されます。
localeId	必須	string	なし	ロケールID
nodeId	任意	string	配列	ノードID フローグループID指定時、または、フローID指定時のみ検索条件として使用されます。
nodeType	任意	string	なし	ノード種別
sysDateTargetExpandFlag	任意	string	なし	システム日で展開するフラグ

出力値

```
im_bisGetUnprocessedList <object[]>
  ├─ actvMatterInfo <object>
  │    ├─ applyActFlag <string>
  │    ├─ applyBaseDate <date>
  │    ├─ applyDate <date>
  │    ├─ applyTaskId <string>
  │    ├─ asyncProcessFlag <string>
  │    ├─ flowId <string>
  │    ├─ flowVersionId <string>
  │    ├─ lastProcessDate <date>
  │    ├─ lumpConfirmFlag <string>
  │    ├─ matterName <string>
  │    ├─ matterNumber <string>
  │    ├─ matterStartDate <date>
  │    ├─ priorityLevel <string>
  │    ├─ sysDateTargetExpandFlag <string>
  │    ├─ systemMatterId <string>
  │    └─ userDataId <string>
  ├─ actvTaskInfo <object>
  │    ├─ autoProcessLimitDate <date>
  │    ├─ autoProcessLimitType <string>
  │    ├─ lumpProcessFlag <string>
  │    ├─ nodeId <string>
  │    ├─ nodeName <string>
  │    ├─ nodeType <string>
  │    ├─ pressLimitDate <date>
  │    ├─ startDate <date>
  │    ├─ status <string>
  │    └─ taskId <string>
  └─ applyUserInfo <object>
       ├─ authCompanyCode <string>
       ├─ authCompanyName <string>
       ├─ authOrgzCode <string>
       ├─ authOrgzName <string>
       ├─ authOrgzSetCode <string>
       ├─ authUserCode <string>
       ├─ authUserName <string>
       ├─ executeUserCode <string>
       ├─ executeUserName <string>
       ├─ localeId <string>
       ├─ operateUserCode <string>
       └─ operateUserName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetUnprocessedList	object	リスト	
actvMatterInfo	object	なし	未完了案件情報
applyActFlag	string	なし	申請代理フラグ
applyBaseDate	date	なし	申請基準日
applyDate	date	なし	申請日
applyTaskId	string	なし	申請タスクID
asyncProcessFlag	string	なし	非同期処理可否フラグ
flowId	string	なし	フローID
flowVersionId	string	なし	フローバージョンID
lastProcessDate	date	なし	最終処理日
lumpConfirmFlag	string	なし	一括確認可否フラグ
matterName	string	なし	案件名
matterNumber	string	なし	案件番号

項目名	型	配列/リスト	説明
matterStartDate	date	なし	案件開始日
priorityLevel	string	なし	優先度
sysDateTargetExpandFlag	string	なし	システム日で展開するフラグ
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
userDataId	string	なし	ユーザデータID
actvTaskInfo	object	なし	未完了タスク情報
autoProcessLimitDate	date	なし	自動処理期限
autoProcessLimitType	string	なし	処理期限後処理種別
lumpProcessFlag	string	なし	一括処理可否フラグ
nodeId	string	なし	ノードID
nodeName	string	なし	ノード名
nodeType	string	なし	ノード種別
pressLimitDate	date	なし	催促処理期限
startDate	date	なし	開始日
status	string	なし	ステータス
taskId	string	なし	タスクID
applyUserInfo	object	なし	申請ユーザ情報
authCompanyCode	string	なし	申請権限者会社コード
authCompanyName	string	なし	申請権限者会社名
authOrgzCode	string	なし	申請権限者組織コード
authOrgzName	string	なし	申請権限者組織名
authOrgzSetCode	string	なし	申請権限者組織セットコード
authUserCode	string	なし	申請権限者コード
authUserName	string	なし	申請権限者名
executeUserCode	string	なし	申請実行者コード
executeUserName	string	なし	申請実行者名
localeId	string	なし	ロケールID
operateUserCode	string	なし	操作者コード
operateUserName	string	なし	操作者名

完了案件一覧取得

IM-BIS ワークフローの完了案件の一覧を取得するタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetProcessedList <object>
  ├─ applyAuthUserCode <string>
  ├─ applyBaseDateFrom <date>
  ├─ applyBaseDateTo <date>
  ├─ applyDateFrom <date>
  ├─ applyDateTo <date>
  ├─ flowGroupId <string[]>
  ├─ flowId <string[]>
  ├─ localeId <string> *
  ├─ status <string>
  └─ sysDateTargetExpandFlag <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetProcessedList	任意	object	なし	
applyAuthUserCode	任意	string	なし	申請権限者コード
applyBaseDateFrom	任意	date	なし	申請基準日From 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 申請基準日Fromと申請基準日Toの両方に値を指定してください。 申請基準日Fromには、申請基準日To未満の日付を指定してください。
applyBaseDateTo	任意	date	なし	申請基準日To 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請基準日Fromと申請基準日Toの両方に値を指定してください。 申請基準日Toには、申請基準日From以降の日付を指定してください。
applyDateFrom	任意	date	なし	申請日From 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請日Fromと申請日Toの両方に値を指定してください。 申請日Fromには、申請日To未満の日付を指定してください。
applyDateTo	任意	date	なし	申請日To 申請基準日と申請日のどちらか必須です。 指定する場合、申請日Fromと申請日Toの両方に値を指定してください。 申請日Toには、申請日From以降の日付を指定してください。
flowGroupId	任意	string	配列	フローグループID 指定された場合、フローグループに属する全てのフローIDが検索条件として使用されます。 フローIDと同時に指定した場合、どちらも検索条件として使用されます。 存在しないフローグループIDを指定した場合、所属するフローIDが存在しないため、検索条件から除外されます。
flowId	任意	string	配列	フローID フローグループIDと同時に指定した場合、どちらも検索条件として使用されます。
localeId	必須	string	なし	ロケールID
status	任意	string	なし	ステータス
sysDateTargetExpandFlag	任意	string	なし	システム日で展開するフラグ

出力値

```
im_bisGetProcessedList <object[]>
  ├─ applyCplUserInfo <object>
  │    ├─ authCompanyCode <string>
  │    ├─ authCompanyName <string>
  │    ├─ authOrgzCode <string>
  │    ├─ authOrgzName <string>
  │    ├─ authOrgzSetCode <string>
  │    ├─ authUserCode <string>
  │    ├─ authUserName <string>
  │    ├─ executeUserCode <string>
  │    ├─ executeUserName <string>
  │    ├─ localeId <string>
  │    ├─ operateUserCode <string>
  │    └─ operateUserName <string>
  └─ cplMatterInfo <object>
       ├─ applyActFlag <string>
       ├─ applyBaseDate <date>
       ├─ applyDate <date>
       ├─ applyTaskId <string>
       ├─ asyncProcessFlag <string>
       ├─ confirmFlag <string>
       ├─ flowId <string>
       ├─ flowVersionId <string>
       ├─ lumpConfirmFlag <string>
       ├─ matterCplDate <date>
       ├─ matterName <string>
       ├─ matterNumber <string>
       ├─ matterStartDate <date>
       ├─ priorityLevel <string>
       ├─ status <string>
       ├─ sysDateTargetExpandFlag<string>
       ├─ systemMatterId <string>
       └─ userDataId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetProcessedList	object	リスト	
applyCplUserInfo	object	なし	申請ユーザ情報
authCompanyCode	String	なし	申請権限者会社コード
authCompanyName	String	なし	申請権限者会社名
authOrgzCode	String	なし	申請権限者組織コード
authOrgzName	String	なし	申請権限者組織名
authOrgzSetCode	String	なし	申請権限者組織セットコード
authUserCode	String	なし	申請権限者コード
authUserName	String	なし	申請権限者名
executeUserCode	String	なし	申請実行者コード
executeUserName	String	なし	申請実行者名
localeId	String	なし	ロケールID
operateUserCode	String	なし	操作者コード
operateUserName	String	なし	操作者名
cplMatterInfo	object	なし	完了案件情報
applyActFlag	string	なし	申請代理フラグ
applyBaseDate	date	なし	申請基準日
applyDate	date	なし	申請日
applyTaskId	string	なし	申請タスクID

項目名	型	配列/リスト	説明
asyncProcessFlag	string	なし	非同期処理可否フラグ
confirmFlag	string	なし	確認可否フラグ
flowId	string	なし	フローID
flowVersionId	string	なし	フローバージョンID
lumpConfirmFlag	string	なし	一括確認可否フラグ
matterCplDate	date	なし	案件完了日
matterName	string	なし	案件名
matterNumber	string	なし	案件番号
matterStartDate	date	なし	案件開始日
priorityLevel	string	なし	優先度
status	string	なし	ステータス
sysDateTargetExpandFlag	string	なし	システム日で展開するフラグ
systemMatterId	string	なし	システム案件ID
userDataId	string	なし	ユーザデータID

申請権限判定

ワークフローの申請権限を判定するタスクです。 IM-Workflow API「WorkflowAuthUtil 」と同様の出力結果を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisCheckApplyAuthority <object>
  ├─ applyBaseDate <date> *
  ├─ authUserCd <string> *
  ├─ executeUserCd <string> *
  └─ flowId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckApplyAuthority	任意	object	なし	
applyBaseDate	必須	date	なし	申請基準日
authUserCd	必須	string	なし	申請権限者コード
executeUserCd	必須	string	なし	実行者コード
flowId	必須	string	なし	フローID

出力値

```
im_bisCheckApplyAuthority <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckApplyAuthority	boolean	なし	権限がある場合は true 、そうでない場合は false

一時保存権限判定

ワークフローの一時保存権限を判定するタスクです。 IM-Workflow API「WorkflowAuthUtil 」と同様の出力結果を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisCheckTemporaryAuthority <object>
  ├─ executeUserCd <string> *
  └─ userDataId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckTemporaryAuthority	任意	object	なし	
executeUserCd	必須	string	なし	実行者コード
userDataId	必須	string	なし	ユーザデータID

出力値

```
im_bisCheckTemporaryAuthority <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckTemporaryAuthority	boolean	なし	権限がある場合は true 、そうでない場合は false

処理権限判定

ワークフローの処理権限を判定するタスクです。 IM-Workflow API「WorkflowAuthUtil 」と同様の出力結果を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisCheckProcessAuthority <object>
  ├─ authUserCd <string>
  ├─ executeUserCd <string> *
  ├─ nodeId <string> *
  ├─ systemMatterId <string>
  └─ userDataId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckProcessAuthority	任意	object	なし	
authUserCd	任意	string	なし	権限者コード 未指定時は実行者コードで判定
executeUserCd	必須	string	なし	実行者コード
nodeId	必須	string	なし	アクティブなノードID

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。

出力値

```
im_bisCheckProcessAuthority <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckProcessAuthority	boolean	なし	権限がある場合は true 、そうでない場合は false

確認権限判定

ワークフローの確認権限を判定するタスクです。 IM-Workflow API「WorkflowAuthUtil 」と同様の出力結果を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisCheckConfirmAuthority <object>
  ├─ executeUserCd <string> *
  ├─ nodeId <string> *
  ├─ systemMatterId <string>
  └─ userDataId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckConfirmAuthority	任意	object	なし	
executeUserCd	必須	string	なし	実行者コード
nodeId	必須	string	なし	アクティブなノードID
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。

出力値

```
im_bisCheckConfirmAuthority <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckConfirmAuthority	boolean	なし	権限がある場合は true 、そうでない場合は false

参照権限判定

ワークフローの参照権限を判定するタスクです。 IM-Workflow API「WorkflowAuthUtil 」と同様の出力結果を取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。
範囲判定	任意	select	処理	処理：処理画面の参照権限の判定 確認：確認画面の参照権限の判定 参照：過去案件を含めた案件の参照権限の判定 いずれか：処理・確認・参照をOR条件で判定します。

入力値

```
im_bisCheckReferenceAuthority <object>
  ├─ executeUserCd <string> *
  ├─ systemMatterId <string>
  └─ userDataId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckReferenceAuthority	任意	object	なし	
executeUserCd	必須	string	なし	実行者コード
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。
userDataId	任意	string	なし	ユーザデータID システム案件ID、または、ユーザデータIDのどちらか指定必須です。

出力値

```
im_bisCheckReferenceAuthority <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisCheckReferenceAuthority	boolean	なし	権限がある場合は true 、そうでない場合は false

案件番号採番

案件番号を採番するタスクです。

タスクの処理では以下のAPIを実行しています。

- WorkflowNumberingManagerオブジェクト

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetMatterNumber <any>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterNumber	任意	any	なし	入力値として利用可能な値はありません。

出力値

```
im_bisGetMatterNumber <object>
  └ matterNumber <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetMatterNumber	object	なし	
matterNumber	string	なし	案件番号

Workflow添付ファイル取得

IM-BIS ワークフローの添付ファイルを取得するタスクです。

このタスクは、入力値によって取得できるデータが異なります。
システム案件IDのみを指定した場合は、ファイルIDを含む添付ファイル情報のリストが取得できます。
上記の取得結果からファイルIDを指定して利用することで、対象のファイルデータを取得できます。

> **コラム**
>
> 出力値のbinaryデータについて
>
> 取得したファイルデータは、ロジックフロー実行終了時にクローズします。
> ロジックフローの出力値として設定する場合は、パブリックストレージ等に出力したものを返却してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisGetWFFileUpload <object>
  ├ fileId <string>
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisGetWFFileUpload	任意	object	なし	
fileId	任意	string	なし	ファイルID 案件に添付したファイルのシステムファイル名を設定します。 ファイルデータを取得する場合に設定します。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisGetWFFileUpload <object[]>
  ├ authUserCode <string>
  ├ authUserName <string>
  ├ createDateTime <date>
  ├ fileData <binary>
  ├ fileId <string>
  ├ fileSize <long>
  ├ localeId <string>
  └ realFileName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisGetWFFileUpload	object	リスト	
authUserCode	string	なし	権限者コード
authUserName	string	なし	権限者名
createDateTime	date	なし	登録日時
fileData	binary	なし	ファイルデータ 入力値のファイルIDが指定されている場合、ファイルのバイナリデータを取得します。 ファイルIDが指定されていない場合は、nullが設定されます。
fileId	string	なし	ファイルID 案件に添付したファイルのシステムファイル名が設定されます。
fileSize	long	なし	ファイルサイズ
localeId	string	なし	ロケールID
realFileName	string	なし	実ファイル名

Workflow添付ファイル追加

IM-BIS ワークフローの添付ファイルを追加するタスクです。

このタスクは、指定した案件に添付ファイルを追加します。

コラム

入力値のbinaryデータについて

入力値ファイルデータは、ロジックフロー実行終了時にクローズします。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddWFFileUpload <object>
  ├─ authUserCode <string> *
  ├─ fileData <binary> *
  ├─ fileId <string>
  ├─ fileName <string> *
  └─ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddWFFileUpload	任意	object	なし	
authUserCode	必須	string	なし	権限者コード
fileData	必須	binary	なし	ファイルデータ
fileId	任意	string	なし	ファイルID
fileName	必須	string	なし	実ファイル名
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisAddWFFileUpload <object[]>
  ├ fileId <string>
  └ systemMatterId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddWFFileUpload	object	リスト	
fileId	string	なし	ファイルID 案件に添付したファイルのシステムファイル名が設定されます。
systemMatterId	string	なし	システム案件ID

Workflow添付ファイル削除

IM-BIS ワークフローの添付ファイルを削除するタスクです。

このタスクは、指定した案件のファイルIDが一致する添付ファイルを削除します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteWFFileUpload <object>
  ├ fileId <string> *
  └ systemMatterId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteWFFileUpload	任意	object	なし	
fileId	必須	string	なし	ファイルID 案件に添付したファイルのシステムファイル名を設定します。
systemMatterId	必須	string	なし	システム案件ID

出力値

```
im_bisDeleteWFFileUpload <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteWFFileUpload	any	なし	出力値として利用可能な値はありません

ファイルアップロード情報取得

IM-BIS ファイルアップロードアイテムの添付ファイルを取得するタスクです。
このタスクは、入力値によって取得できるデータが異なります。
登録データID（+アイテム識別ID）のみを指定した場合は、ファイルIDを含む添付ファイル情報のリストが取得できます。
上記の取得結果からファイルIDを指定して利用することで、対象のファイルデータやファイルサイズを取得できます。

コラム

出力値のbinaryデータについて

取得したファイルデータは、ロジックフロー実行終了時にクローズします。
ロジックフローの出力値として設定する場合は、パブリックストレージ等に出力したものを返却してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisFileUpload <object>
  ├ applicationId <string> *
  ├ insertId <string> *
  ├ processKey <string>
  ├ fileId <string>
  └ uploadItemId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
applicationId	必須	string	なし	アプリケーションID
insertId	必須	string	なし	登録データID
processKey	任意	string	なし	プロセスキー コミット(commit)ステータスのファイルに加え、一時保存(temp)ステータスのファイルを取得する場合に利用します。
fileId	任意	string	なし	ファイルID ファイルデータ、ファイルサイズを取得する場合に利用します。 ファイルIDとアイテム識別IDの両方が指定されている場合は、ファイルIDだけが設定されている事として動作します。
uploadItemId	任意	string	なし	アイテム識別ID ファイルIDとアイテム識別IDの両方が指定されている場合は、ファイルIDだけが設定されている事として動作します。

出力値

```
fileInfo <object[]>
  ├ uploadItemId <string>
  ├ fileData <binary>
  ├ fileId <string>
  ├ fileName <string>
  ├ notes <string>
  ├ fileSize <long>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUser <string>
  ├ createDate <date>
  ├ createUser <string>
  └ status <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
fileInfo	object	リスト	

項目名	型	配列/リスト	説明
uploadItemId	string	なし	アイテム識別ID
fileData	binary	なし	ファイルデータ 入力値のファイルIDが指定されている場合に取得できます。 ファイルIDが指定されていない場合は、nullが取得されます。
fileId	string	なし	ファイルID
fileName	string	なし	ファイル名
notes	string	なし	備考
fileSize	long	なし	ファイルサイズ 入力値のファイルIDが指定されている場合に取得できます。 ファイルIDが指定されていない場合は、nullが取得されます。
recordDate	date	なし	更新日時
recordUser	string	なし	更新ユーザ
createDate	date	なし	作成日時
createUser	string	なし	作成ユーザ
status	string	なし	ステータス

ファイルアップロード情報追加

IM-BIS のファイルアップロードアイテムの添付ファイルを追加するタスクです。
このタスクは、以下の2つの利用方法があります。

- タスクを単独で利用し、登録または申請処理済みのFormaのアプリケーションデータにファイルを追加する。
  - アプリケーションデータ更新フラグ(appDataUpdateFlg)をtrueで利用してください。
    アプリケーションデータのデータバージョン番号をインクリメントすることで、排他処理を実行できます。
- 「*申請*」タスクや「*Forma登録情報*」などと組み合わせて利用する。
  - ロジックフローのプロパティでトランザクションを使用してください。
    アプリケーションデータ更新フラグ(appDataUpdateFlg)をfalseで利用してください。
    アプリケーションデータのデータバージョン番号は、「*申請*」タスク側がインクリメントしています。

登録または申請処理前のアプリケーションデータがない状態では実行できません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisAddFileUpload <object>
  ├ applicationId <string>
  ├ insertId <string>
  ├ systemMatterId <string>
  ├ appDataUpdateFlg <boolean>
  └ formaItemInfo <object[]>
      ├ fileName <string> *
      ├ file <binary> *
      ├ uploadItemId <string> *
      └ notes <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisAddFileUpload	任意	object	なし	
applicationId	任意	string	なし	アプリケーションID アプリケーション種別「標準」の場合は必須です。 アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は値を設定しません。
insertId	任意	string	なし	登録データID アプリケーション種別「標準」の場合は必須です。 アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は値を設定しません。
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は必須です。 アプリケーション種別「標準」の場合は値を設定しません。
appDataUpdateFlg	任意	boolean	なし	アプリケーションデータ更新フラグ Formaのアプリケーションデータを更新してデータバージョン番号をインクリメントするか否かを指定します。 trueまたは省略時は、データの更新が行われます。 前タスクでFormaのアプリケーションデータの登録または更新を行っている場合はfalseを指定します。 ※アプリケーションデータの更新時は、ユーザプログラムで設定した後処理プログラムは実行されません。
formaItemInfo	必須	object	リスト	ファイル情報
fileName	必須	string	リスト	ファイル情報
file	必須	binary	なし	ファイル実体
uploadItemId	必須	string	リスト	ファイルアップロードアイテム識別子
notes	任意	string	なし	備考

出力値

```
im_bisAddFileUpload <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisAddFileUpload	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイルアップロード情報削除

IM-BIS のファイルアップロードアイテムの添付ファイルを削除するタスクです。
このタスクは、以下の2つの利用方法があります。

- タスクを単独で利用し、登録または申請処理済みのFormaのアプリケーションデータのファイルを削除する。
  - アプリケーションデータ更新フラグ(appDataUpdateFlg)をtrueで利用してください。
    アプリケーションデータのデータバージョン番号をインクリメントすることで、排他処理を実行できます。
- 「*承認*」タスクや「*再申請*」タスクなどと組み合わせて利用する。
  - ロジックフローのプロパティでトランザクションを使用してください。
    アプリケーションデータ更新フラグ(appDataUpdateFlg)をfalseで利用してください。
    アプリケーションデータのデータバージョン番号は、「*承認*」タスク側がインクリメントしています。

登録または申請処理前のアプリケーションデータがない状態では実行できません。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_bisDeleteFileUpload <object>
  ├ applicationId <string>
  ├ insertId <string>
  ├ systemMatterId <string>
  ├ appDataUpdateFlg <boolean>
  └ formaFileInfo <object[]>
      └ fileId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteFileUpload	任意	object	なし	
applicationId	任意	string	なし	アプリケーションID アプリケーション種別「標準」の場合は必須です。 アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は値を設定しません。
insertId	任意	string	なし	登録データID アプリケーション種別「標準」の場合は必須です。 アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は値を設定しません。
systemMatterId	任意	string	なし	システム案件ID アプリケーション種別「IM-Workflow」、「BIS-ワークフロー」、「BIS-BISフロー」の場合は必須です。 アプリケーション種別「標準」の場合は値を設定しません。
appDataUpdateFlg	任意	boolean	なし	アプリケーションデータ更新フラグ Formaのアプリケーションデータを更新してデータバージョン番号をインクリメントするか否かを指定します。 trueまたは省略時は、データの更新が行われます。 前タスクでFormaのアプリケーションデータの登録または更新を行っている場合はfalseを指定します。 ※アプリケーションデータの更新時は、ユーザプログラムで設定した後処理プログラムは実行されません。
formaFileInfo	必須	object	リスト	ファイル情報
fileId	必須	string	なし	ファイルID

出力値

```
im_bisDeleteFileUpload <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bisDeleteFileUpload	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

コンテンツ登録

コンテンツ登録を行うタスクです。

> **コラム**
>
> IM-LogicDesigner のトランザクションに関わらず、コンテンツ登録処理はコミットされます。
> タスクを使用する際は、検索対象の作成・登録・削除 の項も参照してください。

入力値

```
im_csRegisterContents <object>
  ├ authority <object>
  │    ├ canReferAuthUser <boolean>
  │    ├ canReferGuestUser <boolean>
  │    ├ company <object[]>
  │    │    ├ companyCd <string>
  │    │    ├ departmentCd <string>
  │    │    └ postCd <string>
  │    ├ publicGroup <object[]>
  │    │    ├ publicGroupCd <string>
  │    │    ├ publicGroupRoleCd <string>
  │    │    └ publicGroupSetCd <string>
  │    ├ roleId <string[]>
  │    └ userCd <string[]>
  ├ dynamicField <object>
  │    ├ boolMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <boolean[]>
  │    ├ boolValue <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <boolean>
  │    ├ dateMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <date[]>
  │    ├ dateValue <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <date>
  │    ├ intMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <integer[]>
  │    ├ intValue <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <integer>
  │    ├ longMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <long[]>
  │    ├ longValue <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <long>
  │    ├ morph <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <string>
  │    ├ morphMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <string[]>
  │    ├ ngram <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <string>
  │    ├ ngramMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <string[]>
  │    ├ stringMulti <object[]>
  │    │    ├ key <string>
  │    │    └ value <string[]>
  │    ├ stringValue <object[]>
```

```
│   │   ├─ key <string>
│   │   └─ value <string>
│   ├─ whiteSpace <object[]>
│   │   ├─ key <string>
│   │   └─ value <string>
│   └─ whiteSpaceMulti <object[]>
│       ├─ key <string>
│       └─ value <string[]>
└─ standardField <object>
    ├─ attachment <storage>
    ├─ id <string> *
    ├─ originId <string>
    ├─ recordDate <date>
    ├─ text <string>
    ├─ title <string>
    ├─ types <string[]> *
    └─ url <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_csRegisterContents	任意	object	なし	-
authority	任意	object	なし	権限情報
canReferAuthUser	任意	boolean	なし	認証ユーザ
canReferGuestUser	任意	boolean	なし	未認証ユーザ
company	任意	object[]	配列	会社情報
companyCd	任意	string	なし	会社コード
departmentCd	任意	string	なし	組織コード
postCd	任意	string	なし	役職コード
publicGroup	任意	object[]	配列	パブリックグループ情報
publicGroupCd	任意	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupRoleCd	任意	string	なし	パブリックグループ役割コード
publicGroupSetCd	任意	string	なし	パブリックグループセットコード
roleId	任意	string[]	配列	ロールID
userCd	任意	string[]	配列	ユーザコード
dynamicField	任意	object	なし	動的フィールド
boolMulti	任意	object[]	配列	真偽値の配列を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	boolean[]	配列	真偽値の配列
boolValue	任意	object[]	配列	真偽値を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	boolean	なし	真偽値
dateMulti	任意	object[]	配列	日付データの配列を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	date[]	配列	日付データの配列
dateValue	任意	object[]	配列	日付データとして登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	date	なし	日付データ
intMulti	任意	object[]	配列	4バイト整数の配列を登録するためのフィールド

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	integer[]	配列	4バイト整数の配列
intValue	任意	object[]	配列	4バイト整数として登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	integer	なし	4バイト整数
longMulti	任意	object[]	配列	8バイト整数の配列を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	long[]	配列	8バイト整数の配列
longValue	任意	object[]	配列	8バイト整数として登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	long	なし	8バイト整数
morph	任意	object[]	配列	文字列に対して形態素解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	形態素解析 テキスト
morphMulti	任意	object[]	配列	文字列の配列に対して形態素解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string[]	配列	形態素解析 テキスト配列
ngram	任意	object[]	配列	文字列に対してN-gram解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	N-gram テキスト
ngramMulti	任意	object[]	配列	文字列の配列に対してN-gram解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string[]	配列	N-gram テキスト配列
stringMulti	任意	object[]	配列	文字列の配列を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string[]	配列	文字列の配列
stringValue	任意	object[]	配列	文字列として登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	文字列
whiteSpace	任意	object[]	配列	文字列に対してWhitespace解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	Whitespace テキスト
whiteSpaceMulti	任意	object[]	配列	文字列の配列に対してWhitespace解析を行った結果を登録するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string[]	配列	Whitespace テキスト配列

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
standardField	任意	object	なし	標準フィールド
attachment	任意	storage	なし	添付ファイルのストレージ先
id	必須	string	なし	コンテンツを一意に判別することが可能なID
originId	任意	string	なし	コンテンツの元データを辿るのに必要なデータなど、必要に応じてフィールドの名前
recordDate	任意	date	なし	更新日
text	任意	string	なし	説明
title	任意	string	なし	タイトル
types	必須	string[]	配列	“product_master” “product_master$Base”（「分類」の値が”Base”である場合） “product_master$Product”（「分類」の値が”Product”である場合） “product_master$eBuilder”（「分類」の値が”eBuilder”である場合） 例： product_master,product_master$Base（「分類」の値が”Base”である場合）
url	任意	string	なし	検索結果のタイトル（リンク）をクリックした際にポップアップ表示するURL

出力値

```
im_csRegisterContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_csRegisterContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファセットの登録・更新

ファセットの登録・更新を行うタスクです。

> **コラム**
>
> IM-LogicDesigner のトランザクションに関わらず、ファセットの登録・更新処理はコミットされます。

入力値

```
im_csRegisterDynamicFacet <object>
  └ dynamicFacet <object>
      ├ localeName <map>
      └ type <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_csRegisterDynamicFacet	任意	object	なし	-
dynamicFacet	任意	object	なし	動的ファセット
localeName	任意	map	なし	キー: ロケール 値: 検索結果画面に表示する絞り込み条件の値
type	任意	string	なし	TYPEフィールド

出力値

```
im_csRegisterDynamicFacet <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_csRegisterDynamicFacet	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

コンテンツ削除

コンテンツ削除を行うタスクです。

> **コラム**
>
> IM-LogicDesigner のトランザクションに関わらず、コンテンツ削除処理はコミットされます。
> タスクを使用する際は、検索対象の作成・登録・削除 の項も参照してください。

入力値

```
im_csDeleteContents <object>
  ├─ deleteAllFlag <boolean>
  ├─ dynamicField <object>
  │    ├─ boolMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <boolean>
  │    ├─ boolValue <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <boolean>
  │    ├─ dateMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <date>
  │    ├─ dateValue <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <date>
  │    ├─ intMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <integer>
  │    ├─ intValue <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <integer>
  │    ├─ longMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <long>
  │    ├─ longValue <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <long>
  │    ├─ morph <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ morphMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ ngram <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ ngramMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ stringMulti <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ stringValue <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    ├─ whiteSpace <object>
  │    │    ├─ key <string>
  │    │    └─ value <string>
  │    └─ whiteSpaceMulti <object>
  │         ├─ key <string>
  │         └─ value <string>
  ├─ id <string>
  ├─ term <object>
  │    ├─ endDate <date>
  │    └─ startDate <date>
  └─ types <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_csDeleteContents	任意	object	なし	-
deleteAllFlag	任意	boolean	なし	全削除フラグ
dynamicField	任意	object	なし	動的フィールド
boolMulti	任意	object	なし	真偽値の配列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
value	任意	boolean	なし	真偽値の配列
boolValue	任意	object	なし	真偽値を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	boolean	なし	真偽値
dateMulti	任意	object	なし	日付データの配列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	date	なし	日付データの配列
dateValue	任意	object	なし	日付データを削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	date	なし	日付データ
intMulti	任意	object	なし	4バイト整数の配列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	integer	なし	4バイト整数の配列
intValue	任意	object	なし	4バイト整数を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	integer	なし	4バイト整数
longMulti	任意	object	なし	8バイト整数の配列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	long	なし	8バイト整数の配列
longValue	任意	object	なし	8バイト整数を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	long	なし	8バイト整数
morph	任意	object	なし	文字列に対して形態素解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	形態素解析 テキスト
morphMulti	任意	object	なし	文字列の配列に対して形態素解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	形態素解析 テキスト配列
ngram	任意	object	なし	文字列に対してN-gram解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	N-gram テキスト
ngramMulti	任意	object	なし	文字列の配列に対してN-gram解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	N-gram テキスト配列
stringMulti	任意	object	なし	文字列の配列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
value	任意	string	なし	文字列の配列
stringValue	任意	object	なし	文字列を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	文字列
whiteSpace	任意	object	なし	文字列に対してWhitespace解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	Whitespace テキスト
whiteSpaceMulti	任意	object	なし	文字列の配列に対してWhitespace解析を行った結果を削除するためのフィールド
key	任意	string	なし	フィールドの名前
value	任意	string	なし	Whitespace テキスト配列
id	任意	string	なし	削除したいコンテンツのID
term	任意	object	なし	期間
endDate	任意	date	なし	終了日
startDate	任意	date	なし	開始日
types	任意	string[]	配列	“product_master” “product_master$Base” （「分類」の値が”Base”である場合） “product_master$Product” （「分類」の値が”Product”である場合） “product_master$eBuilder” （「分類」の値が”eBuilder”である場合） 例： product_master,product_master$Base（「分類」の値が”Base”である場合）

コラム

1. 期間とtypeを両方設定した場合は、AND条件による削除が行われます。
2. deleteAllFlagをtrueに設定した場合、その他の条件として設定した値は無視されます。

出力値

```
im_csDeleteContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_csDeleteContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Salesforce

Bulk API ジョブの作成

Bulk APIを利用して、Salesforce上にジョブの作成を行うタスクです。
ユーザ定義タスク「Salesforceバッチ」を複数追加することが可能です。
複数のバッチをSalesforceに送信することにより、Salesforce側で大量レコードを処理できます。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
- Bulk API Developer Guide（English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
ジョブの同時実行モード	任意	pulldown	PARALLEL	PARALLEL、または、SERIALを選択します。
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

コラム

ジョブの同時実行モード（concurrencyMode）について

- PARALLEL：Salesfroce上で、バッチを並列モードで処理します。デフォルト値です。
- SERIAL：Salesfroce上で、バッチを逐次モードで処理します。

詳細は、「Salesforce Bulk API 開発者ガイド - JobInfo」 を参照してください。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ clientId <string> *
├ externalIdFieldName <string>
├ object <string> *
├ operation <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
externalIdFieldName	任意	string	なし	外部ID項目名
object	必須	string	なし	オブジェクト名
operation	必須	string	なし	ジョブに含まれるバッチすべてに対する処理操作（insert, upsert, update, delete, hardDelete）
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ apexProcessingTime <long>
├─ apiActiveProcessingTime <long>
├─ apiVersion <string>
├─ assignmentRuleId <string>
├─ concurrencyMode <string>
├─ contentType <string>
├─ createdById <string>
├─ createdDate <date>
├─ externalIdFieldName <string>
├─ id <string>
├─ numberBatchesCompleted <integer>
├─ numberBatchesFailed <integer>
├─ numberBatchesInProgress <integer>
├─ numberBatchesQueued <integer>
├─ numberBatchesTotal <integer>
├─ numberRecordsFailed <integer>
├─ numberRecordsProcessed <integer>
├─ numberRetries <integer>
├─ object <string>
├─ operation <string>
├─ state <string>
├─ systemModstamp <date>
└─ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	JobInfoと同等の型
apexProcessingTime	long	なし	ジョブデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なジョブの処理時間（ミリ秒）
apiVersion	string	なし	ジョブが作成された時点で URI に設定されるジョブの Salesforce APIバージョン
assignmentRuleId	string	なし	ケース、または、リードに対して実行される特定の割り当てルールID
concurrencyMode	string	なし	ジョブの同時実行モード（Parallel, Serial）
contentType	string	なし	ジョブのコンテンツタイプ（JSONのみ対応）
createdById	string	なし	ジョブを作成したSalesforceユーザID
createdDate	date	なし	ジョブの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
externalIdFieldName	string	なし	作成・更新に使用される外部ID項目の名前
id	string	なし	ジョブID
numberBatchesCompleted	integer	なし	このジョブの完了したバッチ数
numberBatchesFailed	integer	なし	このジョブの失敗したバッチ数
numberBatchesInProgress	integer	なし	このジョブの処理中のバッチ数
numberBatchesQueued	integer	なし	このジョブのキューにあるバッチ数
numberBatchesTotal	integer	なし	ジョブに現在含まれているバッチの数の合計
numberRecordsFailed	integer	なし	このジョブで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	すでに処理済みのレコード数。この数値は、処理されたバッチ数が増えると大きくなります。
numberRetries	integer	なし	Salesforceが処理結果の保存を試行した回数。 再試行の繰り返しはロックの競合などの問題によって発生します。

項目名	型	配列/リスト	説明
object	string	なし	処理中のデータのオブジェクト種別
operation	string	なし	ジョブに含まれるバッチすべてに対する処理操作 （insert, upsert, update, delete, hardDelete）
state	string	なし	ジョブの現在の処理状態 （Open, Closed, Aborted, Failed）
systemModstamp	date	なし	ジョブが完了した日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	ジョブの処理時間（ミリ秒）

> **コラム**
>
> Salesforceジョブの返却値の詳細は、以下を参照してください。
>
> - Salesforce Bulk API 開発者ガイド - JobInfo（日本語）
> - Bulk API Developer Guide - JobInfo（English）

Bulk API ジョブの終了

Bulk APIを利用して、Salesforce上のジョブの終了を行うタスクです。

> **コラム**
>
> Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。
>
> - Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
> - Bulk API Developer Guide（English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ clientId <string> *
├ jobId <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ apexProcessingTime <long>
├─ apiActiveProcessingTime <long>
├─ apiVersion <string>
├─ assignmentRuleId <string>
├─ concurrencyMode <string>
├─ contentType <string>
├─ createdById <string>
├─ createdDate <date>
├─ externalIdFieldName <string>
├─ id <string>
├─ numberBatchesCompleted <integer>
├─ numberBatchesFailed <integer>
├─ numberBatchesInProgress <integer>
├─ numberBatchesQueued <integer>
├─ numberBatchesTotal <integer>
├─ numberRecordsFailed <integer>
├─ numberRecordsProcessed <integer>
├─ numberRetries <integer>
├─ object <string>
├─ operation <string>
├─ state <string>
├─ systemModstamp <date>
└─ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	JobInfoと同等の型
apexProcessingTime	long	なし	ジョブデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なジョブの処理時間（ミリ秒）
apiVersion	string	なし	ジョブが作成された時点で URI に設定されるジョブの Salesforce APIバージョン
assignmentRuleId	string	なし	ケース、または、リードに対して実行される特定の割り当てルールID
concurrencyMode	string	なし	ジョブの同時実行モード（Parallel, Serial）
contentType	string	なし	ジョブのコンテンツタイプ（JSONのみ対応）
createdById	string	なし	ジョブを作成したSalesforceユーザID
createdDate	date	なし	ジョブの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
externalIdFieldName	string	なし	外部ID項目名
id	string	なし	ジョブID
numberBatchesCompleted	integer	なし	このジョブの完了したバッチ数
numberBatchesFailed	integer	なし	このジョブの失敗したバッチ数
numberBatchesInProgress	integer	なし	このジョブの処理中のバッチ数
numberBatchesQueued	integer	なし	このジョブのキューにあるバッチ数
numberBatchesTotal	integer	なし	ジョブに現在含まれているバッチの数の合
numberRecordsFailed	integer	なし	このジョブで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	すでに処理済みのレコード数。この数値は、処理されたバッチ数が増えると大きくなります。
numberRetries	integer	なし	Salesforceが処理結果の保存を試行した回数。 再試行の繰り返しはロックの競合などの問題によって発生します。

項目名	型	配列/リスト	説明
object	string	なし	処理中のデータのオブジェクト種別
operation	string	なし	ジョブに含まれるバッチすべてに対する処理操作（insert, upsert, update, delete, hardDelete）
state	string	なし	ジョブの現在の処理状態（Open, Closed, Aborted, Failed）
systemModstamp	date	なし	ジョブが完了した日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	ジョブの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceジョブの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - JobInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - JobInfo（English）

Bulk API ジョブの中止

Bulk APIを利用して、Salesforce上のジョブの中止を行うタスクです。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
- Bulk API Developer Guide（English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ clientId <string> *
├ jobId <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ apexProcessingTime <long>
├─ apiActiveProcessingTime <long>
├─ apiVersion <string>
├─ assignmentRuleId <string>
├─ concurrencyMode <string>
├─ contentType <string>
├─ createdById <string>
├─ createdDate <date>
├─ externalIdFieldName <string>
├─ id <string>
├─ numberBatchesCompleted <integer>
├─ numberBatchesFailed <integer>
├─ numberBatchesInProgress <integer>
├─ numberBatchesQueued <integer>
├─ numberBatchesTotal <integer>
├─ numberRecordsFailed <integer>
├─ numberRecordsProcessed <integer>
├─ numberRetries <integer>
├─ object <string>
├─ operation <string>
├─ state <string>
├─ systemModstamp <date>
└─ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	JobInfoと同等の型
apexProcessingTime	long	なし	ジョブデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なジョブの処理時間（ミリ秒）
apiVersion	string	なし	ジョブが作成された時点で URI に設定されるジョブの Salesforce APIバージョン
assignmentRuleId	string	なし	ケース、または、リードに対して実行される特定の割り当てルールID
concurrencyMode	string	なし	ジョブの同時実行モード（Parallel, Serial）
contentType	string	なし	ジョブのコンテンツタイプ（JSONのみ対応）
createdById	string	なし	ジョブを作成したSalesforceユーザID
createdDate	date	なし	ジョブの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
externalIdFieldName	string	なし	外部ID項目名
id	string	なし	ジョブID
numberBatchesCompleted	integer	なし	このジョブの完了したバッチ数
numberBatchesFailed	integer	なし	このジョブの失敗したバッチ数
numberBatchesInProgress	integer	なし	このジョブの処理中のバッチ数
numberBatchesQueued	integer	なし	このジョブのキューにあるバッチ数
numberBatchesTotal	integer	なし	ジョブに現在含まれているバッチの数の合
numberRecordsFailed	integer	なし	このジョブで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	すでに処理済みのレコード数。この数値は、処理されたバッチ数が増えると大きくなります。
numberRetries	integer	なし	Salesforceが処理結果の保存を試行した回数。 再試行の繰り返しはロックの競合などの問題によって発生します。

項目名	型	配列/リスト	説明
object	string	なし	処理中のデータのオブジェクト種別
operation	string	なし	ジョブに含まれるバッチすべてに対する処理操作 （insert, upsert, update, delete, hardDelete）
state	string	なし	ジョブの現在の処理状態 （Open, Closed, Aborted, Failed）
systemModstamp	date	なし	ジョブが完了した日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	ジョブの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceジョブの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - JobInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - JobInfo（English）

Bulk API ジョブ情報の取得

Bulk APIを利用して、Salesforce上のジョブ情報の取得を行うタスクです。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
- Bulk API Developer Guide（English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ clientId <string> *
├ jobId <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ apexProcessingTime <long>
├─ apiActiveProcessingTime <long>
├─ apiVersion <string>
├─ assignmentRuleId <string>
├─ concurrencyMode <string>
├─ contentType <string>
├─ createdById <string>
├─ createdDate <date>
├─ externalIdFieldName <string>
├─ id <string>
├─ numberBatchesCompleted <integer>
├─ numberBatchesFailed <integer>
├─ numberBatchesInProgress <integer>
├─ numberBatchesQueued <integer>
├─ numberBatchesTotal <integer>
├─ numberRecordsFailed <integer>
├─ numberRecordsProcessed <integer>
├─ numberRetries <integer>
├─ object <string>
├─ operation <string>
├─ state <string>
├─ systemModstamp <date>
└─ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	JobInfoと同等の型
apexProcessingTime	long	なし	ジョブデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なジョブの処理時間（ミリ秒）
apiVersion	string	なし	ジョブが作成された時点で URI に設定されるジョブのAPIのバージョン
assignmentRuleId	string	なし	ケース、または、リードに対して実行される特定の割り当てルールID
concurrencyMode	string	なし	ジョブの同時実行モード（Parallel, Serial）
contentType	string	なし	ジョブのコンテンツタイプ（JSONのみ対応）
createdById	string	なし	ジョブを作成したSalesforceユーザID
createdDate	date	なし	ジョブの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
externalIdFieldName	string	なし	外部ID項目名
id	string	なし	ジョブID
numberBatchesCompleted	integer	なし	このジョブの完了したバッチ数
numberBatchesFailed	integer	なし	このジョブの失敗したバッチ数
numberBatchesInProgress	integer	なし	このジョブの処理中のバッチ数
numberBatchesQueued	integer	なし	このジョブのキューにあるバッチ数
numberBatchesTotal	integer	なし	ジョブに現在含まれているバッチの数の合
numberRecordsFailed	integer	なし	このジョブで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	すでに処理済みのレコード数。この数値は、処理されたバッチ数が増えると大きくなります。
numberRetries	integer	なし	Salesforceが処理結果の保存を試行した回数。 再試行の繰り返しはロックの競合などの問題によって発生します。

項目名	型	配列/リスト	説明
object	string	なし	処理中のデータのオブジェクト種別
operation	string	なし	ジョブに含まれるバッチすべてに対する処理操作 （insert, upsert, update, delete, hardDelete）
state	string	なし	ジョブの現在の処理状態 （Open, Closed, Aborted, Failed）
systemModstamp	date	なし	ジョブが完了した日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	ジョブの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceジョブの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - JobInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - JobInfo（English）

Bulk API バッチ情報配列の取得

Bulk APIを利用して、Salesforce上のジョブ内の全てのバッチに関する情報の取得を行うタスクです。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド（日本語）
- Bulk API Developer Guide（English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ clientId <string> *
├ jobId <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
└ batchInfo <object[]>
    ├ apexProcessingTime <long>
    ├ apiActiveProcessingTime <long>
    ├ createdDate <date>
    ├ id <string>
    ├ jobId <string>
    ├ numberRecordsFailed <integer>
    ├ numberRecordsProcessed <integer>
    ├ state <string>
    ├ stateMessage <string>
    ├ systemModstamp <date>
    └ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	
batchInfo	object	配列	このジョブに登録されている全てのバッチ情報
apexProcessingTime	long	なし	バッチデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なバッチの処理時間（ミリ秒）
createdDate	date	なし	バッチの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
id	string	なし	バッチID
jobId	string	なし	ジョブID
numberRecordsFailed	integer	なし	このバッチで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	要求が送信された時点での、このバッチで処理済みのレコード数
state	string	なし	バッチの現在の処理状態（Queued, InProgress, Completed, Failed, Not Processed)
stateMessage	string	なし	状態 （state）に関する詳細
systemModstamp	date	なし	処理の終了日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	ジョブの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceバッチの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - BatchInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - BatchInfo（English）

Bulk API バッチ情報の取得

Bulk APIを利用して、Salesforce上のバッチに関する情報の取得を行うタスクです。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド （日本語）
- Bulk API Developer Guide （English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ batchId <string> *
├─ clientId <string> *
├─ jobId <string> *
├─ userCd <string> *
└─ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
batchId	必須	string	なし	バッチID
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├─ apexProcessingTime <long>
├─ apiActiveProcessingTime <long>
├─ createdDate <date>
├─ id <string>
├─ jobId <string>
├─ numberRecordsFailed <integer>
├─ numberRecordsProcessed <integer>
├─ state <string>
├─ stateMessage <string>
├─ systemModstamp <date>
└─ totalProcessingTime <long>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	なし	BatchInfoと同等の型
apexProcessingTime	long	なし	バッチデータに関連するトリガ、および、他のプロセスの処理時間（ミリ秒）
apiActiveProcessingTime	long	なし	有効なバッチの処理時間（ミリ秒）
createdDate	date	なし	ジョブの作成日時（UTCタイムゾーン形式）
id	string	なし	バッチID
jobId	string	なし	ジョブID
numberRecordsFailed	integer	なし	このバッチで正常に処理されなかったレコードの数
numberRecordsProcessed	integer	なし	要求が送信された時点で、このバッチで処理済みのレコード数

項目名	型	配列/リスト	説明
state	string	なし	バッチの現在の処理状態（Queued, InProgress, Completed, Failed, Not Processed)
stateMessage	string	なし	状態 （state）に関する詳細
systemModstamp	date	なし	バッチが完了した日時（UTCタイムゾーン形式）
totalProcessingTime	long	なし	バッチの処理時間（ミリ秒）

コラム

Salesforceバッチの返却値の詳細は、以下を参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド - BatchInfo（日本語）
- Bulk API Developer Guide - BatchInfo（English）

Bulk API バッチ結果の取得

Bulk APIを利用して、Salesforce上のバッチ結果の取得を行うタスクです。

コラム

Bulk APIについては、以下の Salesforceドキュメントを参照してください。

- Salesforce Bulk API 開発者ガイド （日本語）
- Bulk API Developer Guide （English）

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object>
├ batchId <string> *
├ clientId <string> *
├ jobId <string> *
├ userCd <string> *
└ version <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	任意	object	なし	
batchId	必須	string	なし	バッチID
clientId	必須	string	なし	クライアントID（Salesforceクライアントの設定で一意に設定されたIDです。）
jobId	必須	string	なし	ジョブID
userCd	必須	string	なし	ユーザコード （アクセストークン取得時に利用するintra-martのユーザコードです。）
version	必須	string	なし	Salesforce APIバージョン

出力値

```
（タスク基本設定のエイリアス名） <object[]>
├ created <boolean>
├ errors <object[]>
│　├ fields <string[]>
│　├ message <string>
│　└ statusCode <string>
├ id <string>
└ success <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
（タスク基本設定のエイリアス名）	object	配列	
created	boolean	なし	レコードが作成されたかどうか
errors	object	配列	エラーの配列
fields	string	配列	Salesforceオブジェクト項目の配列
message	string	なし	メッセージ
statusCode	string	なし	HTTP状況コード
id	string	なし	処理対象レコードのSalesforce ID
success	boolean	なし	バッチ処理が成功したかどうか

コラム

HTTP状況コード（statusCode）

- HTTP 200：処理が正常に完了しました。
- HTTP 400：要求が不正であったため、処理が正常に完了しませんでした。
- HTTP 405：GET、POST 以外の HTTP メソッドが URI に送信されました。
- HTTP 415：サポートされていない圧縮形式が設定されている可能性があります。有効な圧縮形式の値は gzip のみです。圧縮は必須ではありませんが、できる限り行うことをお勧めします。
- HTTP 500：ほとんどの場合、サーバエラーが発生しています。

HTTP状況コードの詳細については、下記ドキュメントを参照してください。

- 「Bulk API 開発者ガイド - HTTP 状況コード」（日本語）
- 「Bulk API Developer Guide - HTTP Status Codes」（English）

Office365

ドライブ一覧の取得

サイト上のドライブの一覧を取得します。
サイト上に複数のドキュメントライブラリを作成している場合に利用します。
取得したドライブ情報に含まれるドライブIDは、SharePointストレージ取得と組み合わせることにより指定したドライブに対する操作が可能です。

入力値

```
im_sharePointStorageGetDrives <object>
  ├ providerId <string> *
  ├ sitePath <string>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageGetDrives	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
providerId	必須	string	なし	プロバイダID
sitePath	任意	string	なし	Office 365 SharePoint Online 上のサイトパスを指定します。 例えば、チームサイトが「https://yourcompany.sharepoint.com/sites/foo」の場合、サイトパスには “foo” でなく “sites/foo” を指定します。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード SharePointと連携する際のユーザコード（SharePoint側のユーザコードではない）を指定します。

出力値

```
im_sharePointStorageGetDrives <object>
  └ drives <object[]>
    ├ id <string>
    ├ name <string>
    ├ description <string>
    ├ webUrl <string>
    └ driveType <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageGetDrives	object	なし	ドライブ一覧取得結果
drives	object	リスト	ドライブ情報
id	string	なし	ドライブID（SharePointStorage取得タスクで利用）
name	string	なし	ドライブ名
description	string	なし	ドライブの説明
webUrl	string	なし	ドライブのURL
driveType	string	なし	ドライブの種別 (“documentLibrary”, “personal”, “business”) このタスクを用いた場合は”documentLibrary”が取り扱われます。

SharePointストレージ取得

SharePointストレージを取得します。
取得したSharePointストレージは、ストレージ操作タスクと組み合わせることにより操作が可能です。

入力値

```
im_sharePointStorage <object>
  ├ driveId <string>
  ├ path <string> *
  ├ providerId <string> *
  ├ sitePath <string>
  └ userCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorage	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
driveId	任意	string	なし	ドライブID サイト上に複数のドキュメントライブラリが配置されている場合に指定します。 指定するドライブIDはドライブ情報取得タスクにて取得可能です
path	必須	string	なし	パス
providerId	必須	string	なし	プロバイダID
sitePath	任意	string	なし	Office 365 SharePoint Online 上のサイトパスを指定します。 例えば、チームサイトが「https://yourcompany.sharepoint.com/sites/foo」の場合、サイトパスには “foo” でなく “sites/foo” を指定します。
userCd	必須	string	なし	ユーザコード

出力値

```
im_sharePointStorage <storage>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorage	storage	なし	SharePointStorage

SharePointストレージ情報取得

SharePointストレージ情報の取得を行うタスクです。

入力値

```
im_sharePointStorageInfo <storage>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageInfo	任意	storage	なし	情報取得対象となるSharePointストレージを指定してください。 PublicStorage, SessionStorage 等は指定できません。

出力値

```
im_sharePointStorageInfo <object>
  ├─ exist <boolean>
  ├─ id <string>
  ├─ driveId <string>
  ├─ lastModified <long>
  ├─ lastModifiedApplicationId <string>
  ├─ lastModifiedApplicationName <string>
  ├─ lastModifiedUserId <string>
  ├─ lastModifiedUserName <string>
  ├─ name <string>
  ├─ path <string>
  ├─ providerId <string>
  ├─ sitePath <string>
  ├─ size <long>
  ├─ type <string>
  ├─ userCd <string>
  └─ webUrl <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageInfo	object	なし	
exist	boolean	なし	存在フラグ
id	string	なし	ID
driveId	string	なし	ドライブID
lastModified	long	なし	最終更新日時
lastModifiedApplicationId	string	なし	最終更新アプリケーションID
lastModifiedApplicationName	string	なし	最終更新アプリケーション名
lastModifiedUserId	string	なし	最終更新ユーザコード
lastModifiedUserName	string	なし	最終更新ユーザ名
name	string	なし	名前
path	string	なし	パス
providerId	string	なし	プロバイダID
sitePath	string	なし	サイトパス
size	long	なし	サイズ
type	string	なし	種別
userCd	string	なし	ユーザコード
webUrl	string	なし	WebURL

指定した形式でダウンロードする

ドキュメントライブラリ上に配置したファイルを指定した形式でダウンロードします。
指定可能なフォーマットはMicrosoft Graph REST APIの仕様に準拠します。
https://docs.microsoft.com/en-us/graph/api/driveitem-get-content-format

> **コラム**
>
> 変換元ファイルのフォーマットについて
>
> 2022年6月現在、以下のフォーマットのファイルについて、pdf形式を指定した場合に正常な動作を確認できておりません。
>
> csv, pot, potm, potx, ppt, pptm

入力値

```
im_sharePointStorageDownloadAs <object>
  ├ format <string> *
  └ storage <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageDownloadAs	任意	object	なし	
format	必須	string	なし	ダウンロードしたいフォーマット 例: pdf
storage	必須	storage	なし	SharePointStorage取得タスクを用いて取得した<storage>を引数として受け渡してください。 PublicStorage等のタスクが指定された場合タスクの実行は失敗します。

出力値

```
im_sharePointStorageDownloadAs <binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageDownloadAs	binary	なし	指定した形式に変換され、ダウンロードされたバイナリデータ

リストアイテム列情報の取得

ドキュメントライブラリ上のファイルに対するカスタム列情報を取得します。

> **コラム**
>
> サイトパスの制限について
>
> サイトパスに「_」（アンダースコア）を含むサイト内のファイルについて、このタスクが動作しない場合があります。

入力値

```
im_sharePointStorageGetListItemFields <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageGetListItemFields	必須	storage	なし	SharePointStorage取得タスクにて取得したStorageオブジェクトを指定してください。

出力値

```
im_sharePointStorageGetListItemFields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageGetListItemFields	map	なし	リストアイテム列情報Map IM-LogicDesignerのデザイナ画面から取得したい列名のキーを設定することにより そのキー名に一致した列の値が取り扱えます。

リストアイテム列情報の更新

ドキュメントライブラリ上のファイルに対するカスタム列情報を更新します。

> **コラム**
>
> サイトパスの制限について
>
> サイトパスに「_」（アンダースコア）を含むサイト内のファイルについて、このタスクが動作しない場合があります。

入力値

```
im_sharePointStorageUpdateListItemFields <object>
  ├ storage <storage> *
  └ fields <map> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageUpdateListItemFields	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
storage	必須	storage	なし	SharePointStorage取得タスクにて取得したStorageオブジェクトを指定してください。
fields	必須	map	なし	リストアイテム列情報Map IM-LogicDesignerのデザイナ画面から取得したい列名のキーを設定することにより そのキー名に一致した列の値が取り扱えます。

出力値

```
im_sharePointStorageUpdateListItemFields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sharePointStorageGetListItemFields	map	なし	リストアイテム列情報Map 更新後のリストアイテム列情報が返却されます。 IM-LogicDesignerのデザイナ画面から取得したい列名のキーを設定することにより そのキー名に一致した列の値が取り扱えます。

SSH

コマンド実行

リモートサーバに SSH で接続しコマンドを実行するタスクです。

入力値

```
im_ssh_command <object>
  ├─ command <string> *
  ├─ settings <object>
  │   ├─ host <string>
  │   ├─ keyLocation <string>
  │   ├─ passphrase <string>
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
  │   └─ user <string> *
  └─ timeout <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_ssh_command	任意	object	なし	
command	必須	string	なし	実行するコマンド
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
timeout	任意	integer	なし	接続タイムアウト（ミリ秒） 指定なしの場合、コマンドの実行結果が返却されるまで待ちます。

出力値

```
im_ssh_command <object>
  ├─ status <integer>
  ├─ stderr <string>
  └─ stdout <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_ssh_command	object	なし	
status	integer	なし	ステータスコード
stderr	string	なし	エラー出力内容
stdout	string	なし	標準出力内容

SCP アップロード

リモートサーバに SCP でディレクトリやファイルをアップロードするタスクです。

入力値

```
im_scp_upload <object>
  ├─ dest <string> *
  ├─ settings <object>
  │   ├─ host <string>
  │   ├─ keyLocation <string>
  │   ├─ passphrase <string>
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
  │   └─ user <string> *
  ├─ source <storage> *
  └─ recursive <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_scp_upload	任意	object	なし	
dest	必須	string	なし	アップロード先のパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
source	必須	storage	なし	アップロードするStorageのディレクトリやファイル
recursive	任意	boolean	なし	再帰コピーする場合、 true を指定します。

出力値

```
im_scp_upload <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_scp_upload	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SCP ダウンロード

リモートサーバから SCP でディレクトリやファイルをダウンロードするタスクです。

入力値

```
im_scp_download <object>
  ├─ dest <storage> *
  ├─ settings <object>
  │   ├─ host <string>
  │   ├─ keyLocation <string>
  │   ├─ passphrase <string>
  │   ├─ password <string>
  │   ├─ port <integer> *
  │   ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
  │   └─ user <string> *
  ├─ source <string> *
  └─ recursive <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_scp_download	任意	object	なし	
dest	必須	storage	なし	ダウンロード先のストレージ
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
source	必須	string	なし	ダウンロードするディレクトリやファイルのパス

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
recursive	任意	boolean	なし	再帰コピーする場合、 true を指定します。

出力値

```
im_scp_download <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_scp_download	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP アップロード

リモートサーバに SFTP でディレクトリやファイルをアップロードするタスクです。

入力値

```
im_sftp_upload <object>
  ├─ dest <string> *
  ├─ settings <object>
  │    ├─ host <string>
  │    ├─ keyLocation <string>
  │    ├─ passphrase <string>
  │    ├─ password <string>
  │    ├─ port <integer> *
  │    ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
  │    └─ user <string> *
  ├─ source <storage> *
  └─ recursive <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_upload	任意	object	なし	
dest	必須	string	なし	アップロード先のパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
source	必須	storage	なし	アップロードするStorageのディレクトリやファイル
recursive	任意	boolean	なし	再帰コピーする場合、 true を指定します。

出力値

```
im_sftp_upload <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_upload	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP ダウンロード

リモートサーバから SFTP でディレクトリやファイルをダウンロードするタスクです。

入力値

```
im_sftp_download <object>
  ├─ dest <storage> *
  ├─ settings <object>
  │    ├─ host <string>
  │    ├─ keyLocation <string>
  │    ├─ passphrase <string>
  │    ├─ password <string>
  │    ├─ port <integer> *
  │    ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
  │    └─ user <string> *
  ├─ source <string> *
  └─ recursive <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_download	任意	object	なし	
dest	必須	storage	なし	ダウンロード先のストレージ
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
source	必須	string	なし	ダウンロードするディレクトリやファイルのパス
recursive	任意	boolean	なし	再帰コピーする場合、 true を指定します。

出力値

```
im_sftp_download <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_download	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP ls

リモートサーバのディレクトリー覧情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_sftp_ls <object>
  ├─ path <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_ls	任意	object	なし	
path	必須	string	なし	ディレクトリ一覧を取得するパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_ls <object[]>
  ├─ gid <integer>
  ├─ lastModified <date>
  ├─ mtime <date>
  ├─ name <string>
  ├─ path <string>
  ├─ permission <string>
  ├─ size <long>
  └─ uid <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_ls	object	配列	
gid	integer	なし	GID
lastModified	date	なし	正確な最終更新日時
mtime（非推奨）	date	なし	最終更新日時 **非推奨**: 不正確な日時情報が返却されます。正確な最終更新日時を取得するには `lastModified` 項目を使用してください。
name	string	なし	ファイル名またはディレクトリ名
path	string	なし	パス
permission	string	なし	パーミッション（８進数表記）
size	long	なし	サイズ

項目名	型	配列/リスト	説明
uid	integer	なし	UID

SFTP mkdirs

リモートサーバにディレクトリを作成するタスクです。

入力値

```
im_sftp_mkdirs <object>
  ├─ path <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_mkdirs	任意	object	なし	
path	必須	string	なし	作成するディレクトリのパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_mkdirs <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_mkdirs	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP rename

リモートサーバのファイルの移動またはファイル名の変更を行うタスクです。

入力値

```
im_sftp_rename <object>
  ├─ newPath <string> *
  ├─ oldPath <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rename	任意	object	なし	
newPath	必須	string	なし	移動先のパス
oldPath	必須	string	なし	移動元のパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_rename <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rename	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP rm

リモートサーバのファイルを削除するタスクです。

入力値

```
im_sftp_rm <object>
  ├─ filePath <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rm	任意	object	なし	
filePath	必須	string	なし	削除するファイルのパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_rm <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rm	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP rmdir

リモートサーバのディレクトリを削除するタスクです。

入力値

```
im_sftp_rmdir <object>
  ├─ path <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rmdir	任意	object	なし	
path	必須	string	なし	削除するディレクトリのパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_rmdir <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_rmdir	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP chmod

リモートサーバのファイルのパーミッションを変更するタスクです。

入力値

```
im_sftp_chmod <object>
  ├─ path <string> *
  ├─ permissions <string> *
  └─ settings <object>
     ├─ host <string>
     ├─ keyLocation <string>
     ├─ passphrase <string>
     ├─ password <string>
     ├─ port <integer> *
     ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
     └─ user <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_chmod	任意	object	なし	
path	必須	string	なし	変更するファイルのパス
permissions	必須	string	なし	パーミッション（８進数表記）
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ

出力値

```
im_sftp_chmod <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_chmod	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

SFTP chown

リモートサーバのファイルの所有者を変更するタスクです。

入力値

```
im_sftp_chown <object>
 ├─ path <string> *
 ├─ settings <object>
 │   ├─ host <string>
 │   ├─ keyLocation <string>
 │   ├─ passphrase <string>
 │   ├─ password <string>
 │   ├─ port <integer> *
 │   ├─ strictHostKeyChecking <boolean>
 │   └─ user <string> *
 └─ uid <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_sftp_chown	任意	object	なし	
path	必須	string	なし	変更するファイルのパス
settings	任意	object	なし	リモートサーバ接続情報
host	必須	string	なし	接続先ホスト
keyLocation	任意	string	なし	秘密鍵のファイル名 公開鍵認証方式を利用する場合に指定します。 「user.home/.ssh」配下に配置されている秘密鍵のファイル名を指定します。
passphrase	任意	string	なし	秘密鍵のパスフレーズ
password	任意	object	なし	パスワード パスワード認証方式を利用する場合に指定します。
port	必須	integer	なし	接続先ポート番号
strictHostKeyChecking	任意	boolean	なし	接続先ホストの検証を行う場合、true を指定します。
user	必須	string	なし	ユーザ
uid	必須	string	なし	所有者にするユーザのUID

出力値

```
im_sftp_chown <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_sftp_chown	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IBM Watson

NLC クラス分類一覧の取得

IBM Watson NLCサービスで、クラス分類の一覧を取得するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Natural Language Classifier API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonNlcGetClassifiers <object>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcGetClassifiers	任意	object	なし	

出力値

```
im_watsonNlcGetClassifiers <object>
  └ classifiers <object[]>
      ├ classifierId <string>
      ├ created <date>
      ├ language <string>
      ├ name <string>
      └ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcGetClassifiers	object	なし	
classifiers	object	リスト	クラス分類情報の一覧
classifierId	string	なし	クラス分類ID
created	date	なし	作成日時
language	string	なし	言語
name	string	なし	クラス分類名
url	string	なし	REST APIのURL

NLC クラス分類の学習

IBM Watson NLCサービスで、データを与えて学習を行い、新規のNLCクラス分類を作成するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Natural Language Classifier API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonNlcPostClassifiers <object>
  ├ language <string> *
  ├ name <string>
  └ trainingData <binary> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcPostClassifiers	任意	object	なし	
language	必須	string	なし	言語
name	任意	string	なし	クラス分類名
trainingData	必須	binary	なし	学習させるデータ（CSV形式）

出力値

```
im_watsonNlcPostClassifiers <object>
  ├─ classifierId <string>
  ├─ created <date>
  ├─ language <string>
  ├─ name <string>
  ├─ status <string>
  ├─ statusDescription <string>
  └─ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcPostClassifiers	object	なし	
classifierId	string	なし	クラス分類ID
created	date	なし	作成日時
language	string	なし	言語
name	string	なし	クラス分類名
status	string	なし	学習状況
statusDescription	string	なし	学習状況の詳細
url	string	なし	REST APIのURL

NLC クラス分類の実行

IBM Watson NLCサービスで、学習済みのクラス分類にテキストを与えて分析し、どのクラスに所属するかを取得するタスクです。
このタスクはPOSTメソッドで通信するため、文字数が多いテキストでも分析ができます。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Natural Language Classifier API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonNlcPostClassify <object>
  ├─ classifierId <string> *
  └─ text <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcPostClassify	任意	object	なし	
classifierId	必須	string	なし	クラス分類ID
text	必須	string	なし	分析対象のテキスト

出力値

```
im_watsonNlcPostClassify <object>
  ├ classes <object[]>
  │    ├ className <string>
  │    └ confidence <bigdecimal>
  ├ classifierId <string>
  ├ text <string>
  ├ topClass <string>
  └ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcPostClassify	object	なし	
classes	object	リスト	分類されたクラスの一覧
className	string	なし	分類されたクラス名
confidence	bigdecimal	なし	クラスの一致度（0～1）
classifierId	string	なし	クラス分類ID
text	string	なし	分析対象のテキスト
topClass	string	なし	一致度が最も高いクラス名
url	string	なし	REST APIのURL

NLC クラス分類情報の取得

IBM Watson NLCサービスで、学習中、または、学習済みのクラス分類の状態を取得するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Natural Language Classifier API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonNlcGetClassifier <object>
  └ classifierId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcGetClassifier	任意	object	なし	
classifierId	必須	string	なし	クラス分類ID

出力値

```
im_watsonNlcGetClassifier <object>
  ├ classifierId <string>
  ├ created <date>
  ├ language <string>
  ├ name <string>
  ├ status <string>
  ├ statusDescription <string>
  └ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcGetClassifier	object	なし	

項目名	型	配列/リスト	説明
classifierId	string	なし	クラス分類ID
created	date	なし	作成日時
language	string	なし	言語
name	string	なし	クラス分類名
status	string	なし	学習状況
statusDescription	string	なし	学習状況の詳細
url	string	なし	REST APIのURL

NLC クラス分類の削除

IBM Watson NLCサービスで、学習中、または、学習済みのクラス分類を削除するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Natural Language Classifier API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonNlcDeleteClassifier <object>
  └ classifierId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcDeleteClassifier	任意	object	なし	
classifierId	必須	string	なし	クラス分類ID

出力値

```
im_watsonNlcDeleteClassifier <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonNlcDeleteClassifier	object	なし	

ドキュメントの変換（文字列）

IBM Watson Document Conversionサービスで、各種ドキュメントから IBM Watson が識別可能なテキストデータを抽出するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Document Conversion API Reference - IBM Watson Developer Cloud

> **コラム**
>
> APIバージョンについて
>
> このタスクで実行可能なDocument ConversionサービスのAPIバージョンは「2015-12-15」です。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonDocPostConvertDocumentText <object>
  ├─ config <object> *
  │    ├─ conversionTarget <string> *
  │    ├─ normalizedHtml <object>
  │    │    ├─ excludeContent <map>
  │    │    ├─ excludeTagAttributes <string[]>
  │    │    ├─ excludeTagsCompletely <string[]>
  │    │    ├─ excludeTagsKeepContent <string[]>
  │    │    ├─ keepContent <map>
  │    │    └─ keepTagAttributes <string[]>
  │    ├─ pdf <object>
  │    │    └─ handling <object>
  │    │         ├─ bold <boolean>
  │    │         ├─ italic <boolean>
  │    │         ├─ level <integer> *
  │    │         ├─ maxSize <integer>
  │    │         ├─ minSize <integer>
  │    │         └─ name <string>
  │    └─ word <object>
  │         ├─ handling <object>
  │         │    ├─ bold <boolean>
  │         │    ├─ italic <boolean>
  │         │    ├─ level <integer> *
  │         │    ├─ maxSize <integer>
  │         │    ├─ minSize <integer>
  │         │    └─ name <string>
  │         └─ styles <object>
  │              ├─ level <integer> *
  │              └─ names <string[]>
  └─ file <binary> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostConvertDocumentText	任意	object	なし	
config	必須	object	なし	抽出オプション
conversionTarget	必須	string	なし	出力するテキストデータの形式 指定可能な値は以下の通りです。 ▪ normalized_text ▪ normalized_html
normalizedHtml	任意	object	なし	「conversionTarget」が normalized_html の場合に設定できる変換オプション
excludeContent	任意	map	なし	変換されていないメインのコンテンツを識別する値
excludeTagAttributes	任意	string	リスト	HTMLタグに含めない属性名の一覧 「keepTagAttributes」と排他指定です。
excludeTagsCompletely	任意	string	リスト	コンテンツから削除する対象のタグ一覧
excludeTagsKeepContent	任意	string	リスト	コンテンツから削除する対象のタグ一覧 （コンテンツ内容は保持）
keepContent	任意	map	なし	コンテンツとして識別する対象

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
keepTagAttributes	任意	string	リスト	HTMLタグに含める属性名の一覧 「excludeTagAttributes」と排他指定です。
pdf	任意	object	なし	抽出する元データがPDFの場合に設定できるオプション
word	任意	object	なし	抽出する元データがMS-WORDの場合に設定できるオプション
handling	任意	object	なし	抽出オプション
styles	任意	object	なし	抽出するスタイル
bold	任意	boolean	なし	太字かどうかを抽出する場合は true
italic	任意	boolean	なし	斜体かどうかを抽出する場合は true
level	条件付必須（※1）	integer	なし	見出しレベルh1～h6を示す番号（1～6）
maxSize	任意	integer	なし	見出しレベルの最大フォントサイズ
minSize	任意	integer	なし	見出しレベルの最小フォントサイズ
name	任意	string	なし	フォント名
names	任意	string	リスト	見出しとみなすスタイル名の一覧
file	必須	binary	なし	テキストを抽出する元データ

（※1）config/pdf/handling, config/word/handling, config/word/styles を指定する場合のみ必須。

出力値

```
im_watsonDocPostConvertDocumentText <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostConvertDocumentText	string	なし	抽出されたテキストデータ

ドキュメントの変換（分割）

IBM Watson Document Conversionサービスで、各種ドキュメントから IBM Watson が識別可能なテキストデータを抽出するタスクです。
「*ドキュメントの変換（文字列）*」タスクとは異なり、文章の階層構造を考慮して抽出します。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Document Conversion API Reference - IBM Watson Developer Cloud

> **コラム**
>
> APIバージョンについて
>
> このタスクで実行可能なDocument ConversionサービスのAPIバージョンは「2015-12-15」です。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonDocPostConvertDocumentUnits <object>
 ├─ config <object> *
 │    ├─ conversionTarget <string> *
 │    ├─ pdf <object>
 │    │    └─ handling <object>
 │    │         ├─ bold <boolean>
 │    │         ├─ italic <boolean>
 │    │         ├─ level <integer> *
 │    │         ├─ maxSize <integer>
 │    │         ├─ minSize <integer>
 │    │         └─ name <string>
 │    └─ word <object>
 │         ├─ handling <object>
 │         │    ├─ bold <boolean>
 │         │    ├─ italic <boolean>
 │         │    ├─ level <integer> *
 │         │    ├─ maxSize <integer>
 │         │    ├─ minSize <integer>
 │         │    └─ name <string>
 │         └─ styles <object>
 │              ├─ level <integer> *
 │              └─ names <string[]>
 └─ file <binary> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostConvertDocumentUnits	任意	object	なし	
config	必須	object	なし	抽出オプション
conversionTarget	必須	string	なし	出力するテキストデータの形式 指定可能な値は以下の通りです。 ▪ answer_units
pdf	任意	object	なし	抽出する元データがPDFの場合に設定できるオプション
word	任意	object	なし	抽出する元データがMS-WORDの場合に設定できるオプション
handling	任意	object	なし	抽出オプション
styles	任意	object	なし	抽出するスタイル
bold	任意	boolean	なし	太字かどうかを抽出する場合は true
italic	任意	boolean	なし	斜体かどうかを抽出する場合は true
level	条件付必須（※1）	integer	なし	見出しレベルh1～h6を示す番号（1～6）
maxSize	任意	integer	なし	見出しレベルの最大フォントサイズ
minSize	任意	integer	なし	見出しレベルの最小フォントサイズ
name	任意	string	なし	フォント名
names	任意	string	リスト	見出しとみなすスタイル名の一覧
file	必須	binary	なし	テキストを抽出する元データ

（※1）config/pdf/handling, config/word/handling, config/word/styles を指定する場合のみ必須。

出力値

```
im_watsonDocPostConvertDocumentUnits <object>
  ├─ answerUnits <object[]>
  │    ├─ content <object[]>
  │    │    ├─ mediaType <string>
  │    │    └─ text <string>
  │    ├─ direction <string>
  │    ├─ id <string>
  │    ├─ parentId <string>
  │    ├─ title <string>
  │    └─ type <string>
  ├─ mediaTypeDetected <string>
  ├─ metadata <object[]>
  │    ├─ content <string>
  │    └─ name <string>
  ├─ sourceDocumentId <string>
  ├─ timestamp <calendar>
  └─ warnings <object[]>
       ├─ description <string>
       ├─ phase <string>
       └─ warningId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostConvertDocumentUnits	string	なし	
answerUnits	object	リスト	分割単位
content	object	リスト	コンテンツ
mediaType	string	なし	メディアタイプ
text	string	なし	抽出されたテキストデータ
direction	string	なし	記述方向 `ltr` または `rtl`
id	string	なし	単位ID
parentId	string	なし	親の単位ID
title	string	なし	タイトル
type	string	なし	種別
mediaTypeDetected	string	なし	認識された元データのメディアタイプ
metadata	object	リスト	メタデータの一覧
content	string	なし	メタデータの名称
name	string	なし	メタデータの値
sourceDocumentId	string	なし	元データを示すユニークなID
timestamp	calendar	なし	タイムスタンプ
warnings	object	リスト	警告情報
description	string	なし	警告の詳細
phase	string	なし	警告が生成された際の変換プロセスを示す文字列
warningId	string	なし	警告ID

RaR用インデックスの生成

IBM Watson Document Conversionサービスで、各種ドキュメントから IBM Watson が識別可能なRetrieve and Rank用インデックスを作成するタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Document Conversion API Reference - IBM Watson Developer Cloud

> **コラム**
>
> APIバージョンについて
>
> このタスクで実行可能なDocument ConversionサービスのAPIバージョンは「2015-12-15」です。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonDocPostIndexDocument <object>
  ├─ config <object>
  │    ├─ convertDocument <object>
  │    │    └─ normalizedHtml <object>
  │    │         ├─ excludeContent <map>
  │    │         ├─ excludeTagAttributes <string[]>
  │    │         ├─ excludeTagsCompletely <string[]>
  │    │         ├─ excludeTagsKeepContent <string[]>
  │    │         ├─ keepContent <map>
  │    │         └─ keepTagAttributes <string[]>
  │    └─ retrieveAndRank <object>
  │         ├─ clusterId <string>
  │         ├─ dryRun <boolean>
  │         ├─ fields <object>
  │         │    ├─ exclude <string[]>
  │         │    ├─ include <string[]>
  │         │    └─ mappings <object[]>
  │         │         ├─ from <string>
  │         │         └─ to <string>
  │         ├─ searchCollection <string>
  │         └─ serviceInstanceId <string>
  ├─ file <binary> *
  └─ metadata <object>
       ├─ name <string>
       └─ value <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostIndexDocument	任意	object	なし	
config	任意	object	なし	抽出オプション
convertDocument	任意	object	なし	構造を定義するオプション
normalizedHtml	任意	object	なし	変換オプション
excludeContent	任意	map	なし	変換されていないメインのコンテンツを識別する値
excludeTagAttributes	任意	string	リスト	HTMLタグに含めない属性名の一覧 「keepTagAttributes」と排他指定です。
excludeTagsCompletely	任意	string	リスト	コンテンツから削除する対象のタグ一覧
excludeTagsKeepContent	任意	string	リスト	コンテンツから削除する対象のタグ一覧（コンテンツ内容は保持）
keepContent	任意	map	なし	コンテンツとして識別する対象
keepTagAttributes	任意	string	リスト	HTMLタグに含める属性名の一覧 「excludeTagAttributes」と排他指定です。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
retrieveAndRank	任意	object	なし	Retrieve and Rankサービスとの連携オプション
clusterId	任意	string	なし	Retrieve and RankサービスのSolrクラスタID
dryRun	任意	boolean	なし	どのようにインデックスされるのかテストする場合は true
fields	任意	object	なし	ドキュメントのメタデータとSolrのフィールドを接続するオプション
exclude	任意	object	リスト	除外するフィールド名の一覧
include	任意	object	リスト	含めるフィールド名の一覧
mappings	任意	object	リスト	ドキュメントのフィールドとSolrのフィールド間のマッピング
from	任意	string	なし	ドキュメントのフィールド名
to	任意	string	なし	Solrのフィールド名
searchCollection	条件付必須（※1）	string	なし	Retrieve and Rankサービスの「collection_name」値
serviceInstanceId	条件付必須（※1）	string	なし	Retrieve and Rankサービスの識別ID
file	必須	binary	なし	インデックスを抽出する元データ
metadata	任意	object	なし	メタデータの一覧
name	任意	string	なし	メタデータの名前
value	任意	string	なし	メタデータの値

（※1）config/retrieveAndRank/dryRun に null, false を指定する場合のみ必須。

出力値

```
im_watsonDocPostIndexDocument <object>
  ├ convertedDocument <object>
  │    ├ answerUnits <object[]>
  │    │    ├ content <object[]>
  │    │    │    ├ mediaType <string>
  │    │    │    └ text <string>
  │    │    ├ direction <string>
  │    │    ├ id <string>
  │    │    ├ parentId <string>
  │    │    ├ title <string>
  │    │    └ type <string>
  │    ├ mediaTypeDetected <string>
  │    └ metadata <object[]>
  │         ├ content <string>
  │         └ name <string>
  ├ solrDocument <map>
  ├ status <string>
  └ warnings <object[]>
       ├ description <string>
       ├ phase <string>
       └ warningId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonDocPostIndexDocument	object	なし	

項目名	型	配列/リスト	説明
answerUnits	object	リスト	分割単位
content	object	リスト	コンテンツ
mediaType	string	なし	メディアタイプ
text	string	なし	抽出されたテキストデータ
direction	string	なし	記述方向 ltr または rtl
id	string	なし	単位ID
parentId	string	なし	親の単位ID
title	string	なし	タイトル
type	string	なし	種別
mediaTypeDetected	string	なし	認識された元データのメディアタイプ
metadata	object	リスト	メタデータの一覧
content	string	なし	メタデータの名称
name	string	なし	メタデータの値
solrDocument	map	なし	Retrieve and Rankサービスにどのように登録されるのかを表すデータ 入力値の config/retrieveAndRank/dryRun に true を指定した場合のみ出力されます。
status	string	なし	インデックス作成要求のステータス 入力値の config/retrieveAndRank/dryRun に null, false を指定した場合のみ出力されます。
warnings	object	リスト	警告情報
description	string	なし	警告の詳細
phase	string	なし	警告が生成された際の変換プロセスを示す文字列
warningId	string	なし	警告ID

会話メッセージの送信

IBM Watson Conversationサービスで、送信したメッセージに対する返答を受け取るような、会話を行うタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Conversation API Reference - IBM Watson Developer Cloud

> **コラム**
>
> APIバージョンについて
>
> このタスクで実行可能なConversationサービスのAPIバージョンは「2017-02-03」です。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonConversationPostMessage <object>
  ├─ messageRequest <object>
  │    ├─ alternateIntents <boolean>
  │    ├─ context <object>
  │    │    ├─ conversationId <string>
  │    │    └─ system <object>
  │    │         ├─ dialogRequestCounter <integer>
  │    │         ├─ dialogStack <object[]>
  │    │         │    └─ dialogNode <string>
  │    │         └─ dialogTurnCounter <integer>
  │    └─ input <object>
  │         └─ text <string>
  └─ workspaceId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonConversationPostMessage	任意	object	なし	
messageRequest	任意	object	なし	会話のリクエスト情報
alternateIntents	任意	boolean	なし	複数のインテントにマッチさせる場合は `true`
context	任意	object	なし	コンテキスト情報 会話を続ける場合は、前回タスク実行時の出力値「context」と同じ情報を指定します。
conversationId	任意	string	なし	会話ID
system	任意	object	なし	システム管理情報
dialogRequestCounter	任意	integer	なし	会話のリクエスト回数
dialogStack	任意	object	リスト	会話のスタック状態
dialogNode	任意	string	なし	ノード名
dialogTurnCounter	任意	integer	なし	会話の繰り返し回数
input	任意	object	なし	入力情報
text	任意	string	なし	送信する会話メッセージ
workspaceId	必須	string	なし	ワークスペースID

出力値

```
im_watsonConversationPostMessage <object>
  ├─ alternateIntents <boolean>
  ├─ context <object>
  │    ├─ conversationId <string>
  │    └─ system <object>
  │         ├─ dialogRequestCounter <integer>
  │         ├─ dialogStack <object[]>
  │         │    └─ dialogNode <string>
  │         └─ dialogTurnCounter <integer>
  ├─ entities <object[]>
  │    ├─ entity <string>
  │    ├─ location <integer[]>
  │    └─ value <string>
  ├─ input <object>
  │    └─ text <string>
  ├─ intents <object[]>
  │    ├─ confidence <bigdecimal>
  │    └─ intent <string>
  └─ output <object>
       ├─ logMessages <map>
       ├─ nodesVisited <string[]>
       └─ text <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonConversationPostMessage	object	なし	
alternateIntents	boolean	なし	複数のインテントにマッチさせた場合は `true`
context	object	なし	コンテキスト情報
conversationId	string	なし	会話ID
system	object	なし	システム管理情報
dialogRequestCounter	integer	なし	会話のリクエスト回数
dialogStack	object	リスト	会話のスタック状態
dialogNode	string	なし	ノード名
dialogTurnCounter	integer	なし	会話の繰り返し回数
entities	object	リスト	エンティティの一覧
entity	string	なし	エンティティ名
location	integer	リスト	エンティティの位置番号
value	string	なし	エンティティに一致した値
input	object	なし	入力情報
text	string	なし	Watson が受け取った会話メッセージ
intents	object	リスト	一致したインテントの一覧
confidence	bigdecimal	なし	インテントの一致度（0〜1）
intent	string	なし	インテント名
output	object	なし	出力情報
logMessages	map	なし	ログメッセージ
nodesVisited	string	リスト	現在のノード位置
text	string	リスト	Watson が発信した会話メッセージ

テキストから音声の生成

IBM Watson Text to Speechサービスで、送信したテキストデータから会話音声に変換を行うタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Text to Speech API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonTtsPostSynthesize <object>
  ├─ accept <string>
  ├─ body <object> *
  │    └─ text <string> *
  ├─ customizationId <string>
  └─ voice <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonTtsPostSynthesize	任意	object	なし	
accept	任意	string	なし	変換する音声データのMIMEタイプ
body	必須	object	なし	送信データ
text	必須	string	なし	送信するテキストデータ
customizationId	任意	string	なし	カスタム音声モデルのGUID
voice	任意	string	なし	音声モデルの種類

出力値

```
im_watsonTtsPostSynthesize <object>
  ├─ output <binary>
  └─ warnings <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonTtsPostSynthesize	object	なし	
output	binary	なし	合成された音声データ
warnings	string	なし	警告

音声からテキストの生成

IBM Watson Speech to Textサービスで、送信した音声データから会話を抽出し、テキストデータとして変換を行うタスクです。

入力値、出力値に関する詳細は、以下のAPIドキュメントを参照してください。

- Speech to Text API Reference - IBM Watson Developer Cloud

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	エラー発生時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_watsonSttPostRecognize <object>
  ├─ body <binary> *
  ├─ contentType <string> *
  ├─ continuous <boolean>
  ├─ customizationId <string>
  ├─ inactivityTimeout <integer>
  ├─ keywords <string[]>
  ├─ keywordsThreshold <float>
  ├─ maxAlternatives <integer>
  ├─ model <string>
  ├─ profanityFilter <boolean>
  ├─ smartFormatting <boolean>
  ├─ speakerLabels <boolean>
  ├─ timestamps <boolean>
  ├─ wordAlternativesThreshold <float>
  └─ wordConfidence <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_watsonSttPostRecognize	任意	object	なし	
body	必須	binary	なし	音声データ
contentType	必須	string	なし	音声データのMIMEタイプ
continuous	任意	boolean	なし	最初の文のみ取得する場合は false、音声全体を解析する場合は true
customizationId	任意	string	なし	カスタム音声モデルのGUID
inactivityTimeout	任意	integer	なし	無音検出する時間（単位：秒）
keywords	任意	string	リスト	スポットするキーワードの一覧
keywordsThreshold	任意	float	なし	キーワードをスポットする閾値
maxAlternatives	任意	integer	なし	認識される文の候補（alternatives）を出力する最大件数
model	任意	string	なし	認識対象の音声モデル
profanityFilter	任意	boolean	なし	NGワードのフィルタリングをしない場合は false
smartFormatting	任意	boolean	なし	日付、時刻、数値などを簡易的にフォーマットする場合は true
speakerLabels	任意	boolean	なし	話し手が複数人数の場合に、発言者の情報（speakerLabels）を出力する場合は true
timestamps	任意	boolean	なし	単語ごとの発声時間を出力する場合は true
wordAlternativesThreshold	任意	float	なし	代替の単語を採用する閾値（0〜1） 指定した場合は、代替の単語情報（wordAlternatives）が出力されます。
wordConfidence	任意	boolean	なし	単語ごとの信頼度（wordConfidence）を出力する場合は true

出力値

```
im_watsonSttPostRecognize <object>
  ├─ resultIndex <integer>
  ├─ results <object[]>
  │    ├─ alternatives <object[]>
  │    │    ├─ confidence <bigdecimal>
  │    │    ├─ timestamps <object[]>
  │    │    │    ├─ endTime <bigdecimal>
  │    │    │    ├─ startTime <bigdecimal>
  │    │    │    └─ word <string>
  │    │    ├─ transcript <string>
  │    │    └─ wordConfidence <object[]>
  │    │         ├─ confidence <bigdecimal>
  │    │         └─ word <string>
  │    ├─ flagFinal <boolean>
  │    └─ wordAlternatives <object[]>
  │         ├─ alternatives <object[]>
  │         │    ├─ confidence <bigdecimal>
  │         │    └─ word <string>
  │         ├─ endTime <bigdecimal>
  │         └─ startTime <bigdecimal>
  ├─ speakerLabels <object[]>
  │    ├─ confidence <bigdecimal>
  │    ├─ flagFinal <boolean>
  │    ├─ from <bigdecimal>
  │    ├─ speaker <integer>
  │    └─ to <bigdecimal>
  └─ warnings <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_watsonSttPostRecognize	object	なし	
resultIndex	integer	なし	解析結果一覧の開始点を示すインデックス
results	object	リスト	解析結果一覧
alternatives	object	リスト	認識される文の候補
confidence	bigdecimal	なし	信頼度（0〜1）
timestamps	object	リスト	単語ごとの時間情報
endTime	bigdecimal	なし	終了時間（単位：秒）
startTime	bigdecimal	なし	開始時間（単位：秒）
word	string	なし	単語
transcript	string	なし	認識された文
wordConfidence	object	リスト	単語ごとの信頼度
flagFinal	boolean	なし	最後のデータである場合は `true`
wordAlternatives	object	リスト	代替の単語情報
speakerLabels	object	リスト	発言者の情報
from	bigdecimal	なし	開始時間（単位：秒）
speaker	integer	なし	発言者の番号
to	bigdecimal	なし	終了時間（単位：秒）
warnings	string	リスト	警告メッセージ一覧

プロジェクトチーム

プロジェクトの登録

プロジェクトチームを登録するタスクです。

所属メンバーおよびプロジェクトの利用機能の登録も同時に行えます。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の値を設定する場合は、プロジェクトの登録後に *プロジェクト多言語情報の更新* を利用してください。
また、このタスクではプロジェクトの招待情報についての登録は行いません。
招待情報の登録を行いたい場合は、プロジェクトの登録後に *プロジェクト招待情報登録* を利用してください。

入力値

```
im_projectTeamAdd <object>
  ├─ functionCdList <string[]>
  ├─ memberList <object[]>
  |    ├─ postCds <string[]>
  |    └─ userCd <string>
  ├─ notes <string>
  ├─ projectCategoryCd <string>
  ├─ projectCd <string> *
  ├─ projectName <string> *
  ├─ projectStatus <string> *
  └─ sortKey <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAdd	任意	object	なし	
functionCdList	任意	string	配列	利用機能コードの配列
memberList	任意	object	配列	メンバー情報の配列
postCds	任意	string	配列	役職コードの配列 指定可能な値は以下の通りです。 プロジェクトリーダー：leader
userCd	任意	string	なし	ユーザコード
notes	任意	string	なし	備考
projectCategoryCd	任意	string	なし	プロジェクトカテゴリコード
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
projectName	必須	string	なし	プロジェクト名
projectStatus	必須	string	なし	ステータス 指定可能な値は以下の通りです。 有効：ACTIVE 無効：INACTIVE
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー

出力値

```
im_projectTeamAdd <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAdd	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクトの更新

プロジェクトチームを更新するタスクです。

所属メンバーおよびプロジェクトの利用機能の更新も同時に行えます。

多言語情報はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が更新されます。
ロケール毎の値を設定する場合は、*プロジェクト多言語情報の更新* を利用してください。
また、このタスクではプロジェクトの招待情報についての更新は行いません。
招待情報の更新を行いたい場合は、*プロジェクト招待情報登録* を利用してください。

入力値

```
im_projectTeamUpdate <object>
 ├─ functionCdList <string[]>
 ├─ memberList <object[]>
 |   ├─ postCds <string[]>
 |   └─ userCd <string>
 ├─ notes <string>
 ├─ projectCategoryCd <string>
 ├─ projectCd <string> *
 ├─ projectName <string> *
 ├─ projectStatus <string> *
 └─ sortKey <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdate	任意	object	なし	
functionCdList	任意	string	配列	利用機能コードの配列 既存の利用機能を削除し、指定した利用機能に入れ替えます。 指定されていない場合は、利用機能の更新を行いません。
memberList	任意	object	配列	メンバー情報の配列 既存のメンバーを削除し、指定したメンバーおよび役職に入れ替えます。 指定されていない場合は、メンバーの更新を行いません。
postCds	任意	string	配列	役職コードの配列 指定可能な値は以下の通りです。 プロジェクトリーダー：leader
userCd	任意	string	なし	ユーザコード
notes	任意	string	なし	備考
projectCategoryCd	任意	string	なし	プロジェクトカテゴリコード
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
projectName	必須	string	なし	プロジェクト名
projectStatus	必須	string	なし	ステータス 指定可能な値は以下の通りです。 有効：ACTIVE 無効：INACTIVE
sortKey	必須	integer	なし	ソートキー

出力値

```
im_projectTeamUpdate <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdate	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクトの削除

指定したプロジェクトチームを削除するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamDelete <object>
  └ projectCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamDelete	任意	object	なし	
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード

出力値

```
im_projectTeamDelete <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamDelete	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクト多言語情報の更新

指定されたプロジェクトチームの多言語情報を更新するタスクです。
指定されたロケールの多言語情報のみ更新を行います。複数のロケールの情報を一括で更新することはできません。

入力値

```
im_projectTeamUpdateLocalize <object>
  ├ locale <locale> *
  ├ notes <string>
  ├ projectCd <string> *
  └ projectName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateLocalize	任意	object	なし	
locale	必須	locale	なし	ロケール
notes	任意	string	なし	備考
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
projectName	必須	string	なし	プロジェクト名

出力値

```
im_projectTeamUpdateLocalize <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateLocalize	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクトの取得

指定したプロジェクトチーム情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamGet <object>
  └ projectCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamGet	任意	object	なし	
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード

出力値

```
im_projectTeamGet <object>
  ├ functionCdList <string[]>
  ├ localizeList <object[]>
  |   ├ locale <locale>
  |   ├ notes <string>
  |   └ projectName <string>
  ├ memberList <object[]>
  |   ├ postCds <string[]>
  |   └ userCd <string>
  ├ notes <string>
  ├ projectCategoryCd <string>
  ├ projectCd <string>
  ├ projectName <string>
  ├ projectStatus <string>
  └ sortKey <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamGet	object	なし	
functionCdList	string	配列	利用機能コードの配列
localizeList	object	配列	多言語情報の配列
locale	locale	なし	ロケール
notes	string	なし	備考
projectName	string	なし	プロジェクト名
memberList	object	配列	メンバー情報の配列
postCds	string	配列	役職コードの配列 取得される役職は以下の通りです。 プロジェクトリーダー：leader
userCd	string	なし	ユーザコード
notes	string	なし	備考（標準）
projectCategoryCd	string	なし	プロジェクトカテゴリコード
projectCd	string	なし	プロジェクトコード
projectName	string	なし	プロジェクト名（標準）
projectStatus	string	なし	ステータス 取得されるステータスは以下の通りです。 有効：ACTIVE 無効：INACTIVE
sortKey	integer	なし	ソートキー

プロジェクトメンバーの追加

指定したプロジェクトチームに対してメンバーを登録するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamAddMember <object>
  ├─ memberList <object[]>
  |    ├─ postCds <string[]>
  |    └─ userCd <string>
  └─ projectCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAddMember	任意	object	なし	
memberList	任意	object	配列	メンバー情報の配列
postCds	任意	string	配列	役職コードの配列 指定可能な値は以下の通りです。 プロジェクトリーダー : leader
userCd	任意	string	なし	ユーザコード
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード

出力値

```
im_projectTeamAddMember <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAddMember	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクトメンバーの削除

指定したプロジェクトチームからメンバーを削除するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamDeleteMember <object>
  ├─ projectCd <string> *
  └─ userCds <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamDeleteMember	任意	object	なし	
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
userCds	必須	string	配列	ユーザコードの配列

出力値

```
im_projectTeamDeleteMember <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamDeleteMember	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクトへの招待

指定したプロジェクトチームへの招待メールを送信するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamInvite <object>
  ├─ locale <locale> *
  ├─ projectCd <string> *
  └─ targetAddressList <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamInvite	任意	object	なし	
locale	必須	locale	なし	ロケール
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
targetAddressList	必須	string	配列	招待メールを送信するメールアドレスの配列

出力値

```
im_projectTeamInvite <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamInvite	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクト招待情報登録

指定されたプロジェクトチームに対して招待情報を登録するタスクです。

招待メールの件名と本文はシステムで利用可能なすべてのロケールに同じ値が登録されます。
ロケール毎の招待メールの件名と本文を設定する場合は、プロジェクトの招待情報の登録後に *プロジェクト招待情報のメールテンプレート更新* を利用してください。

入力値

```
im_projectTeamAddInvitation <object>
  ├─ externalUserFlag <boolean> *
  ├─ invSetId <string>
  ├─ limitDays <integer> *
  ├─ mailBccList <string[]>
  ├─ mailBody <string>
  ├─ mailCcList <string[]>
  ├─ mailFrom <string> *
  ├─ mailReplyTo <string>
  ├─ mailTitle <string>
  ├─ projectCd <string> *
  └─ userCdChangeFlag <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAddInvitation	任意	object	なし	
externalUserFlag	必須	boolean	なし	外部ユーザフラグ true を指定すると招待したユーザを外部ユーザとして扱います。
invSetId	任意	string	なし	招待情報ID 指定されていない場合は、一意のコードが自動で振り分けられます。
limitDays	必須	string	なし	招待期限日数
mailBccList	任意	string	配列	BCCの配列
mailBody	任意	string	なし	メール本文 入力を省略した場合はプロジェクトの標準のメール本文が利用されます。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
mailCcList	任意	string	配列	CCの配列
mailFrom	必須	string	なし	送信元
mailReplyTo	任意	string	なし	ReplyTo
mailTitle	任意	string	なし	件名 入力を省略した場合はプロジェクトの標準の件名が利用されます。
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
userCdChangeFlag	必須	integer	なし	招待時のユーザコード種別 指定可能な値は以下の通りです。 招待時のメールアドレスを使用する：0 招待されたユーザが決定する：1

出力値

```
im_projectTeamAddInvitation <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamAddInvitation	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクト招待情報取得

指定したプロジェクトチームの招待情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_projectTeamGetInvitation <object>
  └ projectCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamGetInvitation	任意	object	なし	
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード

出力値

```
im_projectTeamGetInvitation <object>
  ├ externalUserFlag <boolean>
  ├ invSetId <string>
  ├ limitDays <integer>
  ├ mailBccList <string[]>
  ├ mailCcList <string[]>
  ├ mailFrom <string>
  ├ mailReplyTo <string>
  ├ projectCd <string>
  ├ template <object[]>
  |   ├ locale <locale>
  |   ├ mailBody <string>
  |   └ mailTitle <string>
  └ userCdChangeFlag <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamGetInvitation	object	なし	

項目名	型	配列/リスト	説明
externalUserFlag	boolean	なし	外部ユーザフラグ true の場合は招待するユーザを外部ユーザとして扱います。
invSetId	string	なし	招待情報ID
limitDays	string	なし	招待の有効期間
mailBccList	string	配列	BCCの配列
mailCcList	string	配列	CCの配列
mailFrom	string	なし	送信元
mailReplyTo	string	なし	ReplyTo
projectCd	string	なし	プロジェクトコード
template	object	配列	招待メールテンプレート情報の配列
locale	locale	なし	ロケール
mailBody	string	なし	メール本文
mailTitle	string	なし	件名
userCdChangeFlag	integer	なし	招待時のユーザコード種別 取得される種別は以下の通りです。 招待時のメールアドレスを使用する：0 招待されたユーザが決定する：1

プロジェクト招待情報更新

指定したプロジェクトチームの招待情報を更新するタスクです。

このタスクでは招待メールの件名と本文の更新は行えません。
招待メールの件名とメール本文の更新を行いたい場合は、*プロジェクト招待情報のメールテンプレート更新* を利用してください。

入力値

```
im_projectTeamUpdateInvitation <object>
  ├─ externalUserFlag <boolean> *
  ├─ limitDays <integer> *
  ├─ mailBccList <string[]>
  ├─ mailCcList <string[]>
  ├─ mailFrom <string> *
  ├─ mailReplyTo <string>
  ├─ projectCd <string> *
  └─ userCdChangeFlag <integer> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateInvitation	任意	object	なし	
externalUserFlag	必須	boolean	なし	外部ユーザフラグ true を指定すると招待したユーザが外部ユーザとして扱われます。
limitDays	必須	string	なし	招待期限日数
mailBccList	任意	string	配列	BCCの配列
mailCcList	任意	string	配列	CCの配列
mailFrom	必須	string	なし	送信元

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
mailReplyTo	任意	string	なし	ReplyTo
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード
userCdChangeFlag	必須	integer	なし	招待時のユーザコード種別 指定可能な値は以下の通りです。 招待時のメールアドレスを使用する：0 招待されたユーザが決定する：1

出力値

```
im_projectTeamUpdateInvitation <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateInvitation	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

プロジェクト招待情報のメールテンプレート更新

指定したプロジェクトチームの招待情報のメールテンプレートを更新するタスクです。
指定されたロケールのメールテンプレートのみ更新を行います。複数のロケールのメールテンプレートを一括で更新することはできません。

入力値

```
im_projectTeamUpdateInvitationTemplate <object>
  ├ locale <locale> *
  ├ mailBody <string> *
  ├ mailTitle <string> *
  └ projectCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateInvitationTemplate	任意	object	なし	
locale	必須	locale	なし	ロケール
mailBody	必須	string	なし	メール本文
mailTitle	必須	string	なし	件名
projectCd	必須	string	なし	プロジェクトコード

出力値

```
im_projectTeamUpdateInvitationTemplate <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_projectTeamUpdateInvitationTemplate	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM-Knowledge

タグの登録

IM-Knowledgeのタグを登録するタスクです。

入力値

```
im_knowledgeRegisterTag <object>
  ├─ color <string>
  ├─ description <integer>
  ├─ iconClass <string>
  ├─ protect <boolean> *
  ├─ tagId <string>
  └─ tagName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_knowledgeRegisterTag	任意	object	なし	
color	任意	string	なし	色 色が指定されていない場合、ランダムに色を設定します。
description	任意	string	なし	説明
iconClass	任意	string	なし	アイコン
protect	必須	boolean	なし	タグの保護
tagId	任意	string	なし	タグID
tagName	必須	string	なし	タグ名

出力値

```
im_knowledgeRegisterTag <object>
  └─ tagId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_knowledgeRegisterTag	object	なし	
tagId	string	なし	タグID

Wikiの登録

Wikiを登録するタスクです。

入力値

```
im_wikiRegisterContents <object>
  ├─ comment <string>
  ├─ contents <string>
  ├─ formatType <string> *
  ├─ knowledgeGroupId <string> *
  ├─ tagIds <string[]>
  ├─ thumbnail <string>
  ├─ title <string> *
  ├─ wikiId <string> *
  └─ wikiName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiRegisterContents	任意	object	なし	
comment	任意	string	なし	コメント
contents	任意	string	なし	Wikiページの本文
formatType	任意	string	なし	テキスト形式 MARKDOWN TEXTILE PLAIN

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
knowledgeGroupId	必須	string	なし	ナレッジグループID
tagIds	任意	string	配列	タグIDの配列
thumbnail	任意	string	なし	サムネイル
title	必須	string	なし	Wikiのメインページのタイトル
wikiId	必須	string	なし	WikiID
wikiName	必須	string	なし	Wiki名

出力値

```
im_wikiRegisterContents <object>
  └ mainPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiRegisterContents	object	なし	
mainPageCd	string	なし	Wikiのメインページコード

Wikiの更新

Wikiを更新するタスクです。

入力値

```
im_wikiUpdateContents <object>
  ├ knowledgeGroupId <string> *
  ├ mainPageCd <string> *
  ├ tagIds <string[]>
  ├ thumbnail <string>
  ├ wikiId <string> *
  └ wikiName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiUpdateContents	任意	object	なし	
knowledgeGroupId	必須	string	なし	ナレッジグループID
mainPageCd	必須	string	なし	メインページコード
tagIds	任意	string	配列	タグIDの配列
thumbnail	任意	string	なし	サムネイル
wikiId	必須	string	なし	WikiID
wikiName	必須	string	なし	Wiki名

出力値

```
im_wikiUpdateContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiUpdateContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Wikiの削除

Wikiを削除するタスクです。
削除したWikiコンテンツ内のWikiページは全て削除されます。

入力値

```
im_wikiDeleteContents <object>
  └ wikiId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeleteContents	任意	object	なし	
wikiId	必須	string	なし	WikiID

出力値

```
im_wikiDeleteContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeleteContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Wikiの取得

Wikiを取得するタスクです。

入力値

```
im_wikiGetContents <object>
  └ wikiId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetContents	任意	object	なし	
wikiId	必須	string	なし	WikiID

出力値

```
im_wikiGetContents <object>
  ├ createDate <date>
  ├ createUserCd <string>
  ├ createUserName <string>
  ├ knowledgeGroupId <string>
  ├ mainPageCd <string>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUserCd <string>
  ├ recordUserName <string>
  ├ tags <object[]>
  |   ├ color <string>
  |   ├ createDate <date>
  |   ├ createUserCd <string>
  |   ├ createUserName <string>
  |   ├ description <string>
  |   ├ iconClass <string>
  |   ├ protect <boolean>
  |   ├ recordDate <date>
  |   ├ recordUserCd <string>
  |   ├ recordUserName <string>
  |   ├ tagId <string>
  |   └ tagName <string>
  ├ thumbnail <string>
  ├ wikiId <string>
  └ wikiName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetContents	object	なし	
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
mainPageCd	string	なし	メインページコード
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tags	object	リスト	タグ情報リスト
color	string	なし	色
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	説明
iconClass	string	なし	アイコン
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名

Wikiページの登録

Wikiページを登録するタスクです。
Wikiコンテンツを指定する必要があります。

入力値

```
im_wikiRegisterPage <object>
  ├ comment <string>
  ├ contents <string>
  ├ formatType <string> *
  ├ parentWikiPageCd <string>
  ├ title <string> *
  └ wikiId <string> *
```

comment	任意	**string**	なし	コメント
contents	任意	string	なし	Wikiページの本文

comment	任意	**string**	なし	コメント
formatType	任意	string	なし	テキスト形式 MARKDOWN TEXTILE PLAIN
parentWikiPageCd	任意	string	なし	親のWikiページコード
title	必須	string	なし	Wikiのメインページのタイトル
wikiId	必須	string	なし	WikiID

出力値

```
im_wikiRegisterPage <object>
  └ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiRegisterPage	object	なし	
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページの更新

Wikiページを更新するタスクです。

入力値

```
im_wikiUpdatePage <object>
  ├ comment <string>
  ├ contents <string>
  ├ formatType <string> *
  ├ parentWikiPageCd <string>
  ├ title <string> *
  ├ version <string> *
  └ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiUpdatePage	任意	object	なし	
comment	任意	string	なし	コメント
contents	任意	string	なし	Wikiページの本文
formatType	任意	string	なし	テキスト形式 MARKDOWN TEXTILE PLAIN
parentWikiPageCd	任意	string	なし	親のWikiページコード
title	必須	string	なし	Wikiページのタイトル
version	必須	string	なし	バージョン
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiUpdatePage <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiUpdatePage	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Wikiページの削除

Wikiページを削除するタスクです。
配下のページ対する操作をプロパティで設定してください。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
配下のページ対する操作	任意	select	RESET_TOP	RESET：配下のページを指定したページ配下に移動します。 RESET_TOP：配下のページを最上位階層配下に移動します。 DELETE：配下のページも含めて削除します。

入力値

```
im_wikiDeletePage <object>
  ├─ parentWikiPageCd <string>
  └─ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeletePage	任意	object	なし	
parentWikiPageCd	任意	string	なし	配下のページを移動する先のWikiページコード 「配下のページ対する操作」で、「RESET」を選択した場合のみ指定してください。
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiDeletePage <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeletePage	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Wikiページの取得

Wikiページを取得するタスクです。
添付ファイルの情報も含まれます。

入力値

```
im_wikiGetPage <object>
  └─ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetPage	任意	object	なし	
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiGetPage <object>
  ├─ attachFileInfos <object[]>
  |    ├─ comment <string>
  |    ├─ createDate <date>
  |    ├─ createUserCd <string>
  |    ├─ createUserName <string>
  |    ├─ fileCd <string>
  |    └─ fileName <string>
  ├─ comment <string>
  ├─ contents <string>
  ├─ createDate <date>
  ├─ createUserCd <string>
  ├─ createUserName <string>
  ├─ formatType <string>
  ├─ parentWikiPageCd <string>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ recordUserName <string>
  ├─ title <string>
  ├─ version <string>
  └─ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetPage	object	なし	
attachFileInfos	object	リスト	添付ファイル情報リスト
comment	string	なし	コメント
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileName	string	なし	添付ファイル名
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	Wikiページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	テキスト形式 MARKDOWN TEXTILE PLAIN
parentWikiPageCd	string	なし	親のWikiページコード
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
title	string	なし	タイトル
version	string	なし	バージョン
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページに添付ファイルを登録

Wikiページに添付ファイルを登録するタスクです。

添付ファイル（1つ）を登録します。

入力値

```
im_wikiRegisterAttachFile <object>
  ├─ comment <string>
  ├─ data <binary> *
  ├─ fileName <string> *
  └─ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiRegisterAttachFile	任意	object	なし	
comment	任意	string	なし	コメント
data	必須	binary	なし	添付ファイル
fileName	必須	string	なし	添付ファイル名
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiRegisterAttachFile <object>
  └─ fileCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiRegisterAttachFile	object	なし	
fileCd	string	なし	添付ファイルコード

Wikiページの添付ファイルを取得

Wikiページの添付ファイルを取得するタスクです。
添付ファイル（1つ）を取得します。

入力値

```
im_wikiGetAttachFile <object>
  ├─ fileCd <string> *
  └─ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetAttachFile	任意	object	なし	
fileCd	必須	string	なし	添付ファイルコード
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiGetAttachFile <object>
  ├─ comment <string>
  ├─ createDate <date>
  ├─ createUserCd <string>
  ├─ createUserName <string>
  ├─ data <binary>
  ├─ fileCd <string>
  └─ fileName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiGetAttachFile	object	なし	
comment	string	なし	コメント
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
data	binary	なし	添付ファイル
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileName	string	なし	添付ファイル名

Wikiページから添付ファイルを削除

Wikiページから添付ファイル削除を削除するタスクです。
一度に複数のファイルを削除することが可能です。

入力値

```
im_wikiDeleteAttachFile <object>
  ├─ fileCds <string[]> *
  └─ wikiPageCd <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeleteAttachFile	任意	object	なし	
fileCds	必須	string	配列	添付ファイルコード配列
wikiPageCd	必須	string	なし	Wikiページコード

出力値

```
im_wikiDeleteAttachFile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_wikiDeleteAttachFile	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ワークブックの取得

ワークブックを取得するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetGetContents <object>
  └─ workbookId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetGetContents	任意	object	なし	
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID

出力値

```
im_spreadsheetGetContents <object>
  ├─ contents <string>
  ├─ createDate <date>
  ├─ createUserCd <string>
  ├─ createUserName <string>
  ├─ description <string>
  ├─ knowledgeGroupId <string>
  ├─ recordDate <date>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ recordUserName <string>
  ├─ status <string>
  ├─ tags <object[]>
  |    ├─ color <string>
  |    ├─ createDate <date>
  |    ├─ createUserCd <string>
  |    ├─ createUserName <string>
  |    ├─ description <string>
  |    ├─ iconClass <string>
  |    ├─ protect <boolean>
  |    ├─ recordDate <date>
  |    ├─ recordUserCd <string>
  |    ├─ recordUserName <string>
  |    ├─ tagId <string>
  |    └─ tagName <string>
  ├─ thumbnail <string>
  ├─ workbookId <string>
  └─ workbookName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetGetContents	object	なし	
contents	string	なし	ワークブック
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	ワークブックの説明
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
status	string	なし	ワークブックのステータス READONLY：読み取り専用 WRITABLE：書き込み可能
tags	object	リスト	タグ情報リスト
color	string	なし	色
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	説明
iconClass	string	なし	アイコン
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	更新日時

項目名	型	配列/リスト	説明
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
workbookId	string	なし	ワークブックID
workbookName	string	なし	ワークブック名

ワークブックの登録

ワークブックを登録するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetRegisterContents <object>
  ├─ comment <string>
  ├─ contents <string> *
  ├─ description <string>
  ├─ knowledgeGroupId <string> *
  ├─ status <string> *
  ├─ tagIds <string[]>
  ├─ thumbnail <string>
  ├─ workbookId <string> *
  └─ workbookName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetRegisterContents	任意	object	なし	
comment	任意	string	なし	コメント
contents	必須	string	なし	ワークブック
description	任意	string	なし	ワークブックの説明
knowledgeGroupId	必須	string	なし	ナレッジグループID
status	必須	string	なし	ワークブックのステータス READONLY：読み取り専用 WRITABLE：書き込み可能
tagIds	任意	string	配列	タグIDの配列
thumbnail	任意	string	なし	サムネイル
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID
workbookName	必須	string	なし	ワークブック名

出力値

```
im_spreadsheetRegisterContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetRegisterContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ワークブックの更新

ワークブックを更新するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetUpdateContents <object>
  ├─ comment <string>
  ├─ contents <string> *
  ├─ description <string>
  ├─ knowledgeGroupId <string> *
  ├─ latestRecordDate <date> *
  ├─ status <string> *
  ├─ tagIds <string[]>
  ├─ thumbnail <string>
  ├─ workbookId <string> *
  └─ workbookName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetUpdateContents	任意	object	なし	
comment	任意	string	なし	コメント
contents	必須	string	なし	ワークブック
description	任意	string	なし	ワークブックの説明
knowledgeGroupId	必須	string	なし	ナレッジグループID
latestRecordDate	必須	date	なし	最終更新日時 排他チェックを行うための日時です。 データベースに保存されているワークブックのrecordDateよりも古い日時を指定した場合は更新に失敗します。
status	必須	string	なし	ワークブックのステータス READONLY：読み取り専用 WRITABLE：書き込み可能
tagIds	任意	string	配列	タグIDの配列
thumbnail	任意	string	なし	サムネイル
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID
workbookName	必須	string	なし	ワークブック名

出力値

```
im_spreadsheetUpdateContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetUpdateContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ワークブックの削除

ワークブックを削除するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetDeleteContents <object>
  ├─ latestRecordDate <date> *
  └─ workbookId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetDeleteContents	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
latestRecordDate	必須	date	なし	最終更新日時 排他チェックを行うための日時です。 データベースに保存されているワークブックのrecordDateよりも古い日時を指定した場合は削除に失敗します。
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID

出力値

```
im_spreadsheetDeleteContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetDeleteContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ワークブックの外部公開

ワークブックを外部公開するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetPublishContents <object>
  ├─ enablePassword <boolean> *
  ├─ password <string>
  ├─ publicStatus <date> *
  └─ workbookId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetPublishContents	任意	object	なし	
enablePassword	必須	string	なし	パスワードの利用 true：有効 / false：無効
password	任意	string	なし	パスワード パスワードの利用を有効に指定している場合は必須です。
publicStatus	必須	string	なし	公開ワークブックのステータス READONLY：読み取り専用 WRITABLE：書き込み可能
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID

出力値

```
im_spreadsheetPublishContents <object>
  └─ path <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetPublishContents	object	なし	
path	string	なし	公開ワークブックのパス

ワークブックの外部公開停止

ワークブックの外部公開を停止するタスクです。

入力値

```
im_spreadsheetUnpublishContents <object>
  └ workbookId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetUnpublishContents	任意	object	なし	
workbookId	必須	string	なし	ワークブックID

出力値

```
im_spreadsheetUnpublishContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_spreadsheetUnpublishContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM-BloomMaker

このカテゴリでは IM-BloomMaker に関するタスクを提供します。

ファイル情報のアップロード

IM-BloomMakerの添付ファイル情報をアップロードするタスクです。

このタスクを実行すると、セッションスコープストレージにファイルが保存され、ファイルを特定するキーが返却されます。 入力値の file に値が指定されていない場合、エラーが発生します。

このタスクを実行しても、ファイルは永続化されません。 セッションがタイムアウトした際にアップロードしたファイルは削除されます。 ファイルを永続化する場合は *ファイル情報の登録* タスクに返却されたキーを使用してファイルの永続化を行ってください。

コラム

アップロードファイルのサイズには制限があります。初期値は10MBです。
この制限値は設定ファイルにより変更可能です。
詳細は「設定ファイルリファレンス」-「ファイルアップロードエレメント設定」を参照してください。

入力値

```
im_bmUploadFileInfo <object>
  ├ file <binary> *
  └ fileName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmUploadFileInfo	任意	object	なし	
file	必須	binary	なし	ファイルの内容そのもの
fileName	必須	string	なし	ファイル名

出力値

```
im_bmUploadFileInfo <object>
  └ key <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmUploadFileInfo	object	なし	

項目名	型	配列/リスト	説明
key	string	なし	ファイルを特定するキー

ファイル情報の登録

IM-BloomMakerの添付ファイル情報を登録するタスクです。

ファイルアップロードエレメントを利用してファイルをアップロードすると、セッションスコープストレージにファイルが保存され、ファイルを特定するキーが返却されます。 このままではログアウトする、またはセッションがタイム・アウトするタイミングでセッションスコープストレージに格納されたファイルは削除されてしまいます。 このタスクを呼び出し、ファイルを永続化してください。

このタスクの実行にはアップロード時に返却されたキーが必要です。

このタスクを実行すると、セッションスコープストレージに格納済みのファイルを、テナントデータベースに永続化します。 指定したファイルが存在しない場合、エラーが発生します。

入力値

```
im_bmRegisterFileInfo <object>
  ├─ applicationId <string>
  ├─ businessKey <string>
  ├─ key <string[]> *
  └─ metadata <map>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmRegisterFileInfo	任意	object	なし	
applicationId	任意	string	なし	アプリケーションを特定するID
businessKey	任意	string	なし	業務を特定するキー
key	必須	string	配列	ファイルアップロードエレメントで取得した、ファイルを特定するキー
metadata	任意	map	なし	各アプリケーションで使用可能なメタデータ

出力値

```
im_bmRegisterFileInfo <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmRegisterFileInfo	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイル情報の取得

IM-BloomMakerの添付ファイル情報を取得するタスクです。

セッションスコープストレージ、テナントデータベースの順にファイルを探索し、発見した場合その情報を返します。 指定したファイル情報が存在しない場合、エラーが発生します。 *ファイル情報の登録* も参照してください。

入力値

```
im_bmGetFileInfo <object>
  └─ key <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmGetFileInfo	任意	object	なし	
key	必須	string	配列	ファイルアップロードエレメントで取得した、ファイルを特定するキー

出力値

```
im_bmGetFileInfo <object>
  ├─ applicationId <string>
  ├─ businessKey <string>
  ├─ contents <binary>
  ├─ fileName <string>
  ├─ fileSize <long>
  ├─ metadata <map>
  └─ mimeType <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmGetFileInfo	object	なし	
applicationId	string	なし	アプリケーションを特定するキー
businessKey	string	なし	業務を特定するキー
contents	binary	なし	ファイルの内容そのもの
fileName	string	なし	ファイル名
fileSize	long	なし	ファイルサイズ
metadata	map	なし	各アプリケーションで使用可能なメタデータ
mimeType	string	なし	MIME Type

ファイル情報の削除

IM-BloomMakerの添付ファイル情報を削除するタスクです。

セッションスコープストレージ、テナントデータベースのどちらからもファイルの情報を削除します。 指定したファイル情報が存在しない場合、なにも行われません。 *ファイル情報の登録* も参照してください。

入力値

```
im_bmDeleteFileInfo <object>
  └─ key <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmDeleteFileInfo	任意	object	なし	
key	必須	string	配列	ファイルアップロードエレメントで取得したファイルを特定するキー

出力値

```
im_bmDeleteFileInfo <object>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmDeleteFileInfo	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイル情報の一括置換

IM-BloomMakerの添付ファイル情報を一括置換するタスクです。

このタスクでは、添付ファイル情報の登録・削除を一括で行うことができます。 *ファイル情報の登録* 、*ファイル情報の削除* も参照してください。

例えば、以下の流れを想定します。

- マルチファイルアップロードエレメントを利用して、「ファイルA」「ファイルB」をアップロード済みである。
- この状態から、「ファイルB」を削除して、新たに「ファイルC」を登録する。

- 最終的に、残るファイルキーの一覧は「ファイルA」「ファイルC」である。

「添付ファイル情報の一括置換」の入力値に、以下の情報を与えます。

- beforeFileKeys：「ファイルA」「ファイルB」のファイルキー
- afterFileKeys：「ファイルA」「ファイルC」のファイルキー

このタスクを実行すると、以下の処理が行われます。

- 「ファイルA」の変更は行われない。
- 「ファイルB」が永続化された場所から削除される。
- 「ファイルC」が新規登録（永続化）される。

出力値から以下の情報が得られます。

- createdFileKeys：「ファイルC」のファイルキー
- unchangedFileKeys：「ファイルA」のファイルキー
- deletedFileKeys：「ファイルB」のファイルキー

このように、入力されたファイルキーの情報を比較し、どのファイルが削除され、どのファイルが変更されずに残り、そしてどのファイルが新たに登録されたのかを判別し、ファイルキーの登録・削除を一括で行います。

このタスクの実行には、変更前のキーとアップロード時に返却されたキーが必要です。

入力値

```
im_bmReplaceFileInfo <object>
  ├─ afterFileKeys <string[]> *
  └─ beforeFileKeys <string[]> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmReplaceFileInfo	任意	object	なし	
afterFileKeys	必須	string	配列	ファイルアップロードエレメントで取得した、変更前のファイルを特定するキー
beforeFileKeys	必須	string	配列	ファイルアップロードエレメントで取得した、変更後のファイルを特定するキー

出力値

```
im_bmReplaceFileInfo <object>
  ├─ createdFileKeys <string[]>
  ├─ deletedFileKeys <string[]>
  └─ unchangedFileKeys <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmReplaceFileInfo	object	なし	
createdFileKeys	string	配列	登録されたファイルキー
deletedFileKeys	string	配列	削除されたファイルキー
unchangedFileKeys	string	配列	変更されていないファイルキー

ファイル情報一覧の取得

IM-BloomMakerの添付ファイル情報のうち、条件に一致するものを一括で取得するタスクです。

テナントデータベースから、applicationId, businessKey に一致するファイルを探索し、発見した場合その情報を返します。 このタスクでは、セッションスコープストレージに保存されているファイル情報は探索しません。 *ファイル情報の登録* タスクで、テナントデータベースに登録されたものが対象です。

入力値に指定した applicationId, businessKey の両方に一致する添付ファイル情報を探索します。 それぞれの項目に null を指定した

場合は、検索条件に使用しません。 そのため、両方 null を指定した場合は、全件取得します。

このタスクでは、各ファイルの内容は取得しません。 ファイルの内容を取得する場合は、*ファイル情報の取得* タスクを使用してください。

入力値

```
im_bmGetFileInfoList <object>
  ├─ applicationId <string>
  └─ businessKey <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_bmGetFileInfoList	任意	object	なし	
applicationId	任意	string	なし	アプリケーションを特定するID
businessKey	任意	string	なし	業務を特定するキー

出力値

```
im_bmGetFileInfoList <object>
  └─ files <object[]>
    ├─ applicationId <string>
    ├─ businessKey <string>
    ├─ fileName <string>
    ├─ fileSize <long>
    ├─ key <string>
    ├─ metadata <object>
    └─ mimeType <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_bmGetFileInfoList	object	なし	
files	object	配列	ファイル一覧
applicationId	string	なし	アプリケーションを特定するキー
businessKey	string	なし	業務を特定するキー
fileName	string	なし	ファイル名
fileSize	long	なし	ファイルサイズ
key	string	なし	ファイルアップロードエレメントで取得した、ファイルを特定するキー
metadata	map	なし	各アプリケーションで使用可能なメタデータ
mimeType	string	なし	MIME Type

IM-Repository

このカテゴリでは IM-Repository に関するタスクを提供します。

エンティティデータの取得

IM-Repositoryのエンティティデータの取得を行うタスクです。
指定した主キーに該当するエンティティデータを1件取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repository_getEntityData <imr_entity> *
  └ %primary keys% *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repository_getEntityData	必須	imr_entity	なし	-
%主キー項目のLogicDesignerの変数名%	必須	%主キー項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	プロパティで指定したエンティティの主キー項目が自動的に生成されます。

出力値

```
im_repositoryGetEntityData <imr_entity>
    └ %entity data%
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryGetEntityData	imr_entity	なし	-
%エンティティデータ%	下記参照	-	-

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

エンティティデータの検索

IM-Repositoryのエンティティデータの検索を行うタスクです。
指定した検索条件に該当するエンティティデータを複数件取得します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。
サブエンティティを含める	任意	flag	false	取得データにサブエンティティのデータを含める場合は、チェックボックスをオンにします。

入力値

```
im_repository_searchEntityData <object>
  ├ keys <imr_entity>
  │    └ %search keys%
  ├ sort <object[]>
  │    ├ key <string>
  │    └ order <string>
  ├ limit <integer>
  └ offset <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repository_searchEntityData	任意	object	なし	
keys	任意	imr_entity	なし	-
%検索条件として設定したエンティティ項目のLogicDesigner変数名%	任意	%検索条件として設定したエンティティ項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	プロパティで指定したエンティティの検索条件エンティティ項目が検索条件数分自動的に生成されます。
sort	任意	object	配列	ソート条件
key	任意	string	なし	ソートキーとして指定するエンティティ項目のJava変数名を指定します。
order	任意	string	なし	ソート方向（asc：昇順 / desc 降順）
limit	任意	integer	なし	取得件数
offset	任意	integer	なし	開始位置

出力値

```
im_repositorySearchEntityData <imr_entity[]>
    └ %entity data%
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositorySearchEntityData	imr_entity	配列	-
%エンティティデータ%	下記参照	-	-

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

エンティティデータ件数の取得

IM-Repositoryのエンティティデータ件数の取得を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositorySearchEntityCount <imr_entity>
  └ %search keys%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositorySearchEntityCount	任意	imr_entity	なし	
%検索条件として設定したエンティティ項目のLogicDesigner変数名%	任意	%検索条件として設定したエンティティ項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	プロパティで指定したエンティティの検索条件エンティティ項目が検索条件の数分自動的に生成されます。

出力値

```
im_repositorySearchEntityCount <object>
  └ count <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositorySearchEntityCount	object	なし	-
count	integer	なし	データ件数

エンティティデータの登録

IM-Repositoryのエンティティデータの登録を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataInsert <imr_entity> *
    └ %entity data%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataInsert	必須	imr_entity	なし	
%エンティティデータ%	エンティティ項目が辞書項目/エイリアスで主キー、必須の場合は必須、以外は任意	下記参照	-	-

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。た

だし、データ定義にて外部参照設定が行われている項目は対象外です。
各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

出力値

```
im_repositoryEntityDataInsert <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataInsert	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

エンティティデータの更新

IM-Repositoryのエンティティデータの更新を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataUpdate <imr_entity> *
  └ %entity data%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataUpdate	必須	imr_entity	なし	
%エンティティデータ%	エンティティ項目が辞書項目/エイリアスで主キー、必須の場合は必須、それ以外は任意	下記参照	-	-

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。ただし、データ定義にて外部参照設定が行われている項目は対象外です。
  各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

出力値

```
im_repositoryEntityDataUpdate <object>
  └ count <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataUpdate	object	なし	-
count	integer	なし	更新件数

エンティティデータの削除

IM-Repositoryのエンティティデータの削除を行うタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataDelete <imr_entity> *
  └ %primary keys%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataDelete	必須	imr_entity	なし	-
%主キー項目のLogicDesignerの変数名%	任意	%主キー項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	プロパティで指定したエンティティの主キー項目が自動的に生成されます。

出力値

```
im_repositoryEntityDataDelete <object>
  └ count <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataDelete	object	なし	-
count	integer	なし	削除件数

エンティティデータの検証

IM-Repositoryのエンティティデータの検証を行うタスクです。

このタスクではエンティティ項目の入力値がIM-Repositoryの辞書項目「用途」→「制約」で設定した制約条件に適合するかの検証と必須項目への入力チェックを行います。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エラーハンドリング	任意	flag	false	検証結果がNGの場合は検証エラーが発生します。検証エラー時に処理を継続する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataValidation <imr_entity>
  └ %entity data%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataValidation	任意	imr_entity	なし	
%エンティティデータ%	任意	下記参照	-	-

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

出力値

```
im_repositoryEntityDataValidation <object>
 └ errorItemsInfo <object[]>
    ├ entityItemId <string>
    ├ name <string>
    ├ javascriptVariableName <string>
    ├ reasons <string[]>
    ├ prentName <string>
    └ index <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataValidation	object	なし	
errorItemsInfo	object	配列	エラー項目情報 検証結果がNG、かつプロパティのエラーハンドリングの設定が「エラー発生時に処理を継続する」の場合にエラーになった項目情報が設定されます。 検証エラーがない場合は空配列が返却されます。
entityItemId	string	なし	エンティティアイテムID
name	string	なし	IM-LogicDesigner 変数名
javascriptVariableName	string	なし	JavaScript 変数名
reasons	string	配列	エラー理由
parentName	string	なし	親要素名 エラーになった項目がサブエンティティ項目である場合にサブエンティティの変数名、以外はnullが設定されます。
index	integer	なし	エラー行番号 エンティティが配列の場合は検証エラーになった配列番号、以外は0が設定されます。

コラム

エンティティデータの検証タスクを配置したロジックフローをREST APIとして呼び出し、検証エラーになった場合のレスポンスのHTTPステータスコードは400です。
エラーレスポンスは以下の情報を ”application/json” 形式で返却します。

```
{
 "error": true,
 "errorMessage": "string",
 "data": {
  "errorItemsInfo": [
   {
    "entityItemId": "string",
    "parentName": "string",
    "name": "string",
    "javascriptVariableName": "string",
    "reasons": [
     "string"
    ],
    "index": 0
   }
  ]
 }
}
```

エンティティデータの更新[ロックあり]

IM-Repositoryの楽観的排他制御に対応したエンティティデータの更新を行うタスクです。
楽観的排他制御により、ロックキー optimisticLockKey に指定した値とデータ更新時の値が一致しない場合はエラーが発生します。
エンティティに楽観的排他制御の設定がない場合は、通常のエンティティデータの更新タスクと同様に動作します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataUpdateWithLock <object> *
 ├─ updateData <imr_entity> *
 │    └─ %entity data%
 └─ optimisticLockKey <imr_entity>
      └─ %optimistic lock key%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataUpdateWithLock	必須	object	なし	
updateData	必須	imr_entity	なし	
%エンティティデータ%	エンティティ項目が辞書項目/エイリアスで主キー、必須の場合は必須、それ以外は任意	下記参照	-	-
optimisticLockKey	エンティティに楽観的排他制御設定がある場合は必須	imr_entity	なし	-

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
%排他制御項目のLogicDesignerの変数名%	任意	%排他制御項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	エンティティの排他制御項目が自動的に生成されます。

エンティティデータはプロパティ「エンティティID」を設定すると自動的に生成されます。
生成されるパラメータは以下の条件を満たしているエンティティ項目です。

- エンティティ項目が、辞書項目/エイリアスの場合
  IM-Repositoryの辞書項目「用途」→「データ」で IM-LogicDesignerの「データ型」 と「変数名」 を設定していること。ただし、データ定義にて外部参照設定が行われている項目は対象外です。
  また、楽観的排他制御時の自動採番を無効化していない場合は、排他制御に使用するエンティティ項目は対象外です。
  各パラメータの型はIM-LogicDesignerの「データ型」、キー名はIM-LogicDesignerの「変数名」 です。

- エンティティ項目が、サブエンティティの場合
  サブエンティティの「変数名」 を設定していること。
  各パラメータの型はエンティティとサブエンティティの多重度が1:1の場合は imr_entity（エンティティのobject）、多重度が1:nの場合は array 、キー名は「変数名」 です。

出力値

```
im_repositoryEntityDataUpdateWithLock <object>
  └ count <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataUpdateWithLock	object	なし	-
count	integer	なし	更新件数

コラム

楽観的排他制御エラー発生時は、処理結果情報のエラーメッセージ errorMessage に以下のメッセージが設定されます。
[E.IWP.LOGIC.FLOW.00251] 他のユーザによってエンティティデータが更新されています。(entityId=%entityId%)

例外処理で楽観的排他制御エラーかどうかを判定する場合は、処理結果情報のエラーメッセージによる条件判定を行います。
条件式： ${ $task_result.errorMessage.startsWith('[E.IWP.LOGIC.FLOW.00251]') }

エンティティデータの削除[ロックあり]

IM-Repositoryの楽観的排他制御に対応したエンティティデータの削除を行うタスクです。
楽観的排他制御により、ロックキー optimisticLockKey に指定した値とデータ削除時の値が一致しない場合はエラーが発生します。
エンティティに楽観的排他制御の設定がない場合は、通常のエンティティデータの削除タスクと同様に動作します。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
エンティティID	必須	text	なし	検索アイコンをクリックし、「エンティティ検索」ダイアログで対象のエンティティを選択してください。

入力値

```
im_repositoryEntityDataDeleteWithLock <object> *
  ├─ deleteKeys <imr_entity> *
  │    └─ %primary keys%
  └─ optimisticLockKey <imr_entity>
       └─ %optimistic lock key%
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataDeleteWithLock	必須	object	なし	
deleteKeys	必須	imr_entity	なし	-
%主キー項目のLogicDesignerの変数名%	任意	%主キー項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	プロパティで指定したエンティティの主キー項目が自動的に生成されます。
optimisticLockKey	エンティティに楽観的排他制御設定がある場合は必須	imr_entity	なし	-
%排他制御項目のLogicDesignerの変数名%	任意	%排他制御項目のLogicDesignerのデータ型%	なし	エンティティの排他制御項目が自動的に生成されます。

出力値

```
im_repositoryEntityDataDeleteWithLock <object>
  └─ count <integer>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_repositoryEntityDataDeleteWithLock	object	なし	-
count	integer	なし	削除件数

コラム

楽観的排他制御エラー発生時は、処理結果情報のエラーメッセージ errorMessage に以下のメッセージが設定されます。
　[E.IWP.LOGIC.FLOW.00251] 他のユーザによってエンティティデータが更新されています。(entityId=%entityId%)

例外処理で楽観的排他制御エラーかどうかを判定する場合は、処理結果情報のエラーメッセージによる条件判定を行います。
　条件式： ${ $task_result.errorMessage.startsWith('[E.IWP.LOGIC.FLOW.00251]') }

Accel Studio

採番取得

自動採番機能の採番値の取得を行うタスクです。
採番定義画面で登録した定義に従って採番値を取得します。
採番定義画面で新規登録した後、当該タスクを実行して取得できる採番値の連番は、採番定義画面で登録した「開始番号」の値です。

当該タスクで取得する採番値は通し番号の抜け番は発生しません。
データベースのトランザクション内で何らかの要因でデータベースがロールバックした場合、採番値もロールバックします。
同一のデータベースのトランザクション内では、複数回実行できます。
ただし、データベースのトランザクションが貼られている間、同一定義に対する他の採番処理は待ち状態が発生します。
当該タスクを利用した場合、データベースのトランザクションが長くならないように、注意してください。

> **注意**
>
> 当該タスクで採番値を取得した後
>
> 採番定義画面で採番形式設定を変更すると、次回から採番形式設定が異なる採番値を取得します。
> 採番定義画面で採番リセット周期の繰り返し情報や月、日の情報を変更した後、採番定義画面で新規登録した状態に戻ります。
> また、採番定義画面でリセット周期を設定した場合、当該タスクの実行時にリセット周期に従い、採番定義画面で新規登録した状態に戻ります。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
採番定義ID	必須	string	なし	検索アイコンをクリックし、「採番定義検索」ダイアログで対象の採番定義を選択してください。

入力値

```
im_asGetAutoNumbering <object>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_asGetAutoNumbering	任意	any	なし	入力値として利用可能な値はありません。

出力値

```
im_asGetAutoNumbering <object>
  └ autoNumberingValue
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_asGetAutoNumbering	object	なし	-
autoNumberingValue	string	なし	自動採番の値

採番リセット

自動採番機能の採番値のリセットを行うタスクです。

> **コラム**
>
> 当該タスクは採番定義画面の採番リセット機能と同じです。
>
> 当該タスクを実行した後、採番取得タスクを実行して取得できる採番値の連番は、指定した「リセットする自動採番の値」に対して、採番定義画面で登録した「増分値」を加算した値です。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
採番定義ID	必須	string	なし	検索アイコンをクリックし、「採番定義検索」ダイアログで対象の採番定義を選択してください。

入力値

```
im_asResetAutoNumbering <object>
  └ resetValue <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_asResetAutoNumbering	任意	object	なし	-

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
resetValue	必須	string	なし	リセットする自動採番の値

出力値

```
im_asResetAutoNumbering <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_asResetAutoNumbering	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

IM-Copilot

チャット

入力メッセージを通して対話を行うためのタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
出力違反ハンドリング	任意	flag	false	AIサービスが出力コンテンツを違反と判定した際に処理を続行する場合は、チェックボックスをオンにしてください。 ※入力コンテンツが違反と判定された場合は、このプロパティに関わらずエラーとして扱われます。

入力値

```
im_chat <object> *
  ├ messages <object[]> *
  │   ├ content <string>
  │   ├ contents <object[]>
  │   │   ├ image <binary>
  │   │   └ text <string>
  │   └ role <string> *
  └ option <object>
      ├ maxTokens <integer>
      ├ model <string>
      ├ stops <string[]>
      ├ streaming <boolean>
      ├ temperature <double>
      └ topP <double>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_chat	必須	object	なし	-
messages	必須	object	リスト	入力メッセージのリストを指定してください。
role	必須	string	なし	役割を指定してください。
content	任意	string	なし	メッセージ本文を指定してください。
contents	任意	object	リスト	メッセージ本文、画像のリストを指定してください。
image	任意	binary	なし	画像を指定してください。
text	任意	string	なし	メッセージ本文を指定してください。
option	任意	object	なし	-
model	任意	string	なし	モデルを指定してください。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
maxTokens	任意	integer	なし	トークン最大数を指定してください ※OpenAI および Azure OpenAI Service が提供する GPT-5.1、GPT-5.2 を利用する場合、*モデルで利用できるパラメータに関する注意事項* を参照してください。
temperature	任意	double	なし	出力ランダム性を指定してください。 ※Amazon Bedrock が提供する anthropic.claude-sonnet-4-5-20250929-v1:0、anthropic.claude-sonnet-4-6 を利用する場合、*モデルで利用できるパラメータに関する注意事項* を参照してください。
topP	任意	double	なし	top-pサンプリングを指定してください。 ※Amazon Bedrock が提供する anthropic.claude-sonnet-4-5-20250929-v1:0、anthropic.claude-sonnet-4-6 を利用する場合、*モデルで利用できるパラメータに関する注意事項* を参照してください。
stops	任意	string	リスト	トークン生成停止シーケンスを指定してください。 ※OpenAI および Azure OpenAI Service が提供する GPT-5.1、GPT-5.2 を利用する場合、*モデルで利用できるパラメータに関する注意事項* を参照してください。
streaming	任意	boolean	なし	ストリーミング機能を有効にしたい場合、trueを指定します。

コラム

各生成AIサービスで指定可能なroleは、以下の通りです。

- `user`
- `system`
- `assistant`

Amazon Bedrockの場合は、`system` のメッセージは1つしか受け付けません。
また、`user` のメッセージと、`assistant` のメッセージを交互に指定する必要があります。

コラム

model に指定する値は、各生成AIサービスにより異なります。
設定可能（利用検証済み）チャットモデル名は「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

注意

messages[x] において content を指定した場合は、contents は指定できません。
messages[x] において contents を指定した場合は、content は指定できません。

- content、または、contentsのいずれか片方のみに値を指定してください。

注意

contents[x] において、text を指定した場合は、image は指定できません。
contents[x] において、image を指定した場合は、text は指定できません。

- text、または、imageのいずれか片方のみに値を指定してください。

注意

ストリーミング機能は、ロジックフローを生成AIアシスタントとして登録、実行した場合のみ利用可能です。
ストリーミング機能を有効にするとチャットタスクの返答がリアルタイムでクライアントへ送信されます。

注意

OpenAI および Azure OpenAI Service が提供する GPT-5.1、GPT-5.2 モデルを利用し、かつ ストリーミング出力を無効にする場合、モデルの仕様により、返答内容のトークン数より maxTokens の値が小さいと返答が空文字になる可能性があるため、maxTokens は十分大きな値を設定することを推奨します。

OpenAI および Azure OpenAI Service が提供する GPT-5.1、GPT-5.2 モデルを利用する場合、モデルの仕様により、stops パラメータは利用できません。

注意

Amazon Bedrock が提供する anthropic.claude-sonnet-4-5-20250929-v1:0、anthropic.claude-sonnet-4-6 モデルを利用する場合、モデルの仕様により、topP と temperature を同時に設定することはできません。

出力値

```
im_chat <object>
  ├─ messages <object[]>
  │    ├─ content <string>
  │    ├─ contents <object[]>
  │    │    ├─ image <binary>
  │    │    └─ text <string>
  │    └─ role <string>
  └─ contentFilter <object>
       ├─ input <string>
       ├─ inputReason <string>
       ├─ output <string>
       └─ outputReason <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_chat	object	なし	-
messages	object	リスト	メッセージリスト。 末尾に返ってきたメッセージが追加されます。
content	string	なし	メッセージ本文
contents	object	リスト	メッセージ本文、画像のリスト
image	binary	なし	画像
text	string	なし	メッセージ本文
role	string	なし	役割
contentFilter	object	なし	コンテンツフィルタ 入出力コンテンツに対するフィルタリング情報
input	string	なし	入力コンテンツのフィルタリング結果 `masked`: 機密情報がマスクされた状態、`null`: フィルタリングなし

項目名	型	配列/リスト	説明
inputReason	string	なし	入力コンテンツがフィルタリングされた理由 違反カテゴリを返します。複数ある場合は、カンマ区切りで列挙されます。
output	string	なし	出力コンテンツのフィルタリング結果 blocked: 不適切な内容のため出力をブロック、masked: 機密情報がマスクされた状態、null: フィルタリングなし
outputReason	string	なし	出力コンテンツがフィルタリングされた理由 違反カテゴリを返します。複数ある場合は、カンマ区切りで列挙されます。

文字起こし

入力音声ファイルをもとに文字起こしを行うためのタスクです。

入力値

```
im_transcription <object> *
  ├ input <binary> *
  └ option <object>
      └ model <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_transcription	必須	object	なし	-
input	必須	binary	なし	音声ファイルを指定してください。 （mp3ファイルなど）
option	任意	object	なし	-
model	任意	string	なし	モデルを指定してください。

コラム

model に指定する値については、各生成AIサービスにより異なります。
設定可能（利用検証済み）文字起こしモデル名は「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

コラム

入力できるファイル形式は、生成AIサービスによって異なります。
ファイルサイズに制限がある場合もあります。
例：OpenAIでは、2024年10月時点で最大25MBまで対応。

OpenAI:
https://platform.openai.com/docs/api-reference/audio/createTranscription

Azure OpenAI Service:
https://learn.microsoft.com/azure/ai-services/speech-service/whisper-overview

注意

input に指定するファイルのサイズ、同時アクセス数などを考慮してご利用ください。
（実行環境のサイジング設計や負荷試験など）

出力値

```
im_transcription <object>
  └ text <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_transcription	object	なし	-
text	string	なし	文字起こし結果

音声生成

入力メッセージをもとに音声生成を行うためのタスクです。

入力値

```
im_generateAudio <object> *
  ├─ input <string> *
  └─ option <object>
      └─ model <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_generateAudio	必須	object	なし	-
input	必須	string	なし	メッセージを指定してください。
option	任意	object	なし	-
model	任意	string	なし	モデルを指定してください。

コラム

model に指定する値は、各生成AIサービスにより異なります。
設定可能（利用検証済み）音声生成モデル名は「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

出力値

```
im_generateAudio <object>
  └─ audio <binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_generateAudio	object	なし	-
audio	binary	なし	音声生成結果

画像生成

入力メッセージをもとに画像生成を行うためのタスクです。

入力値

```
im_generateImage <object> *
  ├─ option <object>
  │    ├─ height <integer>
  │    ├─ model <string>
  │    ├─ quality <boolean>
  │    └─ width <integer>
  └─ prompt <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_generateImage	必須	object	なし	-
prompt	必須	string	なし	メッセージを指定してください。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
option	任意	object	なし	-
model	任意	string	なし	モデルを指定してください。
width	任意	integer	なし	生成画像サイズの横幅を指定してください。
height	任意	integer	なし	生成画像サイズの縦幅を指定してください。
quality	任意	boolean	なし	生成画像の品質を指定してください。 高品質の場合は `true` を指定してください。

コラム

model に指定する値については、各生成AIサービスにより異なります。
設定可能（利用検証済み）画像生成モデル名は「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

コラム

width、height に指定する値については、各生成AIサービス、モデルにより異なります。
下記は2025年5月時点で各生成AIサービスが公表している情報です。

OpenAI
https://platform.openai.com/docs/api-reference/images/create
dall-e-2:
指定できる値: 256x256, 512x512, 1024x1024
dall-e-3:
指定できる値: 1024x1024, 1024x1792, 1792x1024

Azure OpenAI Service
https://learn.microsoft.com/azure/ai-services/openai/how-to/dall-e?tabs=dalle-3
dall-e-3:
指定できる値: 1024x1024, 1024x1792, 1792x1024

Amazon Bedrock
amazon.nova-canvas-v1:0:
https://docs.aws.amazon.com/nova/latest/userguide/image-gen-access.html#image-gen-resolutions
指定できる値は以下のすべてを満たす必要があります。
・各辺は320～4096ピクセル
・各辺は16で割り切れること
・アスペクト比は1:4から4:1
・合計ピクセル数は4,194,304未満

出力値

```
im_generateImage <object>
  └ image <binary>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_generateImage	object	なし	-
image	binary	なし	画像生成結果

埋め込み

入力メッセージをベクトルに変換するためのタスクです。

入力値

```
im_embedding <object> *
  ├ input <string> *
  └ option <object>
      └ model <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_embedding	必須	object	なし	-
input	必須	string	なし	入力メッセージを指定してください。
option	任意	object	なし	-
model	任意	string	なし	モデルを指定してください。

コラム

model に指定する値は、各生成AIサービスにより異なります。
設定可能（利用検証済み）埋め込みモデル名は「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

出力値

```
im_embedding <object>
  └ embeddings <float[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_embedding	object	なし	-
embeddings	float	リスト	ベクトル変換結果

メッセージ履歴の取得

クライアントとアシスタントの間でやり取りを行ったメッセージ履歴を取得するタスクです。

注意

このタスクはロジックフローを生成AIアシスタントとして登録、実行した場合に利用可能です。

入力値

```
im_copilotGetAssistantMessageHistory <object> *
  ├ limit <integer>
  └ threadId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_copilotGetAssistantMessageHistory	必須	object	なし	-
limit	任意	integer	なし	メッセージ履歴の最大取得件数を指定してください。
threadId	必須	string	なし	メッセージ履歴を特定するスレッドIDを指定してください。

コラム

最大取得件数を指定すると新しいデータから取得件数分の履歴データが取得されます。

出力値

```
im_copilotGetAssistantMessageHistory <object>
  ├ contents <object[]>
  │   ├ image <binary>
  │   ├ text <string>
  ├ recordDate <date>
  └ role <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_copilotGetAssistantMessageHistory	object	配列	メッセージ履歴
contents	object	配列	メッセージ本文、画像のリスト
image	binary	なし	画像
text	string	なし	メッセージ本文
recordDate	date	なし	メッセージ保存日時
role	string	なし	役割

コラム

メッセージ履歴は古い履歴から登録順にソートされた配列が返却されます。
指定されたスレッドIDのメッセージ履歴が存在しない場合は空配列が返却されます。

クライアントへデータを送信

任意のデータをクライアントへ送信するタスクです。

注意

このタスクはロジックフローを生成AIアシスタントとして登録、実行した場合に利用可能です。

入力値

```
im_copilotSendAssistantData <object> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_copilotSendAssistantData	必須	object	なし	クライアントへ送信するデータを指定します。

出力値

```
im_copilotSendAssistantData <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_copilotSendAssistantData	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ベクトルデータベースコンテンツ登録

ベクトルデータベースにコンテンツを登録するためのタスクです。

入力値

```
im_addVectorDbContents <object> *
  ├ category <string> *
  ├ contents <object[]> *
  │   ├ embeddings <float[]> *
  │   ├ text <string> *
  │   ├ metadata <map>
  │   └ originSourceId <string>
  └ locale <locale>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_addVectorDbContents	必須	object	なし	-
category	必須	string	なし	登録するコンテンツのカテゴリを指定してください。 intra-mart 標準の ID 形式 のみ指定できます。 「*IM_*」「*IM-*」で始まるカテゴリは、システムで予約されているため指定できません（大文字小文字の区別はありません）。
contents	必須	object	リスト	登録するコンテンツを指定してください。
embeddings	必須	float	リスト	コンテンツに埋め込むベクトル表現を指定してください。
text	必須	string	なし	コンテンツに埋め込むベクトル表現の生成元テキストを指定してください。
metadata	任意	map	なし	コンテンツに付与するメタデータを指定してください。
originSourceId	任意	string	なし	コンテンツの参照元となる情報源を識別するIDを指定してください。 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録するコンテンツの出所を特定できる値を指定します。 IDには制御文字、ダブルクォート、シングルクォート、セミコロン、不等号、パイプ、バックスラッシュ、アスタリスクは使用できません。
locale	任意	locale	なし	登録するコンテンツのロケール（ベクトル表現の生成元テキストのロケール）を指定してください。 未指定の場合はテナントのデフォルトロケールが適用されます。

コラム

登録するコンテンツに埋め込むベクトル表現は、「*埋め込み*」等を使用して事前に生成する必要があります。
また、ベクトル表現を生成できるテキストの長さ（最大トークン）は、各生成AIサービスで規定されていますので、適切な長さに調整または分割してベクトル表現を生成してください。
各生成AIサービスで利用可能な埋め込みモデルについては「IM-Copilot 利用ガイド」の「サポートモデル」を参照してください。

注意

テキストが単語や文節など意味を持つ最小単位に分割されると、ベクトル表現の品質が低下して意図した情報が正しく表現されない可能性があります。
例えば、〇〇社の情報を登録する場合、「〇〇社の設立日は2019年5月1日です。」という文章を「〇〇社の設立日は」「2019年5月1日です。」のように分割すると、「設立日」と「2019年5月1日」という2つの要素の関係性が分からなくなる可能性があります。

出力値

```
im_addVectorDbContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_addVectorDbContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ベクトルデータベースコンテンツ削除

ベクトルデータベースからコンテンツを削除するためのタスクです。

入力値

```
im_removeVectorDbContents <object> *
  ├ category <string> *
  └ option <object>
    ├ originSourceId <string>
    └ prefixMatch <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_removeVectorDbContents	必須	object	なし	-
category	必須	string	なし	削除するコンテンツのカテゴリを指定してください。 intra-mart 標準の ID 形式 のみ指定できます。「*IM_*」「*IM-*」で始まるカテゴリは、システムで予約されているため指定できません（大文字小文字の区別はありません）。
option	任意	object	なし	-
originSourceId	任意	string	なし	削除対象となるコンテンツの参照元となる情報源を識別するIDを指定してください。 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録時に指定したIDを入力します。
prefixMatch	任意	boolean	なし	originSourceIdで指定したIDの前方一致による削除を行うかどうかを指定してください。 trueの場合、指定したIDで始まるすべてのコンテンツが削除対象です。falseの場合は、IDが完全一致しているコンテンツのみが削除対象です。

コラム

削除するコンテンツの単位はカテゴリ毎です。originSourceIdやprefixMatchを指定した場合でも、カテゴリ内の該当するコンテンツのみが削除対象です。

出力値

```
im_removeVectorDbContents <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_removeVectorDbContents	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ベクトルデータベース類似度検索

ベクトルデータベースからベクトルの類似度が高いコンテンツを検索するためのタスクです。

入力値

```
im_vectorDbSimilaritySearch <object> *
  ├ category <string> *
  ├ embeddings <float[]> *
  ├ locale <locale>
  └ limit <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_vectorDbSimilaritySearch	必須	object	なし	-
category	必須	string	なし	検索対象とするカテゴリを指定してください。 intra-mart 標準の ID 形式 のみ指定できます。 「*IM_*」「*IM-*」で始まるカテゴリは、システムで予約されているため指定できません（大文字小文字の区別はありません）。
embeddings	必須	float	リスト	類似度を検索するベクトル表現を指定してください。
locale	任意	locale	なし	類似度を検索するコンテンツのロケール（コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキストのロケール）を指定してください。 未指定の場合はテナントのデフォルトロケールが適用されます。
limit	任意	integer	なし	検索結果の上限件数（1～100）を指定してください。 デフォルトは 10 です。

出力値

```
im_vectorDbSimilaritySearch <object>
  └ contents <object[]>
      ├ id <string>
      ├ score <double>
      ├ text <string>
      ├ metadata <map>
      └ originSourceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_vectorDbSimilaritySearch	object	なし	-
contents	object	リスト	検索でヒットしたコンテンツの一覧
id	string	なし	コンテンツの一意識別子
score	double	なし	コンテンツのスコア
text	string	なし	コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキスト
metadata	map	なし	コンテンツに付与されたメタデータ
originSourceId	string	なし	コンテンツに埋め込まれたコンテンツの参照元となる情報源を識別するID 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録時に指定したID

コラム

標準では、検索結果はスコアの高い順にソートされた状態で返却されます。
※スコアは検索アルゴリズムやスコアの正規化処理によって値の意味が変わります。

ベクトルデータベースキーワード検索

ベクトルデータベースから指定したキーワードを含むコンテンツを検索するためのタスクです。

入力値

```
im_vectorDbKeywordSearch <object> *
  ├─ category <string> *
  ├─ keywords <string[]> *
  ├─ locale <locale>
  ├─ conditionOperator <string>
  └─ limit <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_vectorDbKeywordSearch	必須	object	なし	-
category	必須	string	なし	検索対象とするカテゴリを指定してください。 intra-mart 標準の ID 形式 のみ指定できます。 「*IM_*」「*IM-*」で始まるカテゴリは、システムで予約されているため指定できません（大文字小文字の区別はありません）。
keywords	必須	string	リスト	検索キーワードを指定してください。
locale	任意	locale	なし	キーワード検索を行うテキスト（コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキスト）のロケールを指定してください。 未指定の場合はテナントのデフォルトロケールが適用されます。
conditionOperator	任意	string	なし	検索に使用する論理演算子を指定してください。 「and」「or」のどちらかを指定できます。デフォルト値は「or」です。
limit	任意	integer	なし	検索結果の上限件数（1～100）を指定してください。 デフォルトは 10 です。

コラム

検索条件は *conditionOperator* で指定された論理演算子で検索キーワードを繋げて構築します。
複雑な検索条件の指定（and と or の組み合わせ）はできません。

出力値

```
im_vectorDbKeywordSearch <object>
  └─ contents <object[]>
      ├─ id <string>
      ├─ score <double>
      ├─ text <string>
      ├─ metadata <map>
      └─ originSourceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_vectorDbKeywordSearch	object	なし	-
contents	object	リスト	検索でヒットしたコンテンツの一覧
id	string	なし	コンテンツの一意識別子
score	double	なし	コンテンツのスコア
text	string	なし	コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキスト
metadata	map	なし	コンテンツに付与されたメタデータ
originSourceId	string	なし	コンテンツに埋め込まれたコンテンツの参照元となる情報源を識別するID 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録時に指定したID

> **コラム**
>
> 標準では、検索結果はスコアの高い順にソートされた状態で返却されます。
> ※スコアは検索アルゴリズムやスコアの正規化処理によって値の意味が変わります。

テキスト抽出

ファイルバイナリデータからテキストを抽出するためのタスクです。

入力値

```
im_extractText <object> *
  ├ fileData <binary> *
  ├ fileName <string> *
  ├ fileSize <long>
  └ mimeType <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_extractText	必須	object	なし	-
fileData	必須	binary	なし	テキストを抽出するファイルバイナリデータを指定してください。
fileName	必須	string	なし	テキストを抽出するファイルの名称を指定してください。
fileSize	任意	long	なし	テキストを抽出するファイルのサイズを指定してください。
mimeType	任意	string	なし	テキストを抽出するファイルの MIME タイプを指定してください。

> **コラム**
>
> テキスト抽出には、テキスト抽出機能（ND Universal Extractor）を利用します。
> 必要に応じて、テキスト抽出機能のテキスト抽出設定の調整を検討してください。
> 設定内容の詳細については、「設定ファイルリファレンス」 - 「テキスト抽出設定」を参照してください。

> **注意**
>
> テキスト抽出機能では、使用するテキスト抽出器を拡張子と MIME タイプから選定します。
> 拡張子が不明な場合はテキスト抽出器を正しく選定できない可能性があります（拡張子は *fileName* から識別します）。

出力値

```
im_extractText <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_extractText	string	なし	抽出したテキスト

テキスト分割

テキストを指定のサイズに分割するためのタスクです。

プロパティ

項目名	必須/任意	型	初期値	説明
分割手法	必須	pulldown	RECURSIVE_CHUNKING	RECURSIVE_CHUNKING ： 再帰的チャンキングによるテキスト分割を行います。

入力値

```
im_splitText <object> *
  ├ text <string> *
  ├ chunkSize <integer>
  └ options <object>
      └ recursiveParams <object>
          ├ chunkOverlap <integer>
          └ separators <string[]>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_splitText	必須	object	なし	-
text	必須	string	なし	分割するテキストを指定してください。
chunkSize	任意	integer	なし	テキストを分割する最大サイズ（文字数）を指定してください。 デフォルトは 4000 です。
options	任意	object	なし	-
recursiveParams	任意	object	なし	再帰的チャンキングによる分割処理を行う際のパラメータを指定してください。 **※分割手法で「RECURSIVE_CHUNKING」を指定している場合のみ使用します。**
chunkOverlap	任意	integer	なし	区切り文字でテキストを分割できなかった場合に、テキストを重複させる文字数（0～）を指定してください。 デフォルトは 200 です。
separators	任意	string	リスト	テキストを分割する際に使用する区切り文字を指定してください。 デフォルトは [“\n\n”（改行2回）, “\n”（改行）, ” “（半角スペース）, “”（区切り文字なし）] です。

コラム

分割手法について

- **再帰的チャンキング**
  テキストを指定された区切り文字を使用して最大サイズ以内に分割する手法です。
  separators に指定された区切り文字を先頭から順に使用し、最大サイズに収まるまで再帰的に分割を繰り返します。
  区切り文字で最大サイズ以内に分割できなかった場合は最大サイズで分割し、次の分割は *chunkOverlap* に指定された文字数だけ前の位置から開始します。

出力値

```
im_splitText <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_splitText	string	リスト	分割したテキスト

ランク融合

複数の異なるランキング結果を一つの統合されたランキングにまとめるためのタスクです。
ランクの統合には Reciprocal Rank Fusion（RRF） を使用します。

入力値

```
im_reciprocalRankFusion <object> *
 ├─ contentsList <object[]> *
 |    └─ contents <object[]> *
 |         ├─ id <string>
 |         ├─ score <double>
 |         ├─ text <string>
 |         ├─ metadata <map>
 |         └─ originSourceId <string>
 ├─ k <integer>
 ├─ threshold <double>
 └─ limit <integer>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_reciprocalRankFusion	必須	object	なし	-
contentsList	必須	object	リスト	ランク融合を行うコンテンツの一覧を指定してください。
contents	必須	object	リスト	ランク融合を行うコンテンツの一覧を指定してください。 **※コンテンツはランキング順で並んでいる必要があります。**
id	任意	string	なし	コンテンツの一意識別子を指定してください。
score	任意	double	なし	コンテンツのスコアを指定してください。
text	任意	string	なし	コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキストを指定してください。
metadata	任意	map	なし	コンテンツに付与されたメタデータを指定してください。
originSourceId	任意	string	なし	コンテンツの参照元となる情報源を識別するIDを指定してください。 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録するコンテンツの出所を特定できる値を指定します。 IDには制御文字、ダブルクォート、シングルクォート、セミコロン、不等号、パイプ、バックスラッシュ、アスタリスクは使用できません。
k	任意	integer	なし	RRF 式の k 定数（1〜）を指定してください。 デフォルトは 60 です。
threshold	任意	double	なし	ランク融合結果から低スコアのコンテンツを除外する際の閾値を指定してください。 指定された閾値より低いスコアのコンテンツを切り捨てます。 未指定（null）の場合、スコアによる切り捨ては行いません。デフォルトは null です。
limit	任意	integer	なし	ランク融合結果の上限件数（1〜）を指定してください。指定された件数を超える下位（低スコア）のコンテンツを切り捨てます。 未指定（null）の場合、件数による切り捨ては行いません。デフォルトは null です。

出力値

```
im_reciprocalRankFusion <object>
  └ contents <object[]>
      ├ id <string>
      ├ score <double>
      ├ text <string>
      ├ metadata <map>
      └ originSourceId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_reciprocalRankFusion	object	なし	-
contents	object	リスト	ランク融合後のコンテンツの一覧
id	string	なし	コンテンツの一意識別子
score	double	なし	RRF 式で算出されたコンテンツのスコア
text	string	なし	コンテンツに埋め込まれたベクトル表現の生成元テキスト
metadata	map	なし	コンテンツに付与されたメタデータ
originSourceId	string	なし	コンテンツに埋め込まれたコンテンツの参照元となる情報源を識別するID 例：ファイル名、WebサイトのURLなど、登録時に指定したID

コラム

コンテンツはスコアの高い順にソートされた状態で返却されます。

マッピング関数一覧

カテゴリ

文字列操作

concat

文字列の連結を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	string	配列	連結対象文字列
b	string	配列	連結対象文字列

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	連結された文字列

replace

文字列に含まれる指定された文字を別の文字に置換します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。
引数oldは、正規表現で指定してください。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	元となる文字列
old	string	配列	置換対象とする文字列の正規表現
new	string	配列	置換する文字列

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	置換された結果の文字列

trim

文字列の前後の空白を除去します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	対象となる文字列

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	空白が除去された文字列

split

文字列を指定した文字で分割し、文字列の配列を返却します。
この関数は入力として一つの文字列のみを受け付けます、配列形式の引数を受け渡すことはできません。
引数sepは、正規表現で指定してください。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	なし	分割対象となる文字列
sep	string	なし	分割を行う区切り文字の正規表現

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	分割された文字列

join

引数に含まれる複数の文字列を、指定した文字列で連結し一つの文字列とします。
この関数は複数の処理結果を返しません。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	連結対象となる文字列
sep	string	なし	連結時に利用する文字

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	なし	連結された文字列

el

この関数は特殊な関数で、引数としてExpression Languageで記述された文字列テンプレートを受け付けます。
Expression Language内では、 ${$input.foo} のように、フロー中の任意の変数にアクセスすることが可能です。
この関数は戻り値として単一の文字列のみを返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	なし	Expression Languageに準拠した式文字列

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	なし	評価結果

substring

指定された範囲の文字列を抜き出します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	元となる文字列
start	integer	配列	文字列を抜き出す始点の要素番号(インデックス)
end	integer	配列	文字列を抜き出す終点の要素番号(インデックス)

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	抜き出された結果の文字列

数値操作

parse

文字列を解析し、数値へ変換を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	文字列
format	string	配列	数値フォーマット、JavaのDecimalFormatクラスで利用可能なフォーマットが指定可能です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	解析結果の数値

format

数値を指定したフォーマットを利用し文字列に変換します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	bigdecimal	配列	変換対象となる数値
format	string	配列	数値フォーマット、JavaのDecimalFormatで利用可能なフォーマット文字列が指定可能です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	変換結果

数値演算

add

加算を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	計算対象
b	bigdecimal	配列	計算対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

subtract

減算を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	対象となる値
b	bigdecimal	配列	対象となる値

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

multiply

乗算を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	計算対象
b	bigdecimal	配列	計算対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

divide

除算を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。
デフォルトでは、小数第2位までのスケールで四捨五入が行われます。
結果は、第3引数に指定するスケールにより変動しますが、必ず四捨五入で丸められます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	計算対象
b	bigdecimal	配列	計算対象
scale	integer	なし	スケール、未指定の場合には小数第2位(2)が指定されます。

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

mod

余りを求めます。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	計算対象
b	bigdecimal	配列	計算対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

roundUp

切り上げを行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	bigdecimal	配列	切り上げ対象
scale	integer	なし	スケール

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

round

四捨五入を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	bigdecimal	配列	計算対象
scale	integer	なし	スケール

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

roundDown

切り捨てを行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	bigdecimal	配列	計算対象
scale	integer	なし	スケール

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

abs

絶対値を求めます。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	bigdecimal	配列	計算対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

pow

べき乗を計算します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	底
b	bigdecimal	なし	指数（整数かつ、0から999999999までの範囲）

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	計算結果

max

引数を比較し、値が大きい方を返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	比較対象
b	bigdecimal	配列	比較対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	比較結果

min

引数を比較し、最小値を返却します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	bigdecimal	配列	比較対象
b	bigdecimal	配列	比較対象

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	配列	比較結果

日付操作

parse

文字列から日付に変換を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	日付を表現した文字列を指定してください。
format	string	配列	日付フォーマットを指定してください、JavaのSimpleDateFormatで利用可能なフォーマットが指定可能です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
date	配列	解析された日付が返却されます。

format

Date型の値から文字列に変換を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	date	配列	日付を指定してください。
format	string	配列	変換する日付フォーマットを指定してください、JavaのSimpleDateFormatクラスで利用可能なフォーマットが指定可能です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	変換された文字列が返されます。

calcDate

日付の演算を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	calendar	配列	演算を行う日付情報（カレンダ）を指定してください。
sec	bigdecimal	配列	演算に用いる数値で指定してください。 calcDate関数は、与えられた数値を秒単位として解釈し、未来へ日付を進めます。 過去へ日付を戻したい場合、負の数値を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
calendar	配列	演算結果が反映された日付情報（カレンダ）が返却されます

interval

二つの日付の期間（間隔）を取得します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
a	calendar	配列	期間（間隔）を取得する元となる日付情報（カレンダ）を指定してください。
b	calendar	配列	期間（間隔）を取得する比較対象の日付情報（カレンダ）を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
duration	配列	日付の期間（間隔）が返却されます。

beginMonthDay

月初を取得します
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	calendar	配列	月初を取得したい日付情報（カレンダ）を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
calendar	配列	月初の日付情報（カレンダ）が返却されます。

endMonthDay

月末を取得します
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	calendar	配列	月末を取得したい日付情報（カレンダ）を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
calendar	配列	月末の日付情報（カレンダ）が返却されます。

convertInSystemTimeZone

Date型の値をユーザのタイムゾーンでの日付とみなし、システムタイムゾーンでの日付に変換します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	date	配列	日付を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
date	配列	変換された文字列が返されます。

convertInAccountTimeZone

Date型の値をシステムタイムゾーンでの日付とみなし、ユーザのタイムゾーンでの日付に変換します。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	date	配列	日付を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
date	配列	変換された文字列が返されます。

parseWithAccountTimeZone

文字列型の値をユーザのタイムゾーンでの日付とみなし、指定したフォーマットパターンに従って日付に変換します。
引数に指定された値（value）が配列型の場合は、戻り値も同様に配列型の値を返却します。
引数に指定したフォーマットパターン（pattern）が配列型の場合は、各要素を半角スペースで連結した文字列を日付のフォーマットとします。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	日付を表現した文字列を指定してください。
pattern	string	配列	日付フォーマットを指定してください、JavaのSimpleDateFormatで利用可能なフォーマットが指定可能です。 配列型の場合は、各要素を半角スペースで連結した文字列を日付のフォーマットとします。 例えば、フォーマットを「ユーザの日付の入力フォーマット+ 半角スペース + ユーザの時刻の入力フォーマット 」 とする場合は、配列の０番目に日付の入力フォーマット、1番目にユーザの時刻の入力フォーマットを指定します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
date	配列	変換された日付が返却されます。

formatWithAccountTimeZone

Date型の値を指定したフォーマットパターンに従って、ユーザのタイムゾーンでの日付文字列に変換します。
引数に指定された値（value）が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。
引数に指定したフォーマットパターン（pattern）が配列型の場合は、各要素を半角スペースで連結した文字列を日付のフォーマットとします。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	date	配列	日付を指定してください。
pattern	string	配列	変換する日付フォーマットを指定してください、JavaのSimpleDateFormatクラスで利用可能なフォーマットが指定可能です。 配列型の場合は、各要素を半角スペースで連結した文字列を日付のフォーマットとします。 例えば、フォーマットを「ユーザの日付の表示フォーマット+ 半角スペース + ユーザの時刻の表示フォーマット 」 とする場合は、配列の０番目に日付の表示フォーマット、1番目にユーザの時刻の表示フォーマットを指定します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	変換された文字列が返されます。

ID生成

identifier

API Identifierを利用し、一意となるIDを発行します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	なし	発行されたIDが返されます。

uuid

UUIDを発行します、引数はありません。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	なし	発行されたUUIDが返されます。

Base64

encode

バイナリをエンコードし、Base64文字列に変換を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	binary	配列	エンコードを行うバイナリを指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	変換されたBase64文字列が返却されます

decode

Base64文字列をデコードし、バイナリに変換を行います。
引数に指定された値が複数の場合には、戻り値も同様に複数の値が返却されます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
value	string	配列	デコードを行うBase64文字列を指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
binary	配列	変換されたバイナリが返却されます。

配列操作

unshift

配列の先頭に、要素を追加します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を追加する配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
value	（任意）	配列	追加する要素を指定してください。 追加する要素の型は、追加先に指定した配列の型と合わせてください。 追加先の配列と型が異なる場合、自動的な型変換を試みます。型変換が行えなかった場合は例外が発生します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	要素が追加された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

push

配列の末尾に、要素を追加します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を追加する配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
value	（任意）	配列	追加する要素を指定してください。 追加する要素の型は、追加先に指定した配列の型と合わせてください。 追加先の配列と型が異なる場合、自動的な型変換を試みます。型変換が行えなかった場合は例外が発生します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	要素が追加された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

remove

配列の中から指定した番号（インデックス）の要素を削除します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を削除する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
index	integer	配列	削除する要素を示す番号（インデックス）を1つ以上指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	要素が削除された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

replace

配列の中から指定した番号（インデックス）の要素を置き換えます。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を置換する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
index	integer	配列	置換を行う要素の番号（インデックス）を1つ以上指定してください。
value	（任意）	配列	置換する要素を指定してください。 置換する要素の型は、置換先に指定した配列の型と合わせてください。 置換対象の配列と型が異なる場合、自動的な型変換を試みます。型変換が行えなかった場合は例外が発生します。

コラム

インデックスと置換する要素の数について

置換を行う要素のインデックスと、置換する要素の数が合わない場合、関数の処理数（置換数）は少ない方に統一されます。
例として、要素インデックスが3つ、置換する要素が2つ指定された場合、関数は要素インデックスの2つ目までを処理し、3つ目のインデックスについては無視します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	指定した要素が置換された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

size

配列の要素数を取得します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素数を取得する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
bigdecimal	なし	要素数が返却されます。

get

配列の中から指定した番号（インデックス）の要素を取得します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を取得する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
index	integer	配列	取得する要素の番号（インデックス）を1つ以上指定してください。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	取得した要素で構成された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

insert

配列へ指定した番号（インデックス）に要素を追加します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を追加する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。
index	integer	配列	追加を行う要素の番号（インデックス）を1つ以上指定してください。
value	（任意）	配列	追加する要素を指定してください。 追加する要素の型は、追加先に指定した配列の型と合わせてください。 追加対象の配列と型が異なる場合、自動的な型変換を試みます。型変換が行えなかった場合は例外が発生します。

コラム

インデックスについて

引数2で指定するインデックスは、指定された配列の先頭から順に絶対位置で処理されます。
例として、要素インデックスに「1」、および、「3」が指定されていた場合、関数は初めにインデックス「1」が示す位置に要素を追加します。
そして、要素が追加された後の配列に対して、改めてインデックス「3」が示す位置に要素を追加します。

コラム

インデックスと追加する要素の数について

追加を行う要素のインデックスと、追加する要素の数が合わない場合、関数の処理数（追加数）は少ない方に統一されます。
例として、追加インデックスが3つ、追加する要素が2つ指定された場合、関数は要素インデックスの2つ目までを処理し、3つ目のインデックスについては無視します。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	配列	指定した要素が追加された配列が返却されます。 戻り値の配列の型は、引数1の配列の型と同じです。

first

配列の中から先頭の要素を取得します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を取得する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	なし	取得した配列の先頭の要素が返却されます。 戻り値の型は、引数1の型と同じです。

last

配列の中から末尾の要素を取得します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
array	（任意）	配列	要素を取得する対象の配列を指定してください。 指定可能な配列の型は「*データ型*」、および、「*構造体*」です。

戻り値

型	配列/リスト	説明
（任意）	なし	取得した配列の末尾の要素が返却されます。 戻り値の型は、引数1の型と同じです。

オブジェクト操作

keys

オブジェクトのキー（プロパティ名）配列を返却します。
返却された配列の順序は保証されません。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	キー（プロパティ名）を取得するオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	配列	オブジェクトのキー（プロパティ名）配列

values

オブジェクトに含まれるプロパティの値を配列で返却します。
返却された配列の順序は保証されません。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	値を取得するオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
any	配列	オブジェクトに含まれるプロパティの値の配列

toUpperCamelCase

オブジェクトのキー（プロパティ名）をスネークケースからアッパーキャメルケース（最初の文字を大文字にしたキャメルケース）へ変換したオブジェクトを返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	キー（プロパティ名）の変換を行うオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
object or map	なし	キー（プロパティ名）をアッパーキャメルケースに変換したオブジェクト

toLowerCamelCase

オブジェクトのキー（プロパティ名）をスネークケースからロワーキャメルケース（最初の文字を小文字にしたキャメルケース）へ変換したオブジェクトを返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	キー（プロパティ名）の変換を行うオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
object or map	なし	キー（プロパティ名）をロワーキャメルケースに変換したオブジェクト

toUpperSnakeCase

オブジェクトのキー（プロパティ名）をキャメルケースからアッパースネークケースへ変換したオブジェクトを返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	キー（プロパティ名）の変換を行うオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
object or map	なし	キー（プロパティ名）をアッパースネークケースに変換したオブジェクト

toLowerSnakeCase

オブジェクトのキー（プロパティ名）をキャメルケースからロワースネークケースへ変換したオブジェクトを返却します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object or map	なし	キー（プロパティ名）の変換を行うオブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
object or map	なし	キー（プロパティ名）をロワースネークケースに変換したオブジェクト

JSON

toJSON

オブジェクトをJSON文字列に変換します。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
object	object	なし	オブジェクト

戻り値

型	配列/リスト	説明
string	なし	JSON文字列

parseJSON

JSON文字列をオブジェクトに変換します。
ルート要素が配列型になるJSON文字列の変換はできません。

引数

引数名	型	配列/リスト	説明
json	string	なし	JSON文字列

戻り値

型	配列/リスト	説明
object	なし	オブジェクト

EL式

IM-LogicDesignerでは、一部エレメントのプロパティやマッピング関数でEL式が利用可能です。
本章では、EL式についての概要と、IM-LogicDesignerでの利用例を説明します。

- EL式とは
- EL式の利用方法
- IM-LogicDesignerでの利用
- IM-LogicDesignerでの利用が可能なEL式関数

EL式とは

EL式（Expression Language）とは、JSP2.0より導入された式言語の一つです。
EL式を用いることで、簡易な演算処理や、特定の変数へのアクセスなどを定義することが可能です。

> **コラム**
>
> EL式の詳細な情報については以下のリンクを参照してください。
>
> - Overview of the EL(Oracle - The Java EE 6 Tutorial)

EL式の利用方法

EL式の基本的な書き方

EL式は以下の形で定義します。

```
${式}
```

この時、`{}`で囲まれた式を評価し、評価結果を最終的な結果とします。

例えば、以下の形でEL式を定義します。

```
${365 * 24}
```

この場合、式を評価し、最終的な結果として`8760`が得られます。

また、文字列全体の一部分としてEL式を適用することも可能です。
例えば、以下の形でEL式を定義します。

```
Hello, ${100*100} people.
```

この場合、式を評価し、最終的な結果として`Hello, 10000 people.`が得られます。

変数の利用

EL式内では変数を扱うことができます。
例えば、以下の形でEL式を定義します（この式では`condition`が変数です）。

```
${condition < 100}
```

この場合、式を評価し、condition変数の値が100より小さい場合、`true`が得られます。
逆にcondition変数の値が100以上であった場合、`false`が得られます。

メソッドの利用

変数と同様に、EL式内ではメソッドを扱うことができます。
例えば、以下の形でEL式を定義します（この式では`message`が文字列を扱う変数とします）。

```
${message.endsWith('.txt')}
```

この場合、式を評価し、messageに含まれる文字列が*.txt*で終わる場合、`true`が得られます。

> **注意**
>
> EL式利用時の注意事項
>
> IM-LogicDesignerのEL式では、JSTL(JavaServer Pages Standard Tag Library)を利用した以下の様な式は利用できません。
>
> ```
> ${fn:contains("Hello, World.","world")}
> ```

IM-LogicDesignerでの利用

利用可能なエレメント・マッピング関数

IM-LogicDesignerでEL式が利用可能なエレメントおよびマッピング関数は以下の通りです。
（エレメントおよびマッピング関数でEL式を利用する場合、「評価結果」の項にある型で評価結果が得られる必要があります）

- エレメント
  - **分岐**
    - 利用可能なプロパティ: 条件式
    - 評価結果: `Boolean`
  - **繰り返し開始**
    - 利用可能なプロパティ名: 繰り返し条件
    - 評価結果: `Boolean`

- マッピング関数
  - **el** 関数
  - 評価結果: String

利用可能な暗黙的な変数

IM-LogicDesignerでは、はじめから利用可能な暗黙的な変数を定義しています。
ユーザが明示的に定義する必要はありません。

IM-LogicDesignerが提供する暗黙的な変数の一覧は以下の通りです。

- **$const**
  - 事前に定義した定数値を表す変数です。
- **$input**
  - 事前に定義したフローの入力値を表す変数です。
- **$account_context**
  - アカウントコンテキストを表す変数です。
- **$user_context**
  - ユーザコンテキストを表す変数です。
- **$session_properties**
  - セッションプロパティを表す変数です。
- **$task_result**
  - 処理結果情報を表す変数です。
- **$variable**
  - ロジックフロー内で利用可能な変数を表す変数です。

> **注意**
>
> $user_context（ユーザコンテキスト）について
>
> $user_context変数は、ユーザコンテキストのモジュールがiAPに含まれている場合のみ利用可能です。

IM-LogicDesignerでの利用が可能なEL式関数

sizeOf 関数

要素数または文字数を返却します。

- **${sizeOf(array)}**
  - 引数に配列を指定した場合、配列の要素数を integer 型で返却します。
- **${sizeOf(map)}**
  - 引数に map を指定した場合、map の要素数を integer 型で返却します。
- **${sizeOf(str)}**
  - 引数に文字列を指定した場合、文字数を integer 型で返却します。

isEmpty 関数

引数の要素が空かどうかを判定します。

- **${isEmpty(array)}**
  - 引数に指定した配列の要素数が0件の場合、true を返却します。
  - 引数に指定した配列の要素数が0件でない場合、false を返却します。
- **${isEmpty(map)}**
  - 引数に指定した map の要素数が0件の場合、true を返却します。
  - 引数に指定した map の要素数が0件でない場合、false を返却します。

- **${isEmpty(str)}**
  - 引数に指定した文字列が null である場合、true を返却します。
  - 引数に指定した文字列の長さが 0 の場合、true を返却します。
- 引数に null を指定した場合、true を返却します。
- 上記以外の場合、false を返却します。

contains 関数

第2引数の要素が、第1引数の配列または map のキーに存在するかどうかを判定します。

- **${contains(array, value)}**
  - 第1引数に配列を指定した場合、第2引数の内容が、第1引数の配列要素に存在する場合に、true を返却します。
- **${contains(map, value)}**
  - 第1引数に map のキーを指定した場合、第2引数のキーが、第1引数の map のキーに存在する場合に、true を返却します。
- 上記以外の場合、false を返却します。

indexOf 関数

第1引数の要素に、第2引数の要素が存在または含まれているかを判定し、存在または含まれている場合には第1引数の要素のうち最初のインデックスを返却します。

- **${indexOf(array, search)}**
  - 第1引数に配列を指定した場合、第2引数と同じ内容を持つ配列要素のうち最初のインデックスを返却します。
- **${indexOf(str, search)}**
  - 第1引数に文字列を指定した場合、第2引数と同じ内容を含む要素のうち最初のインデックスを返却します。
- 上記以外の場合、-1を返却します。

lastIndexOf 関数

第1引数の要素に、第2引数の要素が存在または含まれているかを判定し、存在または含まれている場合には第1引数の要素のうち最後のインデックスを返却します。

- **${lastIndexOf(array, search)}**
  - 第1引数に配列を指定した場合、第2引数と同じ内容を持つ配列要素のうち最後のインデックスを返却します。
- **${lastIndexOf(str, search)}**
  - 第1引数に文字列を指定した場合、第2引数と同じ内容を含む要素のうち最後のインデックスを返却します。
- 上記以外の場合、-1を返却します。

トリガー一覧

カテゴリ

アクセスセキュリティ

アカウントの追加

アカウントの追加を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ calendarId <string>
  ├─ dateTimeFormats <map>
  ├─ encoding <string>
  ├─ firstDayOfWeek <integer>
  ├─ locale <locale>
  ├─ lockDate <date>
  ├─ loginFailureCount <integer>
  ├─ notes <string>
  ├─ password <string>
  ├─ themeIds <map>
  ├─ timeZoneId <string>
  ├─ userCd <string>
  ├─ validEndDate <date>
  └─ validStartDate <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
calendarId	string	なし	カレンダーID
dateFormats	map	なし	-
encoding	string	なし	エンコーディング
firstDayOfWeek	integer	なし	週の開始曜日
locale	locale	なし	ロケール
lockDate	date	なし	アカウントロック日付
loginFailureCount	integer	なし	ログイン失敗回数
notes	string	なし	説明
password	string	なし	パスワード
themeIds	map	なし	テーマ情報一覧 key: クライアントタイプID、value: テーマID
timeZoneId	string	なし	タイムゾーンID
userCd	string	なし	ユーザコード
validEndDate	date	なし	有効終了日
validStartDate	date	なし	有効開始日

アカウントの更新

アカウントの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ calendarId <string>
  ├─ dateTimeFormats <map>
  ├─ encoding <string>
  ├─ firstDayOfWeek <integer>
  ├─ locale <locale>
  ├─ lockDate <date>
  ├─ loginFailureCount <integer>
  ├─ notes <string>
  ├─ password <string>
  ├─ themeIds <map>
  ├─ timeZoneId <string>
  ├─ userCd <string>
  ├─ validEndDate <date>
  └─ validStartDate <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
calendarId	string	なし	カレンダーID
dateFormats	map	なし	-
encoding	string	なし	エンコーディング
firstDayOfWeek	integer	なし	週の開始曜日
locale	locale	なし	ロケール
lockDate	date	なし	アカウントロック日付
loginFailureCount	integer	なし	ログイン失敗回数
notes	string	なし	説明
password	string	なし	パスワード
themeIds	map	なし	テーマ情報一覧 key: クライアントタイプID、value: テーマID
timeZoneId	string	なし	タイムゾーンID
userCd	string	なし	ユーザコード
validEndDate	date	なし	有効終了日
validStartDate	date	なし	有効開始日

アカウントの削除

アカウントの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  └─ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
userCd	string	なし	ユーザコード

アカウントへロールの付与

アカウントへのロールの付与を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント付与ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ roleId   <string>
  ├ roleValidEndDate   <date>
  ├ roleValidStartDate   <date>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
roleId	string	なし	ロールID
roleValidEndDate	date	なし	ロール有効終了日
roleValidStartDate	date	なし	ロール有効開始日
userCd	string	なし	ユーザコード

アカウントへ付与したロールの有効期限更新

アカウントへ付与したロールの有効期限更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント付与ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ roleId   <string>
  ├ roleValidEndDate   <date>
  ├ roleValidStartDate   <date>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
roleId	string	なし	ロールID
roleValidEndDate	date	なし	ロール有効終了日
roleValidStartDate	date	なし	ロール有効開始日
userCd	string	なし	ユーザコード

アカウントへ付与したロールの剥奪

アカウントへ付与したロールの剥奪を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウント付与ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ roleId   <string>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
roleId	string	なし	ロールID
userCd	string	なし	ユーザコード

アカウントライセンスの付与

アカウントライセンスの付与を契機にロジックフローを実行するトリガです。

受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウントライセンス」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
userCd	string	なし	ユーザコード

アカウントライセンスの剥奪

アカウントライセンスの剥奪を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アカウントライセンス」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
userCd	string	なし	ユーザコード

アプリケーションライセンスの付与

アプリケーションライセンスの付与を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アプリケーションライセンス」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ applicationId <string>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
applicationId	string	なし	アプリケーションID
userCd	string	なし	ユーザコード

アプリケーションライセンスの剥奪

アプリケーションライセンスの剥奪を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「アプリケーションライセンス」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ applicationId <string>
  └ userCd   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
applicationId	string	なし	アプリケーションID

項目名	型	配列/リスト	説明
userCd	string	なし	ユーザコード

ロールの作成

ロールの作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ category <string>
  ├ nameMap <map>
  ├ notes <string>
  ├ roleId <string>
  └ roleName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
category	string	なし	ロールカテゴリ
nameMap	map	なし	ロール表示名 key: ロケールID、value: ロール表示名
notes	string	なし	ロールの詳細
roleId	string	なし	ロールID
roleName	string	なし	ロール名

ロールの更新

ロールの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ category <string>
  ├ nameMap <map>
  ├ notes <string>
  ├ roleId <string>
  └ roleName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
category	string	なし	ロールカテゴリ
nameMap	map	なし	ロール表示名 key: ロケールID、value: ロール表示名
notes	string	なし	ロールの詳細
roleId	string	なし	ロールID
roleName	string	なし	ロール名

ロールの削除

ロールの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  └ roleId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
roleId	string	なし	ロールID

サブロールの追加

サブロールの追加を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「サブロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ childId   <string>
  └ parentId   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
childId	string	なし	サブロールID
parentId	string	なし	ロールID

サブロールの削除

サブロールの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「サブロール」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ childId   <string>
  └ parentId   <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
childId	string	なし	サブロールID
parentId	string	なし	ロールID

メニューグループの作成

メニューグループの作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューグループ」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ childMenuItemId <string>
  ├ menuGroupId <string>
  └ nameMap<map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-

項目名	型	配列/リスト	説明
childMenuItemId	string	なし	配下のメニューアイテムID
menuGroupId	string	なし	メニューグループID
nameMap	map	なし	メニュー表示名 key: ロケールID、value: メニュー表示名

メニューグループの更新

メニューグループの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューグループ」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ childMenuItemId <string>
  ├ menuGroupId <string>
  └ nameMap<map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
childMenuItemId	string	なし	配下のメニューアイテムID
menuGroupId	string	なし	メニューグループID
nameMap	map	なし	メニュー表示名 key: ロケールID、value: メニュー表示名

メニューグループの削除

メニューグループの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューグループ」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ childMenuItemId <string>
  ├ menuGroupId <string>
  └ nameMap<map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
childMenuItemId	string	なし	配下のメニューアイテムID
menuGroupId	string	なし	メニューグループID
nameMap	map	なし	メニュー表示名 key: ロケールID、value: メニュー表示名

メニューアイテムの作成

メニューアイテムの作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューアイテム」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ arguments <map>
  ├─ description <string>
  ├─ icon16Id <string>
  ├─ icon32Id <string>
  ├─ icon48Id <string>
  ├─ imagePath <string>
  ├─ menuGroupId <string>
  ├─ menuId <string>
  ├─ method <string>
  ├─ nameMap <map>
  ├─ originalMenuId <string>
  ├─ parentMenuId <string>
  ├─ sortNumber <integer>
  ├─ type <string>
  ├─ url <string>
  ├─ useIframe <boolean>
  └─ usePopup <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
arguments	map	なし	引数 key: 引数のキー、value: 引数の値
description	string	なし	説明
icon16Id	string	なし	16x16サイズ用アイコンのアイコンID [1]
icon32Id	string	なし	32x32サイズ用アイコンのアイコンID [1]
icon48Id	string	なし	48x48サイズ用アイコンのアイコンID [1]
imagePath	string	なし	画像パス
menuGroupId	string	なし	メニューグループID
menuId	string	なし	メニューID
method	string	なし	呼び出し方法
nameMap	map	なし	メニュー表示名 key: ロケールID、value: メニュー表示名
originalMenuId	string	なし	コピー元メニューID
parentMenuId	string	なし	親メニューID
sortNumber	integer	なし	ソート番号
type	string	なし	メニューデータ種別 （ “folder” or “item” or “external” ）
url	string	なし	URL
useIframe	boolean	なし	Iframe表示/非表示フラグ
usePopup	boolean	なし	ポップアップ表示/非表示フラグ

補足説明

[1] *(1, 2, 3)*

> intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) 以降で利用可能です。

メニューアイテムの更新

メニューアイテムの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。

受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューアイテム」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ arguments <map>
  ├─ description <string>
  ├─ icon16Id <string>
  ├─ icon32Id <string>
  ├─ icon48Id <string>
  ├─ imagePath <string>
  ├─ menuGroupId <string>
  ├─ menuId <string>
  ├─ method <string>
  ├─ nameMap <map>
  ├─ originalMenuId <string>
  ├─ parentMenuId <string>
  ├─ sortNumber <integer>
  ├─ type <string>
  ├─ url <string>
  ├─ useIframe <boolean>
  └─ usePopup <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
arguments	map	なし	引数 key: 引数のキー、value: 引数の値
description	string	なし	説明
icon16Id	string	なし	16x16サイズ用アイコンのアイコンID [1]
icon32Id	string	なし	32x32サイズ用アイコンのアイコンID [1]
icon48Id	string	なし	48x48サイズ用アイコンのアイコンID [1]
imagePath	string	なし	画像パス
menuGroupId	string	なし	メニューグループID
menuId	string	なし	メニューID
method	string	なし	呼び出し方法
nameMap	map	なし	メニュー表示名 key: ロケールID、value: メニュー表示名
originalMenuId	string	なし	コピー元メニューID
parentMenuId	string	なし	親メニューID
sortNumber	integer	なし	ソート番号
type	string	なし	メニューデータ種別 （ “folder” or “item” or “external” ）
url	string	なし	URL
useIframe	boolean	なし	Iframe表示/非表示フラグ
usePopup	boolean	なし	ポップアップ表示/非表示フラグ

補足説明

[1] *(1, 2, 3)*

intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) 以降で利用可能です。

メニューアイテムの削除

メニューアイテムの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューアイテム」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  └ menuId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
menuId	string	なし	メニューID

メニューIDの変更

メニューIDの変更を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「メニューIDの変更」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ from <string>
  └ to <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
from	string	なし	変更前のメニューグループID/メニューアイテムID
to	string	なし	変更後のメニューグループID/メニューアイテムID

Accel Collaboration

スケジュールの登録

スケジュールの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ facilities <object[]>
 |   ├ facility <string>
 |   └ facilityName <map>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
facility	string	なし	施設コード

項目名	型	配列/リスト	説明
facilityName	string	なし	施設名 key: ロケールID、value: 施設名
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

スケジュールの更新

スケジュールの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ facilities <object[]>
 |   ├ facility <string>
 |   └ facilityName <map>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明

項目名	型	配列/リスト	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
facility	string	なし	施設コード
facilityName	string	なし	施設名 key: ロケールID、value: 施設名
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者

項目名	型	配列/リスト	説明
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

スケジュールの削除

スケジュールの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ facilities <object[]>
 |   ├ facility <string>
 |   └ facilityName <map>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル

項目名	型	配列/リスト	説明
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
facilities	object	配列	施設
facility	string	なし	施設コード
facilityName	string	なし	施設名 key: ロケールID、value: 施設名
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー

項目名	型	配列/リスト	説明
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

イベントの登録

イベントの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者

項目名	型	配列/リスト	説明
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

イベントの更新

イベントの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者

項目名	型	配列/リスト	説明
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

イベントの削除

イベントの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「スケジュール登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ attachedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ customItem <map>
 ├ customItemOptionValues <map[]>
 ├ description <string>
 ├ editable4Participant <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ goingout <boolean>
 ├ noticeTargetType <string>
 ├ participants <object[]>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ personalTags <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ place <string>
 ├ privateAttachFile <boolean>
 ├ privateDescription <boolean>
 ├ privateType <string>
 ├ registerDate <date>
 ├ registerUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 ├ reminder <integer[]>
 ├ removedFiles <object[]>
 |   ├ code <string>
 |   └ name <string>
 ├ repeatKey <string>
 ├ scheduleKey <string>
 ├ selectedLocale <locale>
 ├ startDate <date>
 ├ timeZone <timezone>
 ├ title <string>
 ├ updateDate <date>
 ├ updateUser <object>
 |   ├ userCd <string>
 |   └ userName <map>
 └ visitor <boolean>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
attachedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
customItem	map	なし	拡張項目 key: 拡張項目コード、value: 拡張項目値
customItemOptionValues	map	配列	拡張項目選択値 key: 拡張項目コード、value: 選択肢コード
description	string	なし	説明
editable4Participant	boolean	なし	参加者編集。 true：参加者の編集が可能 / false：参加者の編集が不可
endDate	date	なし	終了日
goingout	boolean	なし	外出予定。 true：外出予定 / false：外出予定ではない
noticeTargetType	string	なし	通知ターゲット
participants	object	配列	参加者

項目名	型	配列/リスト	説明
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
personalTags	objet	配列	個人タグ
code	string	なし	タグコード
name	string	なし	タグ名
place	string	なし	場所
privateAttachFile	boolean	なし	添付ファイル公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateDescription	boolean	なし	説明公開。 true：非公開状態 / false：公開状態
privateType	string	なし	公開種別
registerDate	date	なし	登録日時
registerUser	object	なし	登録者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
reminder	integer	配列	リマインダ （分） 例 ： 30分前、 1 時間前に通知する設定の場合、[30, 60]
removedFiles	object	配列	添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
repeatKey	string	なし	繰り返し条件キー
scheduleKey	string	なし	スケジュールキー
selectedLocale	locale	なし	選択ロケール
startDate	date	なし	開始日
timeZone	timezone	なし	タイムゾーン
title	string	なし	タイトル
updateDate	date	なし	更新日時
updateUser	object	なし	更新者
userCd	string	なし	ユーザコード
userName	map	なし	ユーザ名 key: ロケールID、value: ユーザ名
visitor	boolean	なし	来客予定。 true：来客予定 / false：来客予定ではない

インフォメーション記事の登録

インフォメーション記事の登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「記事登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
article <object>
  ├─ articleKey <string>
  ├─ title <string>
  ├─ categoryKey <string>
  ├─ categoryName <string>
  ├─ contents <object>
  |    ├─ html <string>
  |    ├─ plain <string>
  |    └─ textType <string>
  ├─ startDate <date>
  ├─ endDate <date>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerDate <date>
  ├─ updateDate <date>
  ├─ selectedLocaleId <string>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ articleUpdateDate <date>
  ├─ articleUpdateUserCd <string>
  ├─ articleUpdateUserName <string>
  ├─ articleUpdateDepartmentCd <string>
  ├─ articleUpdateDepartmentName <string>
  └─ articleAttachFile <object[]>
       ├─ code <string>
       └─ name <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
article	object	なし	-
articleKey	string	なし	記事キー
title	string	なし	タイトル
categoryKey	string	なし	カテゴリキー
categoryName	string	なし	カテゴリ名
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）
textType	string	なし	テキストタイプ RICH_TEXT : htmlあり / PLAIN_TEXT : plainのみ
startDate	date	なし	開始日
endDate	date	なし	終了日
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerDate	date	なし	登録日時
updateDate	date	なし	更新日時
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
recordUserCd	string	なし	最終更新ユーザコード
articleUpdateDate	date	なし	記事更新日時

項目名	型	配列/リスト	説明
articleUpdateUserCd	string	なし	記事更新ユーザコード
articleUpdateUserName	string	なし	記事更新ユーザ名
articleUpdateDepartmentCd	string	なし	記事更新ユーザ組織コード
articleUpdateDepartmentName	string	なし	記事更新ユーザ組織名
articleAttachFile	object	配列	記事添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名

インフォメーション記事の更新

インフォメーション記事の更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「記事登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
article <object>
  ├─ articleKey <string>
  ├─ title <string>
  ├─ categoryKey <string>
  ├─ categoryName <string>
  ├─ contents <object>
  |    ├─ html <string>
  |    ├─ plain <string>
  |    └─ textType <string>
  ├─ startDate <date>
  ├─ endDate <date>
  ├─ timezoneId <string>
  ├─ registerUserCd <string>
  ├─ registerUserName <string>
  ├─ registerDepartmentCd <string>
  ├─ registerDepartmentName <string>
  ├─ registerDate <date>
  ├─ updateDate <date>
  ├─ selectedLocaleId <string>
  ├─ recordUserCd <string>
  ├─ articleUpdateDate <date>
  ├─ articleUpdateUserCd <string>
  ├─ articleUpdateUserName <string>
  ├─ articleUpdateDepartmentCd <string>
  ├─ articleUpdateDepartmentName <string>
  └─ articleAttachFile <object[]>
       ├─ code <string>
       └─ name <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
article	object	なし	-
articleKey	string	なし	記事キー
title	string	なし	タイトル
categoryKey	string	なし	カテゴリキー
categoryName	string	なし	カテゴリ名
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）

項目名	型	配列/リスト	説明
textType	string	なし	テキストタイプ RICH_TEXT : htmlあり / PLAIN_TEXT : plainのみ
startDate	date	なし	開始日
endDate	date	なし	終了日
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerDate	date	なし	登録日時
updateDate	date	なし	更新日時
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
recordUserCd	string	なし	最終更新ユーザコード
articleUpdateDate	date	なし	記事更新日時
articleUpdateUserCd	string	なし	記事更新ユーザコード
articleUpdateUserName	string	なし	記事更新ユーザ名
articleUpdateDepartmentCd	string	なし	記事更新ユーザ組織コード
articleUpdateDepartmentName	string	なし	記事更新ユーザ組織名
articleAttachFile	object	配列	記事添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名

インフォメーション記事の削除

インフォメーション記事の削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「記事登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
articleDetailList <object>
  └ articleList <object[]>
      ├ article <object>
      |   ├ articleKey <string>
      |   ├ title <string>
      |   ├ categoryKey <string>
      |   ├ categoryName <string>
      |   ├ contents <object>
      |   |   ├ html <string>
      |   |   ├ plain <string>
      |   |   └ textType <string>
      |   ├ startDate <date>
      |   ├ endDate <date>
      |   ├ timezoneId <string>
      |   ├ registerUserCd <string>
      |   ├ registerUserName <string>
      |   ├ registerDepartmentCd <string>
      |   ├ registerDepartmentName <string>
      |   ├ registerDate <date>
      |   ├ updateDate <date>
      |   ├ selectedLocaleId <string>
      |   ├ recordUserCd <string>
      |   ├ articleUpdateDate <date>
      |   ├ articleUpdateUserCd <string>
      |   ├ articleUpdateUserName <string>
      |   ├ articleUpdateDepartmentCd <string>
      |   ├ articleUpdateDepartmentName <string>
      |   └ articleAttachFile <object[]>
      |       ├ code <string>
      |       └ name <string>
      └ appendixList <object[]>
          ├ articleKey <string>
          ├ appendixKey <string>
          ├ contents <object>
          |   ├ html <string>
          |   ├ plain <string>
          |   └ textType <string>
          ├ appendixAttachFile <object[]>
          |   ├ code <string>
          |   └ name <string>
          ├ registerUserCd <string>
          ├ registerUserName <string>
          ├ registerDepartmentCd <string>
          ├ registerDepartmentName <string>
          └ registerDate <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
articleDetailList	object	なし	-
articleList	object	配列	-
article	object	なし	記事
articleKey	string	なし	記事キー
title	string	なし	タイトル
categoryKey	string	なし	カテゴリキー
categoryName	string	なし	カテゴリ名
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）
textType	string	なし	テキストタイプ RICH_TEXT : htmlあり / PLAIN_TEXT : plainのみ

項目名	型	配列/リスト	説明
startDate	date	なし	開始日
endDate	date	なし	終了日
timezoneId	string	なし	タイムゾーンID
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerDate	date	なし	登録日時
updateDate	date	なし	更新日時
selectedLocaleId	string	なし	選択ロケールID
recordUserCd	string	なし	最終更新ユーザコード
articleUpdateDate	date	なし	記事更新日時
articleUpdateUserCd	string	なし	記事更新ユーザコード
articleUpdateUserName	string	なし	記事更新ユーザ名
articleUpdateDepartmentCd	string	なし	記事更新ユーザ組織コード
articleUpdateDepartmentName	string	なし	記事更新ユーザ組織名
articleAttachFile	object	配列	記事添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
appendixList	object	配列	追記記事リスト
articleKey	string	なし	記事キー
appendixKey	string	なし	追記記事キー
contents	object	なし	本文
html	string	なし	htmlの本文
plain	string	なし	テキストの本文
textType	string	なし	テキストタイプ RICH_TEXT : htmlあり / PLAIN_TEXT : plainのみ
appendixAttachFile	object	配列	追記記事添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerDate	date	なし	登録日時

インフォメーション追記記事の登録

インフォメーション追記記事の登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、intra-mart Accel Collaboration セットアップガイド「記事登録・更新・削除時にデータを受信する場合」を参照してください。

受信データ

```
appendix <object>
  ├ articleKey <string>
  ├ appendixKey <string>
  ├ contents <object>
  |   ├ html <string>
  |   ├ plain <string>
  |   └ textType <string>
  ├ appendixAttachFile <object[]>
  |   ├ code <string>
  |   └ name <string>
  ├ registerUserCd <string>
  ├ registerUserName <string>
  ├ registerDepartmentCd <string>
  ├ registerDepartmentName <string>
  └ registerDate <date>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
appendix	object	なし	追記記事
articleKey	string	なし	記事キー
appendixKey	string	なし	追記記事キー
contents	object	なし	本文
html	string	なし	本文（HTML）
plain	string	なし	本文（テキスト）
textType	string	なし	テキストタイプ RICH_TEXT : htmlあり / PLAIN_TEXT : plainのみ
appendixAttachFile	object	配列	追記記事添付ファイル
code	string	なし	ファイルコード
name	string	なし	ファイル名
registerUserCd	string	なし	登録ユーザコード
registerUserName	string	なし	登録ユーザ名
registerDepartmentCd	string	なし	登録ユーザ組織コード
registerDepartmentName	string	なし	登録ユーザ組織名
registerDate	date	なし	登録日時

Salesforce Streaming

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード作成

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Salesforce監視対象オブジェクト」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ tenantId <string>
  ├ topicName <string>
  ├ eventType <string>
  ├ replayId <long>
  ├ createdDate <date>
  └ fields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
tenantId	string	なし	テナントID
topicName	string	なし	トピック名
eventType	string	なし	イベントの種類
replayId	long	なし	再生 ID
createdDate	date	なし	イベント通知の作成日時
fields	map	なし	オブジェクト項目一覧 key: 監視対象オブジェクトの項目名、value: 項目値

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード更新

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Salesforce監視対象オブジェクト」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ tenantId <string>
  ├ topicName <string>
  ├ eventType <string>
  ├ replayId <long>
  ├ createdDate <date>
  └ fields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
tenantId	string	なし	テナントID
topicName	string	なし	トピック名
eventType	string	なし	イベントの種類
replayId	long	なし	再生 ID
createdDate	date	なし	イベント通知の作成日時
fields	map	なし	オブジェクト項目一覧 key: 監視対象オブジェクトの項目名、value: 項目値

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード削除

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Salesforce監視対象オブジェクト」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ tenantId <string>
  ├ topicName <string>
  ├ eventType <string>
  ├ replayId <long>
  ├ createdDate <date>
  └ fields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-

項目名	型	配列/リスト	説明
tenantId	string	なし	テナントID
topicName	string	なし	トピック名
eventType	string	なし	イベントの種類
replayId	long	なし	再生 ID
createdDate	date	なし	イベント通知の作成日時
fields	map	なし	オブジェクト項目一覧 key: 監視対象オブジェクトの項目名、value: 項目値

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード復元

Salesforce監視対象オブジェクトのレコード復元を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Salesforce監視対象オブジェクト」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ tenantId <string>
  ├─ topicName <string>
  ├─ eventType <string>
  ├─ replayId <long>
  ├─ createdDate <date>
  └─ fields <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
tenantId	string	なし	テナントID
topicName	string	なし	トピック名
eventType	string	なし	イベントの種類
replayId	long	なし	再生 ID
createdDate	date	なし	イベント通知の作成日時
fields	map	なし	オブジェクト項目一覧 key: 監視対象オブジェクトの項目名、value: 項目値

Salesforce Streaming Client Service エラー情報

Salesforce Streaming Client Service のセッションでエラーが発生したことを契機にロジックフローを実行するトリガです。
このトリガは、デフォルトテナントでのみ設定可能です。デフォルトテナント以外で設定を行っても、ロジックフローは実行されません。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Salesforce Streaming Client Service エラー情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ errorMessages <string[]>
  ├─ newState <string>
  ├─ oldState <string>
  ├─ sessionId <string>
  ├─ sessionSalesforceAPIVersion <string>
  ├─ sessionSalesforceAPIVersionName <string>
  ├─ sessionSalesforceClientId <string>
  ├─ sessionState <string>
  ├─ sessionTenantId <string>
  └─ sessionTopicNames <string[]>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
errorMessages	string[]	配列	エラーが発生した際の例外メッセージ。 返却値には、エラーが発生した際の例外の原因となった例外メッセージも含まれます。
newState	string	なし	エラー発生後のセッションの状態
oldState	string	なし	エラー発生前のセッションの状態
sessionId	string	なし	Salesforce Streaming のセッションID
sessionSalesforceAPIVersion	string	なし	SalesforceのAPIバージョン番号
sessionSalesforceAPIVersionName	string	なし	SalesforceのAPIバージョン名 例）36.0 - Spring ‘16
sessionSalesforceClientId	string	なし	Salesforceクライアントを識別する一意のID
sessionState	string	なし	セッションの状態
sessionTenantId	string	なし	テナントID
sessionTopicNames	string[]	配列	セッションが購読していたトピック名

IM共通マスタ

ユーザプロファイルの作成

ユーザプロファイルの作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザプロファイル」を参照してください。

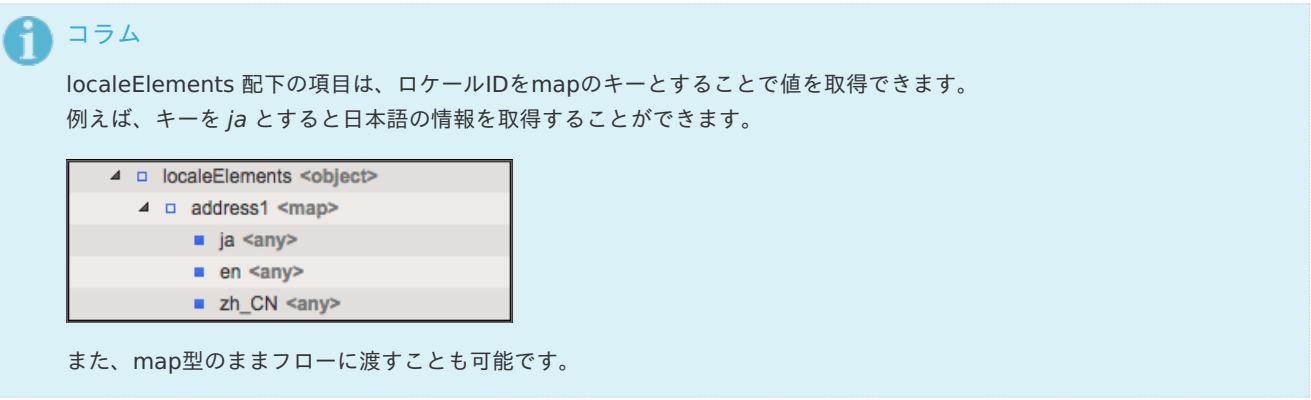
> **コラム**
>
> IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
> 標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
> 設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ defaultLocale <locale>
 ├ disable <boolean>
 ├ endDate <date>
 ├ localeElements <object>
 |   ├ address1 <map>
 |   ├ address2 <map>
 |   ├ address3 <map>
 |   ├ countryCd <map>
 |   ├ emailAddress1 <map>
 |   ├ emailAddress2 <map>
 |   ├ extensionFaxNumber <map>
 |   ├ extensionNumber <map>
 |   ├ faxNumber <map>
 |   ├ mobileEmailAddress <map>
 |   ├ mobileNumber <map>
 |   ├ notes <map>
 |   ├ telephoneNumber <map>
 |   ├ url <map>
 |   ├ userName <map>
 |   ├ userSearchName <map>
 |   └ zipCode <map>
 ├ sex <string>
 ├ sortKey <integer>
 ├ startDate <date>
 ├ termCd <string>
 └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
defaultLocale	locale	なし	デフォルトのロケール
disable	boolean	なし	削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localeElements	object	なし	国際化情報オブジェクト
address1	map	なし	住所１
address2	map	なし	住所２
address3	map	なし	住所３
countryCd	map	なし	国コード
emailAddress1	map	なし	メールアドレス１
emailAddress2	map	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	map	なし	内線FAX番号
extensionNumber	map	なし	内線番号
faxNumber	map	なし	FAX番号
mobileEmailAddress	map	なし	携帯メールアドレス
mobileNumber	map	なし	携帯番号
notes	map	なし	備考
telephoneNumber	map	なし	電話番号
url	map	なし	URL
userName	map	なし	ユーザ名
userSearchName	map	なし	ユーザ検索名
zipCode	map	なし	郵便番号

項目名	型	配列/リスト	説明
sex	string	なし	性別
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード



コラム

localeElements 配下の項目は、ロケールIDをmapのキーとすることで値を取得できます。
例えば、キーを *ja* とすると日本語の情報を取得することができます。

また、map型のままフローに渡すことも可能です。

ユーザプロファイルの更新

ユーザプロファイルの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザプロファイル」を参照してください。

コラム

IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

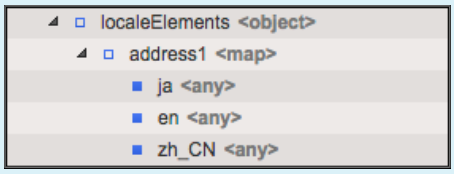
受信データ

```
event <object>
  ├ defaultLocale <locale>
  ├ disable <boolean>
  ├ endDate <date>
  ├ localeElements <object>
  |   ├ address1 <map>
  |   ├ address2 <map>
  |   ├ address3 <map>
  |   ├ countryCd <map>
  |   ├ emailAddress1 <map>
  |   ├ emailAddress2 <map>
  |   ├ extensionFaxNumber <map>
  |   ├ extensionNumber <map>
  |   ├ faxNumber <map>
  |   ├ mobileEmailAddress <map>
  |   ├ mobileNumber <map>
  |   ├ notes <map>
  |   ├ telephoneNumber <map>
  |   ├ url <map>
  |   ├ userName <map>
  |   ├ userSearchName <map>
  |   └ zipCode <map>
  ├ sex <string>
  ├ sortKey <integer>
  ├ startDate <date>
  ├ termCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
defaultLocale	locale	なし	デフォルトのロケール
disable	boolean	なし	削除フラグ
endDate	date	なし	終了日
localeElements	object	なし	国際化情報オブジェクト
address1	map	なし	住所１
address2	map	なし	住所２
address3	map	なし	住所３
countryCd	map	なし	国コード
emailAddress1	map	なし	メールアドレス１
emailAddress2	map	なし	メールアドレス２
extensionFaxNumber	map	なし	内線FAX番号
extensionNumber	map	なし	内線番号
faxNumber	map	なし	FAX番号
mobileEmailAddress	map	なし	携帯メールアドレス
mobileNumber	map	なし	携帯番号
notes	map	なし	備考
telephoneNumber	map	なし	電話番号
url	map	なし	URL
userName	map	なし	ユーザ名
userSearchName	map	なし	ユーザ検索名
zipCode	map	なし	郵便番号
sex	string	なし	性別
sortKey	integer	なし	ソートキー
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

コラム

localeElements 配下の項目は、ロケールIDをmapのキーとすることで値を取得できます。
例えば、キーを *ja* とすると日本語の情報を取得することができます。



また、map型のままフローに渡すことも可能です。

ユーザの組織所属情報の作成

ユーザの組織所属情報の作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザの組織所属情報」を参照してください。

> **コラム**
>
> IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
> 標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
> 設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ companyCd <string>
  ├ departmentCd <string>
  ├ departmentMain <boolean>
  ├ departmentSetCd <string>
  ├ endDate <date>
  ├ startDate <date>
  ├ termCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
companyCd	string	なし	会社コード
departmentCd	string	なし	組織コード
departmentMain	boolean	なし	主所属フラグ
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザの組織所属情報の更新

ユーザの組織所属情報の更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザの組織所属情報」を参照してください。

> **コラム**
>
> IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
> 標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
> 設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ companyCd <string>
  ├ departmentCd <string>
  ├ departmentMain <boolean>
  ├ departmentSetCd <string>
  ├ endDate <date>
  ├ startDate <date>
  ├ termCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-

項目名	型	配列/リスト	説明
companyCd	string	なし	会社コード
departmentCd	string	なし	組織コード
departmentMain	boolean	なし	主所属フラグ
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
endDate	date	なし	終了日
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザの組織所属情報の削除

ユーザの組織所属情報の削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザの組織所属情報」を参照してください。

コラム

IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ companyCd <string>
  ├ departmentCd <string>
  ├ departmentSetCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
companyCd	string	なし	会社コード
departmentCd	string	なし	組織コード
departmentSetCd	string	なし	組織セットコード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザのパブリックグループ所属情報の作成

ユーザのパブリックグループ所属情報の作成を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザのパブリックグループ所属情報」を参照してください。

コラム

IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ endDate <date>
  ├ publicGroupCd <string>
  ├ publicGroupSetCd <string>
  ├ startDate <date>
  ├ termCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
endDate	date	なし	終了日
publicGroupCd	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	string	なし	パブリックグループセットコード
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザのパブリックグループ所属情報の更新

ユーザのパブリックグループ所属情報の更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザのパブリックグループ所属情報」を参照してください。

コラム

IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ endDate <date>
  ├ publicGroupCd <string>
  ├ publicGroupSetCd <string>
  ├ startDate <date>
  ├ termCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
endDate	date	なし	終了日
publicGroupCd	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	string	なし	パブリックグループセットコード
startDate	date	なし	開始日
termCd	string	なし	期間コード
userCd	string	なし	ユーザコード

ユーザのパブリックグループ所属情報の削除

ユーザのパブリックグループ所属情報の削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ユーザのパブリックグループ所属情報」を参照してください。

> **コラム**
>
> IM-共通マスタ のカテゴリは 2018 Spring(Skylark) から利用可能です。
> 標準では IM-共通マスタ のカテゴリを利用する設定がされていないため、設定ファイルを編集する必要があります。
> 設定方法に関しては、IM-共通マスタ 仕様書「IM-LogicDesigner のフロートリガで IM-共通マスタ を使用する」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ publicGroupCd <string>
  ├ publicGroupSetCd <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
publicGroupCd	string	なし	パブリックグループコード
publicGroupSetCd	string	なし	パブリックグループセットコード
userCd	string	なし	ユーザコード

IM-Knowledge

Wikiの登録

Wikiの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wiki情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ contents <string>
  ├ createDate <date>
  ├ createUserCd <string>
  ├ createUserName <string>
  ├ formatType <string>
  ├ knowledgeGroupId <string>
  ├ mainPageCd <string>
  ├ path <string>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUserCd <string>
  ├ recordUserName <string>
  ├ tags <object[]>
  |   ├ color <string>
  |   ├ createDate <date>
  |   ├ createUserCd <string>
  |   ├ createUserName <string>
  |   ├ description <string>
  |   ├ iconClass <string>
  |   ├ protect <boolean>
  |   ├ recordDate <date>
  |   ├ recordUserCd <string>
  |   ├ recordUserName <string>
  |   ├ tagId <string>
  |   └ tagName <string>
  ├ thumbnail <string>
  ├ title <string>
  ├ wikiId <string>
  └ wikiName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
contents	string	なし	メインページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	メインページのテキスト形式
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
mainPageCd	string	なし	メインページコード
path	string	なし	コンテンツのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tags	object	リスト	Knowledgeタグ
color	string	なし	タグの背景色
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名
description	string	なし	タグの説明
iconClass	string	なし	タグのアイコン
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
title	string	なし	メインページのタイトル
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名

Wikiの更新

Wikiの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wiki情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ contents <string>
 ├ createDate <date>
 ├ createUserCd <string>
 ├ createUserName <string>
 ├ formatType <string>
 ├ knowledgeGroupId <string>
 ├ mainPageCd <string>
 ├ path <string>
 ├ recordDate <date>
 ├ recordUserCd <string>
 ├ recordUserName <string>
 ├ tags <object[]>
 |  ├ color <string>
 |  ├ createDate <date>
 |  ├ createUserCd <string>
 |  ├ createUserName <string>
 |  ├ description <string>
 |  ├ iconClass <string>
 |  ├ protect <boolean>
 |  ├ recordDate <date>
 |  ├ recordUserCd <string>
 |  ├ recordUserName <string>
 |  ├ tagId <string>
 |  └ tagName <string>
 ├ thumbnail <string>
 ├ title <string>
 ├ wikiAttachFiles <object[]>
 |  ├ createDate <date>
 |  ├ createUserCd <string>
 |  ├ createUserName <string>
 |  ├ fileCd <string>
 |  ├ fileComment <string>
 |  └ fileName <string>
 ├ wikiId <string>
 └ wikiName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
contents	string	なし	メインページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	メインページのテキスト形式
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
mainPageCd	string	なし	メインページコード
path	string	なし	コンテンツのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tags	object	リスト	Knowledgeタグ
color	string	なし	タグの背景色
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名

項目名	型	配列/リスト	説明
description	string	なし	タグの説明
iconClass	string	なし	タグのアイコン
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
title	string	なし	メインページのタイトル
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名

Wikiの削除

Wikiの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wiki情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├ contents <string>
 ├ createDate <date>
 ├ createUserCd <string>
 ├ createUserName <string>
 ├ formatType <string>
 ├ knowledgeGroupId <string>
 ├ mainPageCd <string>
 ├ path <string>
 ├ recordDate <date>
 ├ recordUserCd <string>
 ├ recordUserName <string>
 ├ tags <object[]>
 |  ├ color <string>
 |  ├ createDate <date>
 |  ├ createUserCd <string>
 |  ├ createUserName <string>
 |  ├ description <string>
 |  ├ iconClass <string>
 |  ├ protect <boolean>
 |  ├ recordDate <date>
 |  ├ recordUserCd <string>
 |  ├ recordUserName <string>
 |  ├ tagId <string>
 |  └ tagName <string>
 ├ thumbnail <string>
 ├ title <string>
 ├ wikiAttachFiles <object[]>
 |  ├ createDate <date>
 |  ├ createUserCd <string>
 |  ├ createUserName <string>
 |  ├ fileCd <string>
 |  ├ fileComment <string>
 |  └ fileName <string>
 ├ wikiId <string>
 └ wikiName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
contents	string	なし	メインページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	メインページのテキスト形式
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
mainPageCd	string	なし	メインページコード
path	string	なし	コンテンツのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
tags	object	リスト	Knowledgeタグ
color	string	なし	タグの背景色
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名

項目名	型	配列/リスト	説明
description	string	なし	タグの説明
iconClass	string	なし	タグのアイコン
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
title	string	なし	メインページのタイトル
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名

Wikiページの登録

Wikiページの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
　受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wikiページ情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ comment <string>
  ├ contents <string>
  ├ createDate <date>
  ├ createUserCd <string>
  ├ createUserName <string>
  ├ formatType <string>
  ├ parentWikiPageCd <string>
  ├ path <string>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUserCd <string>
  ├ recordUserName <string>
  ├ title <string>
  ├ version <string>
  ├ wikiId <string>
  ├ wikiName <string>
  └ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント

項目名	型	配列/リスト	説明
contents	string	なし	ページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	ページのテキスト形式
parentWikiPageCd	string	なし	親ページコード
path	string	なし	ページのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
title	string	なし	ページのタイトル
version	string	なし	バージョン
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページの更新

Wikiページの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
　受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wikiページ情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ comment <string>
  ├ contents <string>
  ├ createDate <date>
  ├ createUserCd <string>
  ├ createUserName <string>
  ├ formatType <string>
  ├ parentWikiPageCd <string>
  ├ path <string>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUserCd <string>
  ├ recordUserName <string>
  ├ title <string>
  ├ version <string>
  ├ wikiAttachFiles <object[]>
  |   ├ createDate <date>
  |   ├ createUserCd <string>
  |   ├ createUserName <string>
  |   ├ fileCd <string>
  |   ├ fileComment <string>
  |   └ fileName <string>
  ├ wikiId <string>
  ├ wikiName <string>
  └ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	ページの本文

項目名	型	配列/リスト	説明
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
formatType	string	なし	ページのテキスト形式
parentWikiPageCd	string	なし	親ページコード
path	string	なし	ページのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
title	string	なし	ページのタイトル
version	string	なし	バージョン
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページの削除

Wikiページの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wikiページ情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├ comment <string>
  ├ contents <string>
  ├ createDate <date>
  ├ createUserCd <string>
  ├ createUserName <string>
  ├ deletedPages <object[]>
  |    ├ title <string>
  |    └ wikiPageCd <string>
  ├ formatType <string>
  ├ parentWikiPageCd <string>
  ├ path <string>
  ├ recordDate <date>
  ├ recordUserCd <string>
  ├ recordUserName <string>
  ├ title <string>
  ├ version <string>
  ├ wikiAttachFiles <object[]>
  |    ├ createDate <date>
  |    ├ createUserCd <string>
  |    ├ createUserName <string>
  |    ├ fileCd <string>
  |    ├ fileComment <string>
  |    └ fileName <string>
  ├ wikiId <string>
  ├ wikiName <string>
  └ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	ページの本文
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
deletedPages	object	リスト	削除された子ページ一覧
title	string	なし	削除されたページのタイトル
wikiPageCd	string	なし	削除されたページのページコード
formatType	string	なし	ページのテキスト形式
parentWikiPageCd	string	なし	親ページコード
path	string	なし	ページのパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
title	string	なし	ページのタイトル
version	string	なし	バージョン
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード

項目名	型	配列/リスト	説明
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiId	string	なし	WikiID
wikiName	string	なし	Wiki名
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページに添付ファイルを登録

Wikiページ添付ファイルの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wikiページ添付ファイル情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ title <string>
  ├─ wikiAttachFiles <object[]>
  |    ├─ createDate <date>
  |    ├─ createUserCd <string>
  |    ├─ createUserName <string>
  |    ├─ fileCd <string>
  |    ├─ fileComment <string>
  |    └─ fileName <string>
  └─ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
title	string	なし	ページのタイトル
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

Wikiページから添付ファイルを削除

Wikiページ添付ファイルの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「Wikiページ添付ファイル情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
  ├─ title <string>
  ├─ wikiAttachFiles <object[]>
  |    ├─ createDate <date>
  |    ├─ createUserCd <string>
  |    ├─ createUserName <string>
  |    ├─ fileCd <string>
  |    ├─ fileComment <string>
  |    └─ fileName <string>
  └─ wikiPageCd <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
title	string	なし	ページのタイトル
wikiAttachFiles	object	リスト	添付ファイル
createDate	date	なし	添付ファイルの登録日時
createUserCd	string	なし	添付ファイルの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	添付ファイルの登録ユーザ名
fileCd	string	なし	添付ファイルコード
fileComment	string	なし	添付ファイルのコメント
fileName	string	なし	添付ファイル名
wikiPageCd	string	なし	Wikiページコード

ワークブックの登録

ワークブックの登録を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ワークブック情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
 ├─ comment <string>
 ├─ contents <string>
 ├─ createDate <date>
 ├─ createUserCd <string>
 ├─ createUserName <string>
 ├─ description <string>
 ├─ knowledgeGroupId <string>
 ├─ path <string>
 ├─ recordDate <date>
 ├─ recordUserCd <string>
 ├─ recordUserName <string>
 ├─ status <string>
 ├─ tags <object[]>
 |   ├─ color <string>
 |   ├─ createDate <date>
 |   ├─ createUserCd <string>
 |   ├─ createUserName <string>
 |   ├─ description <string>
 |   ├─ iconClass <string>
 |   ├─ protect <boolean>
 |   ├─ recordDate <date>
 |   ├─ recordUserCd <string>
 |   ├─ recordUserName <string>
 |   ├─ tagId <string>
 |   └─ tagName <string>
 ├─ thumbnail <string>
 ├─ workbookId <string>
 └─ workbookName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	ワークブック
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード

項目名	型	配列/リスト	説明
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	説明
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
path	string	なし	ワークブックパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
status	string	なし	ステータス
tags	object	リスト	タグ
color	string	なし	タグのカラーコード
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名
description	string	なし	タグの説明
iconClass	string	なし	タグのアイコンクラス名
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
workbookId	string	なし	ワークブックID
workbookName	string	なし	ワークブック名

ワークブックの更新

ワークブックの更新を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ワークブック情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
├─ comment <string>
├─ contents <string>
├─ createDate <date>
├─ createUserCd <string>
├─ createUserName <string>
├─ description <string>
├─ knowledgeGroupId <string>
├─ path <string>
├─ publicPath <string>
├─ recordDate <date>
├─ recordUserCd <string>
├─ recordUserName <string>
├─ status <string>
├─ tags <object[]>
|    ├─ color <string>
|    ├─ createDate <date>
|    ├─ createUserCd <string>
|    ├─ createUserName <string>
|    ├─ description <string>
|    ├─ iconClass <string>
|    ├─ protect <boolean>
|    ├─ recordDate <date>
|    ├─ recordUserCd <string>
|    ├─ recordUserName <string>
|    ├─ tagId <string>
|    └─ tagName <string>
├─ thumbnail <string>
├─ workbookId <string>
└─ workbookName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	ワークブック
createDate	date	なし	登録日時
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	説明
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
path	string	なし	ワークブックパス
publicPath	string	なし	公開ワークブックパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
status	string	なし	ステータス
tags	object	リスト	タグ
color	string	なし	タグのカラーコード
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名
description	string	なし	タグの説明

項目名	型	配列/リスト	説明
iconClass	string	なし	タグのアイコンクラス名
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
workbookId	string	なし	ワークブックID
workbookName	string	なし	ワークブック名

ワークブックの削除

ワークブックの削除を契機にロジックフローを実行するトリガです。
受信データの各項目については、IM-Propagation 送受信設定一覧「ワークブック情報」を参照してください。

受信データ

```
event <object>
├─ comment <string>
├─ contents <string>
├─ createDate <date>
├─ createUserCd <string>
├─ createUserName <string>
├─ description <string>
├─ knowledgeGroupId <string>
├─ path <string>
├─ publicPath <string>
├─ recordDate <date>
├─ recordUserCd <string>
├─ recordUserName <string>
├─ status <string>
├─ tags <object[]>
|   ├─ color <string>
|   ├─ createDate <date>
|   ├─ createUserCd <string>
|   ├─ createUserName <string>
|   ├─ description <string>
|   ├─ iconClass <string>
|   ├─ protect <boolean>
|   ├─ recordDate <date>
|   ├─ recordUserCd <string>
|   ├─ recordUserName <string>
|   ├─ tagId <string>
|   └─ tagName <string>
├─ thumbnail <string>
├─ workbookId <string>
└─ workbookName <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
event	object	なし	-
comment	string	なし	コメント
contents	string	なし	ワークブック
createDate	date	なし	登録日時

項目名	型	配列/リスト	説明
createUserCd	string	なし	登録ユーザコード
createUserName	string	なし	登録ユーザ名
description	string	なし	説明
knowledgeGroupId	string	なし	ナレッジグループID
path	string	なし	ワークブックパス
publicPath	string	なし	公開ワークブックパス
recordDate	date	なし	更新日時
recordUserCd	string	なし	更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	更新ユーザ名
status	string	なし	ステータス
tags	object	リスト	タグ
color	string	なし	タグのカラーコード
createDate	date	なし	タグの登録日時
createUserCd	string	なし	タグの登録ユーザコード
createUserName	string	なし	タグの登録ユーザ名
description	string	なし	タグの説明
iconClass	string	なし	タグのアイコンクラス名
protect	boolean	なし	タグの保護 true：保護する / false：保護しない
recordDate	date	なし	タグの更新日時
recordUserCd	string	なし	タグの更新ユーザコード
recordUserName	string	なし	タグの更新ユーザ名
tagId	string	なし	タグID
tagName	string	なし	タグ名
thumbnail	string	なし	サムネイル
workbookId	string	なし	ワークブックID
workbookName	string	なし	ワークブック名

ログ設定

IM-LogicDesignerログ

IM-LogicDesignerではロジックフロー実行時の内部的な実行フェーズと、そのフェーズの中で扱っている変数についての詳細をログとして出力させることが可能です。
出力されるログの例は以下の通りです。

```
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] create session. (flowId=log)
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [BEGIN_FLOW] execute session. (flowId=log, inputData={})
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [BEFORE_EXECUTION] execute task. (executeId=im_lock1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_lock), inputData=locking)
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [AFTER_EXECUTION] task result. (executeId=im_lock1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_lock), result=LockDataObject(key=locking))
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [BEFORE_EXECUTION] execute task. (executeId=im_logger1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_logger), inputData=hello world)
[INFO] j.c.i.f.l.e.g.OutputLogTask - [] Hello World.
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [AFTER_EXECUTION] task result. (executeId=im_logger1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_logger), result=null)
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [BEFORE_EXECUTION] execute task. (executeId=im_releaseLock1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_releaseLock), inputData=locking)
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [AFTER_EXECUTION] task result. (executeId=im_releaseLock1,
taskId=ApplicationElementKey(elementId=im_releaseLock), result=null)
[DEBUG] LOGIC_FLOW_LOG - [] [END_FLOW] session result. (flowId=log, executionTime=38ms, result=null)
```

設定方法の詳細は「ログ仕様書」-「IM-LogicDesignerログ」を参照してください。

ユーザ定義タスク（REST）詳細実行ログ

「*ユーザ定義タスク*」 -「*REST*」で定義したREST APIに関して実行時に送信されたリクエスト、および、受信したレスポンスを含む詳細情報をログとして出力させることが可能です。
設定内容は以下の通りです。

ロガー名	jp.co.intra_mart.system.repackage.httpcomponents_4_4_1.org.apache.http
有効となるログレベル	DEBUG
出力先	（任意）

設定方法の詳細は「ログ仕様書」 -「ログ設定」、および、「Logger」を参照してください。
以下は im_logger.xml へ設定した場合の一例です。

```xml
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<configuration>

   <!-- appender設定は省略しています。 -->

   <logger name="jp.co.intra_mart.system.repackage.httpcomponents_4_4_1.org.apache.http">
      <level value="debug" />
   </logger>

</configuration>
```

詳細実行ログの設定を行うことにより出力されるログの例は以下の通りです。

```
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.c.p.RequestAddCookies - [] CookieSpec selected: default
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.c.p.RequestAuthCache - [] Auth cache not set in the context
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.PoolingHttpClientConnectionManager - [] Connection request: [route: {}->http://<HOST>:
<PORT>][total kept alive: 0; route allocated: 0 of 5; total allocated: 0 of 10]
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.PoolingHttpClientConnectionManager - [] Connection leased: [id: 0][route: {}-
>http://<HOST>:<PORT>][total kept alive: 0; route allocated: 1 of 5; total allocated: 1 of 10]
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.e.MainClientExec - [] Opening connection {}->http://<HOST>:<PORT>
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.DefaultHttpClientConnectionOperator - [] Connecting to <HOST>/XX.YY.ZZ.WW:<PORT>
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.DefaultHttpClientConnectionOperator - [] Connection established XX.YY.ZZ.WW:<PORT>
<->XX.YY.ZZ.WW:<PORT>
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.e.MainClientExec - [] Executing request POST /imart/logic/api/simple/message/flow HTTP/1.1
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.e.MainClientExec - [] Target auth state: UNCHALLENGED
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.e.MainClientExec - [] Proxy auth state: UNCHALLENGED

[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> POST /imart/logic/api/simple/message/flow HTTP/1.1
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> User-Agent: LOGIC-DESIGNER INTRAMART/8.0 Version/8.0.0
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> Content-Length: 37
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> Content-Type: application/x-www-form-urlencoded;
charset=UTF-8
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> Host: <HOST>:<PORT>
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> Connection: Keep-Alive
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 >> Accept-Encoding: gzip,deflate

[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << HTTP/1.1 200 OK
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Server: Resin/4.0.48
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Cache-Control: private
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Set-Cookie: jp.co.intra_mart.session.cookie=; path=/imart;
expires=Thu, 01-Dec-1994 16:00:00 GMT
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Set-Cookie: JSESSIONID=aaas0JESrb8-b6zhBOgyv; path=/
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Content-Type: application/json; charset=utf-8
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Content-Length: 4
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.headers - [] http-outgoing-0 << Date: Wed, 20 Jul 2016 05:27:54 GMT

[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.e.MainClientExec - [] Connection can be kept alive indefinitely
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.c.p.ResponseProcessCookies - [] Cookie accepted [jp.co.intra_mart.session.cookie="",
version:0, domain:<HOST>, path:/imart, expiry:Fri Dec 02 01:00:00 JST 1994]
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.c.p.ResponseProcessCookies - [] Cookie accepted [JSESSIONID="aaas0JESrb8-b6zhBOgyv",
version:0, domain:<HOST>, path:/, expiry:null]
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.PoolingHttpClientConnectionManager - [] Connection [id: 0][route: {}->http://<HOST>:
<PORT>] can be kept alive indefinitely
[DEBUG] j.c.i.s.r.h.o.a.h.i.c.PoolingHttpClientConnectionManager - [] Connection released: [id: 0][route: {}-
>http://<HOST>:<PORT>][total kept alive: 1; route allocated: 1 of 5; total allocated: 1 of 10]
```

システム設計文書

ER図

IM-LogicDesignerで取り扱っているテーブルのER図は以下の通りです。
（画像をクリックすることで原寸大に拡大します）

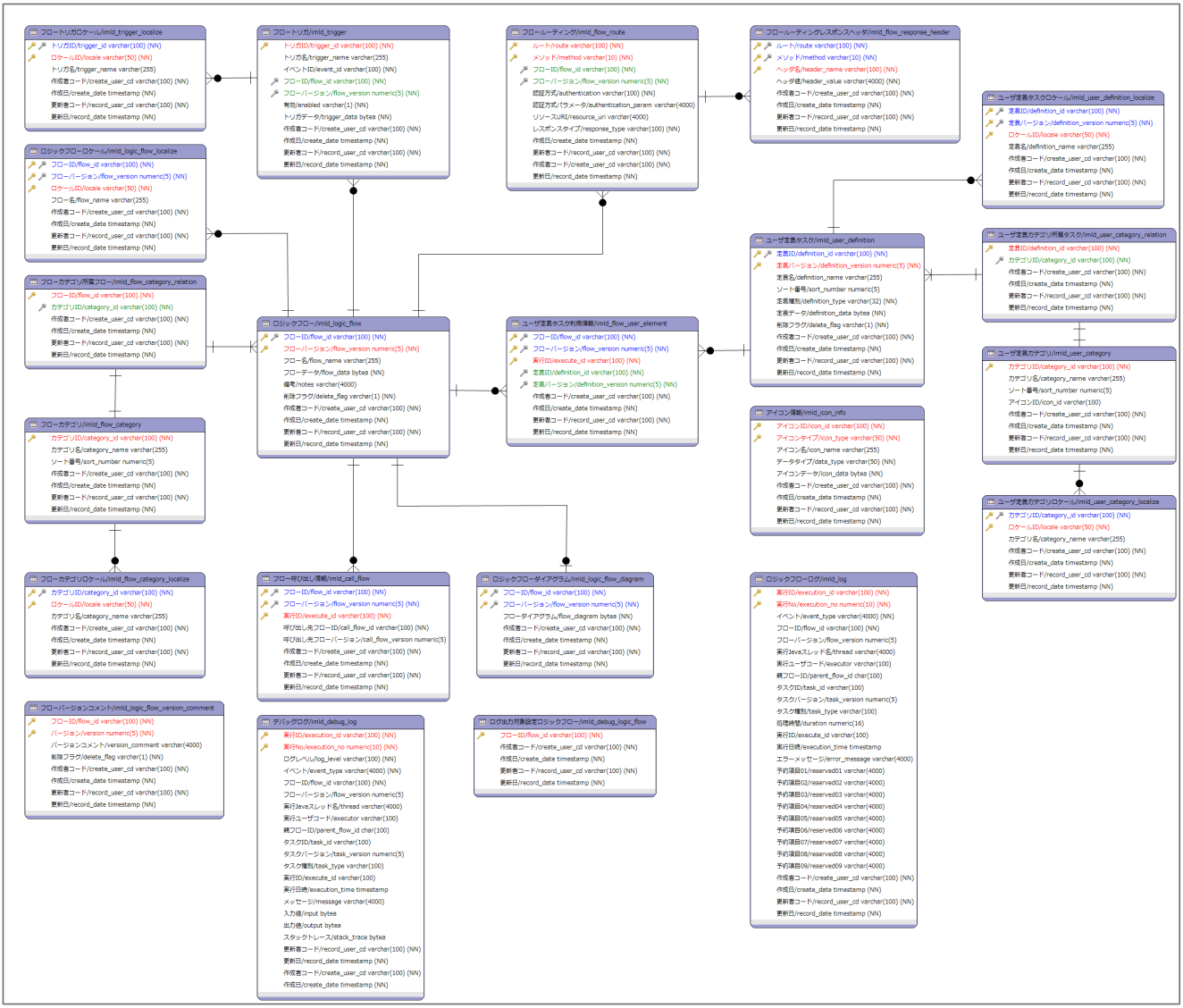


図: IM-LogicDesignerのテーブルER図